

田 原 市
市 民 意 識 調 査
報 告 書

令和4年12月

田 原 市

目次

I 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査対象	1
3. 調査期間	1
4. 調査方法	1
5. 回収状況	1
6. 注意事項	2
II 市民意識調査	5
1. 回答者属性	5
2. あなたの幸福感について	7
3. 田原市の住みやすさについて	22
4. 各分野での市の取り組みについて	39
<市民環境分野>	41
<健康福祉分野>	44
<産業経済分野>	48
<都市整備分野>	50
<教育文化分野>	55
<消防防災分野>	59
<行財政分野>	62
5. 市民活動への参画について	69
6. 個別の取り組みについて	75
■ 市政の情報について	75
■ デジタル社会について	77
■ 汐川干潟について	89
■ エコ社会への取り組みについて	97
■ 上下水道について	110
■ 国際化・多文化共生について	115
■ 市内の公共施設について	119
7. 市政に対するご意見	129
III 市内事業者	135
1. 回答者属性	135
2. 田原市での事業環境について	139
3. あなたの事業所の事業について	142
4. 市の施策について	147
5. 従業員の雇用環境について	152
6. 従業員の市内定住対策について	153

7. 農業分野での事業展開について	154
8. 環境共生について	154
9. 男女共同参画について	155
10. 地域社会への貢献活動について	155
11. デジタル社会について	160
12. 市政に対するご意見	164
IV 市内農業者	167
1. 回答者属性	167
2. 田原市の農業全般について	172
3. あなたの農業経営について	174
4. 農地の保全・活用について	178
5. 農地基盤の整備について	179
6. 交流・食育の推進について	180
7. 農業経営について	182
8. 担い手づくりの推進について	184
9. 環境保全型農業の推進について	186
10. 市政に対するご意見	190
V 市内漁業者	195
1. 回答者属性	195
2. 田原市の漁業全般について	198
3. あなたの漁業経営について	199
4. 水産資源の確保について	202
5. 漁業経営について	204
6. 水産施設の充実について	208
7. 市政に対するご意見	210
VI 市内団体	213
1. 回答者属性	213
2. 団体の活動について	221
3. 市との連携・協力について	223
4. 市政に対するご意見	230
VII 中学生	235
1. あなたにとっての『幸せ』について	235
2. あなたの学校生活について	238
3. あなたの普段の生活・家族との関係について	240
4. 自由意見（あなたにとっての幸せとは）	242
付録 調査票	244

I 調査の概要

I 調査の概要

1. 調査の目的

市の行う取り組みに対する満足度、重要度及び市民意識の把握を行い、調査項目の多角的な分析を行うことで、市民意識の市政への反映と総合計画の着実な推進を図ることを目的としています。

2. 調査対象

市民意識調査：田原市に居住する満 18 歳以上の 3,500 人

市内事業者調査：田原市内の事業者 100 人

農業者調査：田原市内の農業従事者 100 人

漁業者調査：田原市内の漁業従事者 100 人

市内団体調査：田原市内の団体 100 団体

中学生アンケート：田原市内の中学 2 年生 571 人

3. 調査期間

令和 4 年 7 月 1 日から 7 月 22 日まで

4. 調査方法

郵送による配布。回答方法は紙または Web（中学生は紙のみ）。

5. 回収状況

調査対象	配布件数	回答件数	回収率
一般市民	3,500 通	1,301 件	37.2%
事業者	100 通	44 件	44.0%
農業者	100 通	49 件	49.0%
漁業者	100 通	49 件	49.0%
市民団体	100 通	60 件	60.0%
中学生	571 通	399 件	70.0%

6. 注意事項

- 各項目の集計については、無回答（回答がない、もしくは回答の判別が困難なもの）を含めています。
- 図表中の構成比率は、小数点第2位以下を四捨五入しています。
- 図表中の「N」（Number of samples の略）は、設問に対する回答者の総数を示しており、回答者の構成比（%）を算出するための基数となっています。
- 回答が2つ以上ありうる設問（複数回答）の場合、合計が100%を超えることがあります。
- クロス集計については、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数の合計が一致しないことがあります。

Ⅱ 田原市市民意識調査

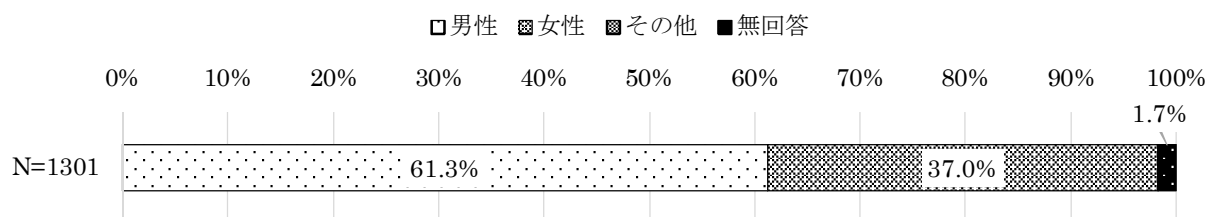
II 田原市市民意識調査

1. 回答者属性

問1 あなた自身の令和4年7月1日現在の状況についてお聞きます。(あてはまるもの1つに○)

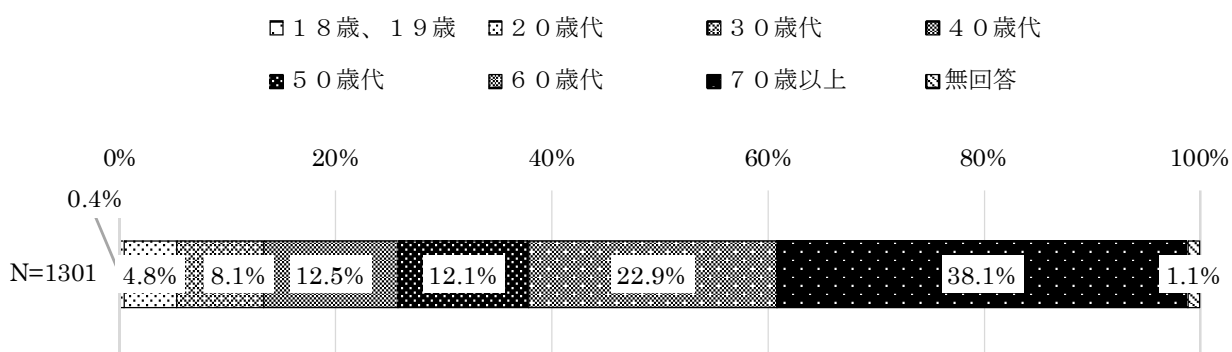
① 性別

「男性」の割合が61.3%、「女性」の割合が37.0%となっています。



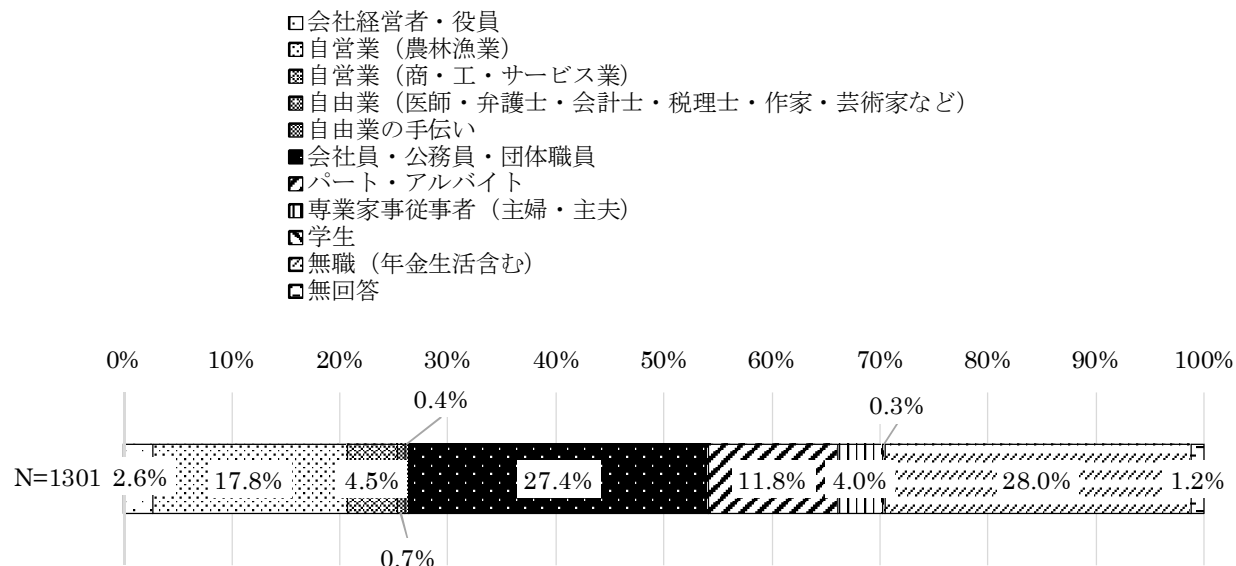
② 年齢

「70歳以上」の割合が38.1%と最も高く、次いで「60歳代」が22.9%、「40歳代」が12.5%となっています。



③ 職種など

「無職（年金生活含む）」の割合が 28.0%と最も高く、次いで「会社員・公務員・団体職員」の割合が 27.4%、「自営業（農林漁業）」の割合が 17.8%となっています。



④ 小学校区

「田原中部」の割合が 10.7%、「神戸」の割合が 9.9%となっています。

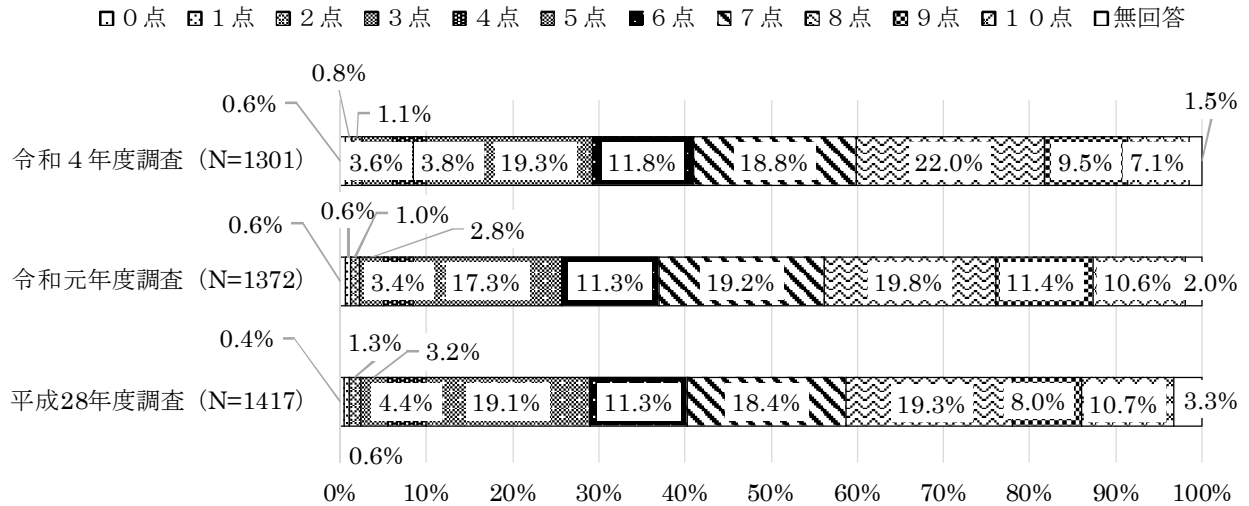
単位：%

小学校区	割合 (%)
有効回答件数	1301
六連	2.6
神戸	9.9
大草	2.2
田原東部	7.2
田原南部	2.8
童浦	9.1
田原中部	10.7
衣笠	8.5
野田	7.3
高松	2.2
赤羽根	3.3
若戸	2.8
伊良湖岬（和地）	1.8
伊良湖岬（龜切）	3.4
伊良湖岬（伊良湖）	0.9
龜山	1.3
中山	6.0
福江	6.8
清田	3.1
泉	5.0
不明	2.5
無回答	0.8

2. あなたの幸福感について

問 2 現在、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになりますか。(いずれかの数字を1つだけ○)

平均点は 6.71 点であり、令和元年度調査 (6.95 点) に比べ 0.24 ポイント低くなっています。

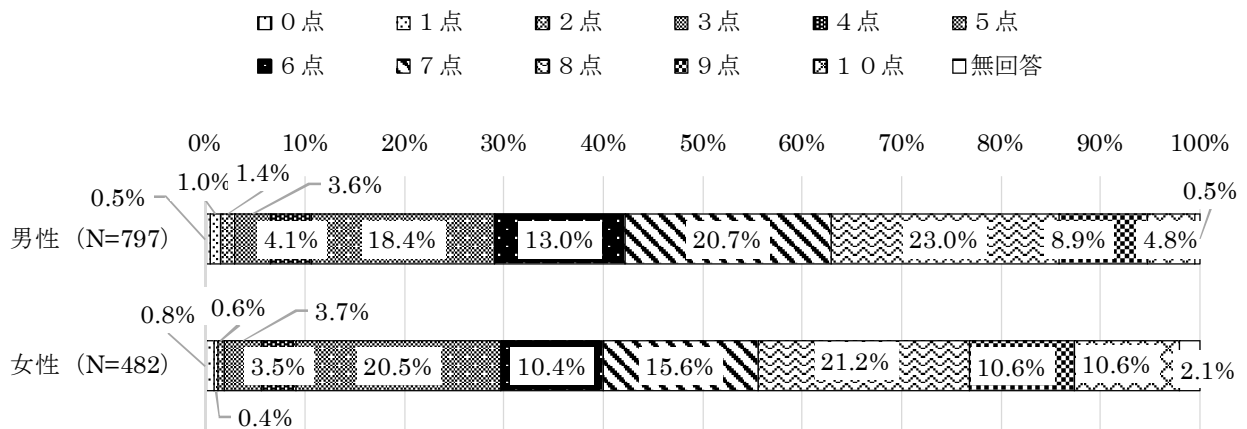


単位：%

	全体	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
令和4年度調査	1301	0.6	0.8	1.1	3.6	3.8	19.3	11.8	18.8	22.0	9.5	7.1	1.5
令和元年度調査	1372	0.6	0.6	1.0	2.8	3.4	17.3	11.3	19.2	19.8	11.4	10.6	2.0
平成28年度調査	1417	0.4	0.6	1.3	3.2	4.4	19.1	11.3	18.4	19.3	8.0	10.7	3.3

【性別】

性別でみると、《女性》で“8点以上”の割合が高く、4割を超えています。

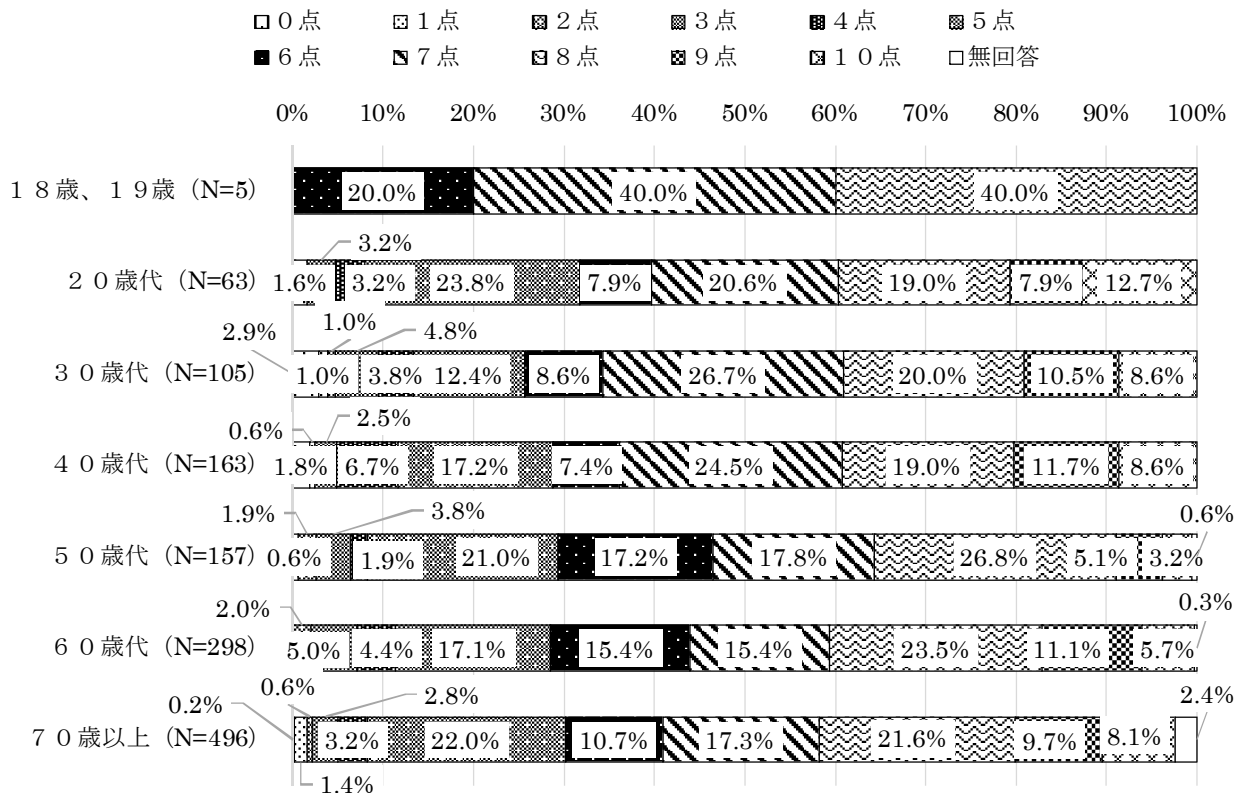


単位：%

	全体	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
男性	797	0.5	1.0	1.4	3.6	4.1	18.4	13.0	20.7	23.0	8.9	4.8	0.5
女性	482	0.8	0.4	0.6	3.7	3.5	20.5	10.4	15.6	21.2	10.6	10.6	2.1

【年齢別】

年齢別でみると、《60歳代》で“8点以上”の割合が高く、4割を超えています。

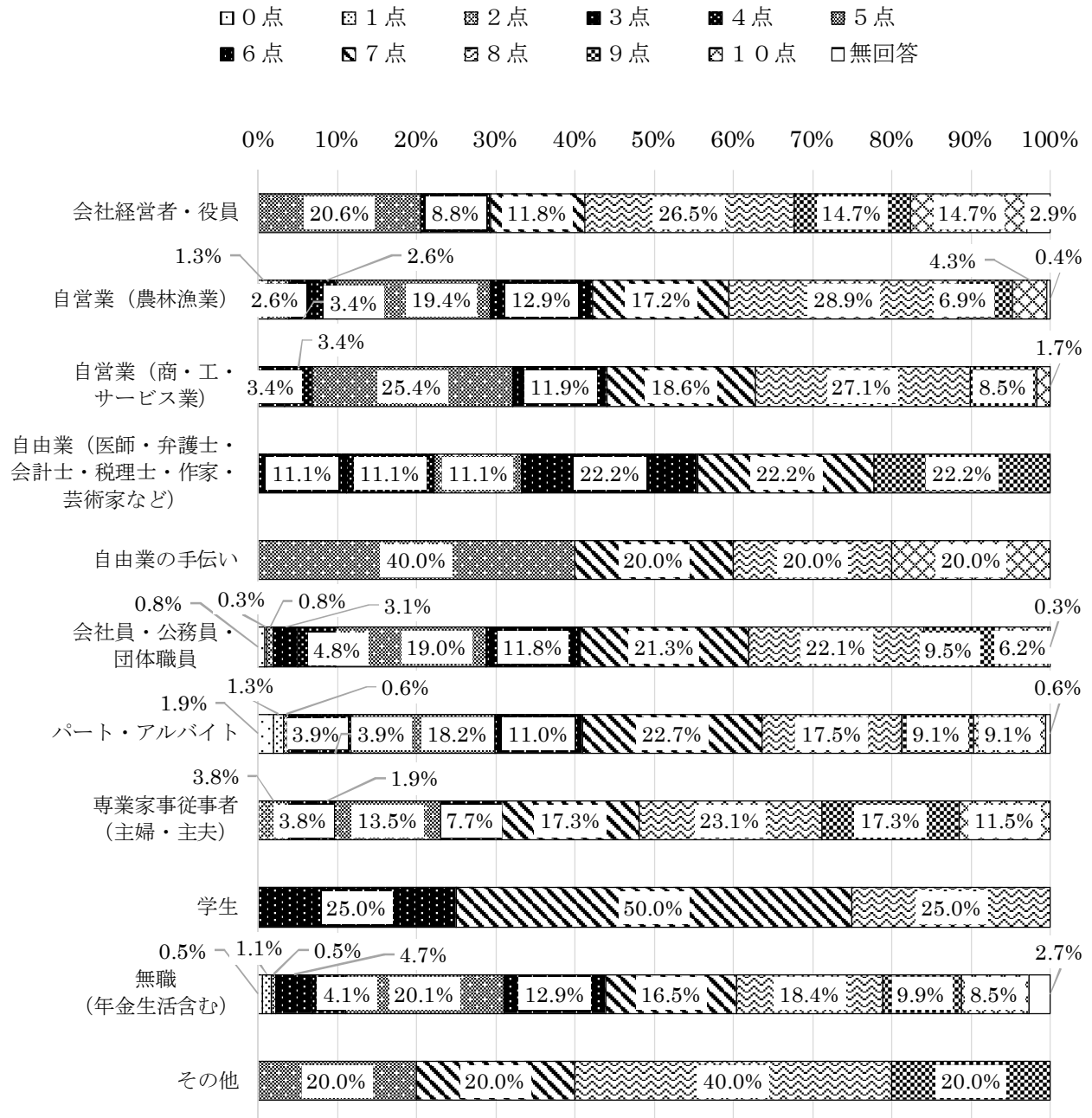


単位：%

	全体	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
18歳、19歳	5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	40.0	40.0	0.0	0.0	0.0
20歳代	63	1.6	0.0	0.0	3.2	3.2	23.8	7.9	20.6	19.0	7.9	12.7	0.0
30歳代	105	2.9	1.0	1.0	4.8	3.8	12.4	8.6	26.7	20.0	10.5	8.6	0.0
40歳代	163	1.8	0.6	0.0	2.5	6.7	17.2	7.4	24.5	19.0	11.7	8.6	0.0
50歳代	157	0.0	0.6	1.9	3.8	1.9	21.0	17.2	17.8	26.8	5.1	3.2	0.6
60歳代	298	0.0	0.0	2.0	5.0	4.4	17.1	15.4	15.4	23.5	11.1	5.7	0.3
70歳以上	496	0.2	1.4	0.6	2.8	3.2	22.0	10.7	17.3	21.6	9.7	8.1	2.4

【職業別】

職業別でみると、《会社経営者・役員》と《専業家事従事者（主婦・主夫）》で“8点以上”の割合が高く、5割を超えています。

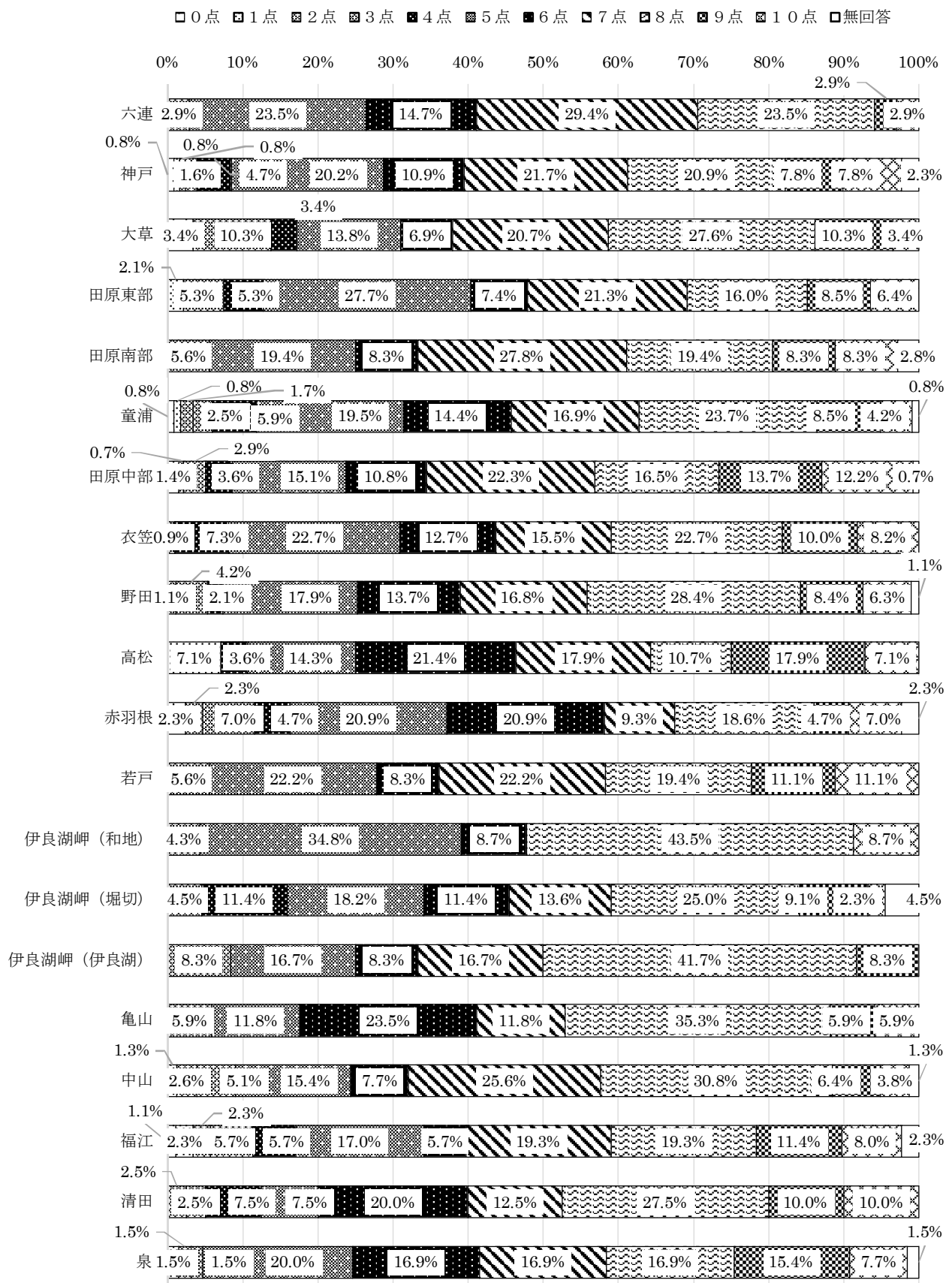


単位：%

	全体	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
会社経営者・役員	34	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.6	8.8	11.8	26.5	14.7	14.7	2.9
自営業（農林漁業）	232	0.0	1.3	2.6	3.4	2.6	19.4	12.9	17.2	28.9	6.9	4.3	0.4
自営業（商・工・サービス業）	59	0.0	0.0	0.0	3.4	3.4	25.4	11.9	18.6	27.1	8.5	1.7	0.0
税理士・作家・芸術家など	9	0.0	0.0	0.0	11.1	11.1	11.1	22.2	22.2	0.0	22.2	0.0	0.0
自由業の手伝い	5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0
会社員・公務員・団体職員	357	0.8	0.3	0.8	3.1	4.8	19.0	11.8	21.3	22.1	9.5	6.2	0.3
パート・アルバイト	154	1.9	1.3	0.6	3.9	3.9	18.2	11.0	22.7	17.5	9.1	9.1	0.6
専業家事従事者（主婦・主夫）	52	0.0	0.0	3.8	3.8	1.9	13.5	7.7	17.3	23.1	17.3	11.5	0.0
学生	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0
無職（年金生活含む）	364	0.5	1.1	0.5	4.7	4.1	20.1	12.9	16.5	18.4	9.9	8.5	2.7
その他	15	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	40.0	20.0	0.0	0.0

【地区別】

地区別でみると、《伊良湖岬（和地）》で“8点以上”の割合が最も高く、5割を超えています。



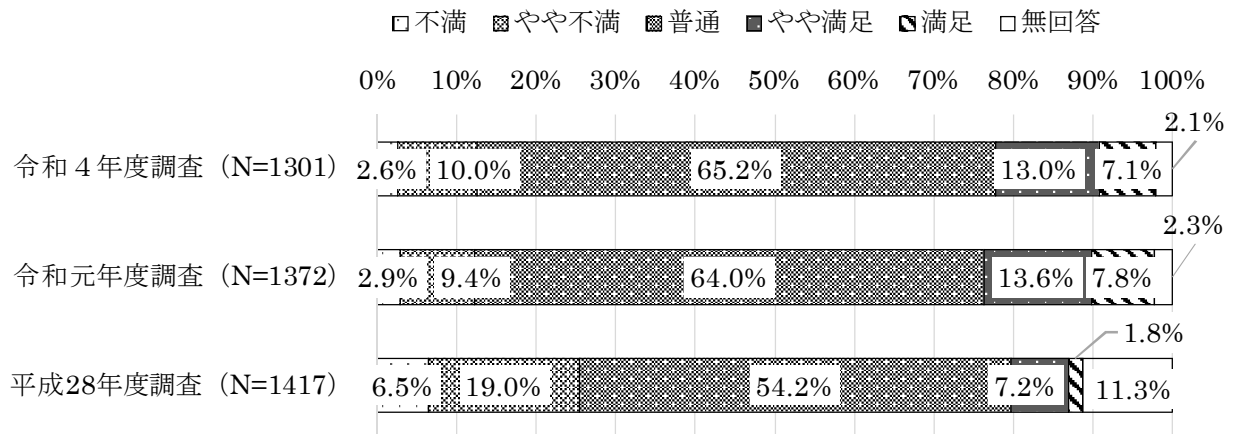
単位：%

	全体	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
六連	34	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	23.5	14.7	29.4	23.5	2.9	2.9	0.0
神戸	129	0.8	0.8	0.8	1.6	4.7	20.2	10.9	21.7	20.9	7.8	7.8	2.3
大草	29	3.4	0.0	0.0	10.3	3.4	13.8	6.9	20.7	27.6	10.3	3.4	0.0
田原東部	94	0.0	2.1	0.0	5.3	5.3	27.7	7.4	21.3	16.0	8.5	6.4	0.0
田原南部	36	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0	19.4	8.3	27.8	19.4	8.3	8.3	2.8
童浦	118	0.8	0.8	1.7	2.5	5.9	19.5	14.4	16.9	23.7	8.5	4.2	0.8
田原中部	139	1.4	0.0	0.7	2.9	3.6	15.1	10.8	22.3	16.5	13.7	12.2	0.7
衣笠	110	0.0	0.0	0.0	0.9	7.3	22.7	12.7	15.5	22.7	10.0	8.2	0.0
野田	95	0.0	0.0	1.1	4.2	2.1	17.9	13.7	16.8	28.4	8.4	6.3	1.1
高松	28	0.0	7.1	0.0	0.0	3.6	14.3	21.4	17.9	10.7	17.9	7.1	0.0
赤羽根	43	2.3	0.0	2.3	7.0	4.7	20.9	20.9	9.3	18.6	4.7	7.0	2.3
若戸	36	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0	22.2	8.3	22.2	19.4	11.1	11.1	0.0
伊良湖岬（和地）	23	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0	34.8	8.7	0.0	43.5	0.0	8.7	0.0
伊良湖岬（堀切）	44	0.0	0.0	0.0	4.5	11.4	18.2	11.4	13.6	25.0	9.1	2.3	4.5
伊良湖岬（伊良湖）	12	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	16.7	8.3	16.7	41.7	8.3	0.0	0.0
亀山	17	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	11.8	23.5	11.8	35.3	5.9	5.9	0.0
中山	78	0.0	1.3	2.6	5.1	0.0	15.4	7.7	25.6	30.8	6.4	3.8	1.3
福江	88	1.1	2.3	2.3	5.7	5.7	17.0	5.7	19.3	19.3	11.4	8.0	2.3
清田	40	0.0	0.0	2.5	2.5	7.5	7.5	20.0	12.5	27.5	10.0	10.0	0.0
泉	65	0.0	1.5	1.5	1.5	0.0	20.0	16.9	16.9	16.9	15.4	7.7	1.5

問 3 現在、あなたは社会貢献・生涯学習活動に対する自分自身の取り組み状況に満足していますか。(いずれかの数字を1つだけ○)

「満足」「やや満足」を合わせた“満足”の割合が 20.1%、「不満」「やや不満」を合わせた“不満”の割合が 12.6%となっています。

令和元年度調査と比べると、“満足”は 1.3 ポイント減少、“不満”は 0.3 ポイント増加しています。

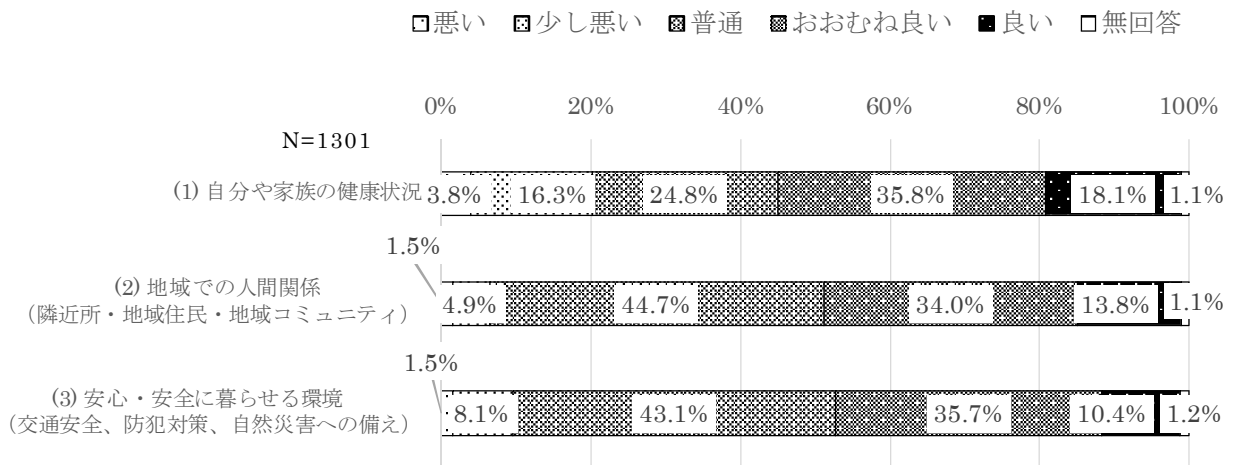


問 4 あなたの状況について伺います。(項目ごとに評価し、あてはまる数字を1つだけ○)

「良い」「おおむね良い」を合わせた“良い”の割合は、『(1) 自分や家族の健康状況』で5割を超えています。

「悪い」「少し悪い」を合わせた“悪い”の割合は、『(1) 自分や家族の健康状況』で2割を超え、比較的高くなっています。

令和元年度調査と比べると、『(3) 安心・安全に暮らせる環境（交通安全、防犯対策、自然災害への備え）』で“良い”が1.9ポイント増加し、『(2) 地域での人間関係（隣近所・地域住民・地域コミュニティ）』で“悪い”が2.2ポイント増加しています。

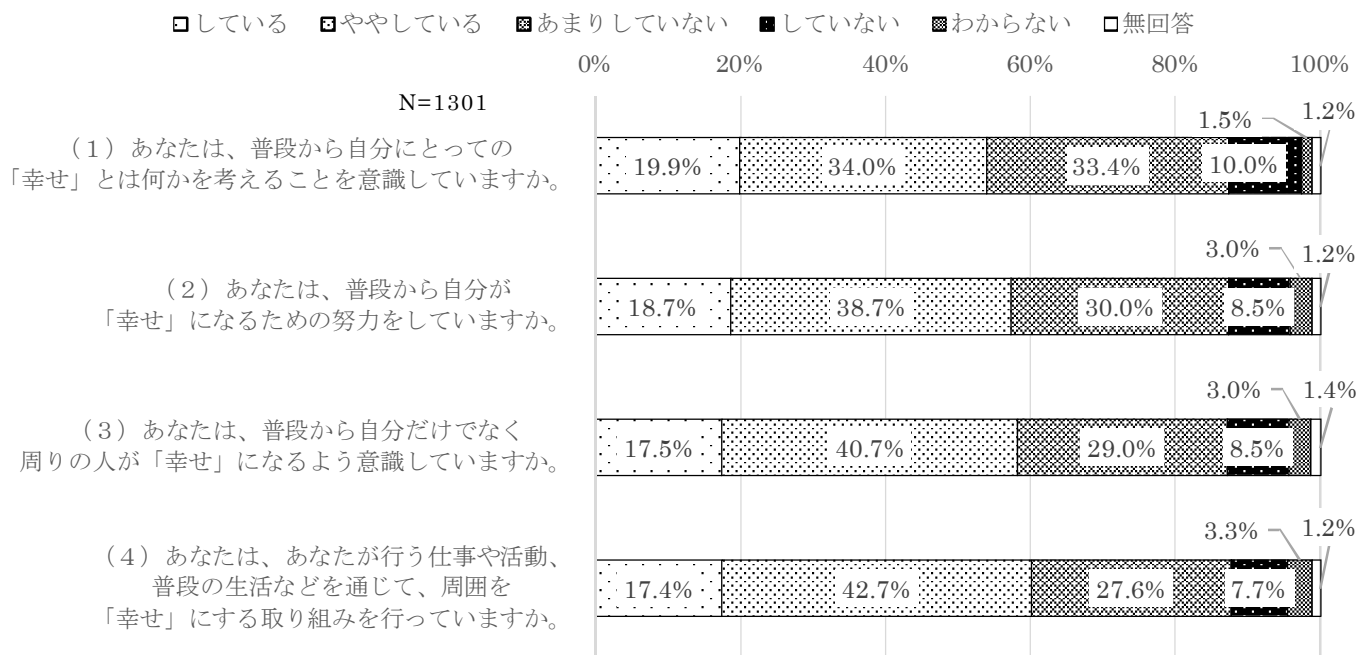


評価	調査年度	N	評価					
			悪い	少し悪い	普通	おおむね良い	良い	無回答
(1) 自分や家族の健康状況	R4	1301	3.8	16.3	24.8	35.8	18.1	1.1
	R1	1372	4.2	14.2	24.2	36.3	19.7	1.5
	H28	1417	5.2	19.6	29.9	31.6	10.6	3.0
(2) 地域での人間関係 (隣近所・地域住民・地域コミュニティ)	R4	1301	1.5	4.9	44.7	34.0	13.8	1.1
	R1	1372	1.2	3.0	42.1	35.3	16.5	1.7
	H28	1417	1.8	5.9	57.4	24.2	5.8	4.8
(3) 安心・安全に暮らせる環境 (交通安全、防犯対策、自然災害への備え)	R4	1301	1.5	8.1	43.1	35.7	10.4	1.2
	R1	1372	1.8	8.0	44.1	32.7	11.5	1.8
	H28	1417	2.9	15.7	51.7	20.6	4.2	4.9

問 5 あなたは、あなた自身の「幸せ」や、あなたの周りの人などの「幸せ」を高めることについて、どの程度意識し、どの程度取り組みを行っていますか。(項目ごとに評価し、あてはまる数字を1つだけ○)

「している」「ややしている」を合わせた“している”(以下同じ)の割合は、全ての項目で過半数を占め、そのうち『(4) あなたは、あなたが行う仕事や活動、普段の生活などを通じて、周囲を「幸せ」にする取り組みを行っていますか。』が60.1%と最も高く、令和元年度調査に比べ1.7ポイント減少しています。

「あまりしていない」「していない」を合わせた“していない”(以下同じ)の割合は、令和元年度調査と比べると、全ての項目で増加しています。



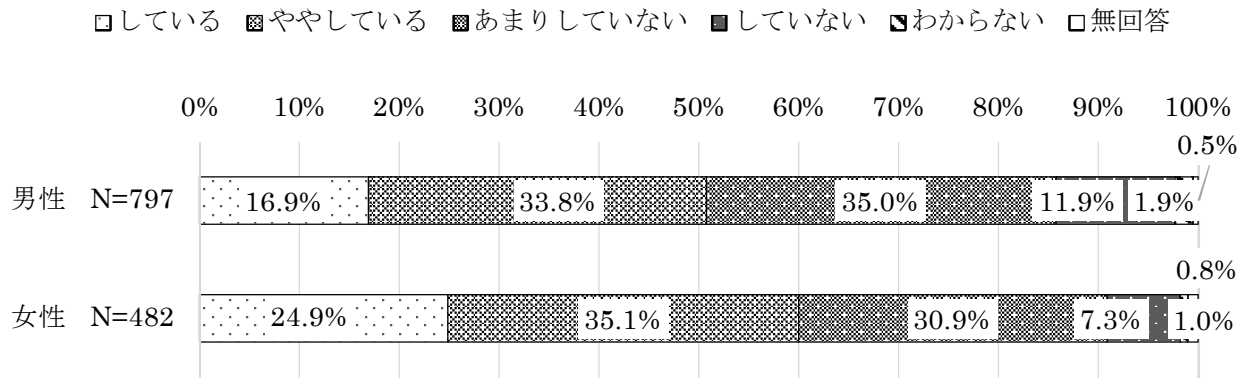
【経年比較】

評価	調査年度	N	評価					
			している	ややしている	あまりしていない	していない	わからない	無回答
(1) あなたは、普段から自分にとっての「幸せ」とは何かを考えることを意識していますか。	R4	1301	19.9	34.0	33.4	10.0	1.5	1.2
	R1	1372	21.0	33.2	32.7	9.3	1.8	2.0
	H28	1417	17.0	31.5	31.9	12.6	3.8	3.2
(2) あなたは、普段から自分が「幸せ」になるための努力をしていますか。	R4	1301	18.7	38.7	30.0	8.5	3.0	1.2
	R1	1372	18.6	39.5	29.6	7.3	3.0	2.0
	H28	1417	14.1	36.8	32.9	10.0	3.5	2.8
(3) あなたは、普段から自分だけでなく周りの人が「幸せ」になるよう意識していますか。	R4	1301	17.5	40.7	29.0	8.5	3.0	1.4
	R1	1372	19.0	40.3	28.1	7.1	3.3	2.3
	H28	1417	14.6	37.0	31.0	9.2	4.7	3.6
(4) あなたは、あなたが行う仕事や活動、普段の生活などを通じて、周囲を「幸せ」にする取り組みを行っていますか。	R4	1301	17.4	42.7	27.6	7.7	3.3	1.2
	R1	1372	18.5	43.3	25.4	7.3	3.8	1.7
	H28	1417	13.3	38.5	28.9	11.0	4.8	3.6

(1) あなたは、普段から自分にとっての「幸せ」とは何かを考えることを意識していますか。

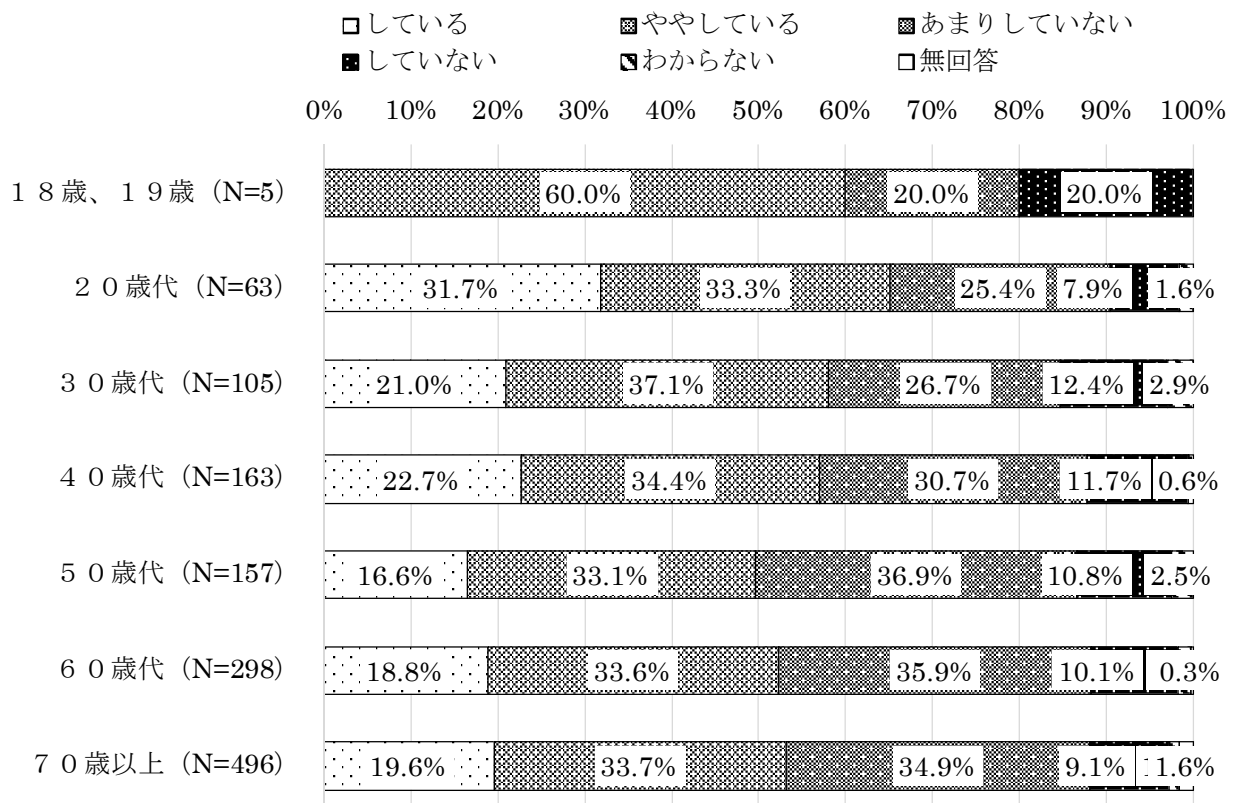
【性別】

性別でみると、《女性》で“している”の割合が高く、6割となっています。



【年齢別】

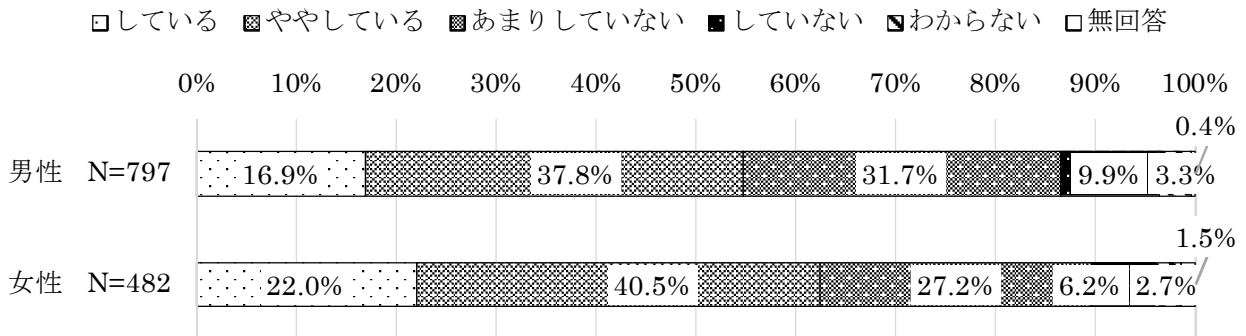
年齢別でみると、《20歳代》で“している”の割合が高く、6割を超えています。



(2) あなたは、普段から自分が「幸せ」になるための努力をしていますか。

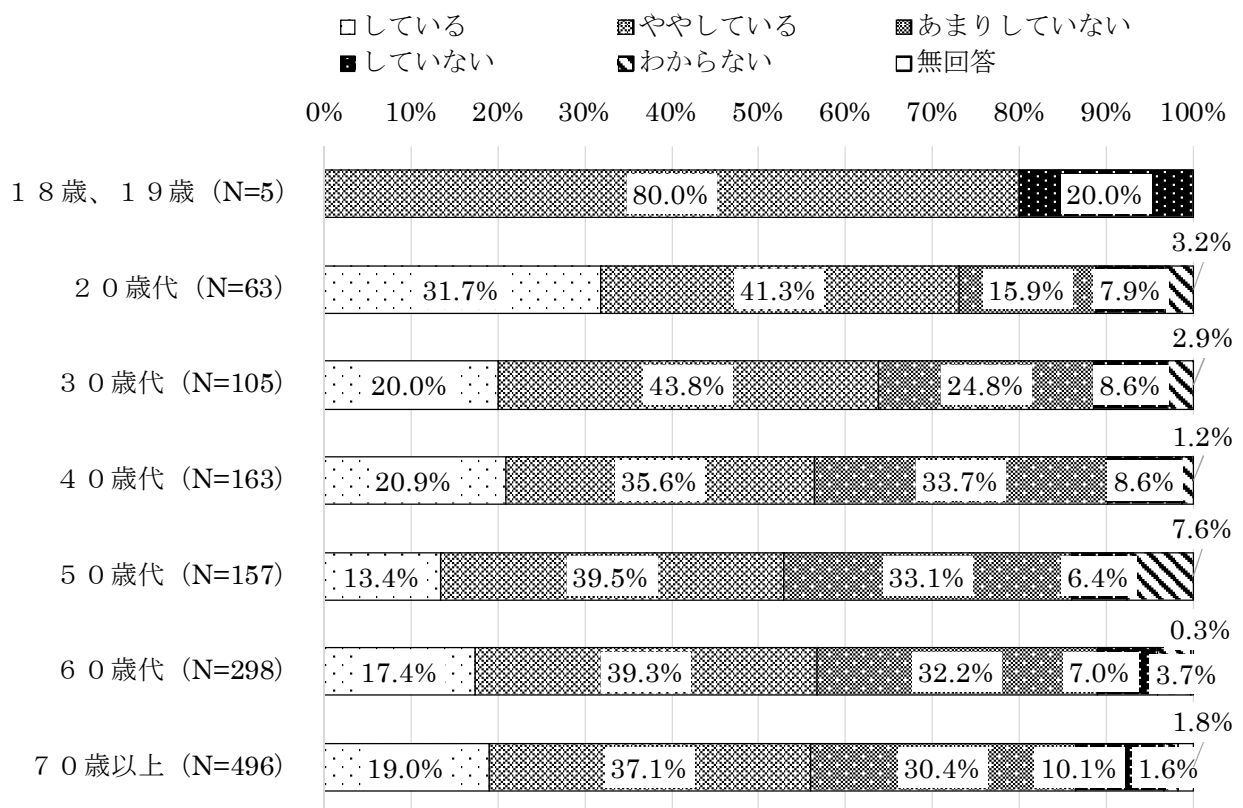
【性別】

性別でみると、《女性》で“している”の割合が高く、6割を超えています。



【年齢別】

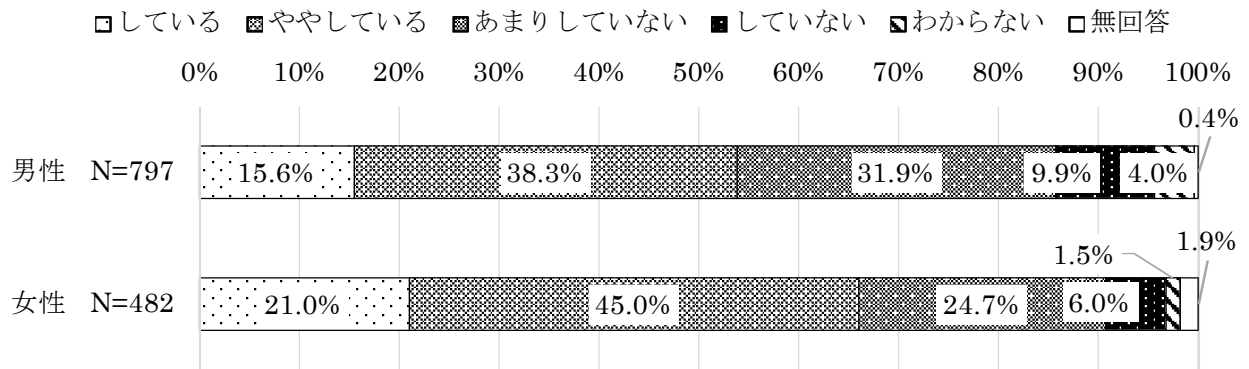
年齢別でみると、《18歳、19歳》と《20歳代》で“している”の割合が高く、7割を超えています。



(3) あなたは、普段から自分だけでなく周りの人が「幸せ」になるよう意識していますか。

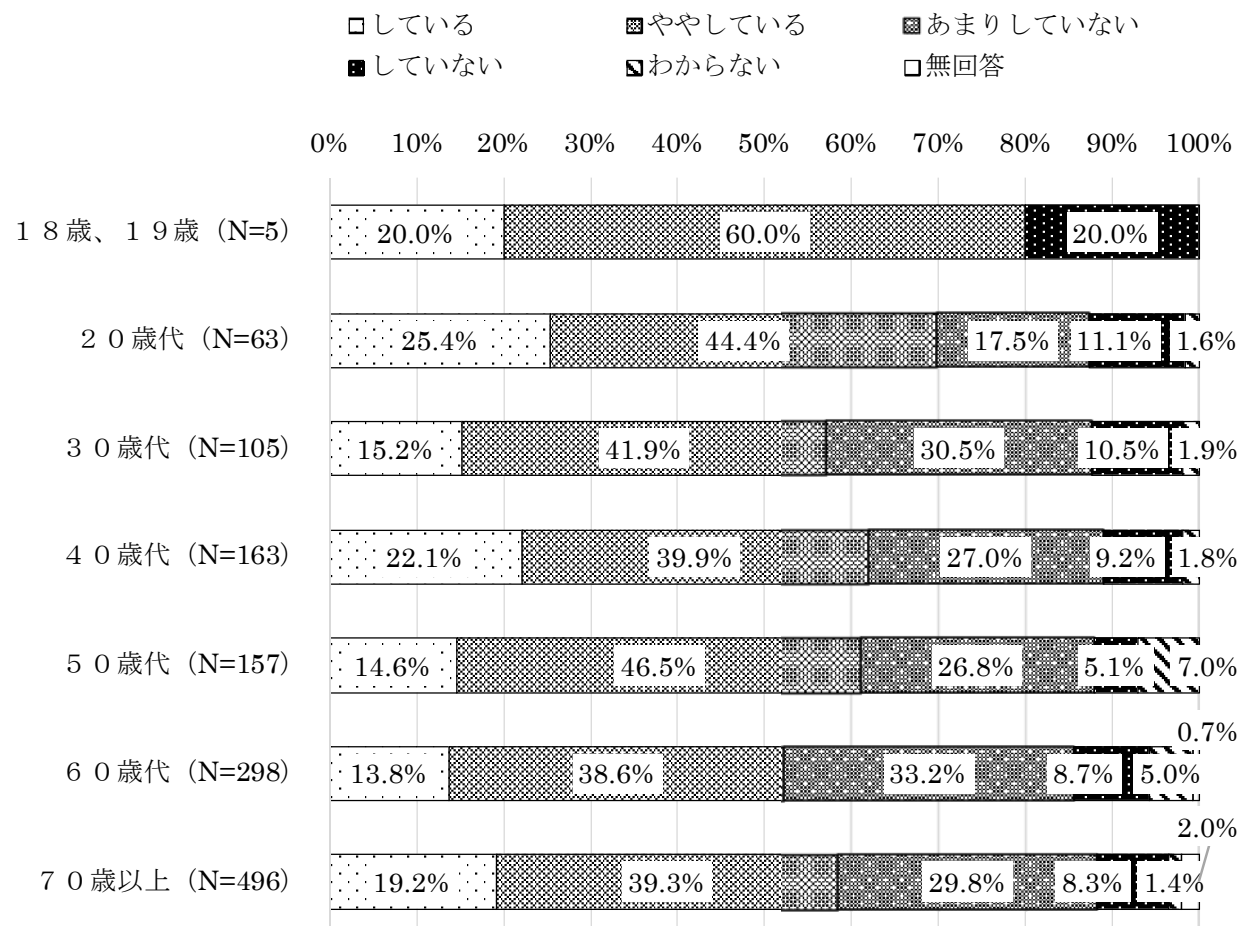
【性別】

性別でみると、《女性》で“している”の割合が高く、6割を超えています。



【年齢別】

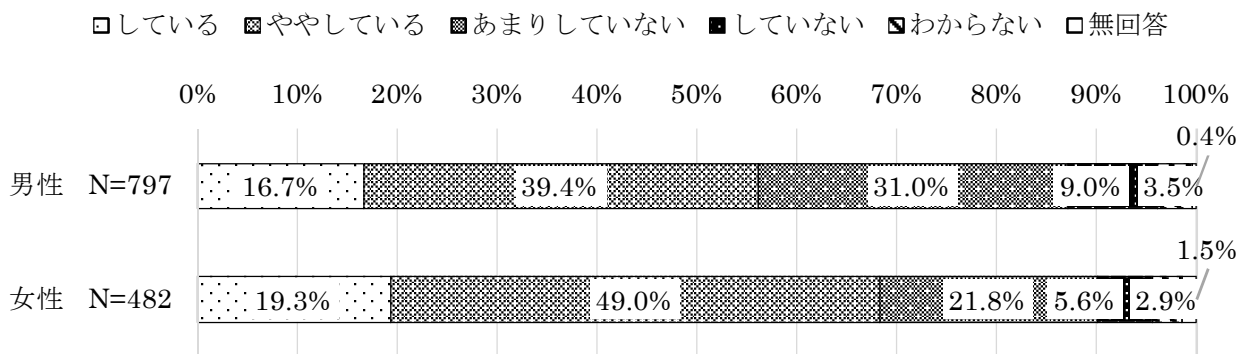
年齢別でみると、《18歳、19歳》《20歳代》《40歳代》《50歳代》で“している”の割合が高く、6割を超えています。



(4) あなたは、あなたが行う仕事や活動、普段の生活などを通じて、周囲を「幸せ」にする取り組みを行っていますか。

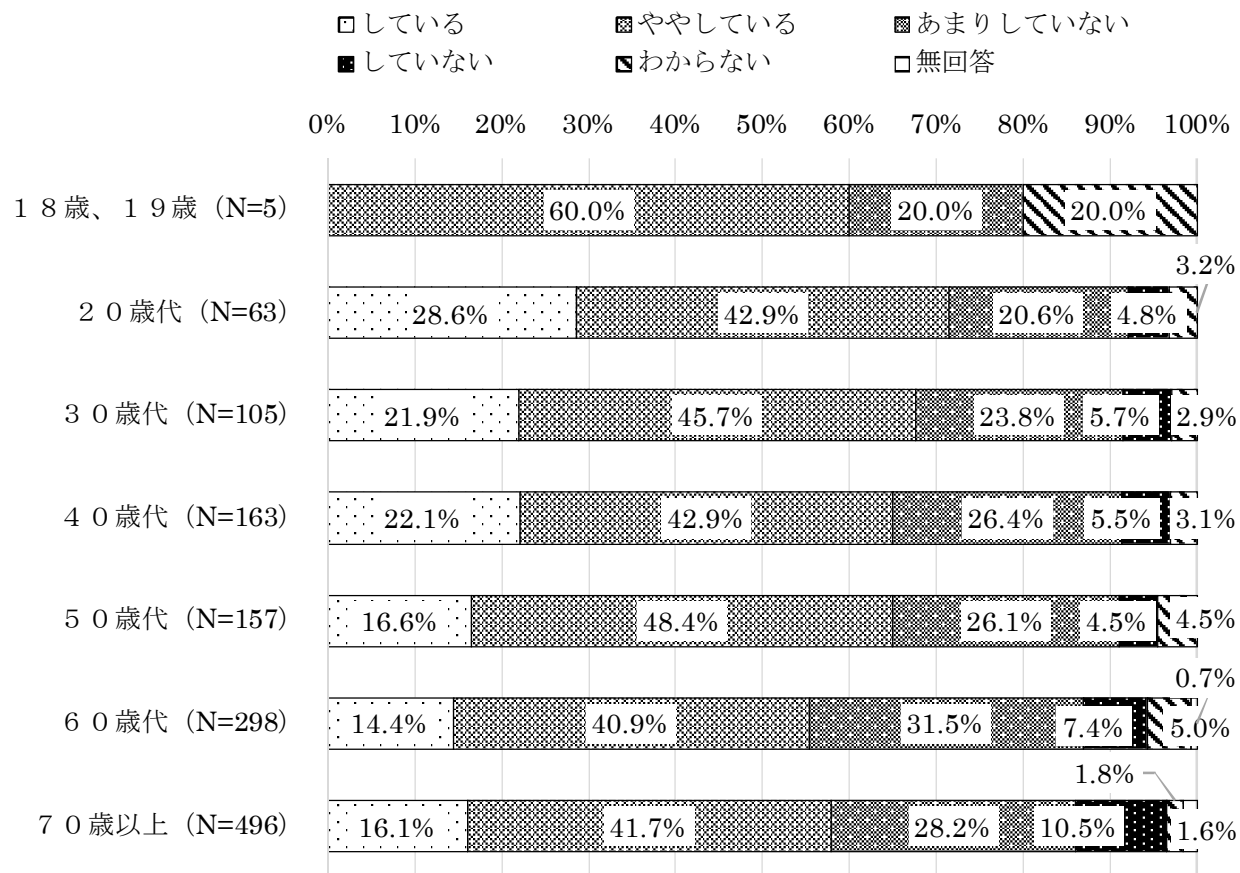
【性別】

性別でみると、《女性》で“している”の割合が高く、6割を超えています。



【年齢別】

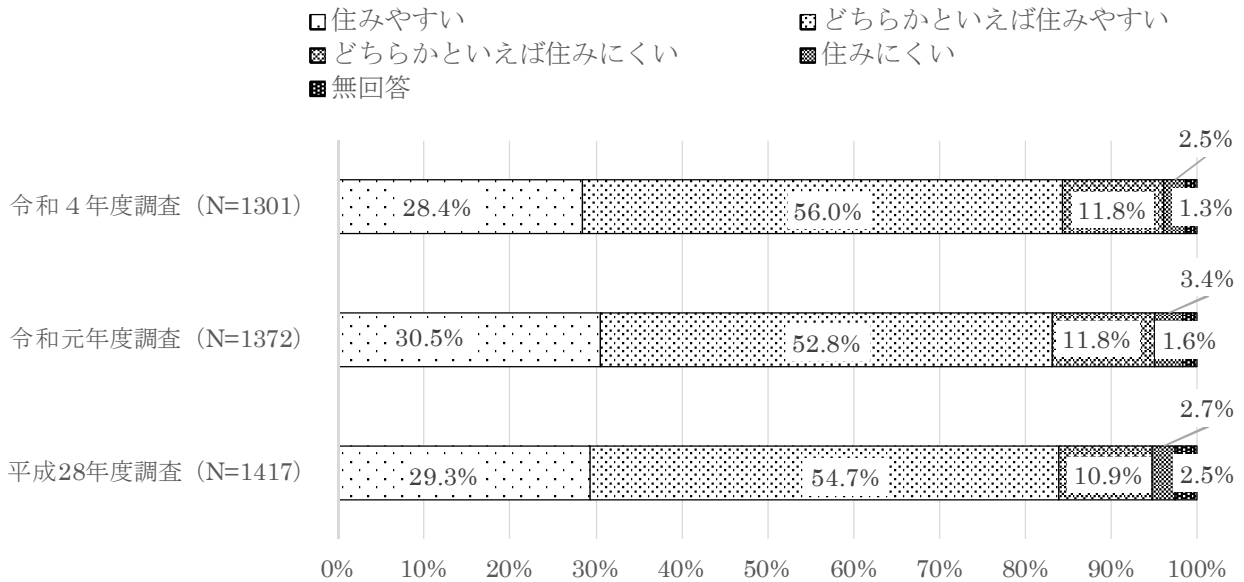
年齢別でみると、《20歳代》で“している”の割合が高く、7割を超えています。



3. 田原市の住みやすさについて

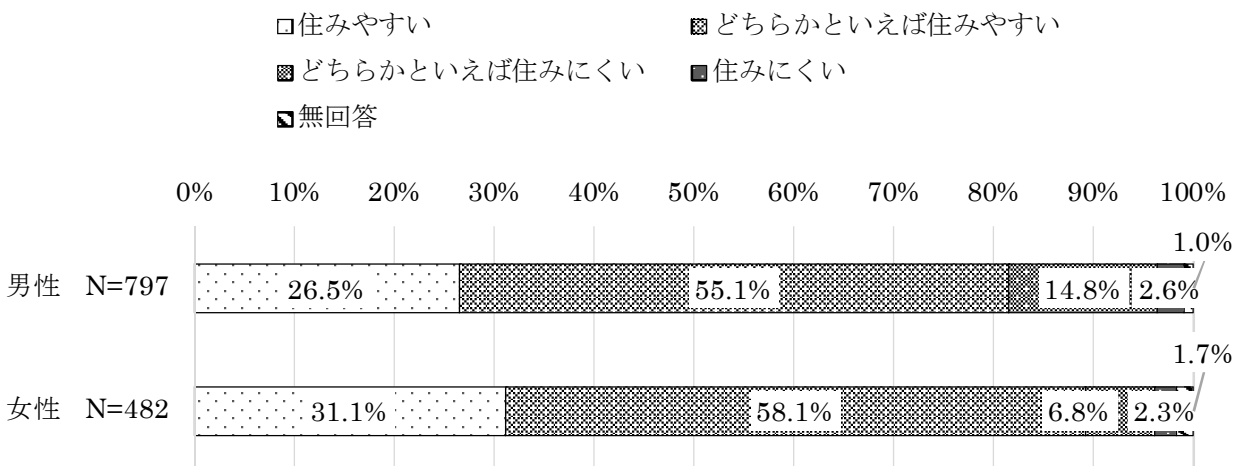
問 6 田原市は住みよいまちだと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた“住みやすい”(以下同じ)の割合が84.4%となっており、令和元年度調査に比べ1.1ポイント増加しています。



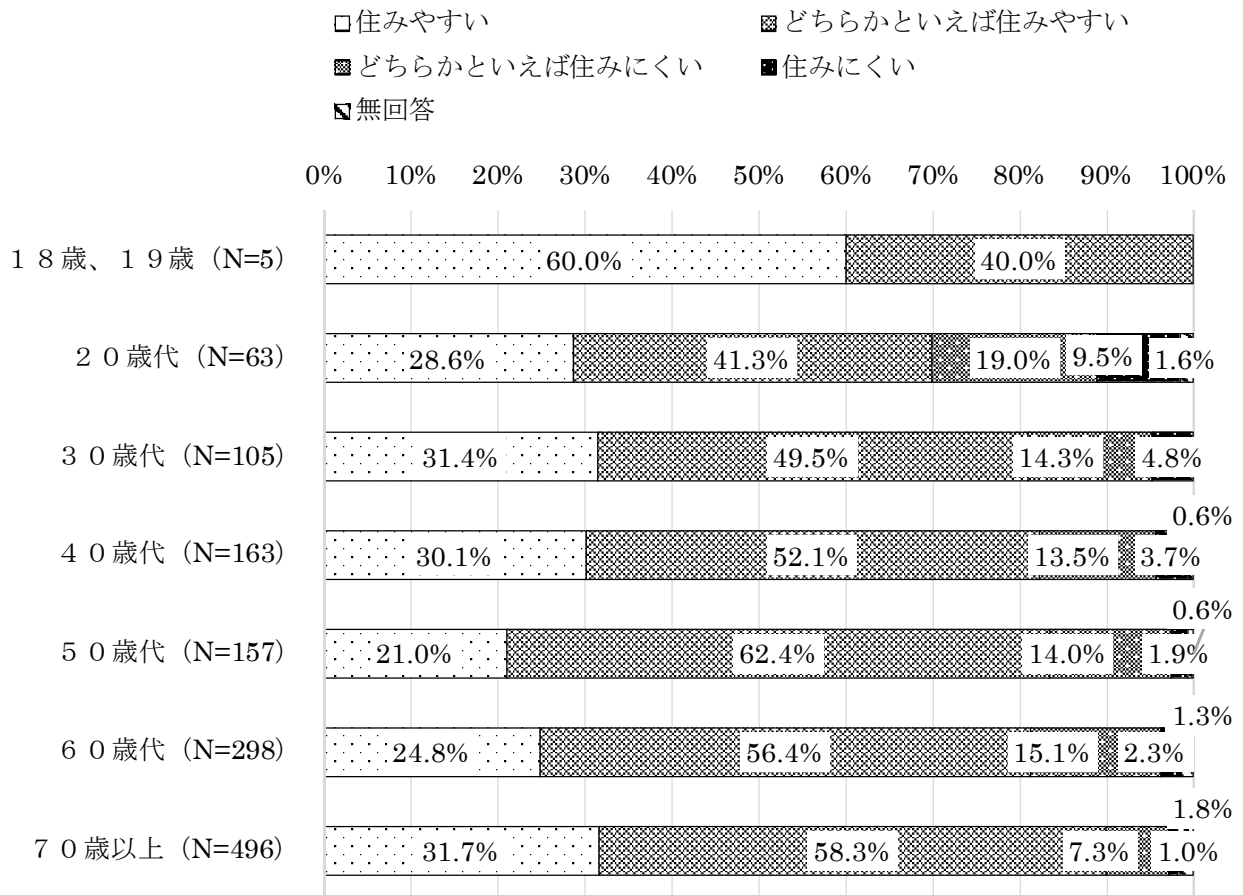
【性別】

性別でみると、《女性》で“住みやすい”の割合が高く、9割弱となっています。



【年齢別】

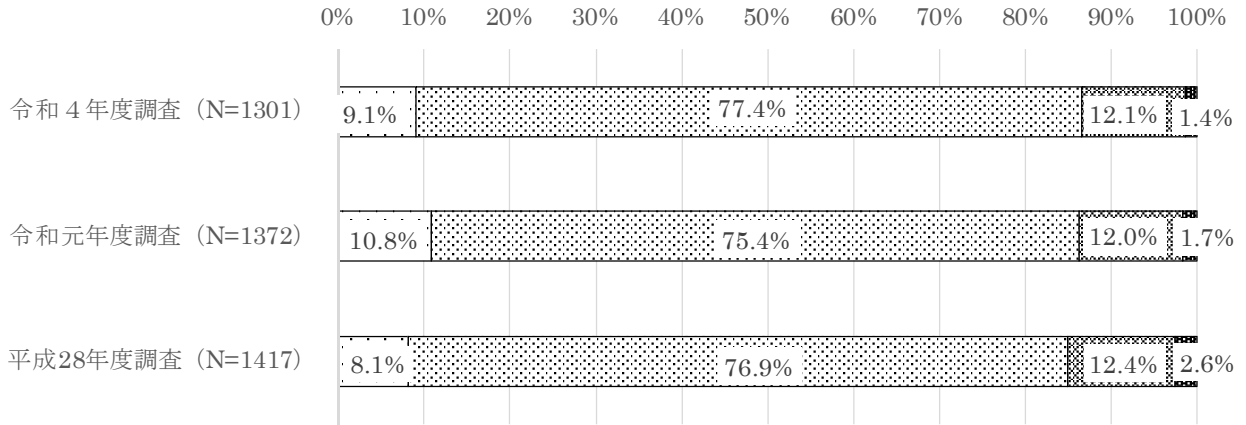
年齢別でみると、《20歳代》で“住みやすい”の割合が低く、7割を下回っています。



問 7 ここ数年の間に、住みごちに変化がありましたか。(あてはまるもの1つに○)

「以前より住みやすくなった」の割合が 9.1%となっており、令和元年度調査に比べ 1.7ポイント減少しています。

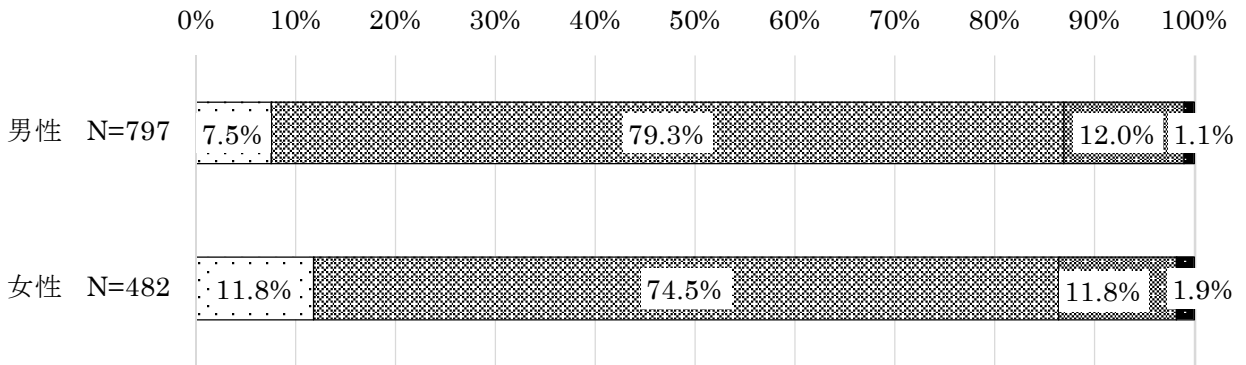
□ 以前より住みやすくなった ■ 特に変化はない ▨ 以前より住みにくくなった ■ 無回答



【性別】

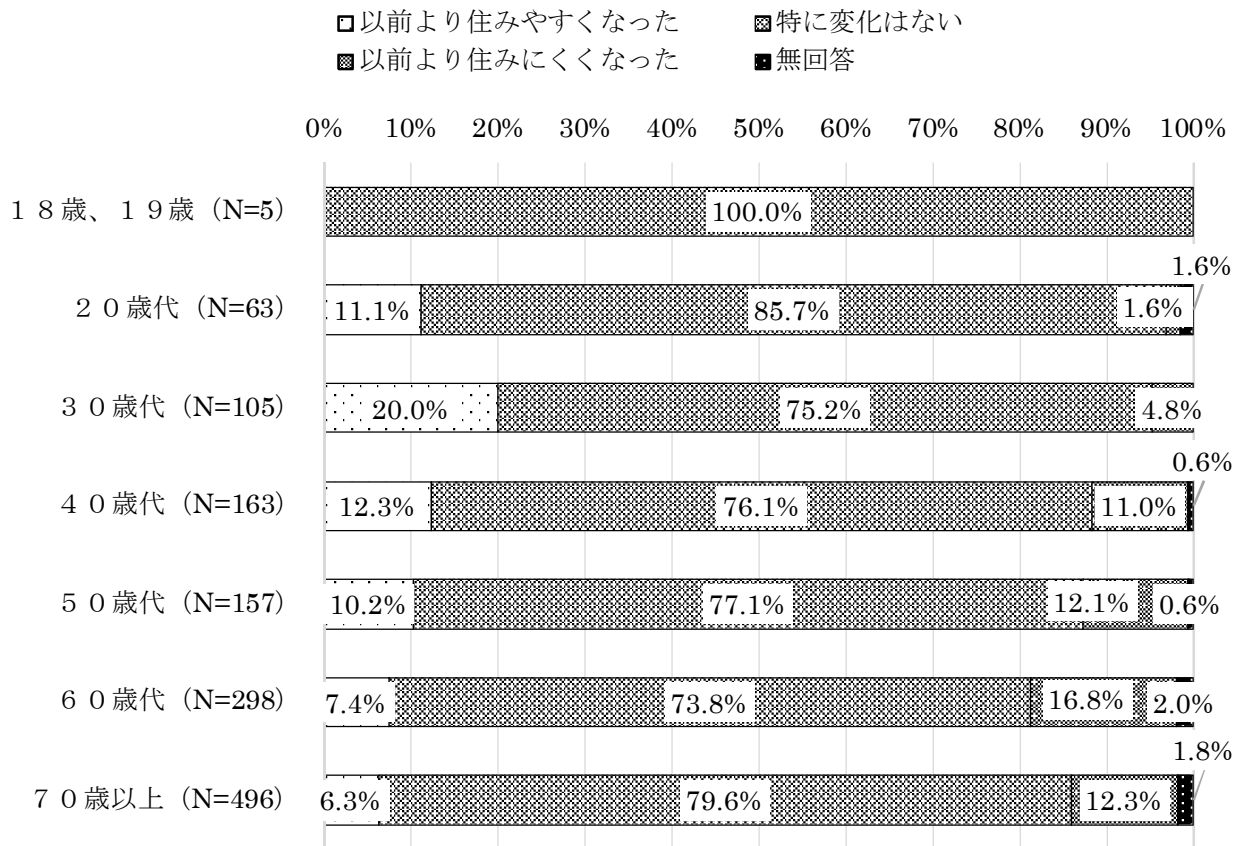
性別でみると、《女性》で、「以前より住みやすくなった」の割合が高くなっています。

□ 以前より住みやすくなった ■ 特に変化はない ▨ 以前より住みにくくなった ■ 無回答



【年齢別】

年齢別でみると、《30 歳代》で「以前より住みやすくなった」の割合が高く、2割となっています。



問 8 田原市が優れていると感じることは何ですか。(あてはまるもの3つに○)

「海・山などの自然環境」(74.9%)が最も高く、次いで「農業の発達」(51.0%)、「人の温かさ」(27.0%)となっています。平成28年度、令和元年度調査と傾向に大きな差異はありません。

令和元年度調査と比べると、「買い物などの生活の利便性」が6.0ポイント増加しています。

単位：%

項目	平成28年度調査 (N=1417)	令和元年度調査 (N=1372)	令和4年度調査 (N=1301)
海・山などの自然環境	75.4	71.7	74.9
街並みなどの都市景観	4.0	4.4	3.5
農業の発達	51.6	49.6	51.0
工業の発達	11.0	10.2	12.0
買い物などの生活の利便性	14.7	12.8	18.8
雇用機会の充実	2.4	2.3	1.7
各種公共施設の整備状況	5.6	5.6	5.7
交通の利便性	5.7	3.4	4.9
住宅確保のしやすさ	4.2	4.9	4.6
住環境の快適さ	9.5	11.3	11.9
余暇を楽しむ機会や場所	5.3	4.8	5.2
歴史や文化	5.4	5.5	6.2
学校などの教育環境	3.4	4.4	4.1
医療・福祉の充実	12.4	9.5	12.2
環境共生への取り組み	2.3	2.2	2.8
消防・防災の充実	4.7	4.6	5.3
子育てのしやすさ	7.3	9.4	7.1
人の温かさ	26.0	26.2	27.0
隣近所の助け合い	16.9	17.4	17.3
その他	1.8	3.0	2.5
無回答	2.6	5.1	2.9

【性別】

性別でみると、「海・山などの自然環境」が7割以上で最も高く、次いで「農業の発達」「人の温かさ」となっています。

また、「工業の発達」「住環境の快適さ」「子育てのしやすさ」で、男女間に5ポイント以上の差が見られます。

単位：％

区分	有効回答件数 (件)	海・山などの自然環境	街並みなどの都市景観	農業の発達	工業の発達	買い物などの生活の利便性	雇用機会の充実	各種公共施設の整備状況	交通の利便性	住宅確保のしやすさ	住環境の快適さ
男性	797	76.9%	4.4%	52.4%	14.7%	17.6%	1.5%	6.6%	4.6%	4.9%	13.9%
女性	482	72.4%	1.9%	49.4%	8.1%	19.7%	2.1%	3.7%	5.2%	4.1%	8.9%

区分	余暇を楽しむ機会や場所	歴史や文化	学校などの教育環境	医療・福祉の充実	環境共生への取り組み	消防・防災の充実	子育てのしやすさ	人の温かさ	隣近所の助け合い	その他	無回答
男性	5.1%	7.4%	2.6%	11.9%	3.4%	5.9%	4.9%	25.3%	16.1%	2.4%	2.5%
女性	5.0%	4.4%	6.4%	12.0%	1.9%	3.9%	11.0%	30.1%	19.7%	2.7%	3.3%

【年齢別】

年齢別でみると、全ての年代で「海・山などの自然環境」が最も高く、次いで「農業の発達」となっています。

単位：％

区分	有効回答件数 (件)	海・山などの自然環境	街並みなどの都市景観	農業の発達	工業の発達	買い物などの生活の利便性	雇用機会の充実	各種公共施設の整備状況	交通の利便性	住宅確保のしやすさ	住環境の快適さ
18歳、19歳	5	80.0%	0.0%	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%
20歳代	63	82.5%	3.2%	54.0%	23.8%	7.9%	6.3%	6.3%	1.6%	9.5%	11.1%
30歳代	105	84.8%	5.7%	63.8%	19.0%	5.7%	1.9%	3.8%	3.8%	6.7%	9.5%
40歳代	163	79.1%	3.1%	55.2%	20.2%	11.0%	3.7%	6.7%	1.8%	6.1%	9.8%
50歳代	157	80.9%	7.0%	56.1%	11.5%	9.6%	1.3%	5.7%	3.8%	7.6%	16.6%
60歳代	298	73.8%	4.0%	54.4%	12.4%	23.5%	1.7%	5.4%	4.0%	4.4%	9.1%
70歳以上	496	69.2%	1.6%	42.5%	6.3%	25.4%	0.6%	6.0%	7.5%	2.4%	13.3%

区分	余暇を楽しむ機会や場所	歴史や文化	学校などの教育環境	医療・福祉の充実	環境共生への取り組み	消防・防災の充実	子育てのしやすさ	人の温かさ	隣近所の助け合い	その他	無回答
18歳、19歳	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20歳代	4.8%	7.9%	0.0%	6.3%	3.2%	1.6%	14.3%	31.7%	7.9%	4.8%	3.2%
30歳代	3.8%	5.7%	3.8%	10.5%	5.7%	3.8%	16.2%	18.1%	9.5%	1.9%	1.0%
40歳代	2.5%	4.3%	6.1%	4.9%	2.5%	3.1%	16.0%	27.6%	11.7%	4.3%	3.1%
50歳代	3.2%	6.4%	5.1%	5.7%	0.6%	4.5%	8.9%	28.0%	16.6%	3.8%	1.9%
60歳代	5.4%	7.7%	3.7%	9.7%	2.3%	7.4%	4.7%	24.8%	18.1%	1.7%	1.3%
70歳以上	6.9%	5.6%	3.6%	19.4%	3.2%	5.8%	2.2%	29.4%	22.2%	1.8%	4.4%

【地区別】

地区別でみると、全ての地区で「海・山などの自然環境」が最も高く、次いで、《若戸》では「人の温かさ」、それ以外の地区では「農業の発達」が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答件数 (件)	海・山などの自然環境	街並みなどの都市景観	農業の発達	工業の発達	買い物などの生活の利便性	雇用機会の充実	各種公共施設の整備状況	交通の利便性	住宅確保のしやすさ	住環境の快適さ
六連	34	85.3%	0.0%	52.9%	14.7%	17.6%	5.9%	5.9%	2.9%	2.9%	11.8%
神戸	129	72.9%	5.4%	49.6%	14.0%	28.7%	2.3%	5.4%	7.8%	3.1%	12.4%
大草	29	72.4%	6.9%	55.2%	13.8%	6.9%	0.0%	10.3%	0.0%	3.4%	3.4%
田原東部	94	66.0%	3.2%	44.7%	10.6%	34.0%	1.1%	7.4%	8.5%	6.4%	10.6%
田原南部	36	66.7%	2.8%	58.3%	11.1%	19.4%	5.6%	8.3%	5.6%	2.8%	16.7%
童浦	118	70.3%	5.9%	39.0%	24.6%	14.4%	2.5%	4.2%	6.8%	8.5%	13.6%
田原中部	139	77.0%	4.3%	43.2%	17.3%	32.4%	0.7%	10.1%	5.0%	1.4%	11.5%
衣笠	110	75.5%	5.5%	51.8%	13.6%	27.3%	0.9%	7.3%	6.4%	3.6%	11.8%
野田	95	72.6%	4.2%	52.6%	9.5%	9.5%	1.1%	4.2%	7.4%	4.2%	15.8%
高松	28	78.6%	3.6%	53.6%	14.3%	21.4%	0.0%	3.6%	0.0%	14.3%	0.0%
赤羽根	43	76.7%	0.0%	51.2%	9.3%	4.7%	0.0%	7.0%	0.0%	9.3%	14.0%
若戸	36	77.8%	0.0%	38.9%	2.8%	5.6%	2.8%	2.8%	0.0%	0.0%	13.9%
伊良湖岬(和地)	23	78.3%	0.0%	52.2%	0.0%	4.3%	0.0%	0.0%	4.3%	4.3%	17.4%
伊良湖岬(堀切)	44	72.7%	2.3%	59.1%	6.8%	6.8%	4.5%	2.3%	2.3%	6.8%	4.5%
伊良湖岬(伊良湖)	12	100.0%	0.0%	75.0%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	33.3%
亀山	17	82.4%	0.0%	76.5%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.8%
中山	78	80.8%	0.0%	57.7%	9.0%	6.4%	1.3%	3.8%	1.3%	1.3%	6.4%
福江	88	72.7%	2.3%	55.7%	4.5%	14.8%	2.3%	3.4%	3.4%	4.5%	15.9%
清田	40	75.0%	0.0%	52.5%	2.5%	25.0%	0.0%	10.0%	7.5%	7.5%	12.5%
泉	65	83.1%	1.5%	64.6%	6.2%	10.8%	0.0%	6.2%	1.5%	7.7%	9.2%

単位：％

区分	有効回答件数 (件)	余暇を 楽しむ機会や 場所	歴史や 文化	学校など の教育環境	医療・ 福祉の充 実	環境共 生への取 り組み	消防・ 防災の充 実	子育て のしやす さ	人の温 かさ	隣近所 の助け合 い	その他	無回 答
六連	34	0.0%	2.9%	5.9%	11.8%	2.9%	5.9%	14.7%	29.4%	17.6%	0.0%	0.0%
神戸	129	5.4%	4.7%	2.3%	12.4%	1.6%	4.7%	8.5%	22.5%	7.8%	3.9%	5.4%
大草	29	17.2%	13.8%	3.4%	20.7%	3.4%	17.2%	10.3%	17.2%	13.8%	0.0%	3.4%
田原東部	94	8.5%	8.5%	5.3%	8.5%	2.1%	3.2%	8.5%	25.5%	11.7%	2.1%	3.2%
田原南部	36	2.8%	5.6%	0.0%	11.1%	2.8%	13.9%	13.9%	22.2%	5.6%	0.0%	2.8%
童浦	118	4.2%	5.1%	2.5%	8.5%	5.1%	5.1%	7.6%	26.3%	15.3%	3.4%	5.1%
田原中部	139	3.6%	13.7%	3.6%	12.9%	2.2%	5.0%	6.5%	24.5%	10.8%	2.2%	5.8%
衣笠	110	6.4%	6.4%	3.6%	14.5%	3.6%	3.6%	13.6%	19.1%	13.6%	0.0%	2.7%
野田	95	6.3%	2.1%	5.3%	9.5%	5.3%	8.4%	3.2%	29.5%	16.8%	0.0%	9.5%
高松	28	3.6%	7.1%	7.1%	3.6%	0.0%	7.1%	3.6%	25.0%	21.4%	14.3%	0.0%
赤羽根	43	9.3%	9.3%	2.3%	16.3%	7.0%	7.0%	7.0%	20.9%	18.6%	0.0%	7.0%
若戸	36	0.0%	2.8%	5.6%	11.1%	0.0%	5.6%	5.6%	41.7%	33.3%	0.0%	11.1%
伊良湖岬(和地)	23	8.7%	0.0%	17.4%	21.7%	4.3%	13.0%	0.0%	34.8%	34.8%	0.0%	8.7%
伊良湖岬(堀切)	44	6.8%	4.5%	9.1%	18.2%	0.0%	11.4%	4.5%	34.1%	27.3%	4.5%	4.5%
伊良湖岬(伊良湖)	12	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	8.3%	8.3%	25.0%	25.0%	0.0%	8.3%
亀山	17	0.0%	5.9%	0.0%	5.9%	5.9%	0.0%	0.0%	29.4%	41.2%	0.0%	11.8%
中山	78	3.8%	1.3%	7.7%	7.7%	1.3%	1.3%	3.8%	34.6%	34.6%	5.1%	5.1%
福江	88	6.8%	4.5%	4.5%	12.5%	1.1%	4.5%	6.8%	39.8%	22.7%	0.0%	3.4%
清田	40	0.0%	7.5%	0.0%	15.0%	0.0%	0.0%	10.0%	30.0%	17.5%	7.5%	7.5%
泉	65	4.6%	4.6%	3.1%	21.5%	0.0%	3.1%	4.6%	27.7%	26.2%	1.5%	10.8%

問 9 田原市に欠けていると感じることは何ですか。(あてはまるもの3つに○)

「交通の利便性」(59.8%)が最も高く、次いで「買い物などの生活の利便性」(38.7%)、「余暇を楽しむ機会や場所」(33.8%)となっています。平成28年度、令和元年度調査と傾向に大きな差異はありません。

令和元年度調査と比べると、「各種公共施設の整備状況」が4.8ポイント増加しています。

単位：%

項目	平成28年度調査 (N=1417)	令和元年度調査 (N=1372)	令和4年度調査 (N=1301)
海・山などの自然環境	2.1	2.1	2.5
街並みなどの都市景観	10.2	10.5	13.0
農業の発達	2.6	2.4	4.3
工業の発達	6.3	5.8	8.0
買い物などの生活の利便性	43.5	39.1	38.7
雇用機会の充実	17.4	19.4	17.5
各種公共施設の整備状況	14.7	10.7	15.5
交通の利便性	57.2	63.5	59.8
住宅確保のしやすさ	3.7	3.4	3.5
住環境の快適さ	3.9	5.7	5.6
余暇を楽しむ機会や場所	31.0	31.0	33.8
歴史や文化	2.1	2.6	2.4
学校などの教育環境	10.4	5.5	7.5
医療・福祉の充実	33.3	32.9	28.7
環境共生への取り組み	7.4	5.8	9.8
消防・防災の充実	3.6	3.3	3.5
子育てのしやすさ	3.5	4.2	3.5
人の温かさ	3.0	3.7	3.7
隣近所の助け合い	4.3	4.7	5.0
その他	3.8	3.2	3.8
無回答	6.1	7.1	2.9

【性別】

性別でみると、《男性》《女性》ともに「交通の利便性」が最も高く、次いで「買い物などの生活の利便性」「余暇を楽しむ機会や場所」となっています。

また、「工業の発達」「買い物などの生活の利便性」「交通の利便性」で、男女間に5ポイント以上の差が見られます。

単位：％

区分	有効回答件数 (件)	海・山などの自然環境	街並みなどの都市景観	農業の発達	工業の発達	買い物などの生活の利便性	雇用機会の充実	各種公共施設の整備状況	交通の利便性	住宅確保のしやすさ	住環境の快適さ
男性	797	2.5%	14.2%	4.1%	10.4%	36.5%	17.1%	16.6%	63.4%	3.6%	6.4%
女性	482	2.5%	11.4%	4.8%	4.1%	43.4%	18.7%	13.9%	55.2%	3.5%	4.1%

区分	余暇を楽しむ機会や場所	歴史や文化	学校などの教育環境	医療・福祉の充実	環境共生への取り組み	消防・防災の充実	子育てのしやすさ	人の温かさ	隣近所の助け合い	その他	無回答
男性	33.4%	2.9%	8.2%	27.9%	10.5%	3.6%	3.4%	2.9%	4.8%	4.0%	4.3%
女性	35.3%	1.5%	6.4%	30.5%	8.5%	3.5%	3.9%	4.8%	4.8%	3.3%	7.1%

【年齢別】

年齢別でみると、《20歳代》では「買い物などの生活の利便性」が、それ以外の年代では「交通の利便性」が最も高くなっています。

これに次いで、《18歳、19歳》《60歳代》では「余暇を楽しむ機会や場所」が、《20歳代》では「交通の利便性」が、それ以外の年代では「買い物などの生活の利便性」が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答件数 (件)	海・山などの自然環境	街並みなどの都市景観	農業の発達	工業の発達	買い物などの生活の利便性	雇用機会の充実	各種公共施設の整備状況	交通の利便性	住宅確保のしやすさ	住環境の快適さ
18歳、19歳	5	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	80.0%	0.0%	0.0%
20歳代	63	1.6%	14.3%	3.2%	3.2%	68.3%	7.9%	14.3%	61.9%	7.9%	6.3%
30歳代	105	1.9%	8.6%	2.9%	5.7%	48.6%	12.4%	27.6%	62.9%	7.6%	5.7%
40歳代	163	1.8%	14.1%	4.3%	2.5%	52.1%	17.2%	15.3%	65.6%	3.7%	4.3%
50歳代	157	0.0%	13.4%	5.1%	6.4%	45.2%	20.4%	16.6%	62.4%	4.5%	3.8%
60歳代	298	3.4%	14.8%	2.0%	7.7%	31.5%	23.8%	16.1%	62.1%	2.0%	6.7%
70歳以上	496	3.2%	12.3%	6.0%	11.7%	30.8%	15.5%	12.5%	55.4%	2.8%	5.8%

区分	余暇を楽しむ機会や場所	歴史や文化	学校などの教育環境	医療・福祉の充実	環境共生への取り組み	消防・防災の充実	子育てのしやすさ	人の温かさ	隣近所の助け合い	その他	無回答
18歳、19歳	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20歳代	52.4%	0.0%	4.8%	22.2%	6.3%	3.2%	7.9%	1.6%	1.6%	0.0%	3.2%
30歳代	32.4%	0.0%	9.5%	28.6%	5.7%	4.8%	6.7%	4.8%	1.0%	2.9%	3.8%
40歳代	34.4%	1.8%	11.7%	31.9%	6.7%	4.3%	2.5%	0.6%	1.8%	8.6%	2.5%
50歳代	37.6%	0.0%	11.5%	35.7%	8.9%	3.2%	5.7%	2.5%	2.5%	2.5%	1.3%
60歳代	32.9%	2.0%	5.4%	32.6%	11.4%	4.7%	4.4%	2.7%	4.4%	3.0%	4.0%
70歳以上	30.8%	4.4%	5.8%	24.4%	11.1%	2.2%	1.8%	5.4%	8.3%	4.0%	9.7%

【地区別】

地区別でみると、全ての地区で「交通の利便性」が最も高くなっています。

これに次いで、《神戸》《田原東部》《衣笠》《福江》《清田》では「余暇を楽しむ機会や場所」が、《田原中部》では「医療・福祉の充実」が、それ以外の地区では「買い物などの生活の利便性」が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答件数 (件)	海・山などの自然環境	街並みなどの都市景観	農業の発達	工業の発達	買い物などの生活の利便性	雇用機会の充実	各種公共施設の整備状況	交通の利便性	住宅確保のしやすさ	住環境の快適さ
六連	34	0.0%	14.7%	5.9%	5.9%	64.7%	8.8%	5.9%	67.6%	5.9%	5.9%
神戸	129	3.9%	15.5%	3.9%	10.9%	23.3%	20.9%	15.5%	47.3%	3.1%	9.3%
大草	29	6.9%	10.3%	0.0%	6.9%	51.7%	20.7%	10.3%	62.1%	6.9%	20.7%
田原東部	94	3.2%	24.5%	1.1%	10.6%	25.5%	12.8%	18.1%	57.4%	1.1%	2.1%
田原南部	36	0.0%	19.4%	0.0%	8.3%	38.9%	19.4%	13.9%	66.7%	5.6%	5.6%
童浦	118	2.5%	13.6%	4.2%	1.7%	48.3%	10.2%	20.3%	60.2%	3.4%	9.3%
田原中部	139	2.2%	15.8%	2.2%	2.9%	25.2%	19.4%	13.7%	53.2%	9.4%	5.0%
衣笠	110	1.8%	14.5%	6.4%	5.5%	31.8%	13.6%	20.0%	50.0%	4.5%	6.4%
野田	95	4.2%	7.4%	4.2%	12.6%	40.0%	20.0%	14.7%	56.8%	2.1%	7.4%
高松	28	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%	60.7%	10.7%	14.3%	78.6%	3.6%	0.0%
赤羽根	43	0.0%	7.0%	4.7%	4.7%	51.2%	25.6%	11.6%	72.1%	0.0%	7.0%
若戸	36	5.6%	5.6%	5.6%	0.0%	58.3%	8.3%	8.3%	72.2%	2.8%	2.8%
伊良湖岬（和地）	23	4.3%	17.4%	13.0%	13.0%	43.5%	17.4%	0.0%	73.9%	4.3%	0.0%
伊良湖岬（堀切）	44	0.0%	4.5%	13.6%	9.1%	43.2%	25.0%	9.1%	75.0%	0.0%	0.0%
伊良湖岬（伊良湖）	12	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	41.7%	41.7%	16.7%	66.7%	0.0%	8.3%
亀山	17	0.0%	5.9%	0.0%	23.5%	52.9%	23.5%	5.9%	64.7%	0.0%	0.0%
中山	78	0.0%	12.8%	5.1%	10.3%	55.1%	17.9%	16.7%	70.5%	0.0%	1.3%
福江	88	5.7%	9.1%	5.7%	15.9%	34.1%	25.0%	18.2%	65.9%	4.5%	4.5%
清田	40	2.5%	5.0%	5.0%	12.5%	25.0%	20.0%	17.5%	70.0%	2.5%	2.5%
泉	65	1.5%	12.3%	7.7%	6.2%	40.0%	20.0%	15.4%	53.8%	0.0%	3.1%

単位：％

区分	有効回答件数 (件)	余暇を楽しむ機会や場所	歴史や文化	学校などの教育環境	医療・福祉の充実	環境共生への取り組み	消防・防災の充実	子育てのしやすさ	人の温かさ	隣近所の助け合い	その他	無回答
六連	34	32.4%	0.0%	8.8%	29.4%	14.7%	0.0%	8.8%	0.0%	2.9%	5.9%	0.0%
神戸	129	38.8%	1.6%	6.2%	29.5%	14.0%	5.4%	0.8%	4.7%	5.4%	6.2%	5.4%
大草	29	27.6%	3.4%	0.0%	20.7%	13.8%	3.4%	0.0%	6.9%	3.4%	6.9%	3.4%
田原東部	94	38.3%	2.1%	12.8%	33.0%	10.6%	3.2%	1.1%	3.2%	5.3%	6.4%	3.2%
田原南部	36	36.1%	5.6%	8.3%	27.8%	5.6%	2.8%	5.6%	2.8%	5.6%	8.3%	2.8%
童浦	118	30.5%	2.5%	6.8%	33.1%	6.8%	3.4%	5.1%	2.5%	3.4%	5.1%	5.1%
田原中部	139	33.1%	2.2%	10.1%	35.3%	10.8%	4.3%	7.2%	5.8%	9.4%	3.6%	5.8%
衣笠	110	40.0%	4.5%	8.2%	33.6%	15.5%	3.6%	3.6%	3.6%	5.5%	4.5%	2.7%
野田	95	27.4%	2.1%	8.4%	24.2%	9.5%	3.2%	4.2%	4.2%	4.2%	1.1%	9.5%
高松	28	39.3%	3.6%	7.1%	35.7%	7.1%	0.0%	3.6%	7.1%	10.7%	3.6%	0.0%
赤羽根	43	23.3%	0.0%	9.3%	30.2%	7.0%	2.3%	0.0%	0.0%	7.0%	2.3%	7.0%
若戸	36	33.3%	2.8%	2.8%	38.9%	0.0%	0.0%	2.8%	2.8%	0.0%	2.8%	11.1%
伊良湖岬(和地)	23	13.0%	0.0%	0.0%	17.4%	17.4%	0.0%	8.7%	4.3%	0.0%	8.7%	8.7%
伊良湖岬(堀切)	44	40.9%	6.8%	2.3%	18.2%	6.8%	6.8%	4.5%	2.3%	2.3%	0.0%	4.5%
伊良湖岬(伊良湖)	12	16.7%	0.0%	0.0%	33.3%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	8.3%	8.3%
亀山	17	35.3%	0.0%	5.9%	11.8%	11.8%	5.9%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	11.8%
中山	78	33.3%	1.3%	6.4%	21.8%	7.7%	5.1%	3.8%	3.8%	2.6%	0.0%	5.1%
福江	88	38.6%	3.4%	5.7%	21.6%	6.8%	2.3%	3.4%	4.5%	3.4%	1.1%	3.4%
清田	40	37.5%	0.0%	7.5%	37.5%	7.5%	2.5%	2.5%	0.0%	5.0%	2.5%	7.5%
泉	65	23.1%	3.1%	12.3%	23.1%	10.8%	4.6%	1.5%	4.6%	6.2%	6.2%	10.8%

問 10 あなたは、友人や知人などが訪ねてきたとき、田原市のどこを案内してあげたいですか。
(あてはまるもの3つに○)

「伊良湖岬・恋路ヶ浜周辺」(74.2%)が最も高く、次いで「蔵王山展望台・権現の森」(42.0%)、「サンテパルクたはら」(35.2%)となっています。平成28年度、令和元年度調査と傾向に大きな差異はありません。

令和元年度調査と比べると、「菜の花畑」が3.4ポイント増加しています。

単位：%

項目	平成28年度調査 (N=1417)	令和元年度調査 (N=1372)	令和4年度調査 (N=1301)
伊良湖岬・恋路ヶ浜周辺	75.7	73.4	74.2
伊良湖海水浴場	5.3	2.7	2.6
一色の磯・太平洋ロングビーチ	10.9	10.3	13.6
セントファール・はなとき通り商店街	2.2	1.6	1.5
白谷海浜公園	4.3	3.3	5.2
仁崎海水浴場・キャンプ場	0.6	0.7	0.5
汐川干潟	0.3	0.2	0.4
初立池公園	5.1	5.4	6.1
赤羽根文化広場・文化の森	0.6	0.3	0.5
サンテパルクたはら	43.6	37.9	35.2
蔵王山展望台・権現の森	46.9	45.0	42.0
滝頭公園	7.8	8.2	8.7
緑が浜公園	0.8	0.8	0.7
池ノ原公園・つばき公園	1.8	0.8	1.1
田原市博物館・田原城跡周辺	9.3	8.9	11.1
田原まつり会館	3.0	2.2	1.7
藤七原・黒河・桜のシデコブシ	2.3	0.9	1.6
吉胡貝塚・シェルマよしご	1.0	1.0	0.9
菜の花畑	17.2	15.0	18.4
道の駅伊良湖クリスタルポルト	7.3	5.0	3.8
道の駅田原めっくんはうす	10.9	21.5	24.4
道の駅あかばねロコステーション、ロコパーク	11.5	11.6	11.3
風力発電	1.3	1.2	1.4
臨海工業地帯	1.6	1.3	1.5
図書館	3.2	3.6	3.3
親子交流館(すくっと)	-	3.1	2.9
LaLaGran(ララグラン)	-	4.5	3.2
その他	3.3	3.2	2.6
無回答	3.2	3.6	3.2

【性別】

性別でみると、《男性》《女性》ともに「伊良湖岬・恋路ヶ浜周辺」が最も高くなっています。

《男性》では、「蔵王山展望台・権現の森」が《女性》に比べ12.9ポイント高くなっています。

《女性》では、「サンパルクたはら」が《男性》に比べ10.7ポイント高くなっています。

単位：%

区分	有効回答件数(件)	伊良湖岬・恋路ヶ浜周辺	伊良湖海水浴場	一色の磯・太平洋ロングビーチ	セントファアール・はなとき通り商店街	白谷海浜公園	仁崎海水浴場・キャンプ場	汐川干潟	初立池公園	赤羽根文化広場・文化の森	サンテパルクたはら	蔵王山展望台・権現の森	滝頭公園	緑が浜公園	池ノ原公園・つばき公園
男性	797	77.0%	3.6%	15.1%	1.8%	5.1%	0.6%	0.5%	5.8%	0.3%	31.2%	46.7%	8.2%	0.8%	0.9%
女性	482	69.5%	1.0%	11.4%	0.8%	5.6%	0.4%	0.2%	6.6%	0.8%	41.9%	33.8%	9.3%	0.6%	1.2%

区分	田原市博物館・田原城跡周辺	田原まつり会館	藤七原・黒河・花のシデコブシ	吉胡貝塚・シエルマよしご	菜の花畑	道の駅伊良湖クリスタルポルト	道の駅田原めつくんはうす	ステーション、ロコパーク	風力発電	臨海工業地帯	図書館	親子交流館(すくっと)	LaLaGran(ララグラン)	その他	無回答
男性	12.8%	2.1%	2.0%	1.0%	16.3%	4.4%	23.5%	10.4%	1.8%	2.3%	2.8%	1.0%	1.8%	3.1%	2.4%
女性	7.9%	1.0%	1.0%	0.8%	22.6%	2.9%	25.7%	12.7%	0.8%	0.4%	4.1%	6.2%	5.6%	1.9%	4.6%

【年齢別】

年齢別でみると、全ての年代で「伊良湖岬・恋路ヶ浜周辺」が最も高く、次いで「蔵王山展望台・権現の森」が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答件数 (件)	伊良湖岬・恋路ヶ浜周辺	伊良湖海水浴場	一色の磯・太平洋 ロングビーチ	セントファアール・ はなとき通り商店街	白谷海浜公園	仁崎海水浴場・キャンプ場	汐川干潟	初立池公園	赤羽根文化広場・文化の森	サンテバルクたはら	蔵王山展望台・権現の森	滝頭公園	緑が浜公園	池ノ原公園・つばき公園
18歳、19歳	5	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20歳代	63	73.0%	11.1%	15.9%	0.0%	14.3%	3.2%	0.0%	1.6%	0.0%	22.2%	36.5%	6.3%	1.6%	0.0%
30歳代	105	68.6%	1.9%	13.3%	6.7%	14.3%	0.0%	0.0%	1.9%	0.0%	30.5%	35.2%	4.8%	1.0%	0.0%
40歳代	163	73.0%	3.1%	22.1%	3.1%	8.0%	1.2%	1.2%	1.8%	0.0%	37.4%	39.3%	6.1%	0.6%	0.0%
50歳代	157	82.8%	3.2%	15.9%	1.3%	4.5%	0.0%	0.6%	5.7%	0.0%	36.9%	49.0%	3.2%	0.0%	0.6%
60歳代	298	77.5%	2.3%	15.8%	0.7%	4.0%	0.0%	0.3%	4.0%	0.7%	37.2%	46.0%	9.1%	0.7%	0.7%
70歳以上	496	71.2%	1.6%	8.9%	0.6%	2.4%	0.6%	0.2%	10.5%	0.8%	35.5%	40.3%	12.1%	0.8%	2.2%

区分	田原市博物館・ 田原城跡周辺	田原まつり会館	椀七原・黒河・ 椀のシデコブシ	吉胡貝塚・シエルマよしご	菜の花畑	道の駅伊良湖 クリスタルボルト	道の駅田原めつくんはうす	道の駅あかばねロコ ステーション、ロコパーク	風力発電	臨海工業地帯	図書館	親子交流館 (すくっと)	LaLaGran (ララグラン)	その他	無回答
18歳、19歳	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	60.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%
20歳代	1.6%	1.6%	0.0%	0.0%	33.3%	3.2%	17.5%	12.7%	3.2%	1.6%	4.8%	7.9%	12.7%	1.6%	3.2%
30歳代	1.9%	0.0%	0.0%	1.0%	25.7%	2.9%	27.6%	10.5%	1.9%	1.0%	5.7%	21.0%	11.4%	2.9%	0.0%
40歳代	4.9%	0.6%	0.0%	1.2%	17.2%	4.9%	31.3%	10.4%	1.8%	0.0%	4.9%	4.3%	4.3%	4.3%	1.8%
50歳代	7.0%	2.5%	1.9%	0.0%	16.6%	0.6%	29.9%	14.0%	1.3%	0.6%	3.2%	0.6%	1.9%	4.5%	1.9%
60歳代	13.8%	1.7%	1.7%	0.7%	17.8%	3.7%	21.1%	10.4%	1.0%	1.7%	3.7%	0.7%	1.7%	1.7%	2.0%
70歳以上	16.1%	2.2%	2.6%	1.4%	16.3%	4.8%	23.0%	11.7%	1.2%	2.4%	1.6%	0.2%	1.0%	2.2%	5.0%

【地区別】

地区別でみると、全ての地区で「伊良湖岬・恋路ヶ浜周辺」が最も高く、そのうち《伊良湖岬（和地）》《伊良湖岬（伊良湖）》《中山》では9割を超えています。

《赤羽根》では「一色の磯・太平洋ロングビーチ」「道の駅あかばねロコステーション・ロコパーク」が、《伊良湖岬（伊良湖）》《中山》では「菜の花畑」が、それぞれ4割を超え、比較的高くなっています。

単位：％

区分	有効回答件数 (件)	伊良湖岬・恋路ヶ浜周辺	伊良湖海水浴場	一色の磯・太平洋ロングビーチ	セントファアール・はなとき通り商店街	白谷海浜公園	仁崎海水浴場・キャンプ場	汐川干潟	初立池公園	赤羽根文化広場・文化の森	サンテパルクたはら	蔵王山展望台・権現の森	滝頭公園	緑が浜公園	池ノ原公園・つばき公園
六連	34	61.8%	2.9%	20.6%	2.9%	0.0%	5.9%	0.0%	2.9%	0.0%	47.1%	55.9%	0.0%	2.9%	2.9%
神戸	129	73.6%	0.0%	14.0%	2.3%	3.1%	0.0%	0.0%	3.1%	0.0%	27.1%	52.7%	15.5%	0.8%	1.6%
大草	29	75.9%	0.0%	6.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	37.9%	58.6%	3.4%	0.0%	0.0%
田原東部	94	71.3%	1.1%	14.9%	2.1%	4.3%	0.0%	2.1%	1.1%	0.0%	23.4%	56.4%	17.0%	0.0%	1.1%
田原南部	36	66.7%	2.8%	22.2%	2.8%	13.9%	0.0%	0.0%	2.8%	0.0%	55.6%	38.9%	8.3%	0.0%	2.8%
童浦	118	67.8%	1.7%	12.7%	0.8%	15.3%	0.8%	0.0%	0.8%	0.0%	28.8%	44.1%	4.2%	4.2%	0.8%
田原中部	139	68.3%	0.0%	12.2%	2.2%	4.3%	0.0%	0.0%	0.7%	0.0%	34.5%	51.1%	14.4%	0.0%	2.9%
衣笠	110	66.4%	4.5%	17.3%	0.9%	6.4%	0.0%	0.9%	1.8%	0.0%	27.3%	56.4%	11.8%	0.0%	0.9%
野田	95	72.6%	0.0%	10.5%	0.0%	4.2%	3.2%	1.1%	3.2%	1.1%	53.7%	43.2%	7.4%	0.0%	0.0%
高松	28	50.0%	0.0%	39.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	7.1%	42.9%	42.9%	10.7%	0.0%	0.0%
赤羽根	43	69.8%	0.0%	41.9%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%	44.2%	23.3%	7.0%	0.0%	0.0%
若戸	36	75.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	2.8%	50.0%	13.9%	2.8%	0.0%	0.0%
伊良湖岬（和地）	23	91.3%	8.7%	8.7%	0.0%	4.3%	0.0%	0.0%	17.4%	0.0%	17.4%	21.7%	4.3%	0.0%	0.0%
伊良湖岬（堀切）	44	84.1%	2.3%	6.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	18.2%	0.0%	40.9%	20.5%	4.5%	2.3%	0.0%
伊良湖岬（伊良湖）	12	100.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	8.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%
亀山	17	88.2%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	35.3%	0.0%	41.2%	23.5%	5.9%	0.0%	0.0%
中山	78	92.3%	3.8%	9.0%	0.0%	3.8%	0.0%	0.0%	11.5%	1.3%	34.6%	25.6%	2.6%	1.3%	0.0%
福江	88	83.0%	6.8%	6.8%	1.1%	5.7%	0.0%	0.0%	15.9%	0.0%	38.6%	25.0%	5.7%	0.0%	2.3%
清田	40	87.5%	2.5%	5.0%	2.5%	7.5%	2.5%	0.0%	17.5%	0.0%	27.5%	27.5%	5.0%	0.0%	2.5%
泉	65	83.1%	1.5%	10.8%	0.0%	6.2%	0.0%	0.0%	12.3%	0.0%	50.8%	41.5%	6.2%	0.0%	0.0%

単位：％

区分	有効回答件数 (件)	田原市博物館・田原城跡周辺	田原まつり会館	椀のシデコブシ	藤七原・黒河・吉胡貝塚・シエルマよしご	菜の花畑	道の駅伊良湖クリスタルポルト	道の駅田原めつくんはうす	ステーション・ロコパーク	道の駅あかばねロコ	風力発電	臨海工業地帯	図書館	親子交流館（すくっと）	LaLaGrain（ラグライン）	その他	無回答
六連	34	20.6%	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%	14.7%	11.8%	0.0%	5.9%	0.0%	2.9%	5.9%	2.9%	23.5%	
神戸	129	7.8%	0.0%	0.8%	0.0%	9.3%	3.1%	38.0%	10.1%	0.8%	2.3%	6.2%	2.3%	3.1%	2.3%	20.2%	
大草	29	31.0%	3.4%	3.4%	0.0%	10.3%	0.0%	37.9%	3.4%	3.4%	3.4%	0.0%	10.3%	6.9%	0.0%	0.0%	
田原東部	94	14.9%	3.2%	0.0%	0.0%	11.7%	2.1%	27.7%	6.4%	0.0%	1.1%	4.3%	2.1%	5.3%	3.2%	23.4%	
田原南部	36	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	13.9%	2.8%	16.7%	13.9%	0.0%	2.8%	2.8%	8.3%	0.0%	8.3%	2.8%	
童浦	118	12.7%	1.7%	0.0%	3.4%	9.3%	4.2%	31.4%	9.3%	2.5%	5.9%	5.9%	5.1%	2.5%	5.9%	17.8%	
田原中部	139	19.4%	5.8%	1.4%	0.7%	15.8%	1.4%	24.5%	8.6%	1.4%	0.7%	3.6%	5.0%	4.3%	2.9%	13.7%	
衣笠	110	11.8%	2.7%	3.6%	2.7%	15.5%	0.0%	29.1%	7.3%	3.6%	0.0%	7.3%	6.4%	5.5%	0.9%	9.1%	
野田	95	9.5%	2.1%	0.0%	0.0%	10.5%	1.1%	26.3%	12.6%	3.2%	0.0%	2.1%	1.1%	0.0%	0.0%	31.6%	
高松	28	21.4%	0.0%	0.0%	0.0%	17.9%	3.6%	17.9%	14.3%	0.0%	0.0%	3.6%	0.0%	0.0%	3.6%	17.9%	
赤羽根	43	14.0%	0.0%	0.0%	2.3%	9.3%	0.0%	11.6%	41.9%	0.0%	0.0%	0.0%	4.7%	2.3%	0.0%	23.3%	
若戸	36	11.1%	0.0%	2.8%	0.0%	19.4%	0.0%	5.6%	36.1%	0.0%	0.0%	2.8%	5.6%	2.8%	2.8%	41.7%	
伊良湖岬（和地）	23	13.0%	0.0%	0.0%	0.0%	30.4%	4.3%	26.1%	13.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	39.1%	
伊良湖岬（堀切）	44	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	36.4%	6.8%	22.7%	11.4%	0.0%	0.0%	2.3%	2.3%	0.0%	6.8%	27.3%	
伊良湖岬（伊良湖）	12	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	16.7%	16.7%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	8.3%	
亀山	17	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	29.4%	11.8%	23.5%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	5.9%	17.6%	
中山	78	1.3%	0.0%	2.6%	1.3%	42.3%	9.0%	14.1%	12.8%	2.6%	0.0%	1.3%	1.3%	3.8%	1.3%	20.5%	
福江	88	1.1%	0.0%	5.7%	0.0%	33.0%	14.8%	25.0%	11.4%	0.0%	0.0%	1.1%	2.3%	3.4%	1.1%	10.2%	
清田	40	10.0%	2.5%	5.0%	0.0%	25.0%	10.0%	25.0%	12.5%	0.0%	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%	2.5%	17.5%	
泉	65	9.2%	1.5%	3.1%	1.5%	23.1%	1.5%	9.2%	6.2%	0.0%	3.1%	0.0%	0.0%	4.6%	0.0%	24.6%	

4. 各分野での市の取り組みについて

問 11 あなたは、現状の田原市の取り組みに対しどの程度満足していますか。
 また、それぞれの取り組みについて、重要度はどの程度だと思いますか。
 項目ごとに、「満足度」「重要度」をそれぞれ評価し、該当する番号に○をつけてください。）

【ポートフォリオによる分析の考え方】

満足度と重要度を下表のような配分で点数化し、その点数の合計値を、無回答を除いた各設問の回答総数で割り、満足度・重要度を得点化しました。

さらに、各項目の満足度と重要度の得点の関係について分布図を作成し、ポートフォリオ分析により、今後の方向性を分析しました。

【満足度・重要度の得点化の手順】

満足度	得点
満足	2点
やや満足	1点
普通	0点
やや不満	-1点
不満	-2点
無回答	計算対象外

重要度	得点
非常に重要	2点
重要	1点
普通	0点
あまり重要ではない	-1点
重要ではない	-2点
無回答	計算対象外

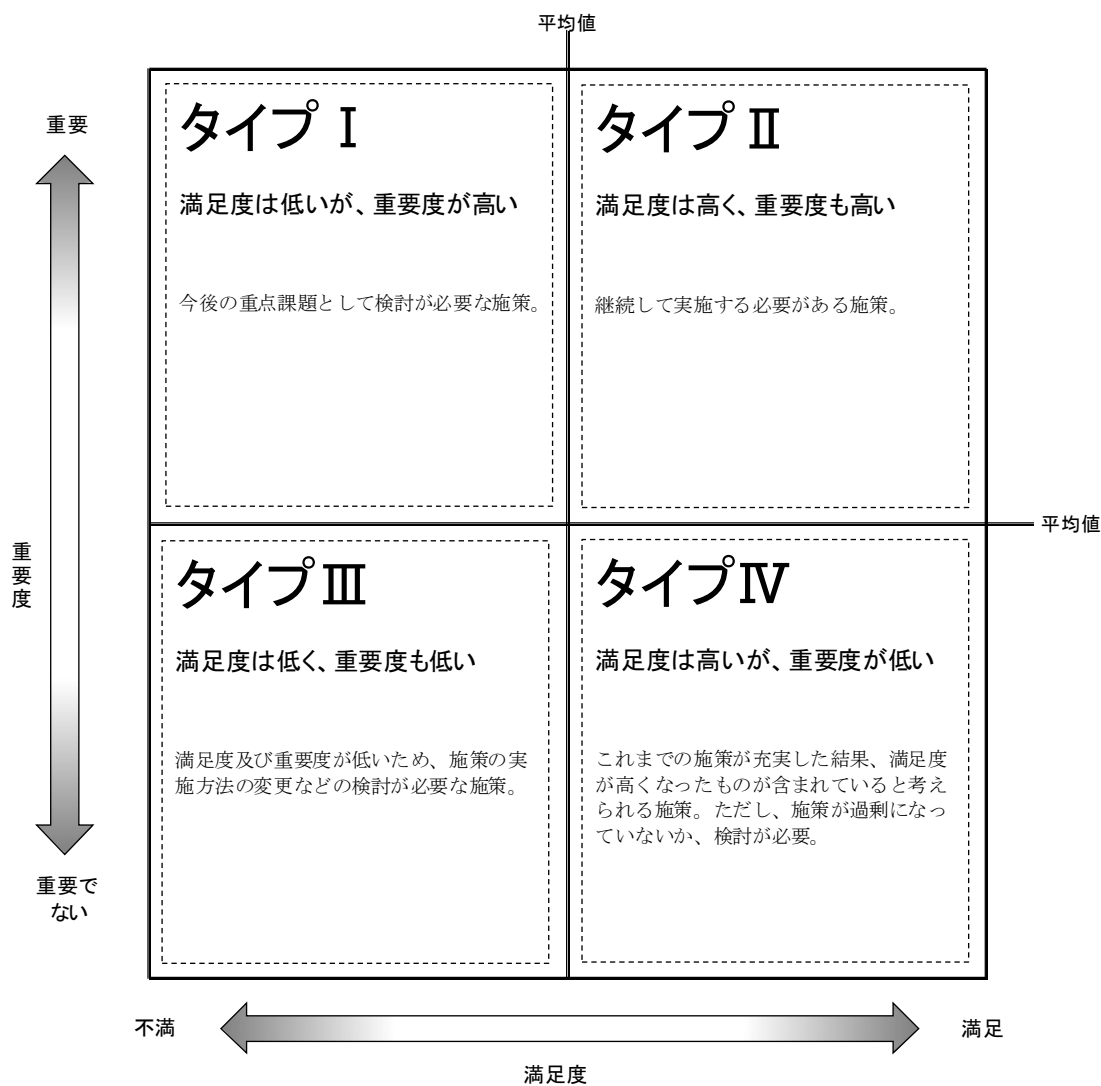
【得点の算出式】

$2 \text{点} \times \text{「満足（非常に重要）」の回答数}$
 $1 \text{点} \times \text{「やや満足（重要）」の回答数}$
 $0 \text{点} \times \text{「普通」の回答数}$
 $-1 \text{点} \times \text{「やや不満（あまり重要でない）」の回答数}$
 $-2 \text{点} \times \text{「不満（重要ではない）」の回答数}$

} これらの数値の和

無回答を除いた設問の回答総数

※得点については、小数点以下第3位を四捨五入して表示しています。



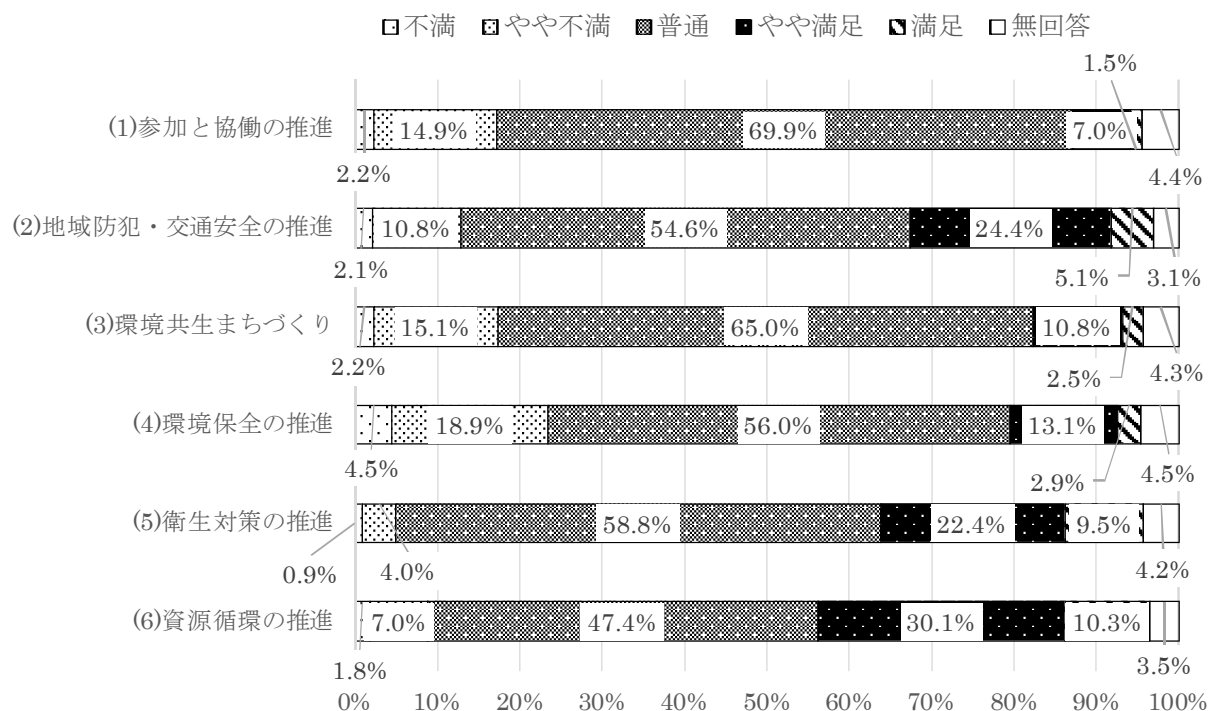
※ポートフォリオとは、各属性についての満足度と総合満足度への影響度を2次元にプロットした図です。それぞれの選択肢を5段階評価で聞き、X軸に各属性の平均満足度、Y軸に重要度（期待度）として総合満足度と各満足度の偏相関係数を表しています。なお、図は4象限に分けられ、象限を分ける境界線は、満足度、重要度の各平均値を使用しています。

<市民環境分野>

【満足度】

満足度について、令和元年度調査と比べると「やや満足」「満足」を合わせた“満足”（以下同じ）は、全ての項目で増加しており、『(5)衛生対策の推進』は9.9ポイント増加しています。

「やや不満」「不満」を合わせた“不満”（以下同じ）は、『(3)環境共生まちづくり』を除く全ての項目で減少しています。



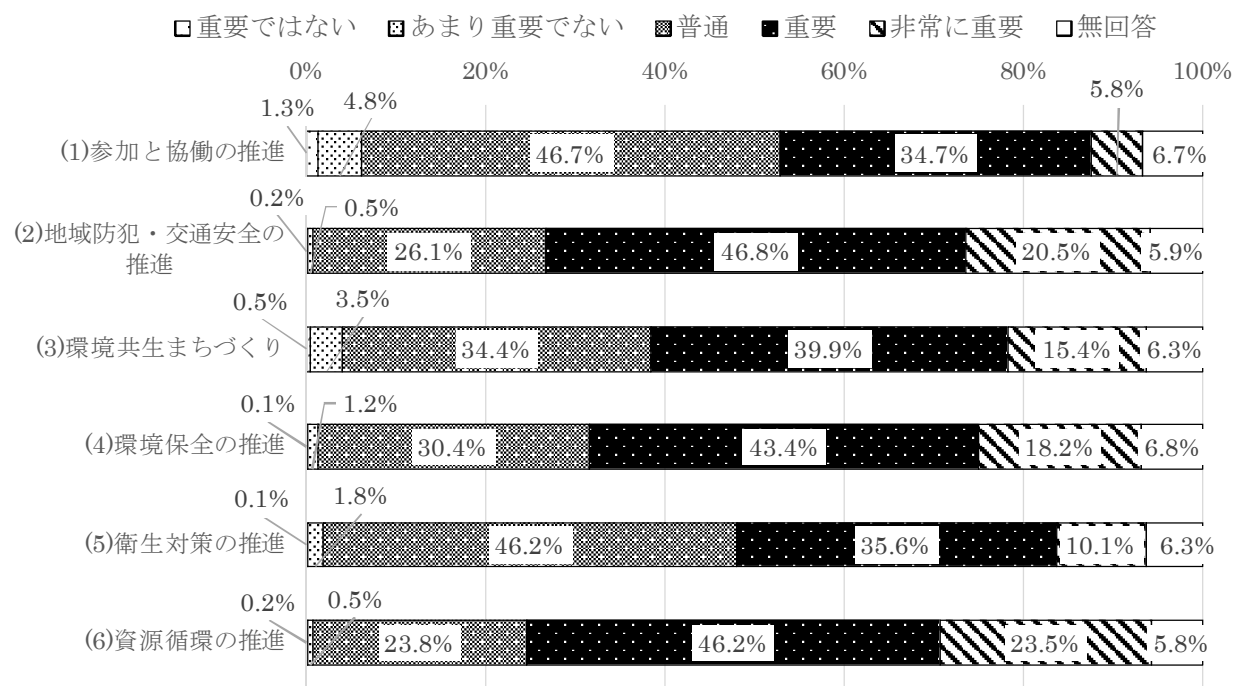
【経年比較—満足度】

評価	調査年度	N	評価					
			不満	やや不満	普通	やや満足	満足	無回答
(1)参加と協働の推進	R4	1301	2.2	14.9	69.9	7.0	1.5	4.0
	R1	1372	2.4	15.3	69.3	5.9	1.4	5.7
	H28	1417	1.8	8.3	67.7	10.7	2.8	8.8
(2)地域防犯・交通安全の推進	R4	1301	2.1	10.8	54.6	24.4	5.1	3.1
	R1	1372	1.7	14.7	55.0	19.5	4.7	4.4
	H28	1417	2.1	11.8	50.7	21.7	6.9	6.7
(3)環境共生まちづくり	R4	1301	2.2	15.1	65.0	10.8	2.5	4.3
	R1	1372	1.0	11.2	68.8	11.2	2.0	5.7
	H28	1417	1.3	7.9	62.7	15.6	3.9	8.5
(4)環境保全の推進	R4	1301	4.5	18.9	56.0	13.1	2.9	4.5
	R1	1372	4.5	19.2	58.5	10.6	1.5	5.6
	H28	1417	5.2	16.0	56.5	10.8	3.5	8.0
(5)衛生対策の推進	R4	1301	0.9	4.0	58.8	22.4	9.5	4.2
	R1	1372	1.2	5.9	65.9	16.5	5.5	5.1
	H28	1417	1.1	3.6	62.6	16.4	8.4	7.9
(6)資源循環の推進	R4	1301	1.8	7.0	47.4	30.1	10.3	3.5
	R1	1372	2.4	10.1	50.5	25.9	6.6	4.6
	H28	1417	1.1	7.1	47.6	26.6	10.4	7.1

【重要度】

重要度について、令和元年度調査と比べると、「非常に重要」「重要」を合わせた“重要”（以下同じ）は、『(3)環境共生まちづくり』『(4)環境保全の推進』『(6)資源循環の推進』の項目で増加しており、『(3)環境共生まちづくり』は6.1ポイント増加しています。

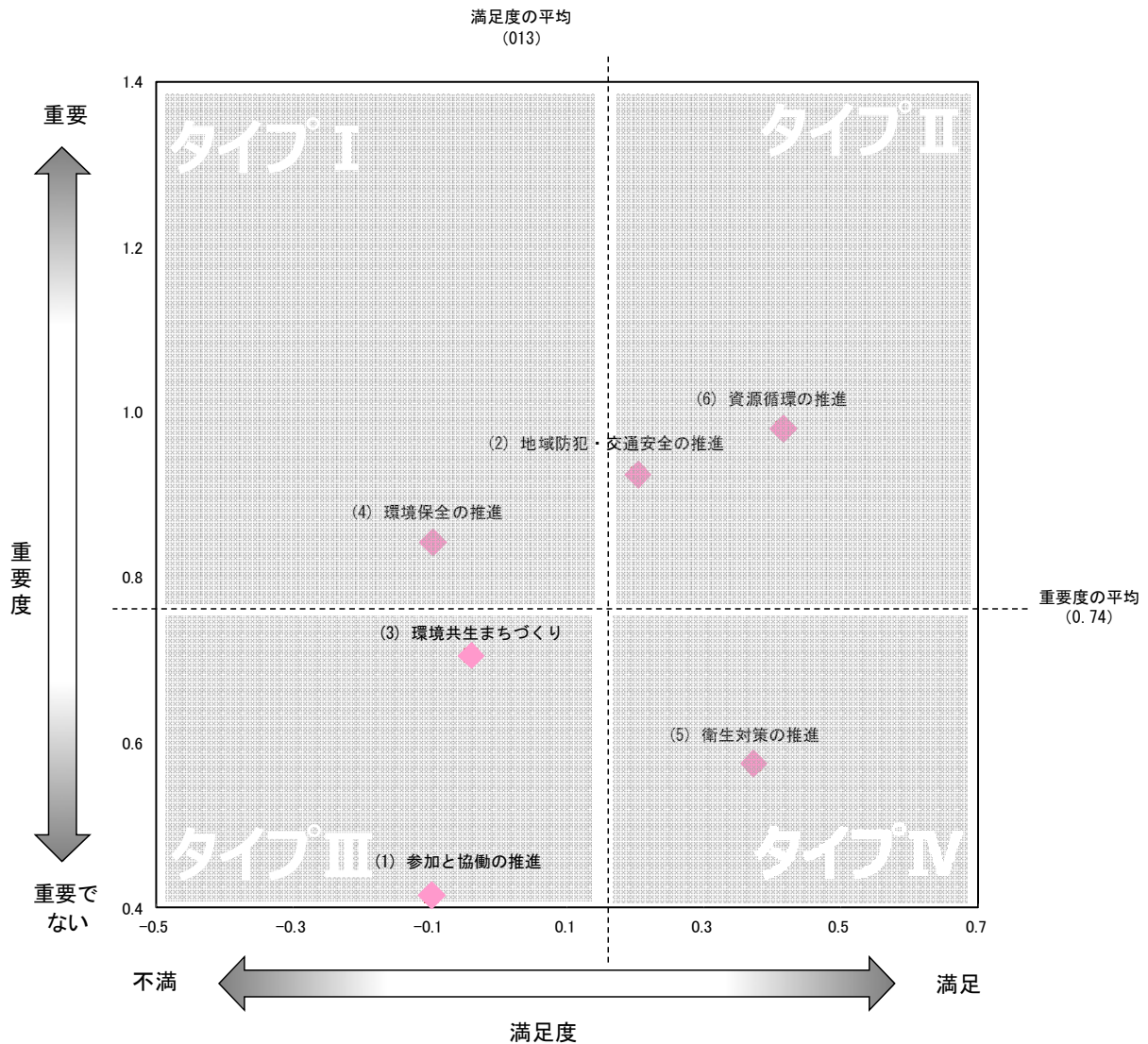
「重要ではない」「あまり重要でない」を合わせた“重要ではない”（以下同じ）は、いずれも1ポイント未満の増減となっています。



【経年比較—重要度】

状況	調査年度	N	評価					無回答
			重要ではない	あまり重要ではない	普通	重要	非常に重要	
(1)参加と協働の推進	R4	1301	1.3	4.8	46.7	34.7	5.8	6.7
	R1	1372	1.1	4.2	44.2	35.7	6.7	8.2
	H28	1417	1.2	4.7	46.0	31.3	5.4	11.4
(2)地域防犯・交通安全の推進	R4	1301	0.2	0.5	26.1	46.8	20.5	5.9
	R1	1372	0.2	0.6	22.8	46.2	22.7	7.5
	H28	1417	0.3	1.0	22.4	43.5	23.0	9.8
(3)環境共生まちづくり	R4	1301	0.5	3.5	34.4	39.9	15.4	6.3
	R1	1372	0.4	2.8	39.5	38.0	11.2	8.1
	H28	1417	1.1	3.7	41.6	33.3	9.2	11.2
(4)環境保全の推進	R4	1301	0.1	1.2	30.4	43.4	18.2	6.8
	R1	1372	0.2	0.8	30.7	41.5	18.1	8.7
	H28	1417	0.3	1.1	30.6	39.0	18.3	10.7
(5)衛生対策の推進	R4	1301	0.1	1.8	46.2	35.6	10.1	6.3
	R1	1372	0.4	1.7	42.3	36.4	11.1	8.0
	H28	1417	0.4	2.2	46.3	29.2	10.6	11.3
(6)資源循環の推進	R4	1301	0.2	0.5	23.8	46.2	23.5	5.8
	R1	1372	0.1	0.5	22.7	45.4	23.6	7.6
	H28	1417	0.4	0.6	26.2	41.6	20.7	10.6

ポートフォリオ分析による市民環境分野の評価については、『(4)環境保全の推進』が、重要度が高いものの満足度が低く、改善が求められます。



施策	満足度				重要度			
	H25	H28	R1	R4	H25	H28	R1	R4
(1)参加と協働の推進	-0.10	0.05	-0.12	-0.10	0.44	0.39	0.47	0.42
(2)地域防犯・交通安全の推進	0.08	0.21	0.12	0.20	1.05	0.98	0.98	0.92
(3)環境共生まちづくり	0.03	0.14	0.02	-0.04	0.79	0.52	0.62	0.71
(4)環境保全の推進	-0.14	-0.09	-0.16	-0.10	0.92	0.83	0.84	0.84
(5)衛生対策の推進	0.25	0.30	0.20	0.37	0.61	0.53	0.61	0.57
(6)資源循環の推進	0.34	0.41	0.25	0.42	0.95	0.91	0.99	0.98

◆上図から分析判断できる最優先課題◆

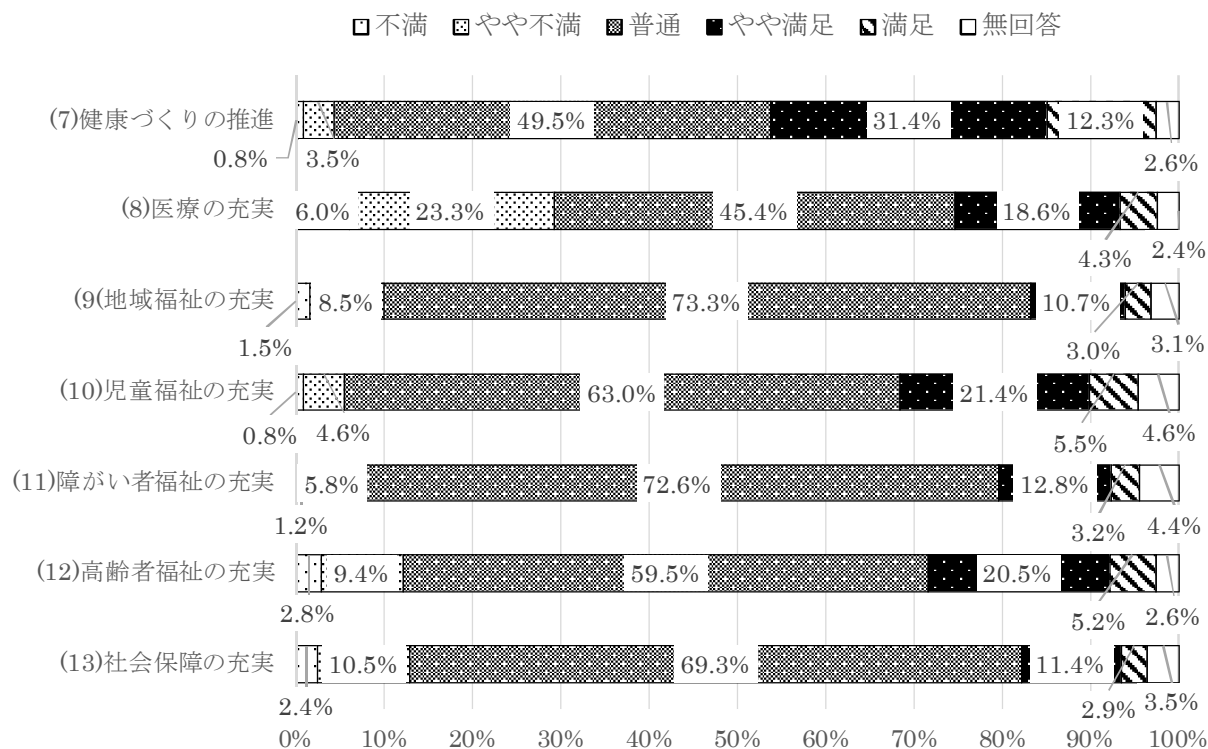
(4) 環境保全の推進

<健康福祉分野>

【満足度】

満足度について、令和元年度調査と比べると、“満足”は、全ての項目で増加しており、『(7)健康づくりの推進』は11.1ポイント増加しています。

“不満”は、全ての項目で減少しており『(8)医療の充実』は7.9ポイント減少しています。



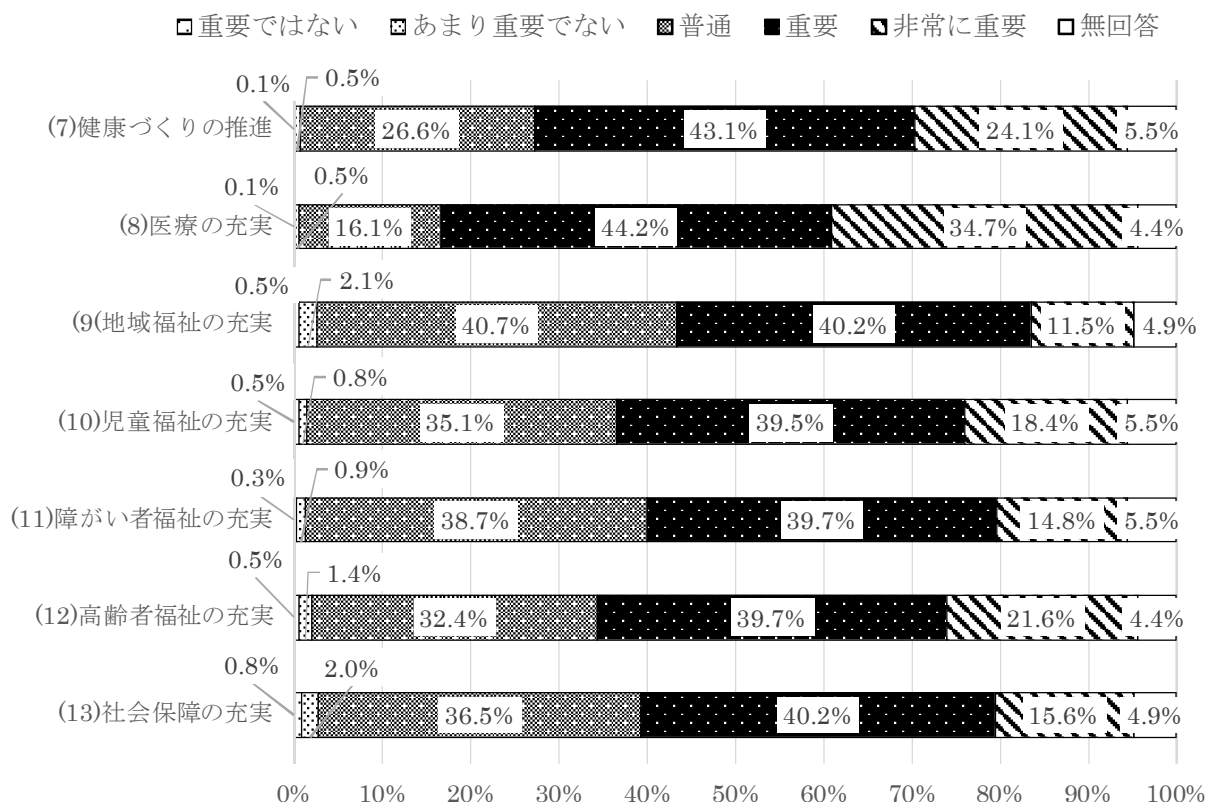
【経年比較—満足度】

状況	調査年度	N	評価					
			不満	やや不満	普通	やや満足	満足	無回答
(7)健康づくりの推進	R4	1301	0.8	3.5	49.5	31.4	12.3	2.6
	R1	1372	0.6	5.1	57.0	24.5	8.1	4.7
	H28	1417	0.7	3.6	54.3	23.4	10.9	7.1
(8)医療の充実	R4	1301	6.0	23.3	45.4	18.6	4.3	2.4
	R1	1372	8.0	29.2	41.1	14.4	3.7	3.6
	H28	1417	9.0	26.8	40.0	14.6	4.0	5.6
(9)地域福祉の充実	R4	1301	1.5	8.5	73.3	10.7	3.0	3.1
	R1	1372	1.9	10.8	71.0	9.5	2.1	4.7
	H28	1417	2.0	8.0	68.9	10.1	3.7	7.2
(10)児童福祉の充実	R4	1301	0.8	4.6	63.0	21.4	5.5	4.6
	R1	1372	1.8	8.5	64.9	14.7	4.8	5.2
	H28	1417	1.8	9.1	61.4	14.5	4.7	8.5
(11)障がい者福祉の充実	R4	1301	1.2	5.8	72.6	12.8	3.2	4.4
	R1	1372	1.2	6.0	74.2	9.0	3.3	6.3
	H28	1417	1.4	5.6	70.4	9.5	3.7	9.4
(12)高齢者福祉の充実	R4	1301	2.8	9.4	59.5	20.5	5.2	2.6
	R1	1372	3.1	14.4	56.4	17.3	4.7	4.0
	H28	1417	2.7	10.4	58.5	17.1	5.6	5.6
(13)社会保障の充実	R4	1301	2.4	10.5	69.3	11.4	2.9	3.5
	R1	1372	2.7	11.7	69.2	7.7	2.4	6.3
	H28	1417	3.6	9.7	68.0	8.6	2.3	7.8

【重要度】

重要度について、令和元年度調査と比べると、“重要”は、『(8)医療の充実』『(10)児童福祉の充実』『(12)高齢者福祉の充実』を除く項目で増加しています。

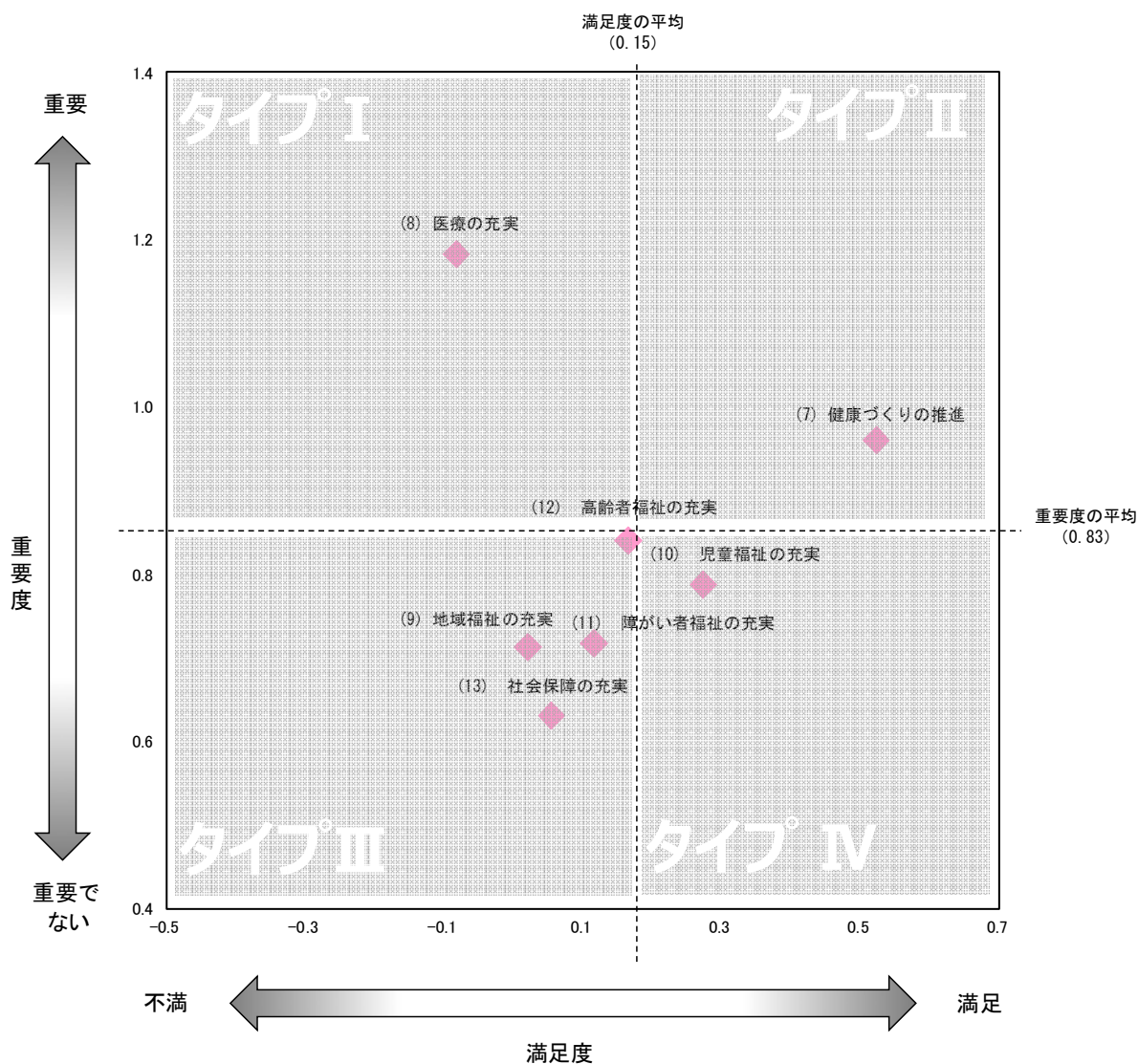
“重要ではない”は、いずれも1ポイント未満の増減となっています。



【経年比較—重要度】

状況	調査年度	N	評価					
			重要ではない	あまり重要ではない	普通	重要	非常に重要	無回答
(7)健康づくりの推進	R4	1301	0.1	0.5	26.6	43.1	24.1	5.5
	R1	1372	0.4	0.8	29.6	38.8	22.7	7.7
	H28	1417	0.3	0.6	28.1	38.9	21.9	10.2
(8)医療の充実	R4	1301	0.1	0.5	16.1	44.2	34.7	4.4
	R1	1372	0.1	0.1	11.7	42.4	39.1	6.5
	H28	1417	0.1	0.3	15.0	37.8	38.0	8.8
(9)地域福祉の充実	R4	1301	0.5	2.1	40.7	40.2	11.5	4.9
	R1	1372	0.5	1.3	39.2	37.5	14.1	7.4
	H28	1417	0.8	1.9	39.9	34.7	12.5	10.2
(10)児童福祉の充実	R4	1301	0.5	0.8	35.1	39.5	18.4	5.5
	R1	1372	0.4	1.0	32.9	39.1	19.0	7.6
	H28	1417	0.4	1.2	33.2	35.6	19.0	10.6
(11)障がい者福祉の充実	R4	1301	0.3	0.9	38.7	39.7	14.8	5.5
	R1	1372	0.4	0.8	42.1	35.8	12.9	8.0
	H28	1417	0.4	0.8	41.4	32.5	13.8	11.1
(12)高齢者福祉の充実	R4	1301	0.5	1.4	32.4	39.7	21.6	4.4
	R1	1372	0.8	1.0	28.9	42.1	20.6	6.6
	H28	1417	0.8	2.0	29.1	35.7	23.1	9.3
(13)社会保障の充実	R4	1301	0.8	0.2	36.5	40.2	15.6	4.9
	R1	1372	0.5	1.4	41.7	33.8	14.6	8.0
	H28	1417	0.8	2.2	39.0	33.2	14.5	10.4

ポートフォリオ分析による健康福祉分野の評価については、『(8)医療の充実』が、重要度が最も高いものの満足度が最も低く、改善が求められます。



施策	満足度				重要度			
	H25	H28	R1	R4	H25	H28	R1	R4
(7) 健康づくりの推進	0.32	0.43	0.36	0.52	1.01	0.91	0.90	0.96
(8) 医療の充実	-0.11	-0.24	-0.24	-0.08	1.29	1.24	1.29	1.18
(9) 地域福祉の充実	0.05	0.06	-0.01	0.05	0.70	0.62	0.68	0.63
(10) 児童福祉の充実	0.09	0.12	0.13	0.27	0.80	0.80	0.81	0.79
(11) 障がい者福祉の充実	0.04	0.09	0.08	0.12	0.71	0.66	0.65	0.72
(12) 高齢者福祉の充実	0.16	0.13	0.07	0.16	0.81	0.86	0.86	0.84
(13) 社会保障の充実	-0.03	-0.04	-0.05	0.02	0.63	0.65	0.66	0.71

◆上図から分析判断できる最優先課題◆

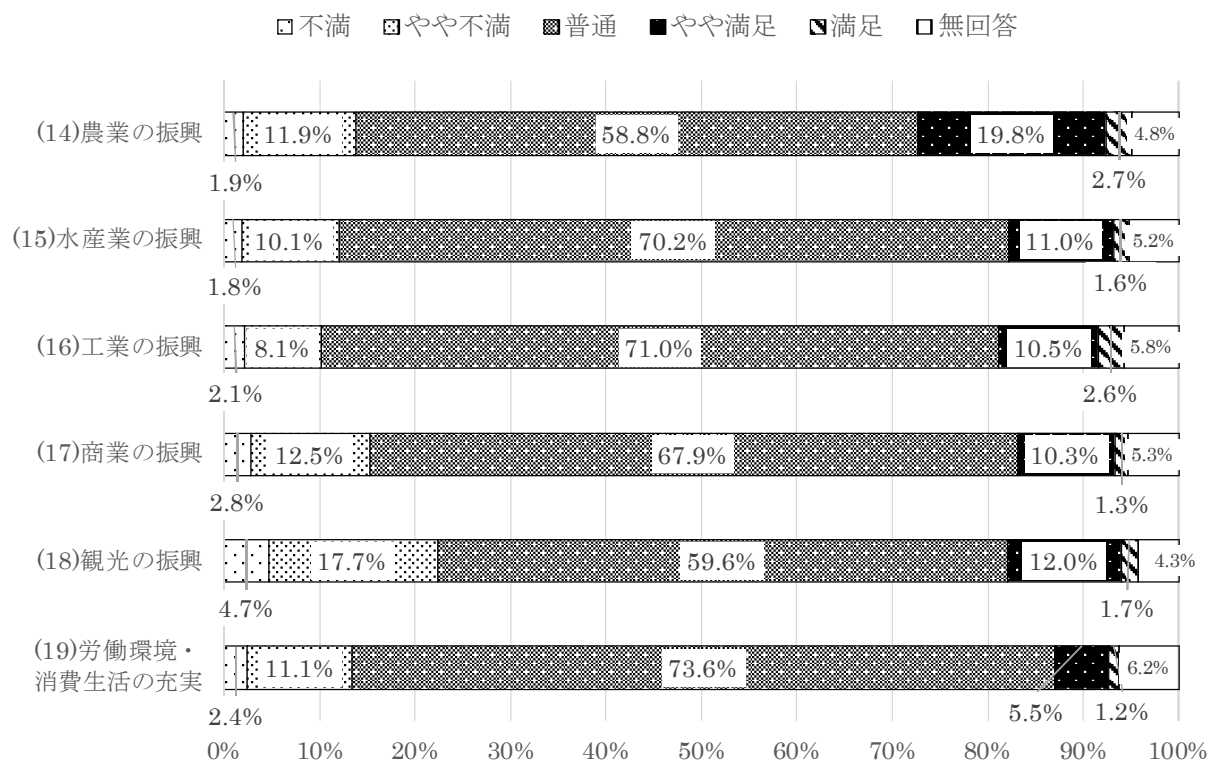
(8) 医療の充実

<産業経済分野>

【満足度】

満足度について、令和元年度調査と比べると、“満足”は『(14)農業の振興』『(18)観光の振興』を除く項目で増加しており、『(16)工業の振興』は1.6ポイント増加しています。

“不満”は、全ての項目で増加しており、『(14)農業の振興』は4.5ポイント増加しています。



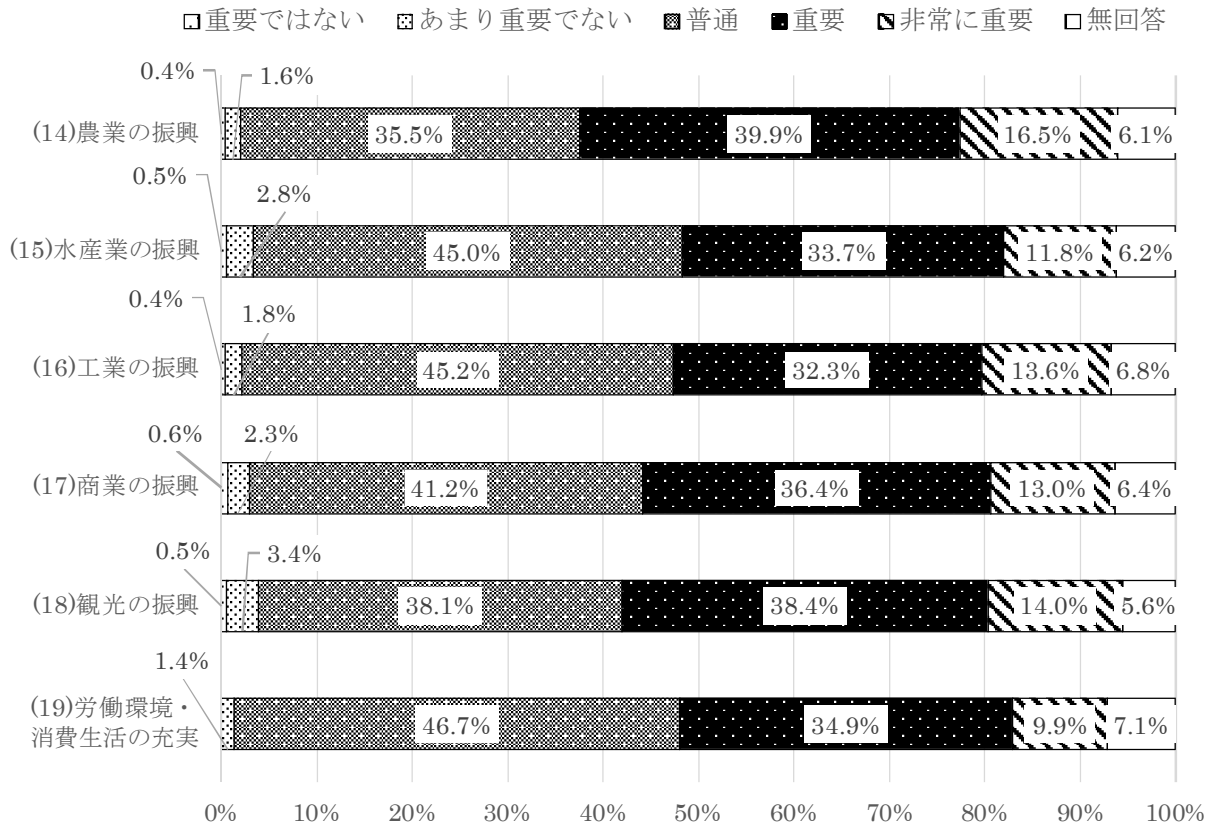
【経年比較—満足度】

状況	調査年度	N	評価					
			不満	やや不満	普通	やや満足	満足	無回答
(14)農業の振興	R4	1301	1.9	11.9	58.8	19.8	2.7	4.8
	R1	1372	1.7	7.6	62.4	17.6	5.0	5.8
	H28	1417	1.8	7.4	59.8	19.3	3.5	8.1
(15)水産業の振興	R4	1301	1.8	10.1	70.2	11.0	1.6	5.2
	R1	1372	0.9	8.9	72.7	9.0	2.2	6.3
	H28	1417	2.1	7.3	69.2	9.5	1.7	10.2
(16)工業の振興	R4	1301	2.1	8.1	71.0	10.5	2.6	5.8
	R1	1372	0.9	9.0	71.3	9.0	2.5	7.3
	H28	1417	1.6	6.6	68.0	11.4	2.5	10.0
(17)商業の振興	R4	1301	2.8	12.5	67.9	10.3	1.3	5.3
	R1	1372	1.6	11.9	69.1	9.3	1.7	6.3
	H28	1417	2.5	11.6	65.0	9.2	2.0	9.7
(18)観光の振興	R4	1301	4.7	17.7	59.6	12.0	1.7	4.3
	R1	1372	3.4	16.0	60.3	12.1	2.4	5.8
	H28	1417	4.7	16.6	58.6	10.4	1.3	8.5
(19)労働環境・消費生活の充実	R4	1301	2.4	11.1	73.6	5.5	1.2	6.2
	R1	1372	1.3	10.7	74.5	4.9	1.2	7.4
	H28	1417	2.2	10.7	70.1	5.4	0.9	10.7

【重要度】

重要度について、令和元年度調査と比べると、“重要”は全ての項目で増加しており、『(14)農業の振興』は7.0ポイント増加しています。

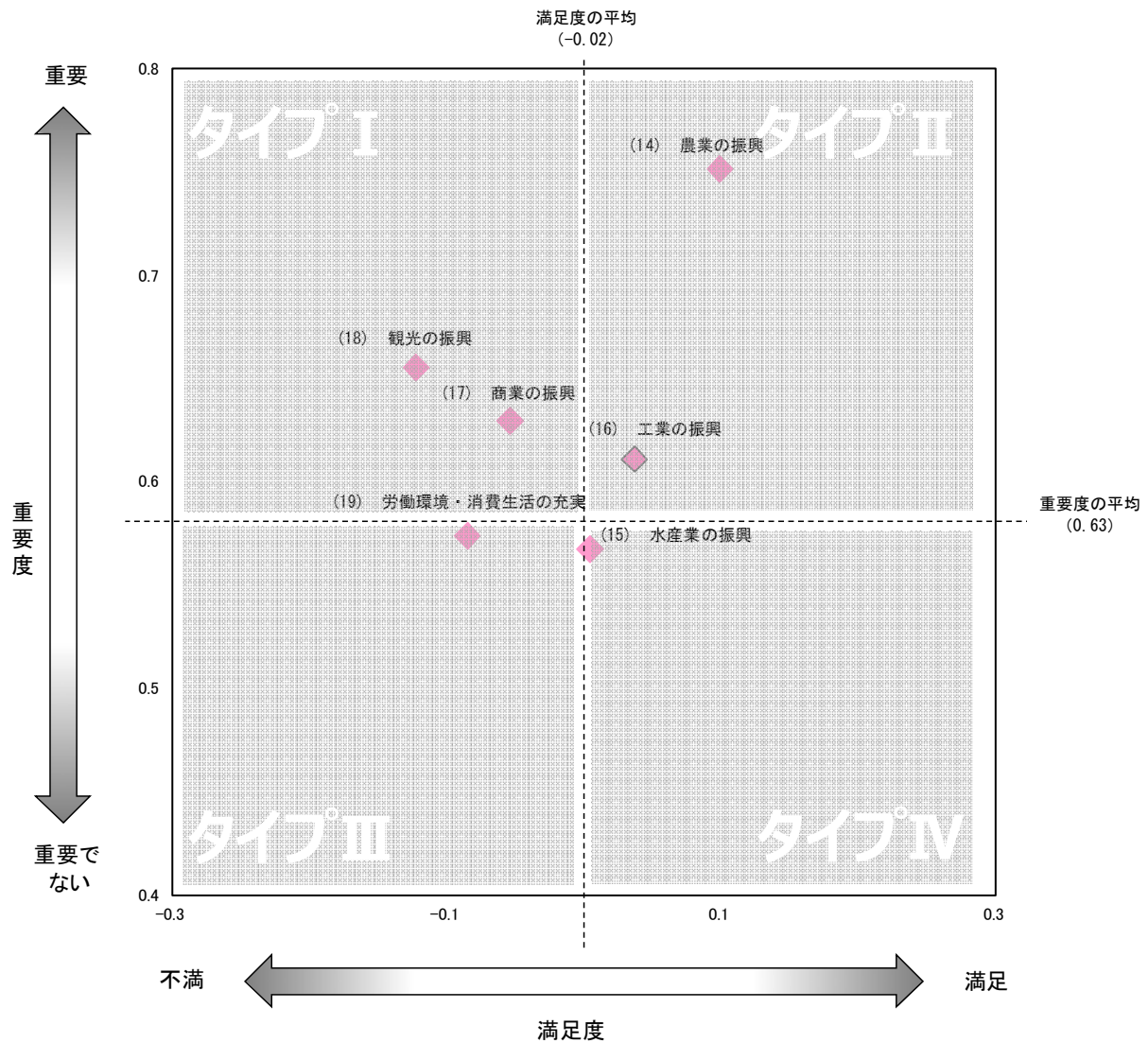
“重要ではない”は、全ての項目で増加しています。



【経年比較—重要度】

状況	調査年度	N	評価					無回答
			重要ではない	あまり重要ではない	普通	重要	非常に重要	
(14) 農業の振興	R4	1301	0.4	1.6	35.5	39.9	16.5	6.1
	R1	1372	0.4	1.5	40.6	34.8	14.6	8.1
	H28	1417	0.5	2.5	39.6	34.6	12.6	10.2
(15) 水産業の振興	R4	1301	0.5	2.8	45.0	33.7	11.8	6.2
	R1	1372	0.4	2.0	46.8	31.8	10.2	8.8
	H28	1417	0.4	2.6	46.3	30.0	9.0	11.8
(16) 工業の振興	R4	1301	0.4	1.8	45.2	32.3	13.6	6.8
	R1	1372	0.4	1.7	47.6	30.8	10.4	9.1
	H28	1417	0.6	2.3	45.4	28.8	11.4	11.5
(17) 商業の振興	R4	1301	0.6	2.3	41.2	36.4	13.0	6.4
	R1	1372	0.6	1.4	46.6	31.7	11.4	8.4
	H28	1417	0.4	1.8	40.8	33.9	11.9	11.3
(18) 観光の振興	R4	1301	0.5	3.4	38.1	38.4	14.0	5.6
	R1	1372	0.5	2.4	40.2	36.1	12.1	8.7
	H28	1417	0.9	3.1	40.6	32.8	11.9	10.7
(19) 労働環境・消費生活の充実	R4	1301	0.0	1.4	46.7	34.9	9.9	7.1
	R1	1372	0.3	0.7	50.3	29.8	9.3	9.5
	H28	1417	0.4	2.2	47.2	30.0	7.9	12.3

ポートフォリオ分析による産業経済分野の評価については、『(17)商業の振興』『(18)観光の振興』が、ともに重要度が高いものの満足度が低く、改善が求められます。



施策	満足度				重要度			
	H25	H28	R1	R4	H25	H28	R1	R4
(14) 農業の振興	0.16	0.17	0.17	0.10	0.65	0.63	0.67	0.75
(15) 水産業の振興	-0.03	0.01	0.03	0.00	0.48	0.51	0.54	0.57
(16) 工業の振興	0.04	0.07	0.03	0.04	0.56	0.54	0.54	0.61
(17) 商業の振興	-0.09	-0.04	-0.02	-0.05	0.55	0.62	0.57	0.63
(18) 観光の振興	-0.12	-0.14	-0.06	-0.12	0.60	0.58	0.62	0.66
(19) 労働環境・消費生活の充実	-0.12	-0.09	-0.06	-0.09	0.55	0.49	0.52	0.57

◆上図から分析判断できる最優先課題◆

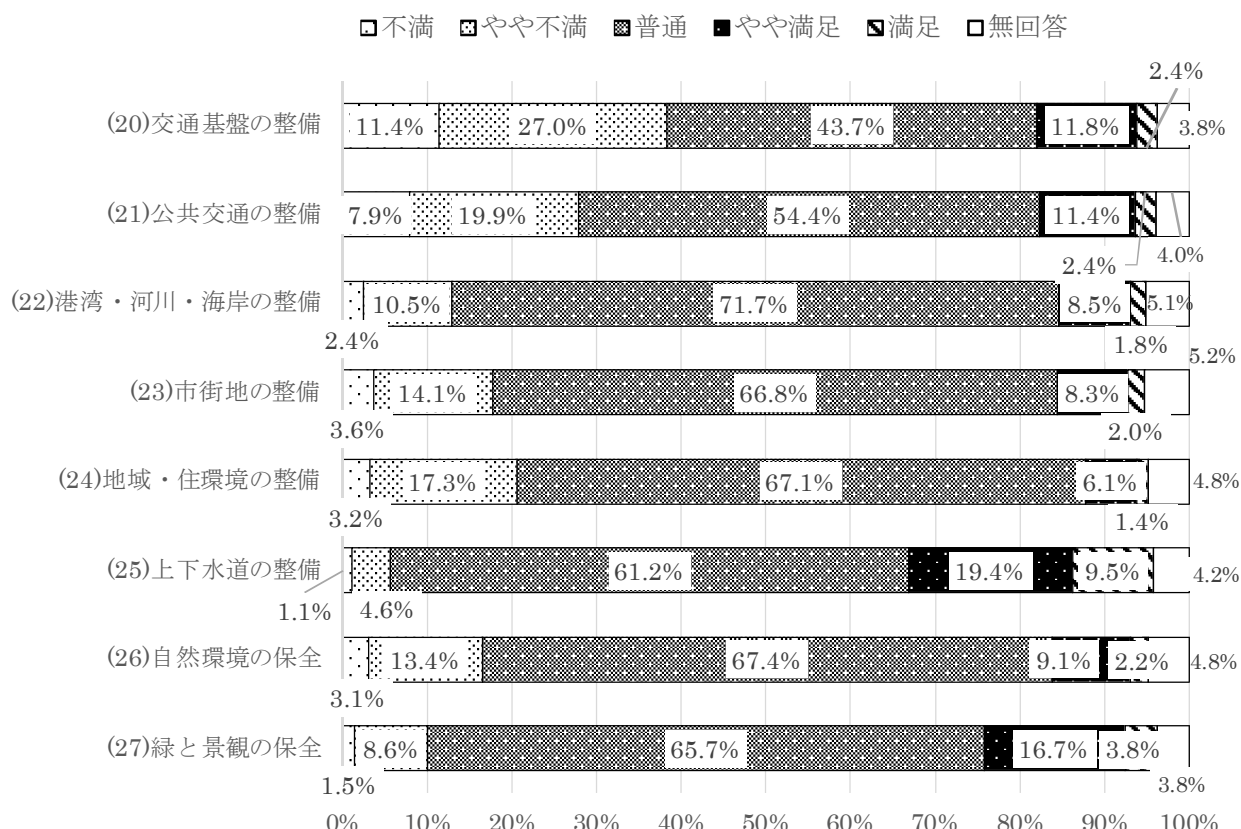
(17) 商業の振興 (18) 観光の振興

<都市整備分野>

【満足度】

満足度について、令和元年度調査と比べると、“満足”は『(20)公共交通の整備』『(24)地域・住環境の整備』を除く項目で増加しており、『(25)上下水道の整備』は5.9ポイント増加しています。

“不満”は、『(21)公共交通の整備』『(22)港湾・河川・海岸の整備』で減少しており、『(21)公共交通の整備』は8.7ポイント減少しています。



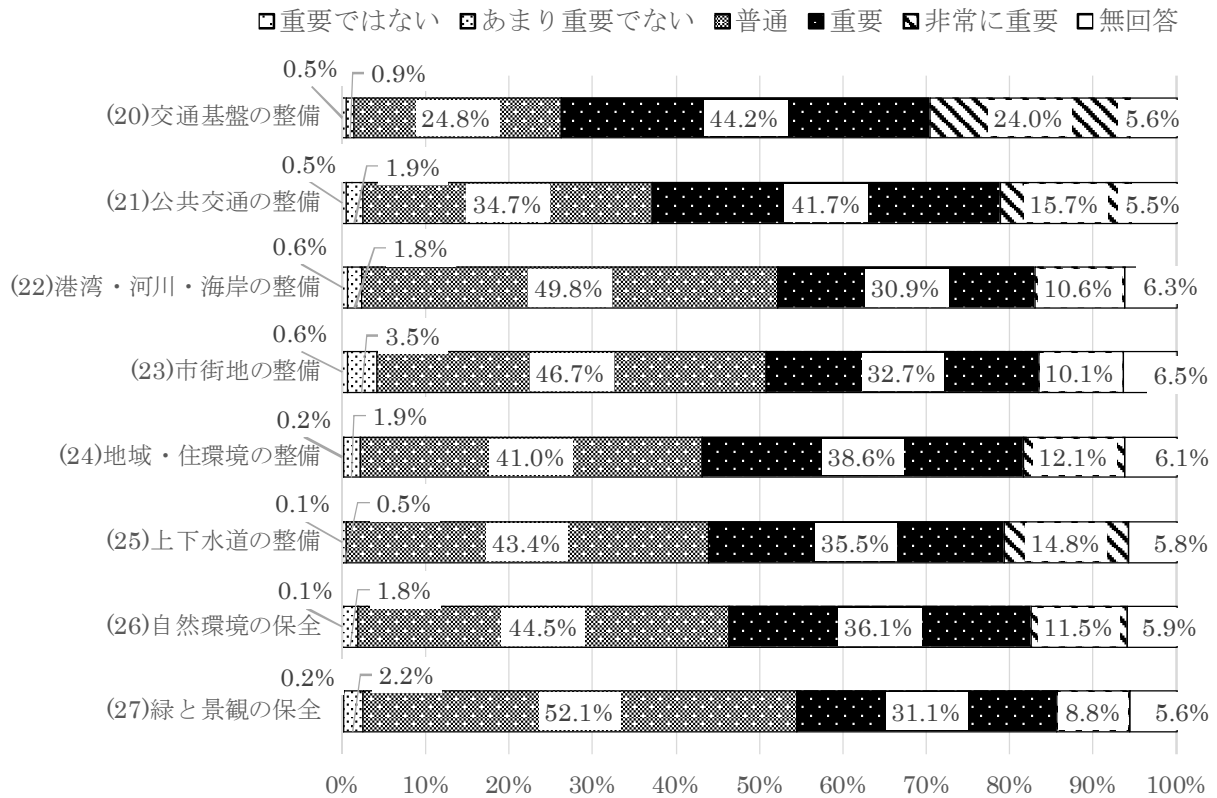
【経年比較—満足度】

状況	調査年度	N	評価					
			不満	やや不満	普通	やや満足	満足	無回答
(20)交通基盤の整備	R4	1301	11.4	27.0	43.7	11.8	2.4	3.8
	R1	1372	9.8	26.2	42.9	12.9	3.0	5.2
	H28	1417	10.6	21.2	45.4	12.7	2.5	7.6
(21)公共交通の整備	R4	1301	7.9	19.9	54.4	11.4	2.4	4.0
	R1	1372	9.4	27.1	44.5	11.8	1.8	5.3
	H28	1417	10.9	22.2	46.4	10.0	3.0	7.4
(22)港湾・河川・海岸の整備	R4	1301	2.4	10.5	71.7	8.5	1.8	5.1
	R1	1372	2.4	10.6	71.9	7.3	1.3	6.5
	H28	1417	3.2	9.8	71.3	5.9	1.5	8.3
(23)市街地の整備	R4	1301	3.6	14.1	66.8	8.3	2.0	5.2
	R1	1372	3.1	12.6	68.8	7.7	2.0	5.8
	H28	1417	3.3	12.1	67.0	6.8	2.0	8.8
(24)地域・住環境の整備	R4	1301	3.2	17.3	67.1	6.1	1.4	4.8
	R1	1372	1.5	11.2	72.5	6.8	1.6	6.5
	H28	1417	2.3	11.3	70.1	6.4	1.4	8.5
(25)上下水道の整備	R4	1301	1.1	4.6	61.2	19.4	9.5	4.2
	R1	1372	0.9	4.2	67.1	17.1	5.9	4.8
	H28	1417	1.1	5.4	62.1	17.6	6.6	7.3
(26)自然環境の保全	R4	1301	3.1	13.4	67.4	9.1	2.2	4.8
	R1	1372	2.7	13.3	67.6	8.7	2.2	5.5
	H28	1417	2.6	10.9	67.4	8.8	2.0	8.3
(27)緑と景観の保全	R4	1301	1.5	8.6	65.7	16.7	3.8	3.8
	R1	1372	0.9	7.1	67.6	16.0	3.3	5.0
	H28	1417	1.4	8.2	66.2	12.9	3.8	7.5

【重要度】

重要度について、令和元年度調査と比べると、“重要”は、『(21)公共交通の整備』『(26)自然環境の保全』を除く項目で増加しており、『(24)地域・住環境の整備』は11.7ポイント増加、『(25)上下水道の整備』は5.1ポイント増加しています。

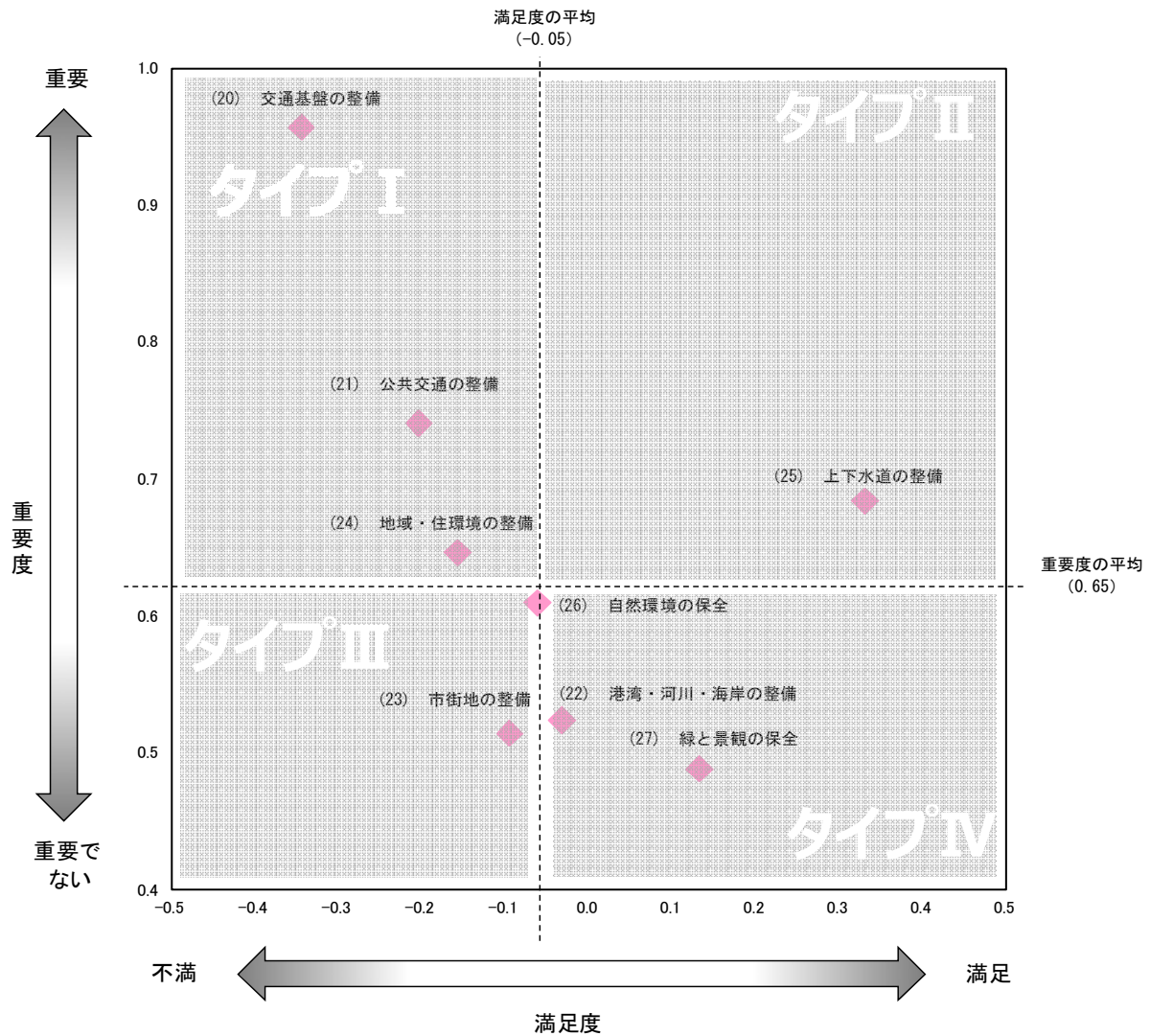
“重要ではない”は、いずれも1ポイント未満の増減となっています。



【経年比較—重要度】

状況	調査年度	N	評価					
			重要ではない	あまり重要ではない	普通	重要	非常に重要	無回答
(20)交通基盤の整備	R4	1301	0.5	0.9	24.8	44.2	24.0	5.6
	R1	1372	0.2	1.4	27.4	40.2	23.1	7.7
	H28	1417	0.3	1.8	29.5	38.0	20.3	10.1
(21)公共交通の整備	R4	1301	0.5	1.9	34.7	41.7	15.7	5.5
	R1	1372	0.4	1.9	28.5	41.0	20.6	7.7
	H28	1417	0.4	2.6	33.7	36.8	16.7	9.7
(22)港湾・河川・海岸の整備	R4	1301	0.6	1.8	49.8	30.9	10.6	6.3
	R1	1372	0.6	2.1	51.0	29.1	8.9	8.3
	H28	1417	0.8	3.4	49.5	26.6	9.0	10.7
(23)市街地の整備	R4	1301	0.6	3.5	46.7	32.7	10.1	6.5
	R1	1372	0.7	3.0	49.5	29.7	9.0	8.1
	H28	1417	1.1	4.2	48.3	27.0	8.8	10.6
(24)地域・住環境の整備	R4	1301	0.2	1.9	41.0	38.6	12.1	6.1
	R1	1372	0.4	2.0	49.9	31.3	7.7	8.5
	H28	1417	0.6	2.8	48.0	29.3	8.9	10.4
(25)上下水道の整備	R4	1301	0.1	0.5	43.4	35.5	14.8	5.8
	R1	1372	0.1	0.9	46.2	32.7	12.5	7.7
	H28	1417	0.1	1.3	43.7	33.5	11.0	10.3
(26)自然環境の保全	R4	1301	0.1	1.8	44.5	36.1	11.5	5.9
	R1	1372	0.3	1.4	42.1	35.3	12.8	8.2
	H28	1417	0.5	2.0	43.5	32.8	10.7	10.5
(27)緑と景観の保全	R4	1301	0.2	2.2	52.1	31.1	8.8	5.6
	R1	1372	0.3	1.8	50.7	31.4	8.2	7.7
	H28	1417	0.6	2.9	48.8	29.4	8.3	10.1

ポートフォリオ分析による都市整備分野の評価については、『(20)交通基盤の整備』『(21)公共交通の整備』『(24)地域・住環境の整備』が、ともに重要度が高いものの満足度が低く、改善が求められます。



施策	満足度				重要度			
	H25	H28	R1	R4	H25	H28	R1	R4
(20) 交通基盤の整備	-0.25	-0.27	-0.28	-0.35	0.86	0.85	0.92	0.96
(21) 公共交通の整備	-0.12	-0.30	-0.32	-0.20	0.67	0.74	0.86	0.74
(22) 港湾・河川・海岸の整備	-0.09	-0.08	-0.06	-0.03	0.46	0.44	0.48	0.52
(23) 市街地の整備	-0.10	-0.09	-0.08	-0.09	0.37	0.43	0.47	0.51
(24) 地域・住環境の整備	-0.06	-0.07	-0.04	-0.16	0.36	0.48	0.48	0.65
(25) 上下水道の整備	0.20	0.25	0.24	0.33	0.64	0.60	0.61	0.68
(26) 自然環境の保全	-0.07	-0.03	-0.06	-0.06	0.59	0.57	0.64	0.61
(27) 緑と景観の保全	0.08	0.10	0.14	0.13	0.45	0.47	0.49	0.49

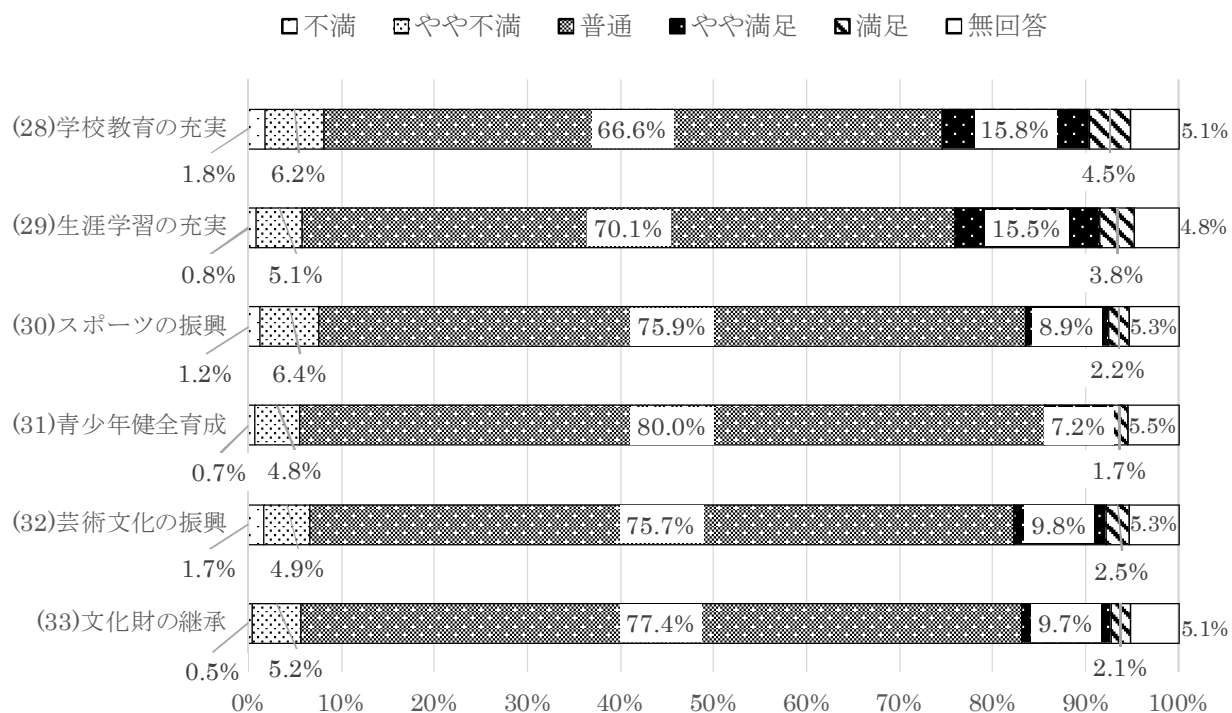
◆上図から分析判断できる最優先課題◆

(20) 交通基盤の整備 (21) 公共交通の整備 (24) 地域・住環境の整備

<教育文化分野>

【満足度】

満足度について、令和元年度調査と比べると、“満足”は『(28)学校教育の充実』『(29)生涯学習の充実』で増加しており、『(28)学校教育の充実』は3.4ポイント増加しています。
“不満”は、全ての項目で増加しています。



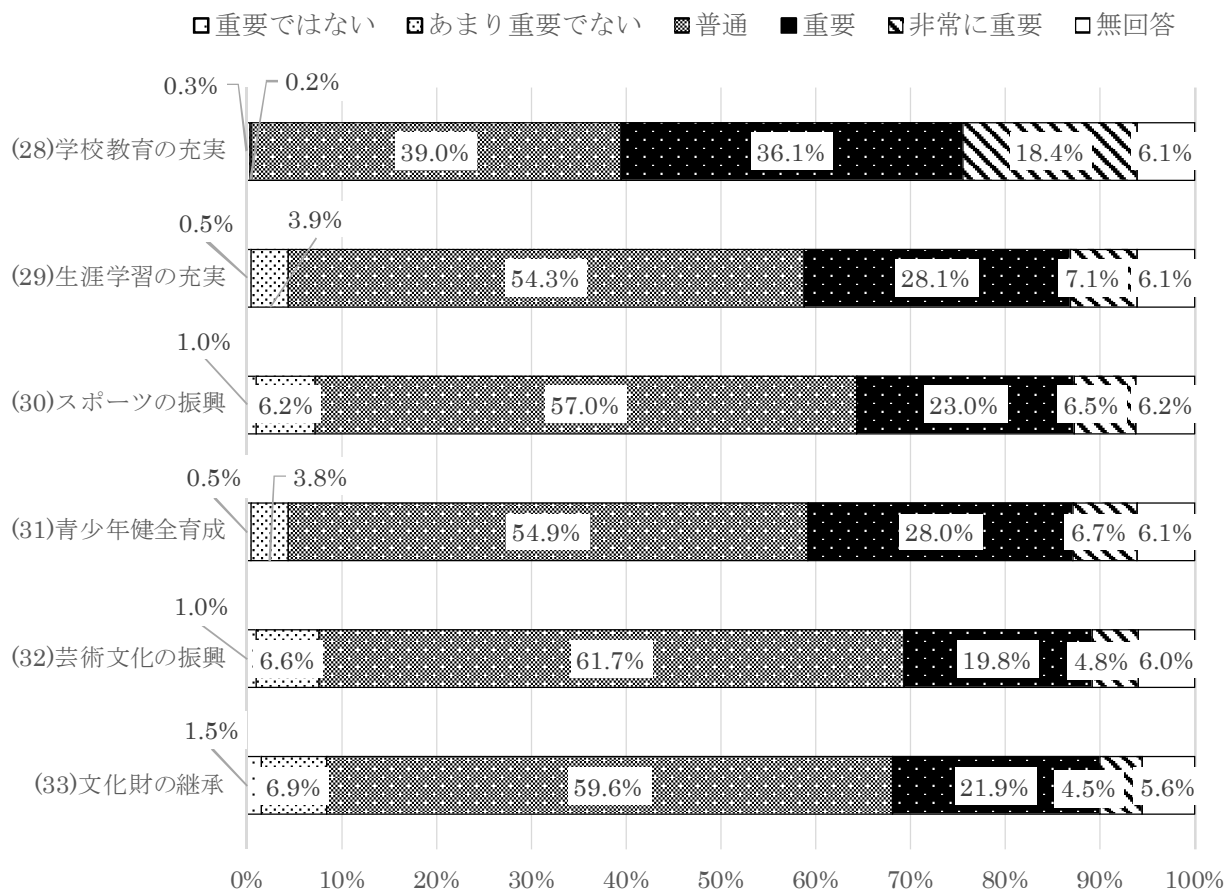
【経年比較—満足度】

状況	調査年度	N	評価					
			不満	やや不満	普通	やや満足	満足	無回答
(28)学校教育の充実	R4	1301	1.8	6.2	66.6	15.8	4.5	5.1
	R1	1372	1.2	6.4	69.0	13.5	3.4	6.6
	H28	1417	2.8	9.2	63.6	12.3	2.5	9.6
(29)生涯学習の充実	R4	1301	0.8	5.1	70.1	15.5	3.8	4.8
	R1	1372	0.4	4.7	69.8	14.2	4.7	6.3
	H28	1417	0.8	4.9	68.0	12.7	4.7	8.9
(30)スポーツの振興	R4	1301	1.2	6.4	75.9	8.9	2.2	5.3
	R1	1372	1.0	5.8	73.4	10.0	2.9	6.9
	H28	1417	1.9	5.7	69.3	10.4	3.4	9.2
(31)青少年健全育成	R4	1301	0.7	4.8	80.0	7.2	1.7	5.5
	R1	1372	0.5	3.4	78.3	8.5	2.3	7.1
	H28	1417	0.9	4.3	74.5	7.9	2.0	10.4
(32)芸術文化の振興	R4	1301	1.7	4.9	75.7	9.8	2.5	5.3
	R1	1372	0.7	5.7	73.6	9.4	3.6	6.9
	H28	1417	1.0	5.2	73.8	8.0	2.6	9.5
(33)文化財の継承	R4	1301	0.5	5.2	77.4	9.7	2.1	5.1
	R1	1372	0.5	3.1	76.7	9.1	3.9	6.8
	H28	1417	0.8	4.2	74.5	8.5	3.0	9.0

【重要度】

重要度について、令和元年度調査と比べると、“重要”は全ての項目で増加しており、『(28)学校教育の充実』は4.7ポイント増加しています。

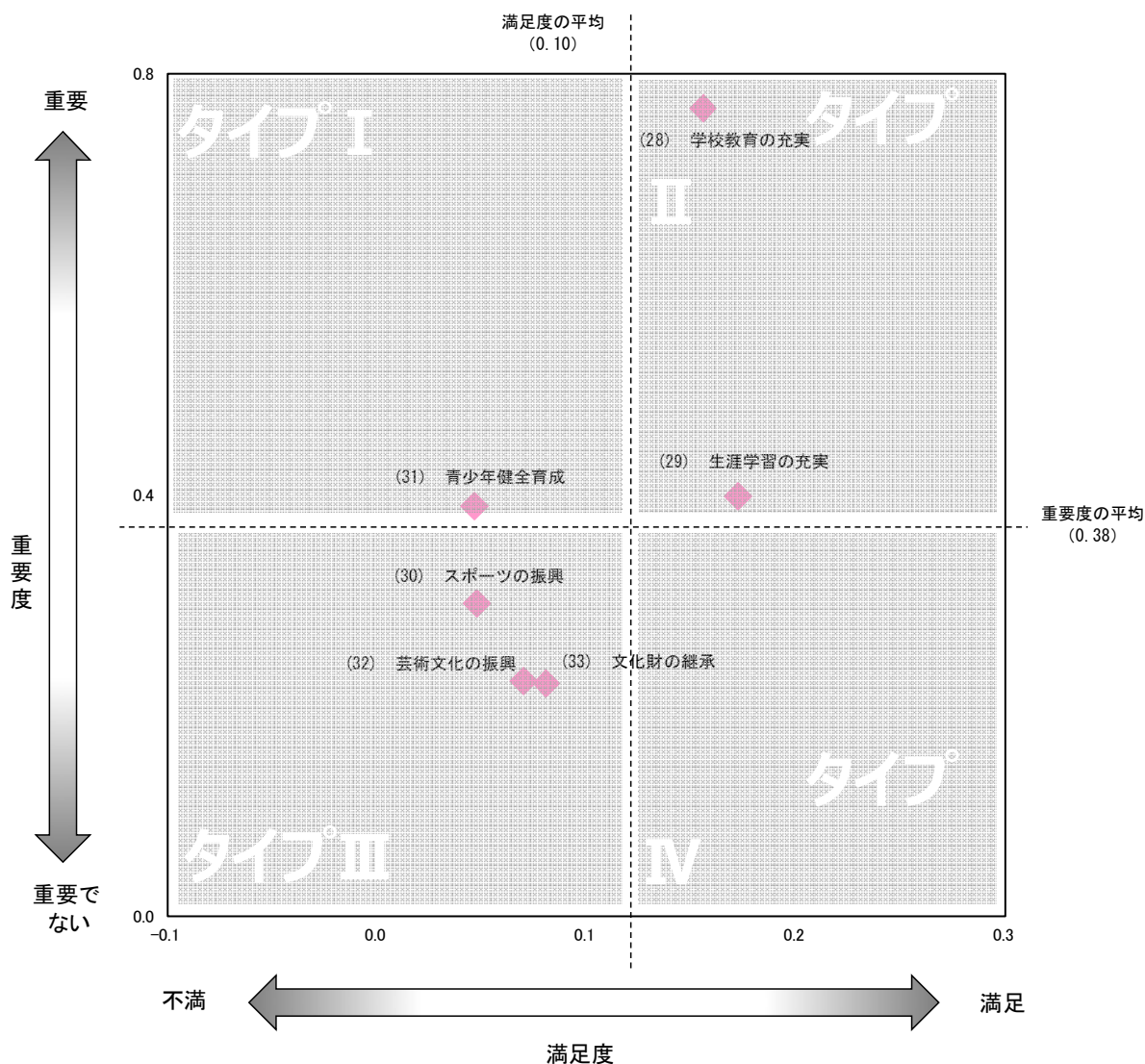
“重要ではない”は、『(28)学校教育の充実』を除く全ての項目で増加しています。



【経年比較—重要度】

状況	調査年度	N	評価					
			重要ではない	あまり重要ではない	普通	重要	非常に重要	無回答
(28)学校教育の充実	R4	1301	0.3	0.2	39.0	36.1	18.4	6.1
	R1	1372	0.4	1.2	39.8	34.3	15.5	8.7
	H28	1417	0.5	1.7	38.2	34.1	14.1	11.4
(29)生涯学習の充実	R4	1301	0.5	3.9	54.3	28.1	7.1	6.1
	R1	1372	0.6	2.8	53.9	27.9	6.0	8.7
	H28	1417	0.7	3.7	54.2	24.3	6.3	10.8
(30)スポーツの振興	R4	1301	1.0	6.2	57.0	23.0	6.5	6.2
	R1	1372	1.0	3.9	58.2	23.3	4.6	9.0
	H28	1417	1.4	5.3	54.2	22.2	5.6	11.3
(31)青少年健全育成	R4	1301	0.5	3.8	54.9	28.0	6.7	6.1
	R1	1372	0.8	2.3	56.3	25.1	6.3	9.3
	H28	1417	1.2	3.4	53.5	24.0	5.9	12.0
(32)芸術文化の振興	R4	1301	1.0	6.6	61.7	19.8	4.8	6.0
	R1	1372	1.1	4.4	61.3	19.8	4.0	9.3
	H28	1417	1.5	6.1	57.2	20.0	3.7	11.4
(33)文化財の継承	R4	1301	1.5	6.9	59.6	21.9	4.5	5.6
	R1	1372	1.7	5.0	59.0	20.8	4.5	9.0
	H28	1417	1.7	6.2	53.0	22.9	5.5	10.7

ポートフォリオ分析による教育文化分野の評価については、『(31) 青少年健全育成』が重要度が高いものの満足度が低く、改善が求められます。



施策	満足度				重要度			
	H25	H28	R1	R4	H25	H28	R1	R4
(28) 学校教育の充実	0.08	0.03	0.12	0.16	0.69	0.67	0.69	0.77
(29) 生涯学習の充実	0.16	0.17	0.20	0.17	0.38	0.36	0.39	0.40
(30) スポーツの振興	0.12	0.08	0.09	0.05	0.33	0.28	0.29	0.30
(31) 青少年健全育成	0.08	0.06	0.09	0.05	0.35	0.34	0.37	0.39
(32) 芸術文化の振興	0.08	0.07	0.10	0.07	0.19	0.21	0.23	0.22
(33) 文化財の継承	0.12	0.10	0.14	0.08	0.21	0.27	0.23	0.22

◆上図から分析判断できる最優先課題◆

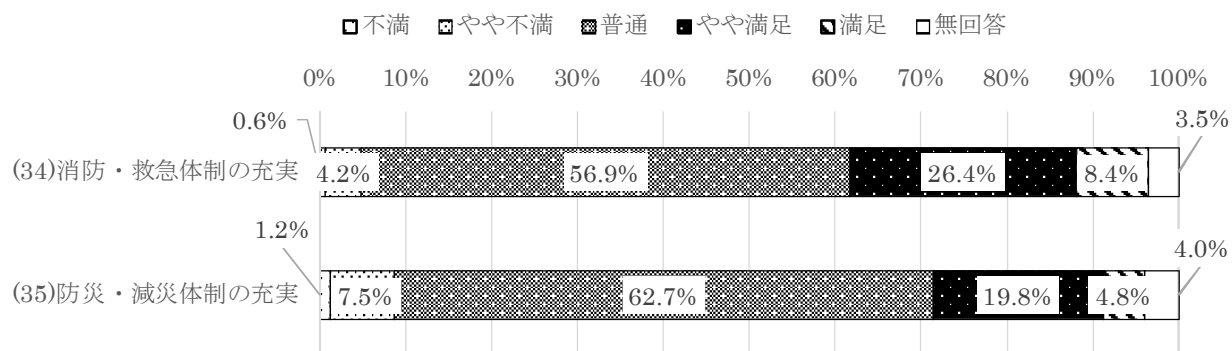
(31) 青少年健全育成

<消防防災分野>

【満足度】

満足度について、令和元年度調査と比べると、“満足”は『(34)消防・救急体制の充実』は5.8ポイント増加、『(35)防災・減災体制の充実』は3.7ポイント増加しています。

“不満”は、どちらの項目も減少しています。



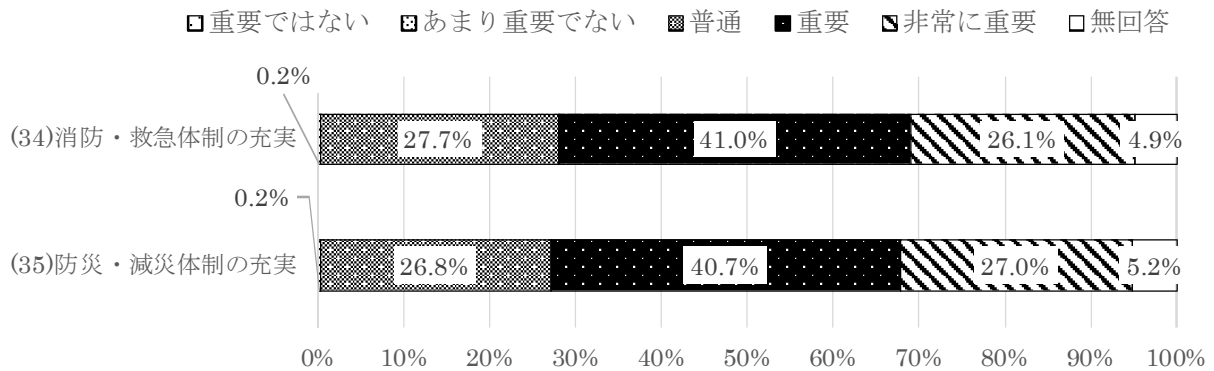
【経年比較—満足度】

状況	調査年度	N	評価					
			不満	やや不満	普通	やや満足	満足	無回答
(34)消防・救急体制の充実	R4	1301	0.6	4.2	56.9	26.4	8.4	3.5
	R1	1372	0.7	4.9	60.0	20.5	8.5	5.5
	H28	1417	0.8	4.9	57.0	23.2	6.8	7.3
(35)防災・減災体制の充実	R4	1301	1.2	7.5	62.7	19.8	4.8	4.0
	R1	1372	1.3	8.2	63.9	17.0	3.9	5.8
	H28	1417	1.8	6.8	61.5	17.6	4.4	7.8

【重要度】

重要度について、令和元年度調査と比べると、“重要”は、『(34)消防・救急体制の充実』は5.9ポイント増加、「(35)防災・減災体制の充実」は3.8ポイント増加しています。

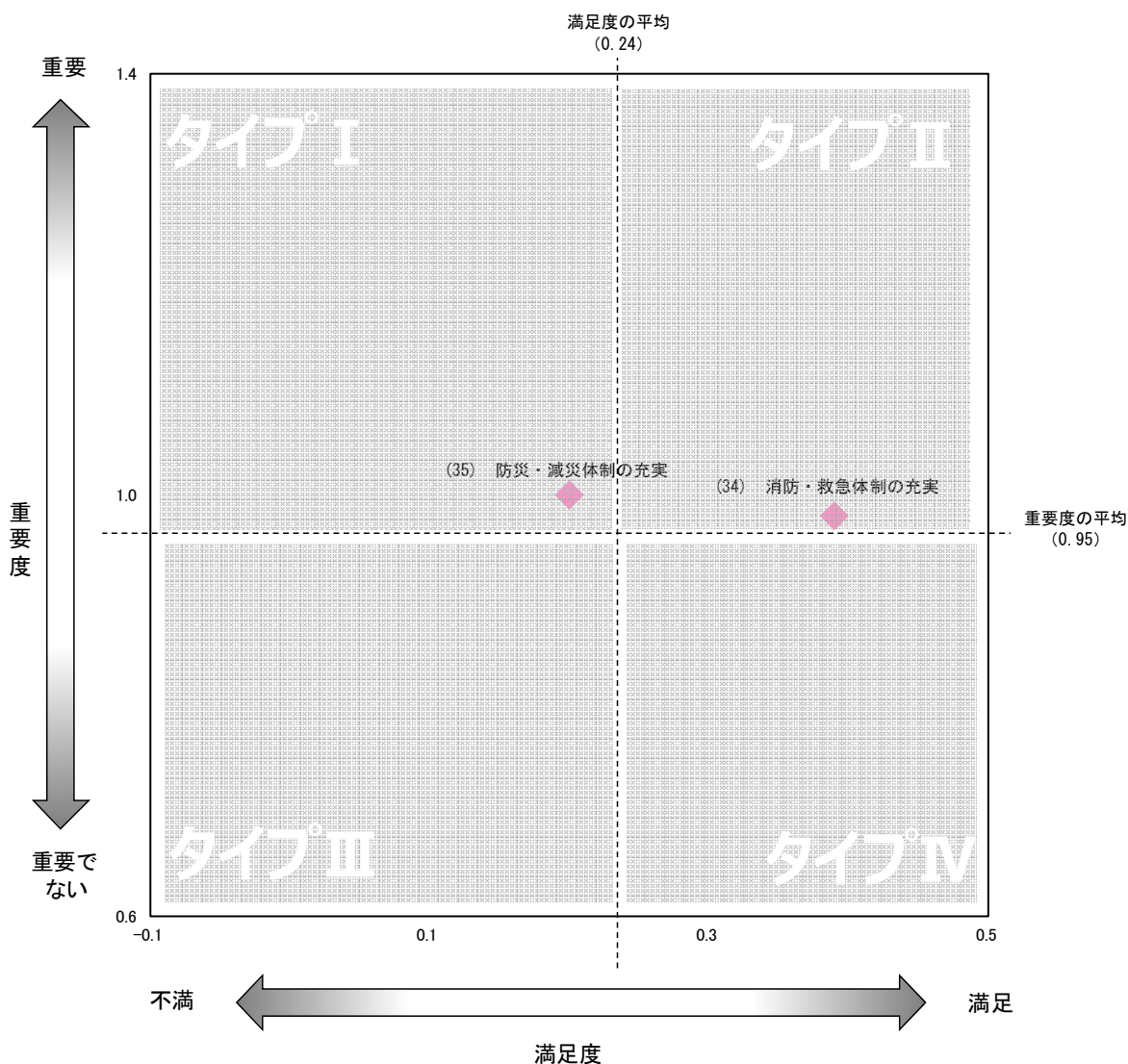
“重要ではない”は、どちらの項目も1ポイント未満の増減となっています。



【経年比較—重要度】

状況	調査年度	N	評価					
			重要ではない	あまり重要ではない	普通	重要	非常に重要	無回答
(34)消防・救急体制の充実	R4	1301	0.0	0.2	27.7	41.0	26.1	4.9
	R1	1372	0.3	0.6	30.2	38.0	23.2	7.7
	H28	1417	0.0	0.6	26.0	40.1	23.6	9.7
(35)防災・減災体制の充実	R4	1301	0.0	0.2	26.8	40.7	27.0	5.2
	R1	1372	0.2	0.4	27.3	35.8	28.1	8.1
	H28	1417	0.1	0.5	25.6	35.8	28.2	9.9

ポートフォリオ分析による消防防災分野の評価については、『(35)防災・減災体制の充実』が、重要度が高いものの満足度が低く、改善が求められます。



施策	満足度				重要度			
	H25	H28	R1	R4	H25	H28	R1	R4
(34) 消防・救急体制の充実	0.33	0.33	0.33	0.39	0.95	0.96	0.90	0.98
(35) 防災・減災体制の充実	0.14	0.17	0.15	0.20	1.02	1.01	0.99	1.00

◆上図から分析判断できる最優先課題◆

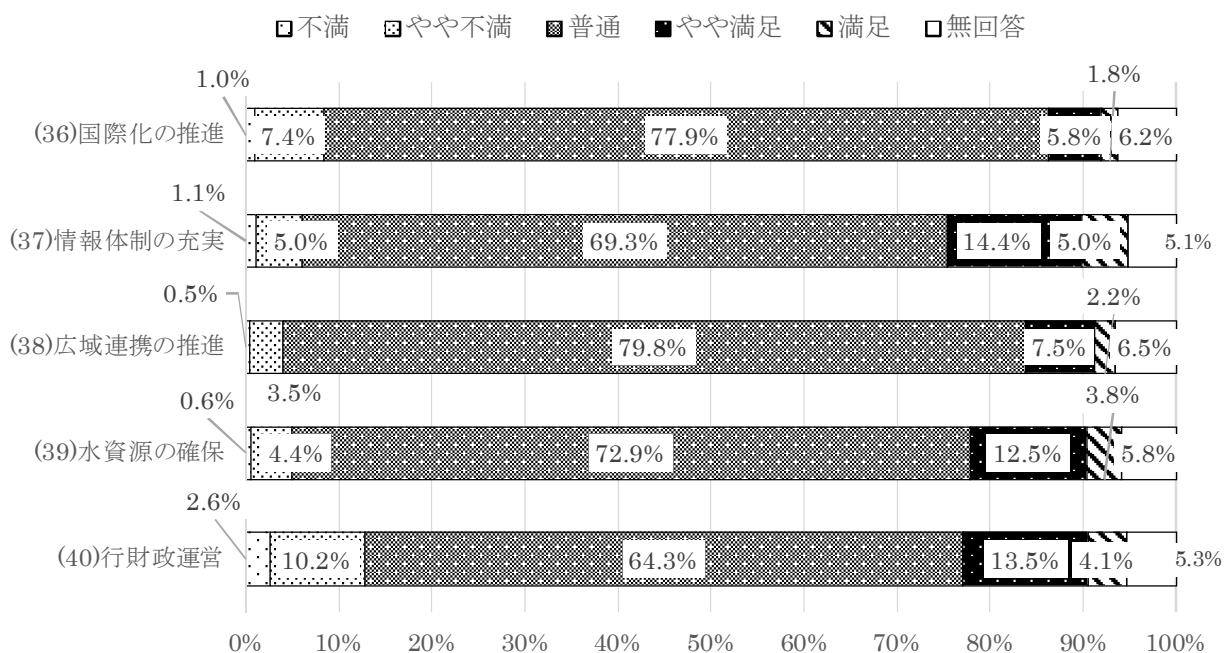
(35) 防災・減災体制の充実

<行財政分野>

【満足度】

満足度について、令和元年度調査と比べると、“満足”は『(36)国際化の推進』を除く全ての項目で増加しており、『(37)情報体制の充実』は7.8ポイント増加しています。

“不満”は、『(36)国際化の推進』『(40)行財政運営』で増加しており、『(36)国際化の推進』は3.5ポイント増加しています。



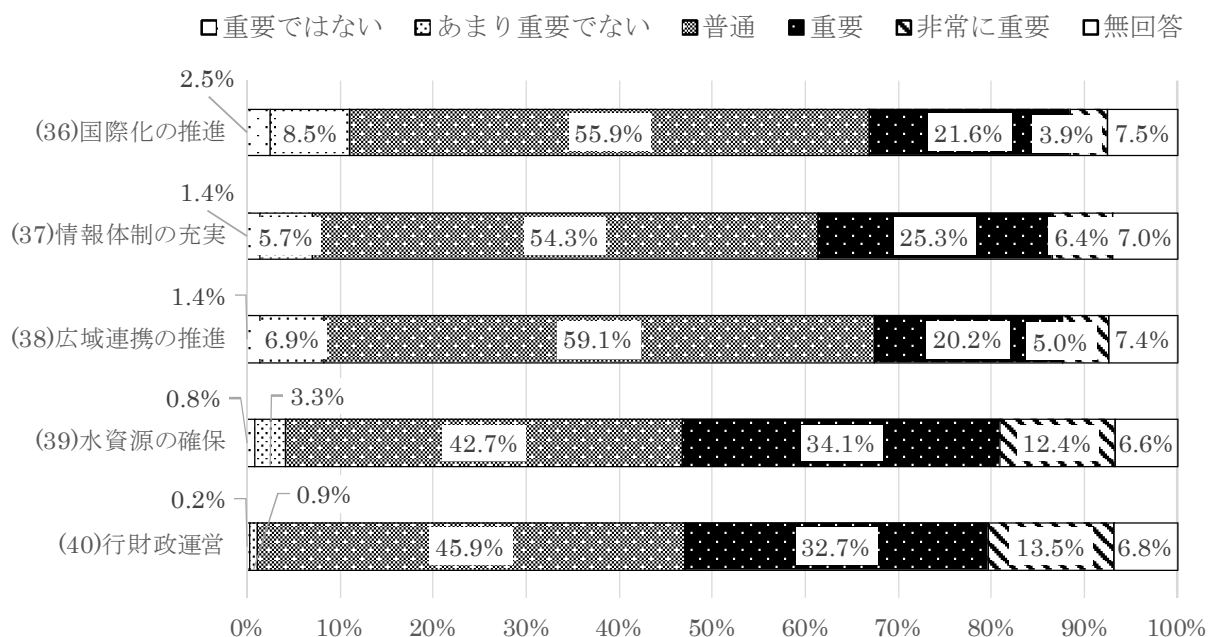
【経年比較—満足度】

状況	調査年度	N	評価					無回答
			不満	やや不満	普通	やや満足	満足	
(36)国際化の推進	R4	1301	1.0	7.4	77.9	5.8	1.8	6.2
	R1	1372	0.7	4.2	78.9	6.9	2.2	7.1
	H28	1417	1.1	3.7	75.7	6.9	2.2	10.5
(37)情報体制の充実	R4	1301	1.1	5.0	69.3	14.4	5.0	5.1
	R1	1372	0.5	5.9	75.1	8.9	2.7	6.9
	H28	1417	1.1	5.0	71.2	9.7	2.9	10.0
(38)広域連携の推進	R4	1301	0.5	3.5	79.8	7.5	2.2	6.5
	R1	1372	0.9	4.4	79.4	6.5	2.0	6.8
	H28	1417	1.3	3.6	76.1	7.0	1.6	10.4
(39)水資源の確保	R4	1301	0.6	4.4	72.9	12.5	3.8	5.8
	R1	1372	0.9	4.5	74.3	10.3	3.1	6.9
	H28	1417	0.6	3.8	72.2	10.8	2.3	10.4
(40)行財政運営	R4	1301	2.6	10.2	64.3	13.5	4.1	5.3
	R1	1372	2.5	9.3	67.9	10.0	3.9	6.4
	H28	1417	3.5	8.3	66.1	9.5	2.5	10.2

【重要度】

重要度について、令和元年度調査と比べると、“重要”は全ての項目で増加しており、『(37)情報体制の充実』は6.1ポイント増加、『(39)水資源の確保』は5.9ポイント増加しています。

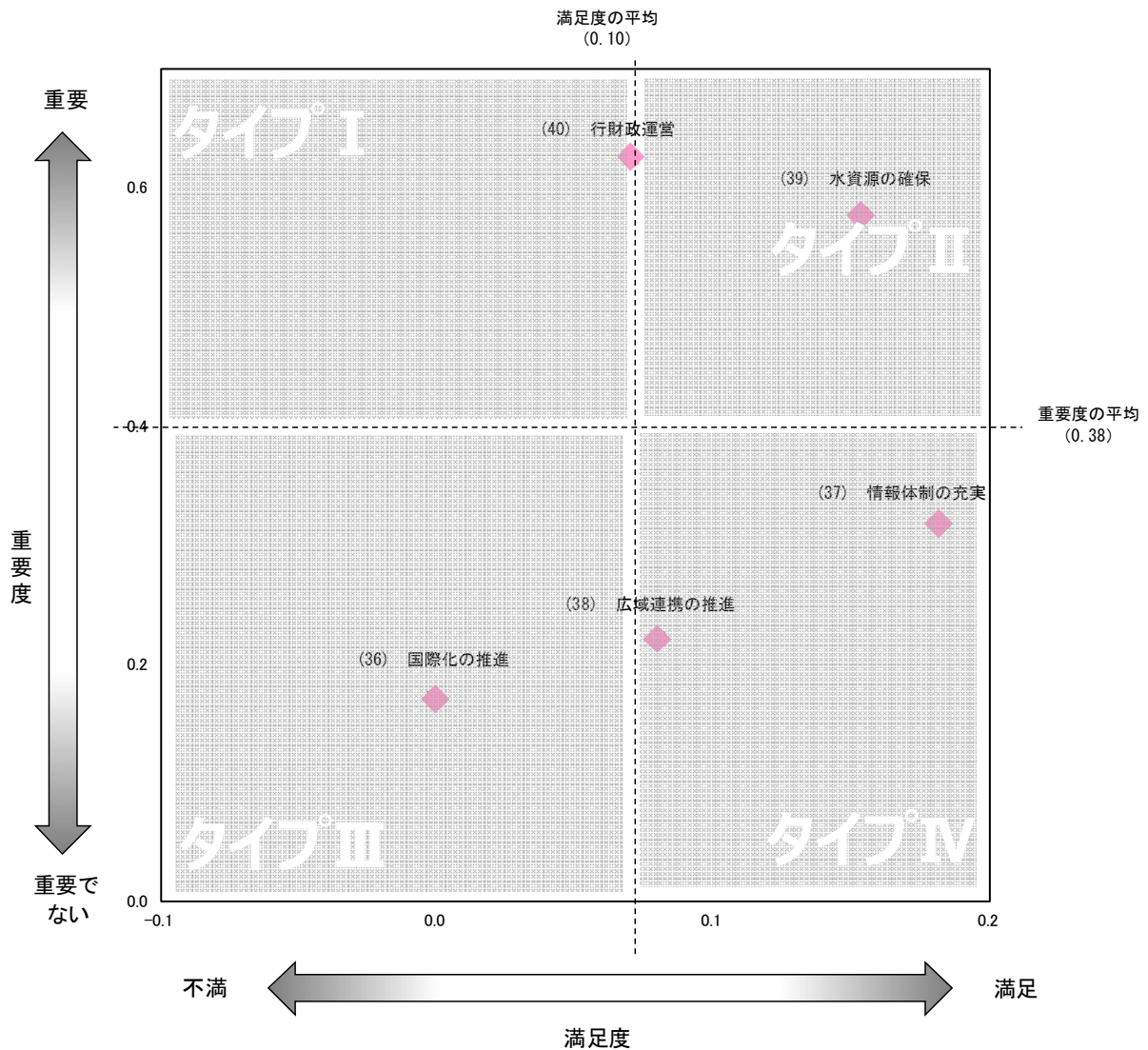
“重要ではない”は、『(40)行財政運営』を除く全ての項目で増加しています。



【経年比較—重要度】

状況	調査年度	N	評価					無回答
			重要ではない	あまり重要ではない	普通	重要	非常に重要	
(36)国際化の推進	R4	1301	2.5	8.5	55.9	21.6	3.9	7.5
	R1	1372	1.9	7.7	59.8	18.2	3.3	9.1
	H28	1417	2.8	9.9	55.3	17.0	2.7	12.4
(37)情報体制の充実	R4	1301	1.4	5.7	54.3	25.3	6.4	7.0
	R1	1372	0.8	4.3	60.5	21.9	3.7	8.8
	H28	1417	1.8	5.9	57.0	18.8	4.1	12.4
(38)広域連携の推進	R4	1301	1.4	6.9	59.1	20.2	5.0	7.4
	R1	1372	1.2	6.5	60.1	19.5	3.6	9.0
	H28	1417	2.3	6.6	55.8	19.0	4.0	12.4
(39)水資源の確保	R4	1301	0.8	3.3	42.7	34.1	12.4	6.6
	R1	1372	0.8	1.8	48.3	29.4	11.2	8.5
	H28	1417	1.3	3.8	46.3	27.2	9.2	12.2
(40)行財政運営	R4	1301	0.2	0.9	45.9	32.7	13.5	6.8
	R1	1372	0.4	0.9	49.2	30.0	10.9	8.7
	H28	1417	0.6	2.1	47.3	28.4	9.3	12.2

ポートフォリオ分析による行財政分野の評価については、『(40)行財政運営』が、重要度が最も高いものの満足度が低く、改善が求められます。



施策	満足度				重要度			
	H25	H28	R1	R4	H25	H28	R1	R4
(36) 国際化の推進	0.07	0.06	0.06	0.00	0.07	0.08	0.15	0.17
(37) 情報体制の充実	0.10	0.09	0.08	0.18	0.20	0.20	0.26	0.32
(38) 広域連携の推進	0.03	0.05	0.05	0.08	0.15	0.18	0.20	0.22
(39) 水資源の確保	0.08	0.12	0.11	0.15	0.40	0.44	0.53	0.58
(40) 行財政運営	0.00	-0.01	0.04	0.07	0.47	0.50	0.55	0.63

◆上図から分析判断できる最優先課題◆

(40) 行財政運営

問 12 問 11 の(1)～(40)の施策のうち、あなたが特に重要だと思う施策の番号を3つご記入ください。

「医療の充実」(33.4%)が最も高く、次いで「交通基盤の整備」(16.5%)、「高齢者福祉の充実」(16.1%)となっています。

令和元年度調査と比べると、「農業の振興」「地域・住環境の整備」が3ポイント以上増加しています。

単位：%				単位：%			
項目	平成28年度調査 (N=1417)	令和元年度調査 (N=1372)	令和4年度調査 (N=1301)	項目	平成28年度調査 (N=1417)	令和元年度調査 (N=1372)	令和4年度調査 (N=1301)
参加と協働の推進	2.0	1.6	1.9	港湾・河川・海岸の整備	3.0	1.9	2.7
地域防犯・交通安全の推進	15.0	11.5	10.8	市街地の整備	2.5	3.6	3.8
環境共生まちづくり	2.3	2.0	4.6	地域・住環境の整備	2.8	2.3	6.1
環境保全の推進	7.0	6.0	6.0	上下水道の整備	2.3	2.0	3.3
衛生対策の推進	2.3	1.9	1.5	自然環境の保全	3.5	3.9	3.7
資源循環の推進	5.9	8.1	8.4	緑と景観の保全	1.6	1.5	2.0
健康づくりの推進	5.9	5.6	6.9	学校教育の充実	11.9	13.0	11.1
医療の充実	39.4	43.0	33.4	生涯学習の充実	1.8	2.0	1.0
地域福祉の充実	3.4	2.7	3.8	スポーツの振興	2.0	1.7	2.2
児童福祉の充実	7.6	8.7	9.8	青少年健全育成	0.8	1.5	0.4
障がい者福祉の充実	4.7	3.1	4.5	芸術文化の振興	0.4	0.7	0.4
高齢者福祉の充実	19.1	20.1	16.1	文化財の継承	0.8	0.7	0.4
社会保障の充実	4.7	4.3	5.5	消防・救急体制の充実	9.7	9.1	8.9
農業の振興	7.8	8.7	11.8	防災・減災体制の充実	17.1	18.1	14.5
水産業の振興	2.0	1.7	2.0	国際化の推進	1.1	0.9	0.8
工業の振興	2.2	2.5	3.2	情報体制の充実	0.4	0.7	0.5
商業の振興	3.6	2.6	3.2	広域連携の推進	1.1	1.1	0.6
観光の振興	7.4	7.4	8.6	水資源の確保	4.2	4.4	5.2
労働環境・消費生活の充実	3.7	3.0	3.1	行財政運営	5.4	6.3	8.2
交通基盤の整備	15.9	19.2	16.5	無回答	17.4	14.2	1.7
公共交通の整備	12.1	16.4	12.5				

【性別】

性別でみると、《男性》《女性》ともに「医療の充実」が最も高く、次いで、《男性》では「交通基盤の整備」、《女性》では「高齢者福祉の充実」が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答件数 (件)	参加と協働の推進	地域防犯・交通安全の推進	環境共生まちづくり	環境保全の推進	衛生対策の推進	資源循環の推進	健康づくりの推進	医療の充実	地域福祉の充実	児童福祉の充実	障がい者福祉の充実	高齢者福祉の充実	社会保障の充実
男性	797	2.1%	11.5%	4.1%	6.8%	1.3%	8.4%	5.4%	31.1%	3.6%	9.2%	4.6%	16.3%	5.5%
女性	482	1.7%	9.5%	5.4%	4.8%	2.1%	8.5%	9.5%	38.2%	4.1%	11.2%	4.4%	15.8%	5.4%

区分	農業の振興	水産業の振興	工業の振興	商業の振興	観光の振興	労働環境・消費生活の充実	交通基盤の整備	公共交通の整備	港湾・河川・海岸の整備	市街地の整備	地域・住環境の整備	上下水道の整備	自然環境の保全	緑と景観の保全
男性	12.3%	1.9%	4.0%	3.8%	9.5%	2.9%	21.2%	12.0%	3.0%	4.9%	5.4%	3.5%	3.6%	1.8%
女性	11.0%	2.3%	1.7%	2.1%	7.3%	3.5%	9.3%	13.3%	1.9%	2.3%	7.3%	3.1%	3.9%	2.3%

区分	学校教育の充実	生涯学習の充実	スポーツの振興	青少年健全育成	芸術文化の振興	文化財の継承	消防・救急体制の充実	防災・減災体制の充実	国際化の推進	情報体制の充実	広域連携の推進	水資源の確保	行財政運営	無回答
男性	10.7%	0.9%	2.5%	0.6%	0.3%	0.4%	9.0%	14.3%	1.0%	0.8%	0.6%	6.1%	8.4%	13.6%
女性	12.2%	1.2%	1.9%	0.0%	0.4%	0.4%	9.1%	15.1%	0.4%	0.0%	0.4%	3.9%	8.1%	16.6%

【年齢別】

年齢別でみると、《18歳、19歳》を除く全ての年代で「医療の充実」が最も高くなっています。

「高齢者福祉の充実」は50歳代以上で、「公共交通の整備」は30歳代以下で、それぞれ比較的高くなっています。

単位：%

区分	有効回答件数 (件)	参加と協働の推進	地域防犯・交通安全の推進	環境共生まちづくり	環境保全の推進	衛生対策の推進	資源循環の推進	健康づくりの推進	医療の充実	地域福祉の充実	児童福祉の充実	障がい者福祉の充実	高齢者福祉の充実	社会保障の充実
18歳、19歳	5	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%
20歳代	63	3.2%	9.5%	11.1%	7.9%	0.0%	6.3%	12.7%	28.6%	4.8%	15.9%	4.8%	7.9%	1.6%
30歳代	105	2.9%	18.1%	5.7%	4.8%	1.0%	6.7%	8.6%	40.0%	1.0%	22.9%	8.6%	9.5%	4.8%
40歳代	163	2.5%	13.5%	3.1%	8.0%	1.2%	8.0%	6.1%	50.9%	3.7%	16.6%	4.9%	14.1%	7.4%
50歳代	157	3.2%	12.1%	8.3%	5.7%	3.2%	8.3%	3.8%	36.3%	3.2%	8.9%	6.4%	20.4%	5.1%
60歳代	298	2.0%	11.7%	3.7%	6.0%	1.3%	7.7%	5.7%	34.6%	4.4%	7.4%	3.0%	15.4%	6.7%
70歳以上	496	1.0%	7.5%	3.6%	5.6%	1.6%	9.1%	7.9%	25.6%	4.2%	5.8%	3.8%	18.3%	4.6%

区分	農業の振興	水産業の振興	工業の振興	商業の振興	観光の振興	労働環境・消費生活の充実	交通基盤の整備	公共交通の整備	港湾・河川・海岸の整備	市街地の整備	地域・住環境の整備	上下水道の整備	自然環境の保全	緑と景観の保全
18歳、19歳	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%
20歳代	6.3%	6.3%	6.3%	11.1%	22.2%	12.7%	15.9%	20.6%	1.6%	15.9%	4.8%	0.0%	4.8%	3.2%
30歳代	8.6%	2.9%	3.8%	3.8%	11.4%	4.8%	15.2%	20.0%	1.9%	2.9%	4.8%	1.9%	3.8%	2.9%
40歳代	12.9%	2.5%	3.7%	3.1%	9.8%	4.9%	15.3%	17.2%	0.6%	6.7%	5.5%	3.1%	3.7%	2.5%
50歳代	10.8%	1.9%	3.2%	3.2%	13.4%	3.8%	21.0%	15.3%	2.5%	5.1%	8.9%	1.3%	2.5%	1.3%
60歳代	11.7%	1.0%	2.3%	3.4%	7.4%	2.7%	22.8%	8.1%	2.0%	3.0%	6.0%	4.4%	2.7%	2.3%
70歳以上	12.9%	1.8%	2.6%	1.8%	5.0%	1.0%	12.1%	10.3%	3.8%	1.8%	6.0%	4.2%	4.4%	1.4%

区分	学校教育の充実	生涯学習の充実	スポーツの振興	青少年健全育成	芸術文化の振興	文化財の継承	消防・救急体制の充実	防災・減災体制の充実	国際化の推進	情報体制の充実	広域連携の推進	水資源の確保	行財政運営	無回答
18歳、19歳	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	60.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20歳代	12.7%	1.6%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	3.2%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	3.2%	3.2%
30歳代	20.0%	1.0%	6.7%	0.0%	0.0%	1.0%	7.6%	13.3%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%	5.7%
40歳代	17.8%	0.6%	3.7%	0.0%	0.0%	0.0%	4.9%	16.6%	1.2%	0.6%	0.0%	3.7%	6.7%	2.5%
50歳代	10.8%	1.9%	0.6%	0.0%	0.6%	1.3%	12.1%	15.9%	0.0%	0.6%	0.6%	2.5%	8.9%	5.7%
60歳代	9.4%	1.3%	1.7%	0.3%	0.3%	0.0%	14.4%	19.1%	1.0%	0.7%	1.0%	7.0%	12.8%	12.8%
70歳以上	8.3%	0.6%	1.2%	0.8%	0.6%	0.4%	6.7%	11.5%	1.0%	0.2%	0.4%	7.3%	8.3%	27.4%

【地区別】

地区別でみると、《伊良湖岬（伊良湖）》《中山》を除く全ての地区で「医療の充実」が最も高く、《伊良湖岬（伊良湖）》では「農業の振興」、《中山》では「交通基盤の整備」が最も高くなっています。

単位：％

区分	有効回答件数 (件)	参加と協働の 推進	地域防犯・交通 安全の推進	環境共生ま ちづくり	環境保 全の推進	衛 生 対 策 の 推 進	資 源 循 環 の 推 進	健 康 づ く り の 推 進	医 療 の 充 実	地 域 福 祉 の 充 実	児 童 福 祉 の 充 実	障 が い 者 福 祉 の 充 実	高 齢 者 福 祉 の 充 実	社 会 保 障 の 充 実
六連	34	0.0%	8.8%	5.9%	11.8%	0.0%	5.9%	2.9%	26.5%	2.9%	11.8%	2.9%	23.5%	2.9%
神戸	129	0.8%	7.8%	9.3%	7.0%	3.9%	13.2%	5.4%	36.4%	4.7%	10.1%	7.0%	23.3%	5.4%
大草	29	3.4%	10.3%	6.9%	10.3%	0.0%	10.3%	13.8%	27.6%	3.4%	6.9%	0.0%	17.2%	3.4%
田原東部	94	0.0%	12.8%	6.4%	9.6%	0.0%	6.4%	9.6%	34.0%	6.4%	8.5%	5.3%	20.2%	4.3%
田原南部	36	2.8%	8.3%	2.8%	5.6%	0.0%	2.8%	0.0%	38.9%	0.0%	13.9%	8.3%	5.6%	8.3%
董浦	118	5.1%	12.7%	3.4%	5.1%	4.2%	11.0%	7.6%	41.5%	3.4%	10.2%	4.2%	12.7%	5.1%
田原中部	139	2.2%	15.1%	5.8%	5.0%	0.7%	9.4%	7.9%	41.0%	1.4%	15.8%	2.9%	18.7%	5.8%
衣笠	110	2.7%	13.6%	3.6%	6.4%	0.9%	10.9%	6.4%	37.3%	7.3%	14.5%	3.6%	17.3%	8.2%
野田	95	1.1%	9.5%	5.3%	1.1%	0.0%	8.4%	8.4%	34.7%	3.2%	9.5%	2.1%	12.6%	5.3%
高松	28	0.0%	10.7%	3.6%	3.6%	0.0%	3.6%	10.7%	25.0%	0.0%	7.1%	3.6%	7.1%	14.3%
赤羽根	43	4.7%	16.3%	2.3%	9.3%	0.0%	4.7%	9.3%	39.5%	4.7%	4.7%	4.7%	23.3%	4.7%
若戸	36	2.8%	8.3%	2.8%	2.8%	0.0%	2.8%	2.8%	30.6%	2.8%	8.3%	0.0%	5.6%	0.0%
伊良湖岬（和地）	23	0.0%	8.7%	4.3%	8.7%	0.0%	17.4%	8.7%	34.8%	4.3%	4.3%	0.0%	17.4%	0.0%
伊良湖岬（堀切）	44	2.3%	2.3%	0.0%	4.5%	0.0%	11.4%	9.1%	22.7%	2.3%	9.1%	0.0%	6.8%	4.5%
伊良湖岬（伊良湖）	12	0.0%	16.7%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	8.3%	8.3%	25.0%	0.0%
亀山	17	5.9%	5.9%	0.0%	11.8%	0.0%	5.9%	5.9%	29.4%	5.9%	11.8%	5.9%	29.4%	5.9%
中山	78	0.0%	9.0%	3.8%	5.1%	1.3%	1.3%	2.6%	24.4%	5.1%	5.1%	6.4%	12.8%	5.1%
福江	88	0.0%	10.2%	1.1%	5.7%	1.1%	10.2%	4.5%	27.3%	5.7%	6.8%	6.8%	20.5%	9.1%
清田	40	0.0%	5.0%	2.5%	10.0%	0.0%	2.5%	5.0%	32.5%	0.0%	7.5%	5.0%	12.5%	5.0%
泉	65	3.1%	9.2%	1.5%	3.1%	6.2%	7.7%	10.8%	29.2%	3.1%	12.3%	6.2%	10.8%	4.6%

単位：%

区分	有効回答件数 (件)	農業の振興	水産業の振興	工業の振興	商業の振興	観光の振興	労働環境・消費生活の充実	交通基盤の整備	公共交通の整備	港湾・河川・海岸の整備	市街地の整備	地域・住環境の整備	上下水道の整備	自然環境の保全	緑と景観の保全
六連	34	14.7%	5.9%	2.9%	0.0%	8.8%	5.9%	26.5%	2.9%	0.0%	0.0%	11.8%	0.0%	5.9%	0.0%
神戸	129	10.9%	0.8%	2.3%	2.3%	5.4%	2.3%	13.2%	7.8%	2.3%	6.2%	6.2%	2.3%	4.7%	4.7%
大草	29	10.3%	0.0%	0.0%	0.0%	3.4%	0.0%	27.6%	13.8%	6.9%	0.0%	6.9%	13.8%	6.9%	0.0%
田原東部	94	6.4%	1.1%	3.2%	4.3%	7.4%	4.3%	16.0%	11.7%	5.3%	1.1%	5.3%	1.1%	3.2%	1.1%
田原南部	36	19.4%	0.0%	2.8%	0.0%	13.9%	2.8%	19.4%	22.2%	0.0%	0.0%	13.9%	2.8%	0.0%	2.8%
童浦	118	6.8%	1.7%	3.4%	1.7%	7.6%	3.4%	21.2%	13.6%	2.5%	2.5%	5.9%	3.4%	3.4%	1.7%
田原中部	139	7.9%	2.2%	2.9%	5.0%	7.9%	2.2%	11.5%	11.5%	2.2%	3.6%	2.2%	2.9%	4.3%	2.2%
衣笠	110	10.0%	2.7%	5.5%	2.7%	9.1%	4.5%	11.8%	7.3%	3.6%	8.2%	6.4%	1.8%	3.6%	4.5%
野田	95	13.7%	2.1%	2.1%	1.1%	9.5%	2.1%	17.9%	10.5%	4.2%	1.1%	7.4%	1.1%	1.1%	1.1%
高松	28	10.7%	0.0%	0.0%	0.0%	3.6%	0.0%	21.4%	14.3%	0.0%	3.6%	14.3%	3.6%	10.7%	3.6%
赤羽根	43	18.6%	0.0%	2.3%	0.0%	4.7%	4.7%	14.0%	20.9%	0.0%	0.0%	7.0%	4.7%	0.0%	0.0%
若戸	36	8.3%	2.8%	11.1%	0.0%	0.0%	5.6%	25.0%	30.6%	0.0%	0.0%	8.3%	5.6%	2.8%	2.8%
伊良湖岬(和地)	23	13.0%	4.3%	0.0%	0.0%	13.0%	4.3%	13.0%	21.7%	0.0%	8.7%	4.3%	0.0%	0.0%	4.3%
伊良湖岬(堀切)	44	15.9%	0.0%	4.5%	9.1%	6.8%	6.8%	11.4%	15.9%	0.0%	4.5%	6.8%	9.1%	4.5%	0.0%
伊良湖岬(伊良湖)	12	41.7%	0.0%	8.3%	0.0%	16.7%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	8.3%	0.0%	0.0%
亀山	17	23.5%	0.0%	0.0%	5.9%	11.8%	0.0%	29.4%	17.6%	5.9%	11.8%	5.9%	5.9%	0.0%	0.0%
中山	78	21.8%	2.6%	2.6%	5.1%	10.3%	3.8%	25.6%	11.5%	1.3%	9.0%	9.0%	2.6%	3.8%	2.6%
福江	88	10.2%	4.5%	3.4%	3.4%	18.2%	1.1%	11.4%	9.1%	2.3%	6.8%	2.3%	3.4%	3.4%	1.1%
清田	40	5.0%	5.0%	0.0%	7.5%	15.0%	2.5%	17.5%	22.5%	2.5%	0.0%	7.5%	5.0%	7.5%	0.0%
泉	65	18.5%	1.5%	1.5%	1.5%	3.1%	0.0%	12.3%	7.7%	7.7%	0.0%	3.1%	7.7%	4.6%	0.0%

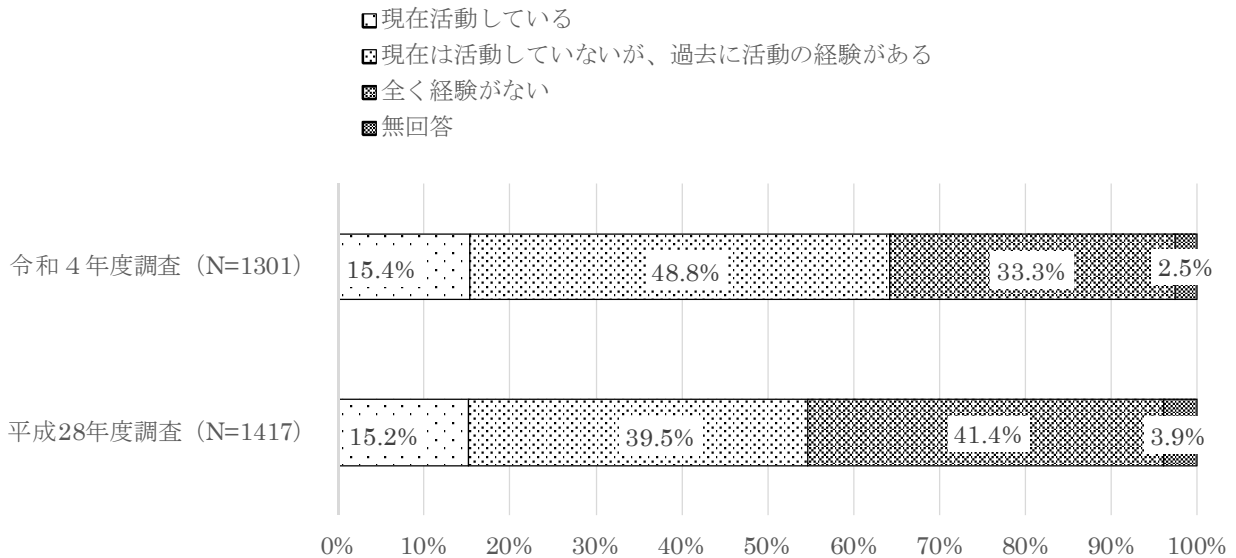
単位：%

区分	有効回答件数 (件)	学校教育の充実	生涯学習の充実	スポーツの振興	青少年健全育成	芸術文化の振興	文化財の継承	消防・救急体制の充実	防災・減災体制の充実	国際化の推進	情報体制の充実	広域連携の推進	水資源の確保	行財政運営	無回答
六連	34	11.8%	2.9%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	14.7%	17.6%	0.0%	0.0%	5.9%	2.9%	2.9%	14.7%
神戸	129	10.1%	1.6%	4.7%	0.0%	0.8%	0.0%	10.1%	14.7%	0.8%	0.8%	0.8%	1.6%	9.3%	11.6%
大草	29	10.3%	0.0%	0.0%	3.4%	0.0%	0.0%	17.2%	24.1%	0.0%	0.0%	0.0%	10.3%	6.9%	6.9%
田原東部	94	12.8%	1.1%	2.1%	0.0%	0.0%	0.0%	7.4%	21.3%	1.1%	0.0%	0.0%	5.3%	9.6%	13.8%
田原南部	36	19.4%	0.0%	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%	2.8%	19.4%	2.8%	0.0%	0.0%	2.8%	11.1%	13.9%
童浦	118	10.2%	0.0%	5.1%	0.0%	0.0%	0.0%	11.0%	13.6%	0.8%	0.0%	0.0%	1.7%	10.2%	12.7%
田原中部	139	15.1%	2.2%	1.4%	1.4%	0.0%	1.4%	7.2%	12.2%	0.7%	0.7%	0.7%	2.9%	8.6%	12.9%
衣笠	110	10.9%	0.9%	1.8%	0.0%	1.8%	0.0%	6.4%	19.1%	0.9%	0.0%	0.9%	8.2%	5.5%	8.2%
野田	95	13.7%	1.1%	0.0%	0.0%	1.1%	1.1%	8.4%	16.8%	0.0%	0.0%	1.1%	3.2%	10.5%	21.1%
高松	28	14.3%	0.0%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%	3.6%	17.9%	3.6%	0.0%	0.0%	10.7%	21.4%	14.3%
赤羽根	43	16.3%	4.7%	2.3%	2.3%	0.0%	2.3%	14.0%	11.6%	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%	2.3%	11.6%
若戸	36	8.3%	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	2.8%	11.1%	0.0%	2.8%	2.8%	8.3%	5.6%	27.8%
伊良湖岬(和地)	23	8.7%	0.0%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	13.0%	8.7%	0.0%	4.3%	0.0%	8.7%	17.4%	8.7%
伊良湖岬(堀切)	44	6.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	15.9%	15.9%	0.0%	0.0%	0.0%	13.6%	6.8%	20.5%
伊良湖岬(伊良湖)	12	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	16.7%
亀山	17	0.0%	0.0%	11.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%	11.8%
中山	78	7.7%	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	9.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.3%	3.8%	21.8%
福江	88	4.5%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.4%	17.0%	2.3%	1.1%	0.0%	5.7%	9.1%	18.2%
清田	40	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.5%	0.0%	10.0%	7.5%	0.0%	0.0%	0.0%	7.5%	7.5%	22.5%
泉	65	13.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%	6.2%	9.2%	1.5%	1.5%	0.0%	7.7%	12.3%	21.5%

5. 市民活動への参画について

問 13 あなたは、今までに地域活動やボランティア活動の経験がありますか。
(あてはまるもの1つに○)

「現在活動している」「現在は活動していないが、過去に活動の経験がある」を合わせた“活動の経験がある”(以下同じ)の割合は64.2%となっています。



【性別】

性別でみると、《男性》で“活動の経験がある”割合が高く、7割を超えています。

単位：%

区分	有効回答件数 (件)	現在活動している	現在は活動していないが、 過去に活動の経験がある	全く経験がない	無回答
男性	797	19.2%	52.9%	26.0%	1.9%
女性	482	8.7%	43.4%	45.0%	2.9%

【年齢別】

年齢別でみると、《18歳、19歳》《60歳代》で“活動の経験がある”割合が高く、7割を超えています。

単位：％

区分	有効回答件数 (件)	現在活動している	現在は活動していないが、 過去に活動の経験がある	全く経験がない	無回答
18歳、19歳	5	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
20歳代	63	3.2%	61.9%	33.3%	1.6%
30歳代	105	16.2%	35.2%	47.6%	1.0%
40歳代	163	17.8%	42.3%	39.9%	0.0%
50歳代	157	15.3%	52.2%	32.5%	0.0%
60歳代	298	24.2%	50.7%	24.2%	1.0%
70歳以上	496	10.9%	49.8%	33.9%	5.4%

【地区別】

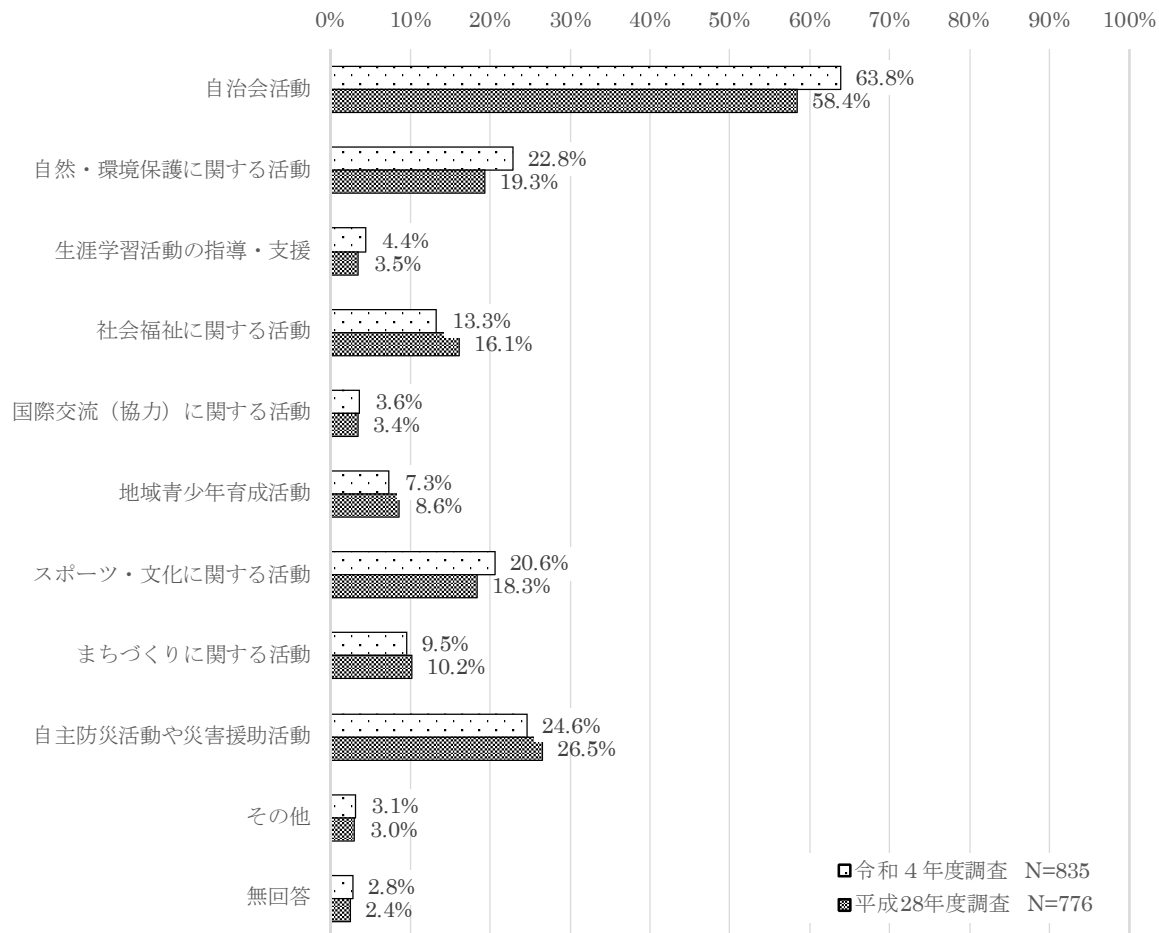
地区別でみると、《六連》《伊良湖岬（伊良湖）》で“活動の経験がある”割合が高く、8割を超えています。

単位：％

区分	有効回答件数 (件)	現在活動している	現在は活動していないが、 過去に活動の経験がある	全く経験がない	無回答
六連	34	8.8%	73.5%	17.6%	0.0%
神戸	129	14.7%	42.6%	41.1%	1.6%
大草	29	13.8%	58.6%	24.1%	3.4%
田原東部	94	16.0%	48.9%	34.0%	1.1%
田原南部	36	19.4%	50.0%	27.8%	2.8%
童浦	118	15.3%	50.0%	33.1%	1.7%
田原中部	139	20.9%	45.3%	32.4%	1.4%
衣笠	110	24.5%	46.4%	28.2%	0.9%
野田	95	16.8%	55.8%	24.2%	3.2%
高松	28	10.7%	53.6%	35.7%	0.0%
赤羽根	43	23.3%	44.2%	30.2%	2.3%
若戸	36	16.7%	27.8%	52.8%	2.8%
伊良湖岬（和地）	23	17.4%	60.9%	21.7%	0.0%
伊良湖岬（堀切）	44	9.1%	36.4%	47.7%	6.8%
伊良湖岬（伊良湖）	12	16.7%	66.7%	16.7%	0.0%
亀山	17	23.5%	41.2%	35.3%	0.0%
中山	78	9.0%	46.2%	39.7%	5.1%
福江	88	12.5%	50.0%	33.0%	4.5%
清田	40	12.5%	47.5%	30.0%	10.0%
泉	65	4.6%	64.6%	29.2%	1.5%

問 14 問 13 で「1 現在活動している」「2 現在は活動していないが、過去に活動の経験がある」を選んだ方にお聞きします。どのような活動を行っています(いました)か。(あてはまるもの全てに○)

「自治会活動」(63.8%)の割合が最も高く、次いで「自主防災活動や災害援助活動」(24.6%)が高くなっています。



【性別】

性別で見ると、《男性》《女性》ともに「自治会活動」が最も高く、次いで、「自然・環境保護に関する活動」が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答件数(件)	自治会活動	自然・環境保護に関する活動	生涯学習活動の指導・支援	社会福祉に関する活動	国際交流(協力)に関する活動	地域青少年育成活動	スポーツ・文化に関する活動	まちづくりに関する活動	自主防災活動や災害援助活動	その他	無回答
男性	575	74.3%	23.5%	2.1%	7.8%	2.4%	5.0%	19.7%	6.3%	19.1%	2.4%	2.8%
女性	251	40.2%	20.7%	6.8%	19.5%	4.8%	6.0%	12.4%	8.0%	10.4%	3.6%	2.4%

【年齢別】

年齢別でみると、20歳代以下で「自然・環境保護に関する活動」が最も高く、40歳代以上で「自治会活動」が最も高くなっています。30歳代では、「自治会活動」と「自然・環境保護に関する活動」が最も高くなっています。

単位：％

区分	有効回答件数 (件)	自治会活動	自然・環境保護に関する活動	生涯学習活動の指導・支援	社会福祉に関する活動	国際交流(協力)に関する活動	地域青少年育成活動	スポーツ・文化に関する活動	まちづくりに関する活動	自主防災活動や災害援助活動	その他	無回答
18歳、19歳	5	20.0%	40.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20歳代	41	22.0%	51.2%	0.0%	14.6%	0.0%	2.4%	14.6%	4.9%	12.2%	2.4%	0.0%
30歳代	54	33.3%	33.3%	5.6%	13.0%	5.6%	7.4%	14.8%	13.0%	24.1%	0.0%	1.9%
40歳代	98	58.2%	26.5%	4.1%	15.3%	3.1%	10.2%	16.3%	8.2%	16.3%	4.1%	1.0%
50歳代	106	66.0%	17.9%	4.7%	6.6%	4.7%	7.5%	31.1%	5.7%	29.2%	0.9%	2.8%
60歳代	223	74.9%	19.3%	4.5%	13.0%	4.0%	9.4%	24.2%	9.4%	32.3%	4.0%	3.6%
70歳以上	301	68.8%	19.9%	4.7%	15.3%	3.3%	5.3%	18.3%	11.3%	21.3%	3.7%	3.0%

【地区別】

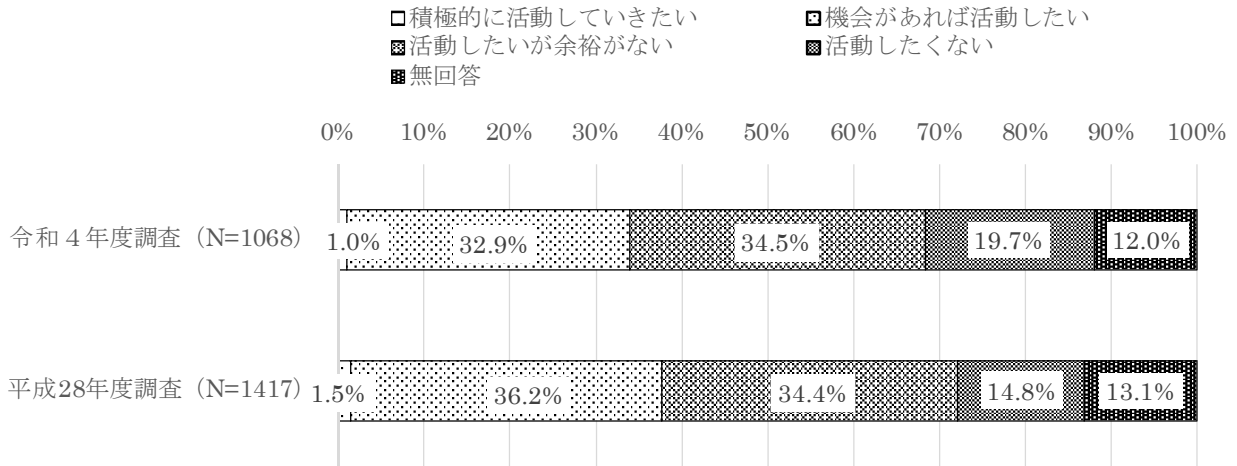
地区別でみると、《亀山》では「自然・環境保護に関する活動」が最も高く、それ以外の地区では「自治会活動」が最も高くなっています。

単位：％

区分	有効回答件数 (件)	自治会活動	自然・環境保護に関する活動	生涯学習活動の指導・支援	社会福祉に関する活動	国際交流(協力)に関する活動	地域青少年育成活動	スポーツ・文化に関する活動	まちづくりに関する活動	自主防災活動や災害援助活動	その他	無回答
六連	28	67.9%	25.0%	10.7%	17.9%	7.1%	14.3%	25.0%	10.7%	32.1%	0.0%	0.0%
神戸	74	70.3%	18.9%	4.1%	10.8%	5.4%	5.4%	20.3%	5.4%	24.3%	5.4%	2.7%
大草	21	81.0%	19.0%	0.0%	19.0%	0.0%	14.3%	23.8%	9.5%	33.3%	0.0%	0.0%
田原東部	61	60.7%	24.6%	3.3%	16.4%	0.0%	8.2%	14.8%	8.2%	16.4%	4.9%	1.6%
田原南部	25	48.0%	20.0%	4.0%	16.0%	0.0%	20.0%	12.0%	8.0%	24.0%	12.0%	0.0%
童浦	77	71.4%	28.6%	5.2%	7.8%	2.6%	6.5%	23.4%	7.8%	27.3%	5.2%	1.3%
田原中部	92	59.8%	17.4%	4.3%	10.9%	7.6%	7.6%	26.1%	7.6%	27.2%	2.2%	3.3%
衣笠	78	62.8%	12.8%	6.4%	15.4%	6.4%	2.6%	21.8%	12.8%	25.6%	1.3%	1.3%
野田	69	65.2%	17.4%	7.2%	17.4%	7.2%	15.9%	24.6%	7.2%	18.8%	4.3%	1.4%
高松	18	55.6%	27.8%	0.0%	22.2%	0.0%	5.6%	22.2%	11.1%	27.8%	0.0%	0.0%
赤羽根	29	65.5%	27.6%	3.4%	13.8%	3.4%	10.3%	20.7%	24.1%	24.1%	6.9%	0.0%
若戸	16	75.0%	31.3%	0.0%	18.8%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	31.3%	0.0%	0.0%
伊良湖岬(和地)	18	66.7%	33.3%	5.6%	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%	5.6%	22.2%	5.6%	16.7%
伊良湖岬(堀切)	20	55.0%	40.0%	0.0%	5.0%	5.0%	0.0%	15.0%	15.0%	20.0%	0.0%	0.0%
伊良湖岬(伊良湖)	10	70.0%	20.0%	10.0%	20.0%	10.0%	10.0%	30.0%	10.0%	40.0%	0.0%	10.0%
亀山	11	45.5%	63.6%	0.0%	0.0%	0.0%	18.2%	0.0%	9.1%	9.1%	0.0%	18.2%
中山	43	65.1%	27.9%	2.3%	11.6%	0.0%	4.7%	34.9%	4.7%	18.6%	2.3%	7.0%
福江	55	56.4%	16.4%	3.6%	16.4%	0.0%	1.8%	21.8%	10.9%	25.5%	3.6%	1.8%
清田	24	58.3%	29.2%	0.0%	25.0%	0.0%	8.3%	20.8%	20.8%	25.0%	0.0%	8.3%
泉	45	71.1%	22.2%	8.9%	4.4%	4.4%	2.2%	8.9%	11.1%	35.6%	0.0%	2.2%

問 15 問 13 で「2 現在は活動していないが、過去に活動の経験がある」「3 全く経験がない」を選んだ方にお聞きます。今後、活動を行いたいと思えますか。(あてはまるもの1つに○)

「積極的に活動していきたい」「機会があれば活動したい」「活動したいが余裕がない」を合わせた“活動したい”(以下同じ)の割合は68.4%となっています。



【性別】

性別でみると、《男性》《女性》ともに“活動したい”割合が6割を超えています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	積極的に活動して いきたい	機会が あれば活動 したい	活動 したいが 余裕が ない	活動 したく ない	無 回 答
男性	629	1.1%	34.3%	34.3%	19.2%	11.0%
女性	426	0.9%	30.8%	34.7%	20.7%	12.9%

【年齢別】

年齢別でみると、《20歳代》《40歳代》で“活動したい”割合が高く、8割を超えています。

単位：％

区分	有効回答件数 (件)	積極的に活動していききたい	機会があれば活動したい	活動したいが余裕がない	活動したくない	無回答
18歳、19歳	5	0.0%	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%
20歳代	41	3.3%	33.3%	45.0%	15.0%	3.3%
30歳代	54	1.1%	32.2%	43.7%	12.6%	10.3%
40歳代	98	0.7%	38.1%	43.3%	11.2%	6.7%
50歳代	106	0.8%	42.9%	29.3%	13.5%	13.5%
60歳代	223	0.4%	36.3%	33.6%	21.1%	8.5%
70歳以上	301	1.2%	26.5%	30.4%	25.3%	16.6%

【地区別】

地区別でみると、《六連》《田原南部》《衣笠》《伊良湖岬（伊良湖）》で“活動したい”割合が比較的高くなっています。

単位：％

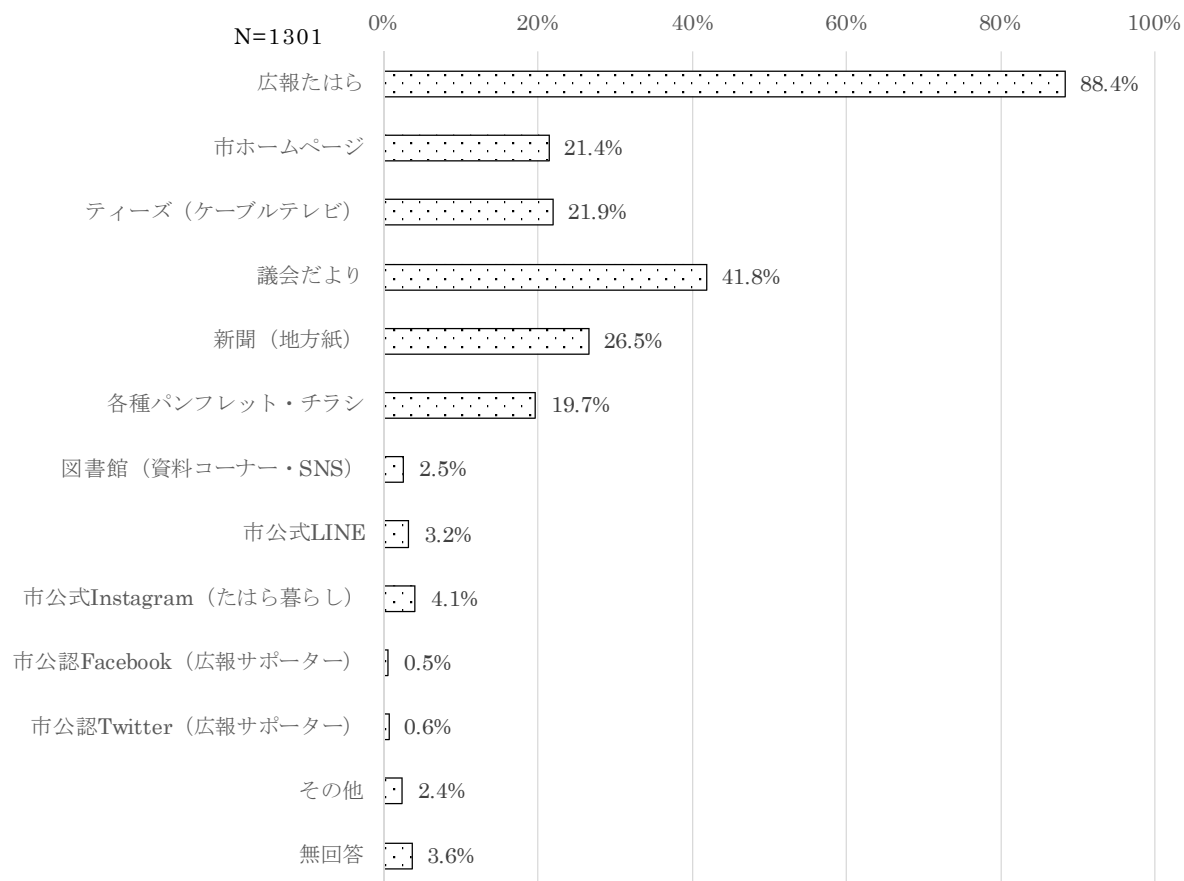
区分	有効回答件数 (件)	積極的に活動していききたい	機会があれば活動したい	活動したいが余裕がない	活動したくない	無回答
六連	31	3.2%	32.3%	41.9%	9.7%	12.9%
神戸	108	1.9%	35.2%	32.4%	19.4%	11.1%
大草	24	0.0%	33.3%	41.7%	25.0%	0.0%
田原東部	78	0.0%	23.1%	43.6%	20.5%	12.8%
田原南部	28	0.0%	46.4%	32.1%	3.6%	17.9%
童浦	98	0.0%	34.7%	39.8%	16.3%	9.2%
田原中部	108	0.9%	36.1%	32.4%	16.7%	13.9%
衣笠	82	1.2%	39.0%	35.4%	15.9%	8.5%
野田	76	0.0%	40.8%	25.0%	22.4%	11.8%
高松	25	0.0%	32.0%	40.0%	20.0%	8.0%
赤羽根	32	0.0%	31.3%	40.6%	15.6%	12.5%
若戸	29	0.0%	17.2%	24.1%	37.9%	20.7%
伊良湖岬（和地）	19	0.0%	10.5%	52.6%	31.6%	5.3%
伊良湖岬（堀切）	37	0.0%	21.6%	35.1%	29.7%	13.5%
伊良湖岬（伊良湖）	10	0.0%	50.0%	30.0%	20.0%	0.0%
亀山	13	0.0%	30.8%	38.5%	15.4%	15.4%
中山	67	1.5%	23.9%	35.8%	25.4%	13.4%
福江	73	0.0%	30.1%	32.9%	19.2%	17.8%
清田	31	3.2%	35.5%	35.5%	12.9%	12.9%
泉	61	4.9%	37.7%	23.0%	24.6%	9.8%

6. 個別の取り組みについて

■ 市政の情報について

問 16 あなたは、市政に関する情報を主に何から得ていますか。(あてはまるもの3つまで○)

「広報たはら」の割合が 88.4%で最も高く、次いで「議会だより」の割合が 41.8%、「新聞（地方紙）」の割合が 26.5%となっています。



【性別】

性別でみると、《男性》《女性》ともに「広報たはら」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	有効回答件数 (件)	広報たはら	市ホームページ	ケーブルテレビ	議会だより	新聞 (地方紙)	各種パンフレット・ チラシ	図書館 (資料コーナー・ SNS)	市公式LINE	市公式Instagram (たはら暮らし)	市公認Facebook (広報サポーター)	市公認Twitter (広報サポーター)	その他	無回答
男性	797	87.3%	20.6%	22.1%	45.8%	26.6%	21.2%	2.4%	3.1%	2.5%	0.5%	0.5%	3.3%	3.1%
女性	482	90.5%	23.4%	21.4%	35.1%	26.3%	17.0%	2.5%	3.3%	6.8%	0.6%	0.8%	1.0%	3.7%

【年齢別】

年齢別でみると、《18歳、19歳》を除く全ての年代で「広報たはら」の割合が最も高くなっています。

単位：％

区分	有効回答件数 (件)	広報たはら	市ホームページ	ケーブルテレビ (ケーブルテレビ)	議会だより	新聞 (地方紙)	各種パンフレット・チラシ	図書館 (資料コーナー・SNS)	市公式LINE	市公式Instagram (たはら暮らし)	市公式Facebook (広報サポーター)	市公式Twitter (広報サポーター)	その他	無回答
18歳、19歳	5	60.0%	0.0%	100.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20歳代	63	69.8%	25.4%	20.6%	9.5%	1.6%	19.0%	1.6%	6.3%	11.1%	1.6%	6.3%	1.6%	3.2%
30歳代	105	81.0%	36.2%	18.1%	21.9%	2.9%	11.4%	4.8%	4.8%	13.3%	2.9%	4.8%	1.9%	1.9%
40歳代	163	89.6%	36.2%	21.5%	28.8%	5.5%	20.2%	3.7%	4.3%	6.1%	0.6%	2.5%	1.2%	1.2%
50歳代	157	91.7%	28.0%	24.8%	38.9%	17.2%	18.5%	1.3%	4.5%	4.5%	0.0%	2.5%	0.0%	1.3%
60歳代	298	91.3%	22.5%	25.8%	47.0%	30.5%	23.8%	1.3%	3.4%	1.0%	0.3%	1.3%	1.3%	2.0%
70歳以上	496	89.5%	10.5%	18.8%	52.4%	42.3%	19.0%	2.8%	1.6%	2.4%	0.6%	0.8%	0.6%	6.3%

【地区別】

地区別でみると、全ての地区で「広報たはら」の割合が最も高く、《赤羽根》を除く全ての地区で8割を超えています。

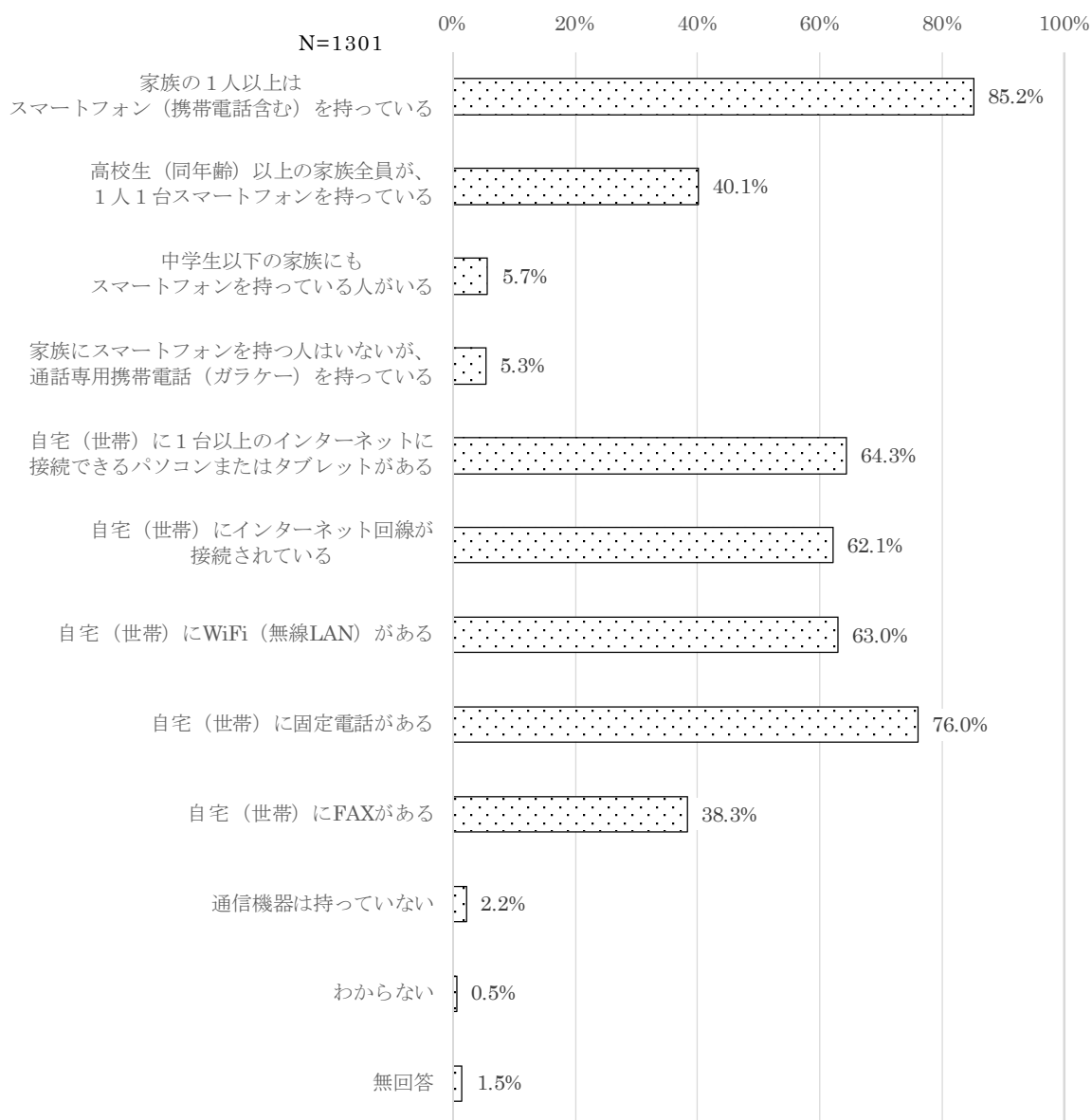
単位：％

区分	有効回答件数 (件)	広報たはら	市ホームページ	ケーブルテレビ (ケーブルテレビ)	議会だより	新聞 (地方紙)	各種パンフレット・チラシ	図書館 (資料コーナー・SNS)	市公式LINE	市公式Instagram (たはら暮らし)	市公式Facebook (広報サポーター)	市公式Twitter (広報サポーター)	その他	無回答
六連	34	91.2%	20.6%	26.5%	41.2%	26.5%	17.6%	0.0%	2.9%	5.9%	0.0%	2.9%	5.9%	0.0%
神戸	129	88.4%	19.4%	14.7%	41.9%	29.5%	21.7%	3.9%	3.9%	2.3%	0.0%	0.8%	5.4%	1.6%
大草	29	89.7%	20.7%	20.7%	58.6%	31.0%	20.7%	0.0%	0.0%	10.3%	0.0%	3.4%	0.0%	6.9%
田原東部	94	93.6%	24.5%	19.1%	54.3%	23.4%	12.8%	4.3%	4.3%	4.3%	0.0%	0.0%	2.1%	0.0%
田原南部	36	97.2%	19.4%	30.6%	50.0%	13.9%	8.3%	0.0%	5.6%	5.6%	2.8%	0.0%	2.8%	0.0%
童浦	118	83.1%	25.4%	18.6%	34.7%	18.6%	23.7%	1.7%	2.5%	0.8%	0.0%	0.8%	2.5%	5.9%
田原中部	139	88.5%	22.3%	12.2%	35.3%	23.0%	23.7%	5.0%	2.9%	4.3%	0.7%	0.0%	0.7%	3.6%
衣笠	110	93.6%	29.1%	16.4%	42.7%	28.2%	20.0%	2.7%	6.4%	8.2%	0.9%	0.0%	0.9%	0.0%
野田	95	88.4%	24.2%	25.3%	36.8%	28.4%	18.9%	1.1%	1.1%	4.2%	1.1%	0.0%	1.1%	6.3%
高松	28	92.9%	10.7%	39.3%	32.1%	28.6%	32.1%	3.6%	3.6%	0.0%	0.0%	7.1%	3.6%	0.0%
赤羽根	43	79.1%	23.3%	20.9%	37.2%	32.6%	18.6%	4.7%	7.0%	11.6%	0.0%	0.0%	4.7%	4.7%
若戸	36	94.4%	11.1%	16.7%	52.8%	33.3%	30.6%	2.8%	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	2.8%
伊良湖岬(和地)	23	95.7%	8.7%	26.1%	47.8%	39.1%	17.4%	0.0%	4.3%	0.0%	4.3%	4.3%	4.3%	0.0%
伊良湖岬(堀切)	44	81.8%	13.6%	25.0%	54.5%	29.5%	15.9%	0.0%	2.3%	6.8%	0.0%	0.0%	2.3%	11.4%
伊良湖岬(伊良湖)	12	83.3%	16.7%	50.0%	41.7%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%
亀山	17	88.2%	11.8%	23.5%	70.6%	47.1%	11.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%
中山	78	94.9%	20.5%	25.6%	43.6%	21.8%	23.1%	2.6%	1.3%	1.3%	1.3%	0.0%	1.3%	2.6%
福江	88	84.1%	17.0%	29.5%	39.8%	23.9%	18.2%	3.4%	2.3%	4.5%	0.0%	0.0%	3.4%	4.5%
清田	40	87.5%	25.0%	22.5%	47.5%	25.0%	12.5%	0.0%	0.0%	7.5%	0.0%	2.5%	0.0%	10.0%
泉	65	90.8%	20.0%	38.5%	41.5%	43.1%	15.4%	3.1%	4.6%	1.5%	1.5%	0.0%	0.0%	3.1%

■ デジタル社会について

問 17 あなたを含めた、ご家族が所有する通信機器についてお聞きます。
(あてはまるものすべてに○)

「家族の1人以上はスマートフォン（携帯電話含む）を持っている」の割合が85.2%で最も高く、次いで「自宅（世帯）に固定電話がある」の割合が76.0%となっています。



【性別】

性別でみると、《男性》《女性》ともに「家族の1人以上はスマートフォン（携帯電話含む）を持っている」の割合が最も高く、8割を超えています。

単位：％

区分	有効回答件数 (件)	家族の1人以上はスマートフォン（携帯電話含む）を持っている	高校生（同年齢）以上の家族全員が、1人1台スマートフォンを持っている	中学生以下の家族にもスマートフォンを持っている人がいる	家族にスマートフォンを持つ人はいないが、通話専用携帯電話（ガラケー）を持っている	自宅（世帯）に1台以上のインターネットに接続できるパソコンまたはタブレットがある	自宅（世帯）にインターネット回線が接続されている	自宅（世帯）にWiFi（無線LAN）がある	自宅（世帯）に固定電話がある	自宅（世帯）にFAXがある	通信機器は持っていない	わからない	無回答
男性	797	87.3%	38.6%	5.1%	4.1%	64.6%	62.6%	62.7%	76.7%	39.6%	1.5%	0.4%	1.3%
女性	482	82.6%	43.6%	6.6%	7.3%	64.7%	62.7%	64.5%	75.3%	36.3%	3.1%	1.0%	1.0%

【年齢別】

年齢別でみると、《40歳代》では「自宅（世帯）にWiFi（無線LAN）がある」の割合が、《70歳以上》では「自宅（世帯）に固定電話がある」の割合が、それ以外の年代では「家族の1人以上はスマートフォン（携帯電話含む）を持っている」の割合が最も高くなっています。

単位：％

区分	有効回答件数 (件)	家族の1人以上はスマートフォン（携帯電話含む）を持っている	高校生（同年齢）以上の家族全員が、1人1台スマートフォンを持っている	中学生以下の家族にもスマートフォンを持っている人がいる	家族にスマートフォンを持つ人はいないが、通話専用携帯電話（ガラケー）を持っている	自宅（世帯）に1台以上のインターネットに接続できるパソコンまたはタブレットがある	自宅（世帯）にインターネット回線が接続されている	自宅（世帯）にWiFi（無線LAN）がある	自宅（世帯）に固定電話がある	自宅（世帯）にFAXがある	通信機器は持っていない	わからない	無回答
18歳、19歳	5	100.0%	80.0%	20.0%	20.0%	80.0%	100.0%	80.0%	80.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20歳代	63	82.5%	49.2%	1.6%	1.6%	50.8%	54.0%	71.4%	23.8%	7.9%	0.0%	0.0%	1.6%
30歳代	105	82.9%	52.4%	12.4%	0.0%	70.5%	72.4%	79.0%	31.4%	15.2%	1.0%	0.0%	0.0%
40歳代	163	85.9%	60.7%	18.4%	1.2%	77.9%	73.6%	87.7%	66.3%	31.3%	0.0%	0.0%	0.0%
50歳代	157	86.0%	55.4%	8.3%	2.5%	74.5%	75.8%	80.3%	80.3%	40.8%	0.0%	0.6%	0.6%
60歳代	298	89.3%	36.6%	1.7%	3.4%	73.8%	71.8%	70.5%	87.2%	44.6%	1.0%	0.0%	0.3%
70歳以上	496	83.1%	27.0%	2.2%	10.9%	51.6%	47.2%	40.7%	87.1%	44.8%	4.6%	1.4%	3.0%

【地区別】

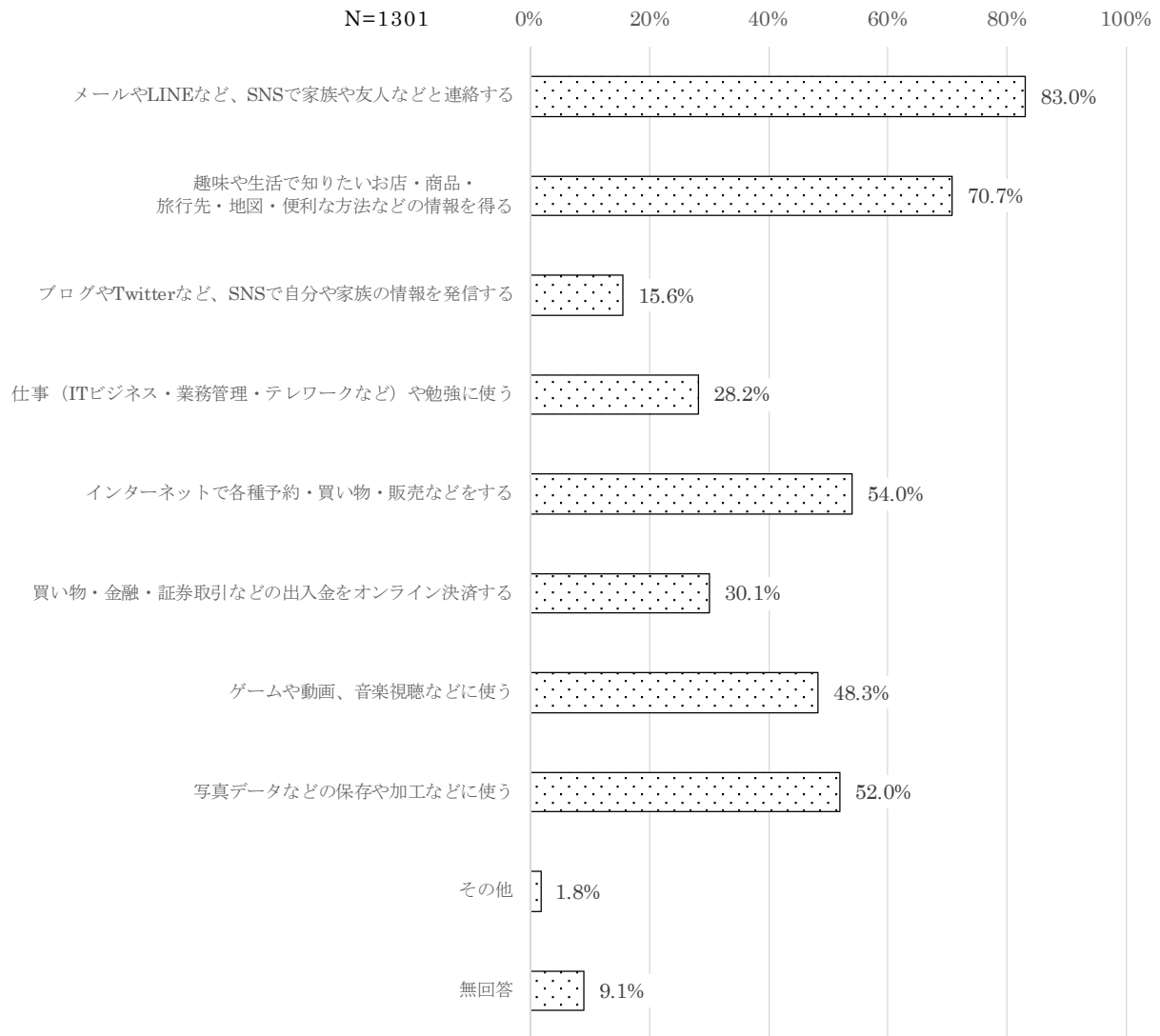
地区別でみると、全ての地区で「家族の1人以上はスマートフォン（携帯電話含む）を持っている」または「自宅（世帯）に固定電話がある」の割合が最も高くなっています。

単位：％

区分	有効回答件数 (件)	家族の1人以上はスマートフォン（携帯電話含む）を持っている	高校生（同年齢）以上の家族全員が、1人1台スマートフォンを持っている	中学生以下の家族にもスマートフォンを持っている人がいる	家族にスマートフォンを持つ人はいるが、通話専用携帯電話（ガラケー）を持っている	ネットに接続できるパソコンまたはタブレットがある	自宅（世帯）に1台以上のインターネット回線が接続されている	自宅（世帯）にWi-Fi（無線LAN）がある	自宅（世帯）に固定電話がある	自宅（世帯）にFAXがある	通信機器は持っていない	わからない	無回答
六連	34	91.2%	20.6%	26.5%	41.2%	26.5%	17.6%	0.0%	85.3%	38.2%	0.0%	2.9%	5.9%
神戸	129	88.4%	19.4%	14.7%	41.9%	29.5%	21.7%	3.9%	81.4%	38.8%	0.0%	0.8%	5.4%
大草	29	89.7%	20.7%	20.7%	58.6%	31.0%	20.7%	0.0%	89.7%	37.9%	0.0%	3.4%	0.0%
田原東部	94	93.6%	24.5%	19.1%	54.3%	23.4%	12.8%	4.3%	79.8%	35.1%	0.0%	0.0%	2.1%
田原南部	36	97.2%	19.4%	30.6%	50.0%	13.9%	8.3%	0.0%	72.2%	38.9%	2.8%	0.0%	2.8%
童浦	118	83.1%	25.4%	18.6%	34.7%	18.6%	23.7%	1.7%	69.5%	37.3%	0.0%	0.8%	2.5%
田原中部	139	88.5%	22.3%	12.2%	35.3%	23.0%	23.7%	5.0%	71.2%	25.9%	0.7%	0.0%	0.7%
衣笠	110	93.6%	29.1%	16.4%	42.7%	28.2%	20.0%	2.7%	67.3%	31.8%	0.9%	0.0%	0.9%
野田	95	88.4%	24.2%	25.3%	36.8%	28.4%	18.9%	1.1%	84.2%	42.1%	1.1%	0.0%	1.1%
高松	28	92.9%	10.7%	39.3%	32.1%	28.6%	32.1%	3.6%	75.0%	35.7%	0.0%	7.1%	3.6%
赤羽根	43	79.1%	23.3%	20.9%	37.2%	32.6%	18.6%	4.7%	69.8%	46.5%	0.0%	0.0%	4.7%
若戸	36	94.4%	11.1%	16.7%	52.8%	33.3%	30.6%	2.8%	88.9%	63.9%	0.0%	0.0%	0.0%
伊良湖岬（和地）	23	95.7%	8.7%	26.1%	47.8%	39.1%	17.4%	0.0%	82.6%	52.2%	4.3%	4.3%	4.3%
伊良湖岬（堀切）	44	81.8%	13.6%	25.0%	54.5%	29.5%	15.9%	0.0%	86.4%	59.1%	0.0%	0.0%	2.3%
伊良湖岬（伊良湖）	12	83.3%	16.7%	50.0%	41.7%	25.0%	25.0%	0.0%	83.3%	66.7%	0.0%	0.0%	8.3%
亀山	17	88.2%	11.8%	23.5%	70.6%	47.1%	11.8%	0.0%	94.1%	41.2%	0.0%	0.0%	0.0%
中山	78	94.9%	20.5%	25.6%	43.6%	21.8%	23.1%	2.6%	83.3%	42.3%	1.3%	0.0%	1.3%
福江	88	84.1%	17.0%	29.5%	39.8%	23.9%	18.2%	3.4%	70.5%	29.5%	0.0%	0.0%	3.4%
清田	40	87.5%	25.0%	22.5%	47.5%	25.0%	12.5%	0.0%	77.5%	37.5%	0.0%	2.5%	0.0%
泉	65	90.8%	20.0%	38.5%	41.5%	43.1%	15.4%	3.1%	87.7%	56.9%	1.5%	0.0%	0.0%

**問 18 あなたを含めた、ご家族のスマートフォン・パソコン・タブレットの使用目的についてお聞きします。
(あてはまるものすべてに○)**

「メールやLINEなど、SNSで家族や友人などと連絡する」の割合が83.0%で最も高く、次いで「趣味や生活で知りたいお店・商品・旅行先・地図・便利な方法などの情報を得る」の割合が70.7%となっています。



【性別】

性別でみると、《男性》《女性》ともに「メールや LINE など、SNS で家族や友人などと連絡する」の割合が最も高く、8割を超えています。

単位：％

区分	有効回答件数 (件)	メールやLINEなど、SNSで 家族や友人などと連絡する	趣味や生活で知りたいお店・ 商品・旅行先・地図・便利な 方法などの情報を得る	SNSで自分や家族の 情報を発信する	仕事（↑↑ビジネス・業務管理・ テレワークなど）や勉強に使う	インターネットで各種予約・ 買い物・販売などをする	買い物・金融・証券取引などの 出入金をオンライン決済する	ゲームや動画、音楽視聴などに使う	写真データなどの 保存や加工などに使う	その他	無回答
男性	797	82.6%	70.6%	15.6%	29.4%	52.7%	29.4%	46.5%	49.3%	2.1%	7.7%
女性	482	85.1%	72.8%	16.4%	27.0%	57.7%	32.4%	52.5%	57.5%	1.0%	10.2%

【年齢別】

年齢別でみると、全ての年代において「メールや LINE など、SNS で家族や友人などと連絡する」の割合が高く、《70歳以上》を除いた年代で8割を超えています。

単位：％

区分	有効回答件数 (件)	メールやLINEなど、SNSで 家族や友人などと連絡する	趣味や生活で知りたいお店・ 商品・旅行先・地図・便利な 方法などの情報を得る	SNSで自分や家族の 情報を発信する	仕事（↑↑ビジネス・業務管理・ テレワークなど）や勉強に使う	インターネットで各種予約・ 買い物・販売などをする	買い物・金融・証券取引などの 出入金をオンライン決済する	ゲームや動画、音楽視聴などに使う	写真データなどの 保存や加工などに使う	その他	無回答
18歳、19歳	5	100.0%	100.0%	40.0%	80.0%	80.0%	40.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
20歳代	63	98.4%	81.0%	42.9%	28.6%	82.5%	55.6%	84.1%	69.8%	1.6%	1.6%
30歳代	105	97.1%	88.6%	43.8%	43.8%	83.8%	62.9%	82.9%	76.2%	0.0%	0.0%
40歳代	163	98.2%	92.0%	26.4%	50.3%	82.2%	58.3%	84.0%	76.1%	0.6%	0.0%
50歳代	157	91.7%	86.0%	19.7%	35.0%	74.5%	40.1%	63.1%	63.1%	1.9%	2.5%
60歳代	298	87.9%	79.9%	9.7%	30.2%	54.4%	23.2%	40.6%	53.4%	2.0%	3.0%
70歳以上	496	67.9%	49.2%	5.2%	13.9%	28.6%	12.1%	25.0%	32.7%	2.2%	20.0%

【地区別】

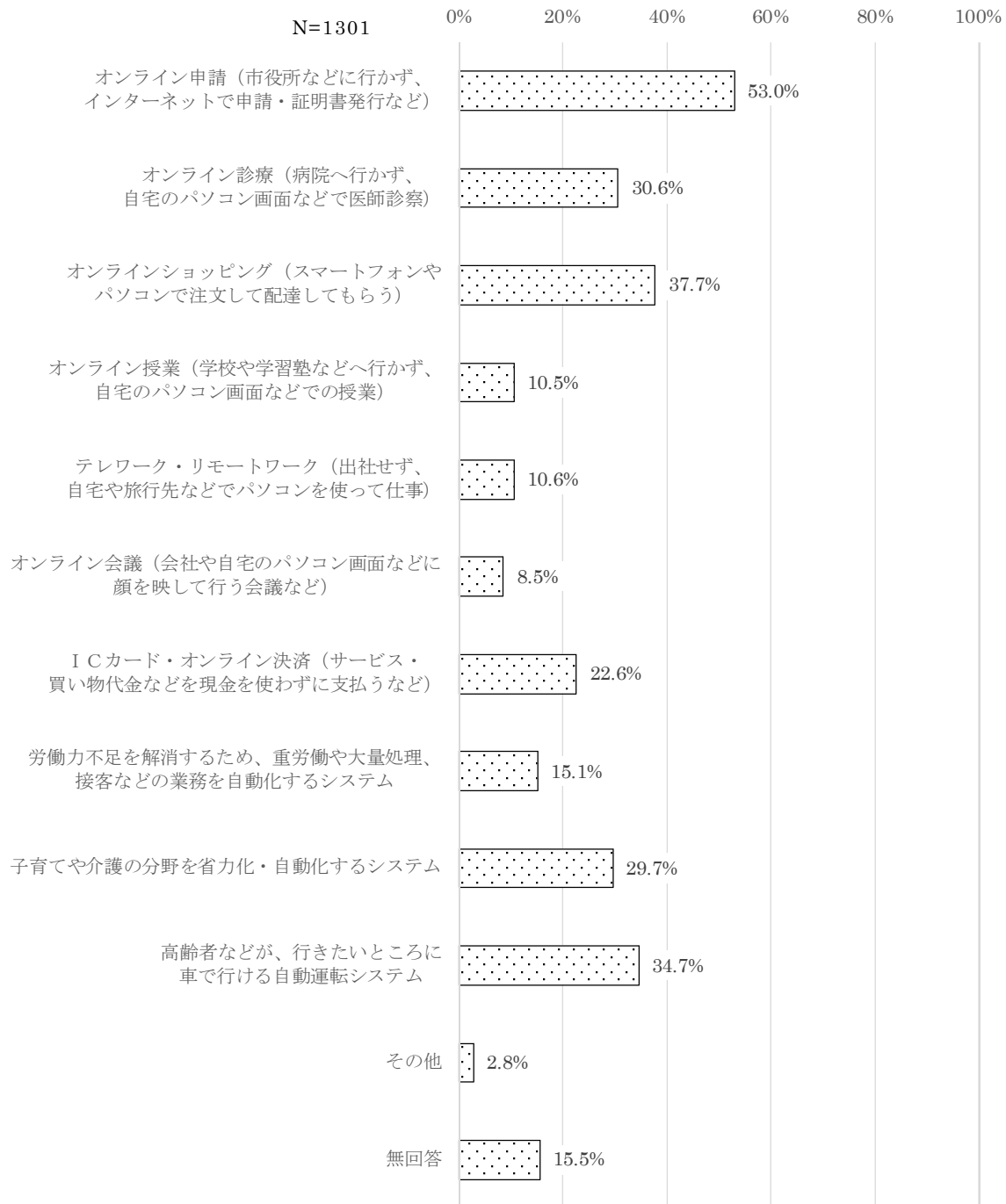
地区別でみると、《伊良湖岬（伊良湖）》で「趣味や生活で知りたいお店・商品・旅行先・地図・便利な方法などの情報を得る」の割合が最も高く、それ以外の地区では「メールやLINEなど、SNSで家族や友人などと連絡する」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	有効回答件数 (件)	メールやLINEなど、SNSで家族や友人などと連絡する	趣味や生活で知りたいお店・商品・旅行先・地図・便利な方法などの情報を得る	SNSで自分や家族の情報を発信する	ブログやTwitterなど、SNSで自分や家族の情報を発信する	仕事（↑Tビジネス・業務管理・テレワークなど）や勉強に使う	インターネットで各種予約・買い物・販売などをする	買い物・金融・証券取引などの出入金をオンライン決済する	ゲームや動画、音楽視聴などに使う	写真データなどの保存や加工などに使う	その他	無回答
六連	34	82.4%	67.6%	8.8%	26.5%	47.1%	23.5%	41.2%	44.1%	2.9%	35.3%	
神戸	129	81.4%	76.7%	15.5%	27.1%	57.4%	30.2%	49.6%	50.4%	1.6%	0.0%	
大草	29	82.8%	82.8%	17.2%	37.9%	58.6%	27.6%	51.7%	48.3%	0.0%	20.7%	
田原東部	94	90.4%	75.5%	13.8%	31.9%	56.4%	27.7%	50.0%	47.9%	0.0%	0.0%	
田原南部	36	88.9%	77.8%	13.9%	25.0%	63.9%	30.6%	44.4%	61.1%	0.0%	19.4%	
童浦	118	90.7%	78.8%	25.4%	29.7%	63.6%	37.3%	59.3%	59.3%	0.8%	10.2%	
田原中部	139	84.9%	72.7%	19.4%	33.8%	60.4%	41.0%	52.5%	61.2%	0.7%	2.9%	
衣笠	110	91.8%	78.2%	24.5%	30.0%	62.7%	38.2%	60.9%	63.6%	2.7%	11.8%	
野田	95	77.9%	63.2%	7.4%	31.6%	51.6%	24.2%	43.2%	47.4%	2.1%	2.1%	
高松	28	78.6%	71.4%	10.7%	21.4%	42.9%	28.6%	46.4%	39.3%	7.1%	17.9%	
赤羽根	43	88.4%	67.4%	23.3%	30.2%	46.5%	27.9%	44.2%	53.5%	0.0%	18.6%	
若戸	36	66.7%	58.3%	13.9%	22.2%	44.4%	33.3%	36.1%	47.2%	2.8%	8.3%	
伊良湖岬（和地）	23	78.3%	56.5%	4.3%	39.1%	43.5%	21.7%	34.8%	34.8%	0.0%	13.0%	
伊良湖岬（堀切）	44	84.1%	77.3%	9.1%	20.5%	43.2%	27.3%	50.0%	50.0%	2.3%	4.5%	
伊良湖岬（伊良湖）	12	66.7%	75.0%	8.3%	16.7%	33.3%	25.0%	41.7%	66.7%	0.0%	8.3%	
亀山	17	82.4%	41.2%	17.6%	5.9%	35.3%	29.4%	29.4%	29.4%	0.0%	76.5%	
中山	78	76.9%	62.8%	11.5%	26.9%	53.8%	26.9%	42.3%	50.0%	0.0%	10.3%	
福江	88	77.3%	69.3%	9.1%	22.7%	48.9%	28.4%	44.3%	43.2%	3.4%	3.4%	
清田	40	85.0%	67.5%	12.5%	27.5%	45.0%	17.5%	42.5%	50.0%	0.0%	15.0%	
泉	65	76.9%	64.6%	7.7%	29.2%	49.2%	20.0%	41.5%	56.9%	3.1%	0.0%	

問 19 デジタル社会の実現で、特に期待することは何ですか。(あてはまるもの5つまで○)

「オンライン申請（市役所などに行かず、インターネットで申請・証明書発行など）」の割合が 53.0%で最も高く、次いで「オンラインショッピング（スマートフォンやパソコンで注文して配達してもらう）」の割合が 37.7%となっています。



【性別】

性別でみると、《男性》《女性》ともに「オンライン申請（市役所などに行かず、インターネットで申請・証明書発行など）」の割合が最も高く、《男性》では5割を超えています。

単位：％

区分	有効回答件数 (件)	オンライン申請 (市役所などに行かず、 インターネットで申請・証明書発行な ど)	オンライン診療 (病院へ行かず、 自宅のパソコン画面などで医師診察)	オンラインシヨッピング (スマートフォンやパソコンで 注文して配達してもらう)	オンライン授業 (学校や学習塾などへ 行かず、自宅のパソコン画面 などでの授業)	テレワーク・リモートワーク (会社せず、自宅や旅行先などで パソコンを使って仕事)	オンライン会議 (会社や自宅の パソコン画面などに顔を映して 行う会議など)	現金を使わずに支払うなど (サービス・買い物代金などを ＩＣカード・オンライン決済 サービス・買い物代金などを 現金を使わずに支払うなど)	重労働や大量処理、接客などの 業務を自動化するシステム	労働力不足を解消するため、 省力化・自動化するシステム	子育てや介護の分野を 省力化・自動化するシステム	高齢者などが、行きたいところに 車で行ける自動運転システム	その他	無回答
男性	797	58.2%	31.1%	38.0%	8.9%	9.8%	9.4%	24.7%	15.7%	30.4%	35.5%	2.9%	13.3%	
女性	482	45.2%	30.1%	37.8%	13.1%	12.2%	7.3%	19.5%	14.5%	29.3%	33.8%	2.5%	18.0%	

【年齢別】

年齢別でみると、《70歳以上》で「高齢者などが、行きたいところに車で行ける自動運転システム」の割合が、それ以外の年代では「オンライン申請（市役所などに行かず、インターネットで申請・証明書発行など）」の割合が最も高くなっています。

単位：％

区分	有効回答件数 (件)	オンライン申請 (市役所などに行かず、 インターネットで申請・証明書発行な ど)	オンライン診療 (病院へ行かず、 自宅のパソコン画面などで医師診察)	オンラインシヨッピング (スマートフォンやパソコンで 注文して配達してもらう)	オンライン授業 (学校や学習塾などへ 行かず、自宅のパソコン画面 などでの授業)	テレワーク・リモートワーク (会社せず、自宅や旅行先などで パソコンを使って仕事)	オンライン会議 (会社や自宅の パソコン画面などに顔を映して 行う会議など)	現金を使わずに支払うなど (サービス・買い物代金などを ＩＣカード・オンライン決済 サービス・買い物代金などを 現金を使わずに支払うなど)	重労働や大量処理、接客などの 業務を自動化するシステム	労働力不足を解消するため、 省力化・自動化するシステム	子育てや介護の分野を 省力化・自動化するシステム	高齢者などが、行きたいところに 車で行ける自動運転システム	その他	無回答
18歳、19歳	5	60.0%	0.0%	20.0%	60.0%	60.0%	0.0%	40.0%	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	
20歳代	63	76.2%	25.4%	47.6%	14.3%	28.6%	9.5%	41.3%	31.7%	50.8%	7.9%	0.0%	1.6%	
30歳代	105	71.4%	34.3%	48.6%	27.6%	22.9%	12.4%	29.5%	16.2%	42.9%	9.5%	2.9%	5.7%	
40歳代	163	71.2%	36.2%	50.9%	23.3%	19.6%	14.1%	29.4%	18.4%	38.0%	30.1%	2.5%	4.9%	
50歳代	157	62.4%	36.3%	49.0%	15.3%	13.4%	16.6%	28.7%	24.8%	42.7%	27.4%	1.9%	3.8%	
60歳代	298	58.4%	34.9%	37.9%	5.7%	6.0%	7.4%	22.1%	13.4%	30.9%	42.6%	3.0%	10.4%	
70歳以上	496	34.5%	24.6%	26.4%	3.4%	4.4%	4.0%	14.7%	9.7%	16.7%	42.7%	3.4%	29.2%	

【地区別】

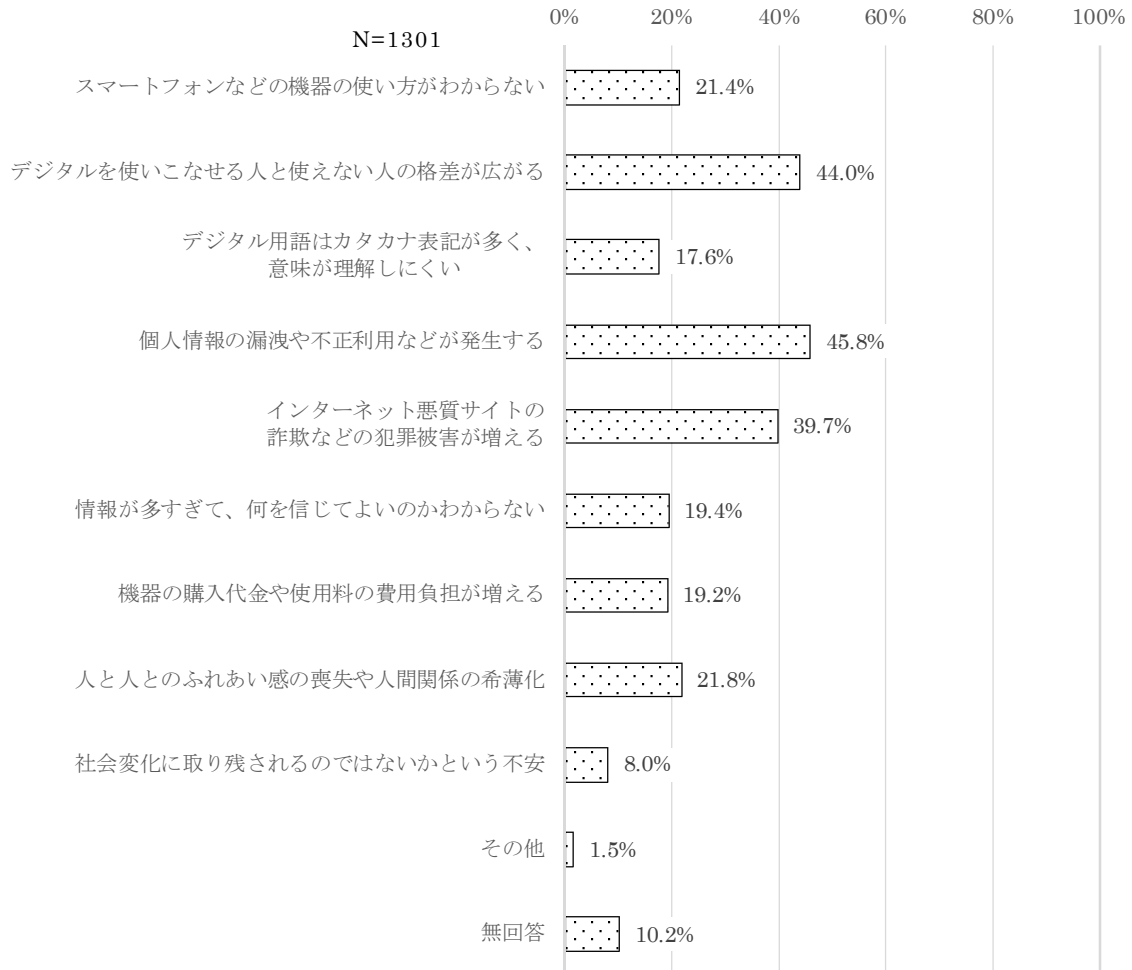
地区別でみると、《高松》《亀山》で「高齢者などが、行きたいところに車で行ける自動運転システム」の割合が、それ以外の地区では「オンライン申請（市役所などに行かず、インターネットで申請・証明書発行など）」の割合が最も高くなっています。

単位：％

区分	有効回答件数 (件)	オンライン申請 （市役所などに行かず、 インターネットで申請・証明書発行など）	オンライン診療 （病院へ行かず、 自宅のパソコン画面などで 医師診察）	オンラインショッピング （スマートフォンやパソコンで 注文して配達してもらう）	オンライン授業 （学校や学習塾などへ 行かず、自宅のパソコン画面 などでの授業）	テレワーク・リモートワーク （社せず、自宅や旅行先などで パソコンを使って仕事）	オンライン会議 （会社や自宅の パソコン画面などに顔を映して 行う会議など）	ＩＣカード・オンライン決済 サービス・買い物代金などを 現金を使わずに支払うなど）	重労働や大量処理、接客などの 業務を自動化するシステム	省力化・自動化するシステム （子育てや介護の分野を 含む）	高齢者などが、行きたいところに 車で行ける自動運転システム	その他	無回答
六連	34	47.1%	32.4%	32.4%	14.7%	0.0%	5.9%	17.6%	11.8%	29.4%	38.2%	0.0%	17.6%
神戸	129	47.3%	27.9%	34.9%	10.9%	10.9%	3.9%	20.2%	15.5%	32.6%	32.6%	3.9%	15.5%
大草	29	58.6%	37.9%	41.4%	17.2%	6.9%	13.8%	13.8%	17.2%	44.8%	44.8%	3.4%	0.0%
田原東部	94	46.8%	31.9%	26.6%	4.3%	12.8%	10.6%	12.8%	16.0%	22.3%	24.5%	2.1%	26.6%
田原南部	36	55.6%	41.7%	47.2%	19.4%	13.9%	11.1%	16.7%	16.7%	44.4%	19.4%	2.8%	11.1%
童浦	118	61.9%	21.2%	40.7%	12.7%	17.8%	10.2%	25.4%	15.3%	30.5%	33.9%	4.2%	12.7%
田原中部	139	51.8%	34.5%	37.4%	10.1%	11.5%	8.6%	28.1%	15.8%	37.4%	29.5%	2.9%	13.7%
衣笠	110	62.7%	37.3%	47.3%	17.3%	14.5%	9.1%	32.7%	15.5%	33.6%	36.4%	2.7%	4.5%
野田	95	51.6%	33.7%	40.0%	4.2%	11.6%	14.7%	15.8%	9.5%	24.2%	29.5%	5.3%	18.9%
高松	28	60.7%	32.1%	35.7%	10.7%	7.1%	3.6%	25.0%	21.4%	25.0%	64.3%	3.6%	10.7%
赤羽根	43	48.8%	30.2%	37.2%	9.3%	7.0%	9.3%	16.3%	14.0%	27.9%	30.2%	2.3%	18.6%
若戸	36	41.7%	30.6%	36.1%	16.7%	11.1%	11.1%	16.7%	8.3%	30.6%	33.3%	5.6%	25.0%
伊良湖岬（和地）	23	56.5%	21.7%	39.1%	8.7%	8.7%	0.0%	21.7%	17.4%	26.1%	43.5%	0.0%	21.7%
伊良湖岬（堀切）	44	52.3%	31.8%	36.4%	11.4%	13.6%	15.9%	18.2%	18.2%	20.5%	52.3%	0.0%	11.4%
伊良湖岬（伊良湖）	12	58.3%	25.0%	25.0%	16.7%	8.3%	8.3%	16.7%	8.3%	33.3%	41.7%	0.0%	8.3%
亀山	17	35.3%	35.3%	35.3%	11.8%	0.0%	11.8%	11.8%	17.6%	11.8%	41.2%	5.9%	11.8%
中山	78	48.7%	29.5%	37.2%	6.4%	6.4%	5.1%	23.1%	14.1%	20.5%	37.2%	1.3%	15.4%
福江	88	52.3%	23.9%	42.0%	5.7%	5.7%	6.8%	30.7%	17.0%	25.0%	36.4%	0.0%	19.3%
清田	40	55.0%	35.0%	30.0%	7.5%	10.0%	5.0%	20.0%	22.5%	22.5%	50.0%	0.0%	22.5%
泉	65	46.2%	27.7%	35.4%	13.8%	4.6%	4.6%	24.6%	15.4%	43.1%	46.2%	3.1%	15.4%

**問 20 デジタル社会に変化していくことで、特に不安に感じることは何ですか。
(あてはまるもの3つまで○)**

「個人情報の漏洩や不正利用などが発生する」の割合が 45.8%で最も高く、次いで「デジタルを使いこなせる人と使えない人の格差が広がる」の割合が 44.0%となっています。



【性別】

性別でみると、《男性》で「デジタルを使いこなせる人と使えない人の格差が広がる」の割合が、《女性》で「個人情報の漏洩や不正利用などが発生する」の割合が最も高くなっています。

単位：％

区分	有効回答件数 (件)	スマートフォンの 機器の使い方が わからない	デジタルを使い こなせる人と 使えない人の 格差が広がる	表記が多く、 意味が理解し にくい	不正利用など が発生する 個人情報の漏洩 や	詐欺などの 犯罪被害が増 える	信じてよいの かわからない	機器の購入代 金や使用料の 費用負担が増 える	喪失や人間関 係の希薄化	社会変化に取 り残される のではないか という不安	その他	無回答
男性	797	23.6%	46.9%	16.4%	43.3%	40.4%	17.6%	19.4%	23.3%	7.8%	1.8%	9.0%
女性	482	17.2%	40.0%	20.1%	50.8%	39.2%	23.0%	18.7%	19.9%	8.1%	1.0%	11.0%

【年齢別】

年齢別でみると、《70歳以上》で「デジタルを使いこなせる人と使えない人の格差が広がる」の割合が、それ以外の年代では「個人情報の漏洩や不正利用などが発生する」の割合が最も高くなっています。

単位：％

区分	有効回答件数 (件)	スマートフォンの 機器の使い方が わからない	デジタルを使い こなせる人と 使えない人の 格差が広がる	表記が多く、 意味が理解し にくい	不正利用など が発生する 個人情報の漏洩 や	詐欺などの 犯罪被害が増 える	信じてよいの かわからない	機器の購入代 金や使用料の 費用負担が増 える	喪失や人間関 係の希薄化	社会変化に取 り残される のではないか という不安	その他	無回答
18歳、19歳	5	0.0%	20.0%	0.0%	80.0%	60.0%	60.0%	20.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20歳代	63	0.0%	36.5%	6.3%	65.1%	42.9%	28.6%	23.8%	15.9%	0.0%	4.8%	6.3%
30歳代	105	7.6%	31.4%	7.6%	59.0%	50.5%	25.7%	21.0%	24.8%	1.9%	1.9%	5.7%
40歳代	163	2.5%	47.9%	12.3%	64.4%	47.2%	25.8%	24.5%	20.2%	4.3%	1.8%	6.7%
50歳代	157	10.2%	48.4%	19.1%	55.4%	48.4%	20.4%	21.7%	22.9%	5.1%	1.9%	5.7%
60歳代	298	19.5%	48.3%	20.5%	50.0%	43.3%	19.1%	20.5%	21.8%	8.4%	1.0%	7.4%
70歳以上	496	37.9%	42.9%	21.2%	29.2%	29.6%	14.1%	15.1%	22.0%	11.9%	1.0%	13.5%

【地区別】

地区別でみると、《大草》《田原東部》《田原南部》《童浦》《田原中部》《衣笠》《伊良湖岬（堀切）》では「個人情報の漏洩や不正利用などが発生する」の割合が、《泉》では「インターネット悪質サイトの詐欺などの犯罪被害が増える」の割合が、それ以外の地区では「デジタルを使いこなせる人と使えない人の格差が広がる」の割合が最も高くなっています。

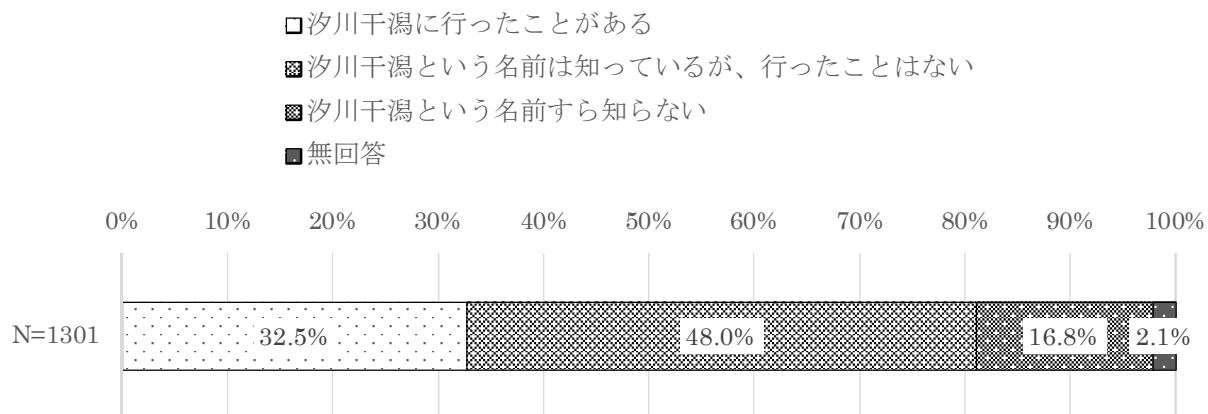
単位：％

区分	有効回答件数（件）	機器の使い方がわからない	デジタルを使いこなせる人と使えない人の格差が広がる	表記が多く、意味が理解しにくい	不正利用などが発生する	インターネット悪質サイトの詐欺などの犯罪被害が増える	信じてよいのかわからない	機器の購入代金や使用料の費用負担が増える	人と人のふれあい感の喪失や人間関係の希薄化	社会変化に取り残されるのではないかという不安	その他	無回答
六連	34	23.5%	58.8%	23.5%	41.2%	44.1%	23.5%	23.5%	17.6%	8.8%	0.0%	5.9%
神戸	129	19.4%	51.2%	13.2%	47.3%	36.4%	19.4%	26.4%	21.7%	6.2%	3.1%	7.8%
大草	29	31.0%	34.5%	24.1%	58.6%	51.7%	20.7%	31.0%	17.2%	6.9%	0.0%	0.0%
田原東部	94	17.0%	40.4%	22.3%	45.7%	39.4%	18.1%	14.9%	21.3%	8.5%	3.2%	12.8%
田原南部	36	27.8%	36.1%	16.7%	55.6%	52.8%	8.3%	16.7%	33.3%	11.1%	0.0%	2.8%
童浦	118	14.4%	43.2%	9.3%	47.5%	42.4%	16.1%	24.6%	20.3%	10.2%	0.8%	11.9%
田原中部	139	15.8%	39.6%	12.2%	57.6%	41.7%	17.3%	18.7%	30.9%	9.4%	0.0%	8.6%
衣笠	110	16.4%	47.3%	21.8%	53.6%	43.6%	14.5%	20.0%	30.0%	3.6%	0.0%	6.4%
野田	95	26.3%	41.1%	12.6%	38.9%	30.5%	24.2%	14.7%	25.3%	7.4%	1.1%	15.8%
高松	28	25.0%	39.3%	21.4%	32.1%	39.3%	17.9%	17.9%	28.6%	7.1%	0.0%	17.9%
赤羽根	43	16.3%	48.8%	11.6%	44.2%	41.9%	14.0%	16.3%	25.6%	7.0%	4.7%	14.0%
若戸	36	33.3%	38.9%	22.2%	30.6%	33.3%	25.0%	8.3%	8.3%	5.6%	5.6%	16.7%
伊良湖岬（和地）	23	26.1%	60.9%	26.1%	34.8%	39.1%	13.0%	17.4%	17.4%	13.0%	0.0%	8.7%
伊良湖岬（堀切）	44	34.1%	36.4%	36.4%	43.2%	27.3%	20.5%	15.9%	11.4%	11.4%	4.5%	11.4%
伊良湖岬（伊良湖）	12	41.7%	58.3%	25.0%	41.7%	41.7%	8.3%	25.0%	25.0%	8.3%	0.0%	0.0%
龜山	17	47.1%	64.7%	29.4%	23.5%	23.5%	11.8%	23.5%	11.8%	29.4%	0.0%	0.0%
中山	78	26.9%	47.4%	24.4%	43.6%	33.3%	26.9%	16.7%	15.4%	2.6%	0.0%	9.0%
福江	88	22.7%	45.5%	17.0%	38.6%	43.2%	20.5%	20.5%	17.0%	5.7%	0.0%	14.8%
清田	40	17.5%	45.0%	15.0%	42.5%	35.0%	17.5%	15.0%	30.0%	15.0%	0.0%	17.5%
泉	65	23.1%	43.1%	23.1%	41.5%	55.4%	23.1%	20.0%	16.9%	9.2%	0.0%	4.6%

■ 汐川干潟について

問 21 あなたは、三河湾沿岸地域に広がる「汐川干潟」に行ったことはありますか。
(あてはまるもの1つだけ○)

「汐川干潟という名前は知っているが、行ったことはない」の割合が 48.0%で最も高くなっています。



【性別】

性別でみると、《男性》《女性》ともに「汐川干潟という名前は知っているが、行ったことはない」の割合が最も高く、《女性》では5割を超えています。

単位：%

区分	有効回答件数 (件)	汐川干潟に行 ったことが ある	汐川干潟とい う名前は知 っているが、 行 ったことは ない	汐 川 干 潟 と い う 名 前 す ら 知 ら な い	無 回 答
男性	797	37.5%	45.3%	15.2%	2.0%
女性	482	24.3%	52.7%	19.7%	3.3%

【年齢別】

年齢別でみると、《18歳、19歳》では「汐川干潟に行ったことがある」が、《20歳代》では「汐川干潟という名前すら知らない」が、それ以外の年代では「汐川干潟という名前は知っているが、行ったことはない」の割合が、比較的高くなっています。

単位：％

区分	有効回答件数 (件)	汐川干潟に行 ったことがある	汐川干潟とい う名前は知 っているが、行 ったことはな い	汐川干潟とい う名前すら知 らない	無回答
18歳、19歳	5	60.0%	0.0%	40.0%	0.0%
20歳代	63	7.9%	31.7%	58.7%	1.6%
30歳代	105	26.7%	36.2%	36.2%	1.0%
40歳代	163	31.3%	42.3%	25.8%	0.6%
50歳代	157	31.8%	47.8%	18.5%	1.9%
60歳代	298	36.6%	51.7%	10.4%	1.3%
70歳以上	496	34.5%	52.8%	7.9%	4.8%

【地区別】

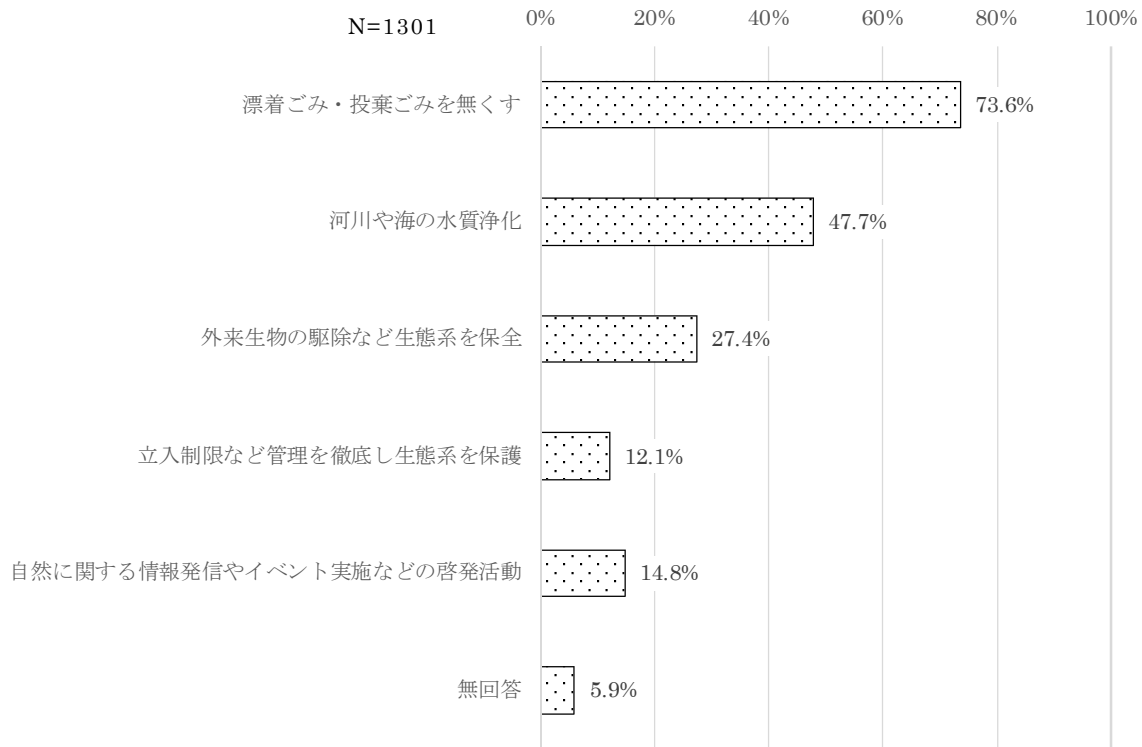
《神戸》《田原東部》《童浦》で「汐川干潟に行ったことがある」の割合が、それ以外の地区では「汐川干潟という名前は知っているが、行ったことはない」の割合が最も高くなっています。

単位：％

区分	有効回答件数 (件)	汐川干潟に行 ったことがある	汐川干潟とい う名前は知 っているが、行 ったことはな い	汐川干潟とい う名前すら知 らない	無回答
六連	34	26.5%	58.8%	14.7%	0.0%
神戸	129	45.7%	41.9%	10.1%	2.3%
大草	29	41.4%	44.8%	13.8%	0.0%
田原東部	94	53.2%	39.4%	6.4%	1.1%
田原南部	36	30.6%	58.3%	8.3%	2.8%
童浦	118	40.7%	30.5%	23.7%	5.1%
田原中部	139	41.0%	43.9%	13.7%	1.4%
衣笠	110	40.9%	43.6%	13.6%	1.8%
野田	95	34.7%	52.6%	10.5%	2.1%
高松	28	32.1%	50.0%	17.9%	0.0%
赤羽根	43	20.9%	55.8%	18.6%	4.7%
若戸	36	22.2%	66.7%	8.3%	2.8%
伊良湖岬(和地)	23	17.4%	39.1%	34.8%	8.7%
伊良湖岬(堀切)	44	15.9%	54.5%	29.5%	0.0%
伊良湖岬(伊良湖)	12	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%
亀山	17	11.8%	64.7%	23.5%	0.0%
中山	78	19.2%	55.1%	20.5%	5.1%
福江	88	17.0%	54.5%	25.0%	3.4%
清田	40	17.5%	60.0%	17.5%	5.0%
泉	65	20.0%	64.6%	12.3%	3.1%

問 22 あなたは、汐川干潟をはじめとした「豊かな自然環境」を保全するためには、どのようなことが大切であるとお考えですか。（あてはまるもの2つまで○）

「漂着ごみ・投棄ごみを無くす」の割合が73.6%で最も高く、次いで「河川や海の水質浄化」の割合が47.7%となっています。



【性別】

性別でみると、《男性》《女性》ともに「漂着ごみ・投棄ごみを無くす」の割合が最も高く、7割を超えています。

単位：%

区分	有効回答件数 (件)	漂着ごみ・投棄ごみを無くす	河川や海の水質浄化	外来生物の駆除など生態系を保全	徹底し立入制限など管理を保護	自然に関する情報発信やイベント実施などの啓発活動	無回答
男性	797	73.7%	52.6%	24.8%	11.5%	16.2%	4.4%
女性	482	74.3%	40.7%	31.7%	12.4%	13.3%	7.5%

【年齢別】

年齢別でみると、全ての年代において「漂着ごみ・投棄ごみを無くす」の割合が最も高くなっています。

単位：％

区分	有効回答件数 (件)	漂着ごみ・投棄ごみを無くす	河川や海の水質浄化	外来生物の駆除など生態系を保全	徹底し生態系を保護を	立入制限など管理を	イベント実施などの啓発活動	自然に関する情報発信や	無回答
18歳、19歳	5	100.0%	80.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
20歳代	63	81.0%	41.3%	27.0%	6.3%	17.5%	0.0%		
30歳代	105	78.1%	51.4%	28.6%	12.4%	9.5%	0.0%		
40歳代	163	73.0%	47.9%	30.1%	14.1%	19.6%	0.6%		
50歳代	157	69.4%	49.7%	35.0%	11.5%	15.9%	0.6%		
60歳代	298	73.8%	49.0%	23.5%	13.8%	17.8%	0.0%		
70歳以上	496	73.0%	46.6%	26.2%	11.1%	12.5%	3.2%		

【地区別】

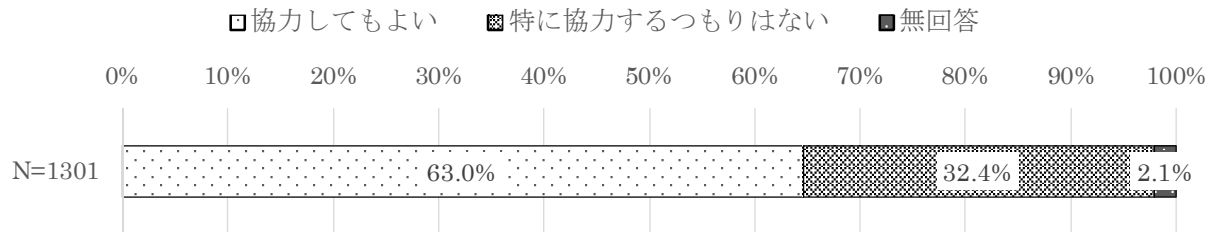
地区別でみると、全ての地区で「漂着ごみ・投棄ごみを無くす」の割合が最も高く、《六連》《伊良湖岬（和地）》《伊良湖岬（堀切）》では8割を超えています。

単位：％

区分	有効回答件数 (件)	漂着ごみ・投棄ごみを無くす	河川や海の水質浄化	外来生物の駆除など生態系を保全	徹底し生態系を保護を	立入制限など管理を	イベント実施などの啓発活動	自然に関する情報発信や	無回答
六連	34	82.4%	35.3%	29.4%	17.6%	17.6%	0.0%		
神戸	129	73.6%	51.9%	28.7%	7.8%	16.3%	2.3%		
大草	29	69.0%	58.6%	37.9%	3.4%	13.8%	0.0%		
田原東部	94	71.3%	46.8%	27.7%	8.5%	14.9%	2.1%		
田原南部	36	77.8%	50.0%	22.2%	22.2%	16.7%	0.0%		
童浦	118	75.4%	41.5%	31.4%	16.9%	11.9%	0.0%		
田原中部	139	67.6%	54.0%	33.1%	12.2%	15.8%	0.7%		
衣笠	110	74.5%	57.3%	27.3%	10.0%	14.5%	0.0%		
野田	95	75.8%	53.7%	18.9%	7.4%	15.8%	3.2%		
高松	28	64.3%	60.7%	21.4%	3.6%	28.6%	0.0%		
赤羽根	43	67.4%	60.5%	16.3%	18.6%	16.3%	4.7%		
若戸	36	75.0%	41.7%	25.0%	13.9%	11.1%	2.8%		
伊良湖岬（和地）	23	82.6%	47.8%	26.1%	8.7%	8.7%	0.0%		
伊良湖岬（堀切）	44	86.4%	34.1%	15.9%	20.5%	18.2%	2.3%		
伊良湖岬（伊良湖）	12	75.0%	66.7%	8.3%	25.0%	16.7%	0.0%		
亀山	17	70.6%	47.1%	23.5%	17.6%	11.8%	0.0%		
中山	78	67.9%	33.3%	32.1%	12.8%	10.3%	2.6%		
福江	88	75.0%	37.5%	28.4%	9.1%	20.5%	1.1%		
清田	40	80.0%	40.0%	25.0%	15.0%	10.0%	2.5%		
泉	65	80.0%	49.2%	33.8%	13.8%	9.2%	0.0%		

問 23 あなたは、田原市の環境保全活動に協力してもよいと考えますか。(あてはまるもの1つだけ○)

「協力してもよい」の割合が63.0%で最も高くなっています。



【性別】

性別でみると、《男性》《女性》ともに「協力してもよい」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	有効回答件数 (件)	協力してもよい	特に協力するつもりはない	無回答
男性	797	64.9%	31.7%	3.4%
女性	482	60.8%	33.6%	5.6%

【年齢別】

年齢別でみると、全ての年齢において「協力してもよい」の割合が最も高くなっています。

単位：％

区分	有効回答件数 (件)	協力してもよい	特に協力するつもりはない	無回答
18歳、19歳	5	80.0%	20.0%	0.0%
20歳代	63	66.7%	30.2%	3.2%
30歳代	105	67.6%	31.4%	1.0%
40歳代	163	62.6%	36.2%	1.2%
50歳代	157	66.2%	31.2%	2.5%
60歳代	298	68.1%	27.9%	4.0%
70歳以上	496	57.7%	34.9%	7.5%

【地区別】

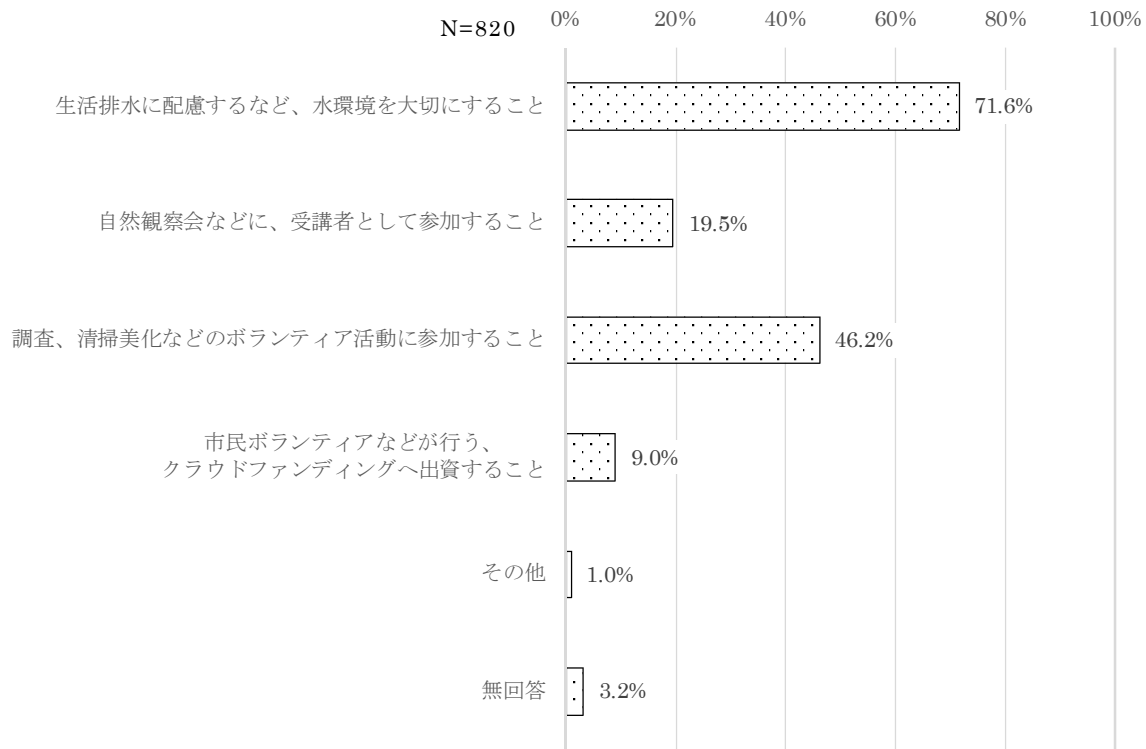
地区別でみると、全ての地区において「協力してもよい」の割合が最も高く、《六連》《田原南部》《赤羽根》《伊良湖岬（伊良湖）》では7割を超えています。

単位：％

区分	有効回答件数 (件)	協力してもよい	特に協力するつもりはない	無回答
六連	34	70.6%	26.5%	2.9%
神戸	129	62.8%	33.3%	3.9%
大草	29	69.0%	31.0%	0.0%
田原東部	94	61.7%	35.1%	3.2%
田原南部	36	75.0%	25.0%	0.0%
童浦	118	61.0%	34.7%	4.2%
田原中部	139	67.6%	28.8%	3.6%
衣笠	110	69.1%	29.1%	1.8%
野田	95	62.1%	33.7%	4.2%
高松	28	53.6%	46.4%	0.0%
赤羽根	43	72.1%	20.9%	7.0%
若戸	36	50.0%	41.7%	8.3%
伊良湖岬（和地）	23	47.8%	43.5%	8.7%
伊良湖岬（堀切）	44	56.8%	43.2%	0.0%
伊良湖岬（伊良湖）	12	75.0%	25.0%	0.0%
亀山	17	52.9%	35.3%	11.8%
中山	78	55.1%	37.2%	7.7%
福江	88	59.1%	30.7%	10.2%
清田	40	67.5%	22.5%	10.0%
泉	65	67.7%	30.8%	1.5%

問 24 問 23 で「1 協力してもよい」を選んだ方にお聞きします。協力してもよいと考える活動は何ですか(あてはまるもの2つまで○)

「生活排水に配慮するなど、水環境を大切にすること」の割合が 71.6%で最も高く、次いで「調査、清掃美化などのボランティア活動に参加すること」の割合が 46.2%となっています。



【性別】

性別でみると、《男性》《女性》ともに「生活排水に配慮するなど、水環境を大切にすること」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	有効回答件数 (件)	生活排水に配慮するなど、 水環境を大切にすること	受講者として参加すること 自然観察会などに、	調査、清掃美化などのボラン ティア活動に参加すること	市民ボラン ティアなどが 行う、 クラウドファン ディングへ 出資すること	その他	無回答
男性	517	70.0%	20.7%	47.6%	9.9%	1.0%	2.7%
女性	293	75.1%	17.7%	42.7%	7.2%	1.0%	3.4%

【年齢別】

年齢別でみると、全ての年代において「生活排水に配慮するなど、水環境を大切にすること」の割合が最も高く、《70歳以上》では8割を超えています。

単位：％

区分	有効回答件数 (件)	生活排水に配慮するなど、 水環境を大切にすること	自然観察会などに、 受講者として参加すること	調査、清掃美化などのボラン ティア活動に参加すること	市民ボランティアなどが行う、 クラウドファンディングへ 出資すること	その他	無回答
18歳、19歳	4	75.0%	0.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%
20歳代	42	69.0%	11.9%	52.4%	11.9%	0.0%	2.4%
30歳代	71	64.8%	23.9%	59.2%	15.5%	0.0%	0.0%
40歳代	102	68.6%	22.5%	45.1%	11.8%	1.0%	3.9%
50歳代	104	75.0%	17.3%	44.2%	8.7%	2.9%	1.9%
60歳代	203	73.9%	22.7%	48.3%	9.4%	1.0%	2.0%
70歳以上	286	81.1%	18.2%	45.1%	5.9%	0.7%	12.2%

【地区別】

地区別でみると、全ての地区において「生活排水に配慮するなど、水環境を大切にすること」の割合が最も高く、《伊良湖岬（和地）》では8割を超えています。

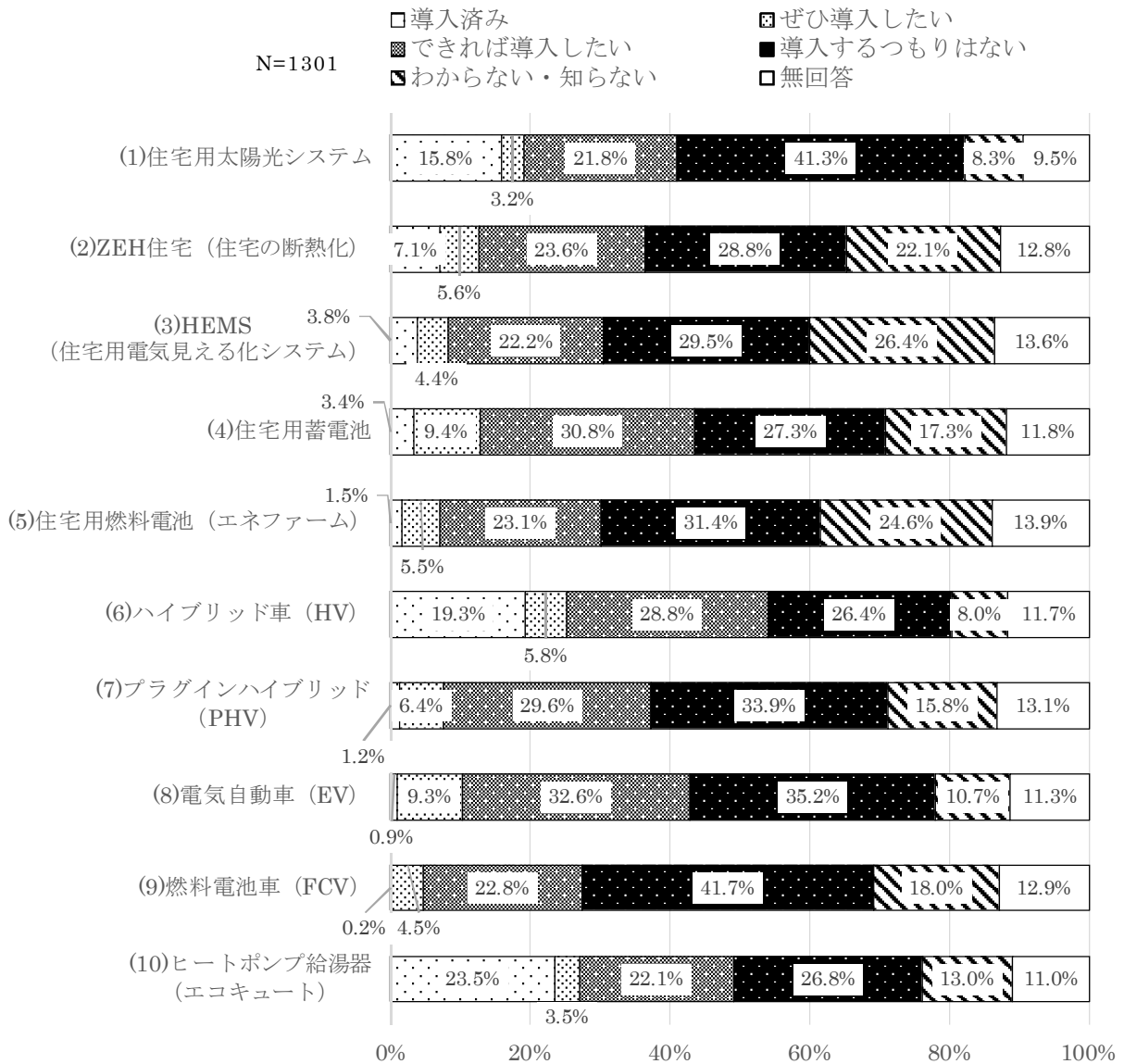
単位：％

区分	有効回答件数 (件)	生活排水に配慮するなど、 水環境を大切にすること	自然観察会などに、 受講者として参加すること	調査、清掃美化などのボラン ティア活動に参加すること	市民ボランティアなどが行う、 クラウドファンディングへ 出資すること	その他	無回答
六連	24	75.0%	12.5%	45.8%	12.5%	0.0%	8.3%
神戸	81	79.0%	23.5%	38.3%	9.9%	0.0%	2.5%
大草	20	75.0%	20.0%	60.0%	5.0%	0.0%	0.0%
田原東部	58	75.9%	15.5%	48.3%	3.4%	1.7%	0.0%
田原南部	27	66.7%	33.3%	48.1%	3.7%	0.0%	3.7%
童浦	72	69.4%	15.3%	48.6%	9.7%	2.8%	2.8%
田原中部	94	73.4%	16.0%	46.8%	9.6%	2.1%	3.2%
衣笠	76	78.9%	21.1%	40.8%	9.2%	1.3%	0.0%
野田	59	76.3%	25.4%	42.4%	8.5%	0.0%	1.7%
高松	15	46.7%	40.0%	46.7%	6.7%	0.0%	6.7%
赤羽根	31	67.7%	6.5%	35.5%	3.2%	3.2%	12.9%
若戸	18	61.1%	33.3%	61.1%	0.0%	0.0%	0.0%
伊良湖岬（和地）	11	81.8%	27.3%	36.4%	9.1%	0.0%	0.0%
伊良湖岬（堀切）	25	60.0%	16.0%	52.0%	16.0%	0.0%	4.0%
伊良湖岬（伊良湖）	9	66.7%	11.1%	66.7%	11.1%	0.0%	0.0%
亀山	9	77.8%	11.1%	44.4%	11.1%	0.0%	0.0%
中山	43	67.4%	14.0%	51.2%	4.7%	0.0%	7.0%
福江	52	73.1%	19.2%	46.2%	11.5%	0.0%	0.0%
清田	27	51.9%	25.9%	48.1%	22.2%	3.7%	3.7%
泉	44	72.7%	18.2%	47.7%	11.4%	0.0%	2.3%

■エコ社会への取り組みについて

問 25 あなたは、再生可能エネルギーや省エネ設備にどの程度関心を持っていますか。
 (項目ごとに、あてはまる数字を1つだけ○)

「ぜひ導入したい」「できれば導入したい」を合わせた“導入したい”の割合は、「(8)電気自動車 (EV)」が41.9%と最も高く、次いで「(4)住宅用蓄電池」が40.2%となっています。



(1) 住宅用太陽光システム

【性別】

単位：％

区分	有効回答件数 (件)	導入済み	ぜひ導入したい	できれば導入したい	導入するつもりはない	わからない・知らない	無回答
男性	797	15.3%	3.9%	23.1%	42.2%	7.9%	7.7%
女性	482	17.0%	2.3%	19.9%	40.5%	8.9%	11.4%

【年齢別】

単位：％

区分	有効回答件数 (件)	導入済み	ぜひ導入したい	できれば導入したい	導入するつもりはない	わからない・知らない	無回答
18歳、19歳	5	20.0%	0.0%	40.0%	40.0%	0.0%	0.0%
20歳代	63	3.2%	7.9%	36.5%	31.7%	15.9%	4.8%
30歳代	105	30.5%	7.6%	21.9%	27.6%	12.4%	0.0%
40歳代	163	28.8%	4.3%	23.9%	33.7%	6.1%	3.1%
50歳代	157	21.7%	3.8%	24.8%	41.4%	6.4%	1.9%
60歳代	298	14.1%	2.3%	22.5%	49.3%	5.7%	6.0%
70歳以上	496	9.5%	1.8%	17.9%	42.3%	9.7%	18.8%

【地区別】

単位：％

区分	有効回答件数 (件)	導入済み	ぜひ導入したい	できれば導入したい	導入するつもりはない	わからない・知らない	無回答
六連	34	14.7%	0.0%	20.6%	41.2%	11.8%	11.8%
神戸	129	11.6%	1.6%	25.6%	45.0%	6.2%	10.1%
大草	29	24.1%	6.9%	10.3%	41.4%	3.4%	13.8%
田原東部	94	22.3%	0.0%	18.1%	46.8%	4.3%	8.5%
田原南部	36	25.0%	0.0%	38.9%	30.6%	2.8%	2.8%
童浦	118	20.3%	5.9%	23.7%	36.4%	5.9%	7.6%
田原中部	139	16.5%	7.2%	21.6%	37.4%	12.2%	5.0%
衣笠	110	25.5%	1.8%	20.0%	40.0%	10.0%	2.7%
野田	95	12.6%	4.2%	24.2%	43.2%	7.4%	8.4%
高松	28	17.9%	0.0%	14.3%	39.3%	14.3%	14.3%
赤羽根	43	14.0%	7.0%	11.6%	44.2%	4.7%	18.6%
若戸	36	11.1%	2.8%	19.4%	58.3%	0.0%	8.3%
伊良湖岬(和地)	23	4.3%	4.3%	13.0%	73.9%	4.3%	0.0%
伊良湖岬(堀切)	44	13.6%	2.3%	20.5%	50.0%	4.5%	9.1%
伊良湖岬(伊良湖)	12	8.3%	0.0%	16.7%	41.7%	25.0%	8.3%
亀山	17	17.6%	5.9%	11.8%	23.5%	17.6%	23.5%
中山	78	10.3%	2.6%	24.4%	34.6%	7.7%	20.5%
福江	88	15.9%	0.0%	21.6%	36.4%	13.6%	12.5%
清田	40	12.5%	5.0%	22.5%	42.5%	5.0%	12.5%
泉	65	10.8%	0.0%	29.2%	49.2%	3.1%	7.7%

(2) ZEH 住宅（住宅の断熱化）

【性別】

単位：%

区分	有効回答件数 (件)	導入済み	ぜひ導入したい	できれば導入したい	導入するつもりはない	わからない・知らない	無回答
男性	797	5.9%	6.3%	24.7%	31.6%	20.5%	11.0%
女性	482	8.9%	4.8%	22.0%	24.5%	25.3%	14.5%

【年齢別】

単位：%

区分	有効回答件数 (件)	導入済み	ぜひ導入したい	できれば導入したい	導入するつもりはない	わからない・知らない	無回答
18歳、19歳	5	20.0%	0.0%	40.0%	0.0%	40.0%	0.0%
20歳代	63	3.2%	15.9%	34.9%	12.7%	28.6%	4.8%
30歳代	105	15.2%	12.4%	21.0%	19.0%	32.4%	0.0%
40歳代	163	11.7%	7.4%	26.4%	24.5%	26.4%	3.7%
50歳代	157	6.4%	5.1%	28.7%	28.7%	26.8%	4.5%
60歳代	298	7.0%	4.4%	26.5%	33.6%	20.8%	7.7%
70歳以上	496	4.4%	3.4%	18.5%	31.5%	16.7%	25.4%

【地区別】

単位：%

区分	有効回答件数 (件)	導入済み	ぜひ導入したい	できれば導入したい	導入するつもりはない	わからない・知らない	無回答
六連	34	8.8%	5.9%	17.6%	38.2%	20.6%	8.8%
神戸	129	3.9%	3.9%	30.2%	29.5%	20.2%	12.4%
大草	29	6.9%	3.4%	13.8%	27.6%	31.0%	17.2%
田原東部	94	9.6%	5.3%	18.1%	33.0%	22.3%	11.7%
田原南部	36	13.9%	2.8%	33.3%	19.4%	25.0%	5.6%
童浦	118	8.5%	10.2%	21.2%	27.1%	23.7%	9.3%
田原中部	139	7.9%	9.4%	23.0%	25.9%	27.3%	6.5%
衣笠	110	12.7%	5.5%	26.4%	23.6%	24.5%	7.3%
野田	95	4.2%	5.3%	21.1%	30.5%	27.4%	11.6%
高松	28	7.1%	3.6%	21.4%	28.6%	17.9%	21.4%
赤羽根	43	4.7%	7.0%	9.3%	34.9%	20.9%	23.3%
若戸	36	5.6%	5.6%	22.2%	38.9%	16.7%	11.1%
伊良湖岬(和地)	23	0.0%	4.3%	26.1%	52.2%	8.7%	8.7%
伊良湖岬(堀切)	44	4.5%	6.8%	22.7%	29.5%	20.5%	15.9%
伊良湖岬(伊良湖)	12	8.3%	0.0%	16.7%	33.3%	33.3%	8.3%
亀山	17	0.0%	0.0%	23.5%	29.4%	23.5%	23.5%
中山	78	9.0%	2.6%	28.2%	23.1%	14.1%	23.1%
福江	88	5.7%	6.8%	25.0%	20.5%	23.9%	18.2%
清田	40	12.5%	0.0%	35.0%	27.5%	5.0%	20.0%
泉	65	3.1%	3.1%	26.2%	43.1%	10.8%	13.8%

(3) HEMS (住宅用電気見える化システム)

【性別】

単位：%

区分	有効回答件数 (件)	導入済み	ぜひ導入したい	できれば導入したい	導入するつもりはない	わからない・知らない	無回答
男性	797	17.6%	27.4%	19.1%	32.0%	4.0%	11.8%
女性	482	15.6%	28.8%	20.3%	29.9%	5.4%	15.6%

【年齢別】

単位：%

区分	有効回答件数 (件)	導入済み	ぜひ導入したい	できれば導入したい	導入するつもりはない	わからない・知らない	無回答
18歳、19歳	5	20.0%	0.0%	40.0%	0.0%	40.0%	0.0%
20歳代	63	0.0%	11.1%	30.2%	17.5%	36.5%	4.8%
30歳代	105	7.6%	13.3%	22.9%	19.0%	37.1%	0.0%
40歳代	163	9.2%	7.4%	24.5%	27.6%	27.6%	3.7%
50歳代	157	3.8%	5.1%	28.7%	29.3%	28.0%	5.1%
60歳代	298	4.4%	3.4%	24.2%	34.2%	24.5%	9.4%
70歳以上	496	1.4%	1.2%	16.9%	30.8%	23.2%	26.4%

【地区別】

単位：%

区分	有効回答件数 (件)	導入済み	ぜひ導入したい	できれば導入したい	導入するつもりはない	わからない・知らない	無回答
六連	34	5.9%	2.9%	17.6%	29.4%	35.3%	8.8%
神戸	129	1.6%	2.3%	26.4%	37.2%	20.2%	12.4%
大草	29	6.9%	3.4%	10.3%	31.0%	34.5%	13.8%
田原東部	94	4.3%	1.1%	16.0%	39.4%	26.6%	12.8%
田原南部	36	5.6%	5.6%	38.9%	22.2%	22.2%	5.6%
童浦	118	5.9%	8.5%	24.6%	25.4%	25.4%	10.2%
田原中部	139	2.9%	8.6%	26.6%	25.2%	27.3%	9.4%
衣笠	110	6.4%	1.8%	28.2%	24.5%	30.9%	8.2%
野田	95	3.2%	7.4%	15.8%	29.5%	33.7%	10.5%
高松	28	7.1%	0.0%	17.9%	21.4%	32.1%	21.4%
赤羽根	43	2.3%	4.7%	16.3%	25.6%	27.9%	23.3%
若戸	36	0.0%	2.8%	30.6%	25.0%	27.8%	13.9%
伊良湖岬(和地)	23	0.0%	4.3%	8.7%	60.9%	17.4%	8.7%
伊良湖岬(堀切)	44	2.3%	6.8%	13.6%	36.4%	22.7%	18.2%
伊良湖岬(伊良湖)	12	8.3%	0.0%	8.3%	33.3%	33.3%	16.7%
亀山	17	0.0%	0.0%	11.8%	29.4%	29.4%	29.4%
中山	78	2.6%	2.6%	20.5%	23.1%	26.9%	24.4%
福江	88	10.2%	2.3%	21.6%	23.9%	25.0%	17.0%
清田	40	0.0%	2.5%	35.0%	30.0%	12.5%	20.0%
泉	65	1.5%	3.1%	26.2%	40.0%	13.8%	15.4%

(4) 住宅用蓄電池

【性別】

単位：%

区分	有効回答件数 (件)	導入済み	ぜひ導入したい	できれば導入したい	導入するつもりはない	わからない・知らない	無回答
男性	797	3.5%	10.0%	30.2%	31.6%	14.4%	10.2%
女性	482	3.3%	8.7%	32.0%	20.7%	21.8%	13.5%

【年齢別】

単位：%

区分	有効回答件数 (件)	導入済み	ぜひ導入したい	できれば導入したい	導入するつもりはない	わからない・知らない	無回答
18歳、19歳	5	0.0%	20.0%	40.0%	0.0%	40.0%	0.0%
20歳代	63	0.0%	12.7%	34.9%	20.6%	28.6%	3.2%
30歳代	105	8.6%	17.1%	38.1%	14.3%	21.9%	0.0%
40歳代	163	4.3%	15.3%	39.9%	24.5%	12.3%	3.7%
50歳代	157	4.5%	13.4%	34.4%	27.4%	16.6%	3.8%
60歳代	298	4.0%	7.4%	33.9%	30.5%	17.1%	7.0%
70歳以上	496	1.8%	5.4%	23.0%	29.8%	16.3%	23.6%

【地区別】

単位：%

区分	有効回答件数 (件)	導入済み	ぜひ導入したい	できれば導入したい	導入するつもりはない	わからない・知らない	無回答
六連	34	5.9%	0.0%	38.2%	35.3%	14.7%	5.9%
神戸	129	0.8%	5.4%	34.1%	32.6%	14.7%	12.4%
大草	29	3.4%	13.8%	13.8%	41.4%	13.8%	13.8%
田原東部	94	6.4%	6.4%	30.9%	29.8%	13.8%	12.8%
田原南部	36	2.8%	13.9%	52.8%	13.9%	11.1%	5.6%
童浦	118	5.1%	14.4%	28.8%	24.6%	20.3%	6.8%
田原中部	139	3.6%	12.9%	30.2%	23.0%	21.6%	8.6%
衣笠	110	5.5%	8.2%	37.3%	22.7%	20.9%	5.5%
野田	95	2.1%	13.7%	29.5%	29.5%	15.8%	9.5%
高松	28	3.6%	7.1%	28.6%	17.9%	21.4%	21.4%
赤羽根	43	4.7%	9.3%	27.9%	27.9%	9.3%	20.9%
若戸	36	0.0%	8.3%	41.7%	27.8%	11.1%	11.1%
伊良湖岬(和地)	23	0.0%	8.7%	30.4%	52.2%	8.7%	0.0%
伊良湖岬(堀切)	44	4.5%	6.8%	20.5%	29.5%	20.5%	18.2%
伊良湖岬(伊良湖)	12	0.0%	25.0%	8.3%	25.0%	33.3%	8.3%
亀山	17	11.8%	0.0%	23.5%	23.5%	17.6%	23.5%
中山	78	2.6%	6.4%	29.5%	25.6%	11.5%	24.4%
福江	88	4.5%	12.5%	28.4%	23.9%	18.2%	12.5%
清田	40	2.5%	15.0%	22.5%	27.5%	15.0%	17.5%
泉	65	0.0%	3.1%	40.0%	33.8%	10.8%	12.3%

(5) 住宅用燃料電池 (エネファーム)

【性別】

単位：%

区分	有効回答件数 (件)	導入済み	ぜひ導入したい	できれば導入したい	導入するつもりはない	わからない・知らない	無回答
男性	797	1.5%	6.1%	23.3%	35.5%	21.2%	12.3%
女性	482	1.5%	4.8%	22.6%	25.1%	30.3%	15.8%

【年齢別】

単位：%

区分	有効回答件数 (件)	導入済み	ぜひ導入したい	できれば導入したい	導入するつもりはない	わからない・知らない	無回答
18歳、19歳	5	0.0%	20.0%	40.0%	0.0%	40.0%	0.0%
20歳代	63	0.0%	9.5%	30.2%	25.4%	31.7%	3.2%
30歳代	105	3.8%	6.7%	24.8%	23.8%	41.0%	0.0%
40歳代	163	1.8%	11.7%	27.6%	33.1%	22.1%	3.7%
50歳代	157	1.9%	6.4%	29.3%	31.8%	23.6%	7.0%
60歳代	298	2.7%	3.4%	24.8%	35.2%	24.8%	9.1%
70歳以上	496	0.4%	3.8%	17.1%	30.8%	21.0%	26.8%

【地区別】

単位：%

区分	有効回答件数 (件)	導入済み	ぜひ導入したい	できれば導入したい	導入するつもりはない	わからない・知らない	無回答
六連	34	0.0%	2.9%	23.5%	41.2%	26.5%	5.9%
神戸	129	1.6%	1.6%	27.9%	37.2%	19.4%	12.4%
大草	29	3.4%	0.0%	13.8%	41.4%	24.1%	17.2%
田原東部	94	3.2%	2.1%	25.5%	36.2%	20.2%	12.8%
田原南部	36	0.0%	5.6%	27.8%	27.8%	30.6%	8.3%
童浦	118	2.5%	10.2%	21.2%	26.3%	27.1%	12.7%
田原中部	139	0.0%	5.8%	28.1%	28.1%	28.1%	10.1%
衣笠	110	5.5%	3.6%	28.2%	25.5%	30.0%	7.3%
野田	95	0.0%	10.5%	15.8%	33.7%	26.3%	13.7%
高松	28	0.0%	3.6%	21.4%	17.9%	32.1%	25.0%
赤羽根	43	0.0%	7.0%	18.6%	32.6%	18.6%	23.3%
若戸	36	2.8%	2.8%	27.8%	27.8%	27.8%	11.1%
伊良湖岬(和地)	23	0.0%	4.3%	13.0%	65.2%	8.7%	8.7%
伊良湖岬(堀切)	44	2.3%	4.5%	18.2%	31.8%	25.0%	18.2%
伊良湖岬(伊良湖)	12	0.0%	16.7%	8.3%	33.3%	33.3%	8.3%
亀山	17	0.0%	5.9%	11.8%	35.3%	23.5%	23.5%
中山	78	1.3%	2.6%	26.9%	25.6%	19.2%	24.4%
福江	88	1.1%	9.1%	14.8%	30.7%	26.1%	18.2%
清田	40	2.5%	15.0%	17.5%	32.5%	15.0%	17.5%
泉	65	0.0%	3.1%	32.3%	36.9%	13.8%	13.8%

(6) ハイブリッド車 (HV)

【性別】

単位：%

区分	有効回答件数 (件)	導入済み	ぜひ導入したい	できれば導入したい	導入するつもりはない	わからない・知らない	無回答
男性	797	22.3%	5.4%	29.7%	26.5%	6.1%	9.9%
女性	482	14.7%	6.6%	27.0%	27.0%	11.0%	13.7%

【年齢別】

単位：%

区分	有効回答件数 (件)	導入済み	ぜひ導入したい	できれば導入したい	導入するつもりはない	わからない・知らない	無回答
18歳、19歳	5	20.0%	0.0%	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20歳代	63	20.6%	17.5%	31.7%	20.6%	6.3%	3.2%
30歳代	105	19.0%	11.4%	34.3%	24.8%	9.5%	1.0%
40歳代	163	20.2%	9.2%	38.7%	22.7%	4.3%	4.9%
50歳代	157	24.2%	6.4%	36.3%	22.9%	6.4%	3.8%
60歳代	298	25.5%	3.4%	28.2%	28.9%	7.7%	6.4%
70歳以上	496	14.1%	3.4%	21.4%	28.0%	10.1%	23.0%

【地区別】

単位：%

区分	有効回答件数 (件)	導入済み	ぜひ導入したい	できれば導入したい	導入するつもりはない	わからない・知らない	無回答
六連	34	26.5%	2.9%	35.3%	20.6%	8.8%	5.9%
神戸	129	19.4%	6.2%	25.6%	31.0%	7.8%	10.1%
大草	29	20.7%	0.0%	20.7%	37.9%	6.9%	13.8%
田原東部	94	23.4%	3.2%	27.7%	27.7%	7.4%	10.6%
田原南部	36	16.7%	2.8%	25.0%	30.6%	16.7%	8.3%
童浦	118	20.3%	7.6%	32.2%	26.3%	5.1%	8.5%
田原中部	139	19.4%	5.8%	30.9%	25.2%	10.1%	8.6%
衣笠	110	21.8%	5.5%	35.5%	23.6%	7.3%	6.4%
野田	95	18.9%	6.3%	28.4%	27.4%	7.4%	11.6%
高松	28	21.4%	7.1%	28.6%	17.9%	7.1%	17.9%
赤羽根	43	18.6%	4.7%	23.3%	27.9%	4.7%	20.9%
若戸	36	16.7%	8.3%	36.1%	19.4%	11.1%	8.3%
伊良湖岬(和地)	23	17.4%	8.7%	26.1%	43.5%	0.0%	4.3%
伊良湖岬(堀切)	44	15.9%	2.3%	15.9%	40.9%	6.8%	18.2%
伊良湖岬(伊良湖)	12	8.3%	8.3%	58.3%	8.3%	8.3%	8.3%
亀山	17	17.6%	5.9%	41.2%	11.8%	11.8%	11.8%
中山	78	23.1%	2.6%	28.2%	20.5%	3.8%	21.8%
福江	88	19.3%	11.4%	20.5%	22.7%	12.5%	13.6%
清田	40	12.5%	12.5%	40.0%	15.0%	2.5%	17.5%
泉	65	13.8%	1.5%	30.8%	32.3%	7.7%	13.8%

(7) プラグインハイブリッド (PHV)

【性別】

単位：%

区分	有効回答件数 (件)	導入済み	ぜひ導入したい	できれば導入したい	導入するつもりはない	わからない・知らない	無回答
男性	797	1.0%	6.9%	33.4%	36.1%	11.0%	11.5%
女性	482	1.7%	5.4%	24.1%	30.9%	23.2%	14.7%

【年齢別】

単位：%

区分	有効回答件数 (件)	導入済み	ぜひ導入したい	できれば導入したい	導入するつもりはない	わからない・知らない	無回答
18歳、19歳	5	0.0%	20.0%	40.0%	20.0%	20.0%	0.0%
20歳代	63	3.2%	12.7%	36.5%	28.6%	15.9%	3.2%
30歳代	105	2.9%	13.3%	31.4%	27.6%	24.8%	0.0%
40歳代	163	2.5%	7.4%	39.3%	32.5%	14.7%	3.7%
50歳代	157	1.9%	8.9%	40.8%	31.2%	12.1%	5.1%
60歳代	298	0.3%	5.4%	33.2%	40.3%	12.4%	8.4%
70歳以上	496	0.6%	3.4%	19.8%	33.1%	17.3%	25.8%

【地区別】

単位：%

区分	有効回答件数 (件)	導入済み	ぜひ導入したい	できれば導入したい	導入するつもりはない	わからない・知らない	無回答
六連	34	0.0%	0.0%	47.1%	32.4%	14.7%	5.9%
神戸	129	1.6%	7.0%	27.1%	38.0%	14.7%	11.6%
大草	29	0.0%	0.0%	13.8%	58.6%	13.8%	13.8%
田原東部	94	0.0%	3.2%	28.7%	35.1%	17.0%	16.0%
田原南部	36	0.0%	5.6%	33.3%	33.3%	19.4%	8.3%
童浦	118	3.4%	6.8%	29.7%	36.4%	13.6%	10.2%
田原中部	139	1.4%	6.5%	28.8%	33.8%	20.9%	8.6%
衣笠	110	1.8%	7.3%	39.1%	30.0%	13.6%	8.2%
野田	95	1.1%	6.3%	33.7%	33.7%	14.7%	10.5%
高松	28	0.0%	10.7%	25.0%	25.0%	17.9%	21.4%
赤羽根	43	0.0%	9.3%	20.9%	34.9%	11.6%	23.3%
若戸	36	2.8%	11.1%	27.8%	30.6%	16.7%	11.1%
伊良湖岬(和地)	23	0.0%	13.0%	30.4%	43.5%	8.7%	4.3%
伊良湖岬(堀切)	44	2.3%	2.3%	13.6%	43.2%	18.2%	20.5%
伊良湖岬(伊良湖)	12	0.0%	16.7%	41.7%	0.0%	33.3%	8.3%
亀山	17	0.0%	5.9%	23.5%	29.4%	17.6%	23.5%
中山	78	1.3%	1.3%	34.6%	30.8%	7.7%	24.4%
福江	88	1.1%	11.4%	25.0%	30.7%	18.2%	13.6%
清田	40	2.5%	10.0%	32.5%	17.5%	20.0%	17.5%
泉	65	0.0%	1.5%	33.8%	36.9%	12.3%	15.4%

(8) 電気自動車 (EV)

【性別】

単位：%

区分	有効回答件数 (件)	導入済み	ぜひ導入したい	できれば導入したい	導入するつもりはない	わからない・知らない	無回答
男性	797	1.3%	10.7%	34.5%	36.1%	7.8%	9.7%
女性	482	0.4%	7.1%	29.9%	34.4%	15.1%	13.1%

【年齢別】

単位：%

区分	有効回答件数 (件)	導入済み	ぜひ導入したい	できれば導入したい	導入するつもりはない	わからない・知らない	無回答
18歳、19歳	5	0.0%	20.0%	60.0%	0.0%	20.0%	0.0%
20歳代	63	1.6%	15.9%	33.3%	36.5%	9.5%	3.2%
30歳代	105	1.0%	15.2%	36.2%	35.2%	12.4%	0.0%
40歳代	163	0.0%	11.0%	39.9%	31.9%	13.5%	3.7%
50歳代	157	0.6%	8.3%	37.6%	40.8%	8.9%	3.8%
60歳代	298	0.3%	8.4%	35.9%	39.9%	8.7%	6.7%
70歳以上	496	1.6%	7.5%	25.8%	31.3%	11.5%	22.4%

【地区別】

単位：%

区分	有効回答件数 (件)	導入済み	ぜひ導入したい	できれば導入したい	導入するつもりはない	わからない・知らない	無回答
六連	34	0.0%	5.9%	35.3%	41.2%	11.8%	5.9%
神戸	129	0.0%	8.5%	32.6%	36.4%	12.4%	10.1%
大草	29	0.0%	13.8%	20.7%	44.8%	10.3%	10.3%
田原東部	94	2.1%	7.4%	29.8%	38.3%	9.6%	12.8%
田原南部	36	0.0%	8.3%	36.1%	38.9%	11.1%	5.6%
童浦	118	1.7%	10.2%	38.1%	37.3%	4.2%	8.5%
田原中部	139	0.0%	11.5%	33.8%	33.8%	14.4%	6.5%
衣笠	110	4.5%	7.3%	38.2%	32.7%	10.9%	6.4%
野田	95	1.1%	11.6%	33.7%	33.7%	10.5%	9.5%
高松	28	0.0%	14.3%	21.4%	35.7%	7.1%	21.4%
赤羽根	43	0.0%	9.3%	27.9%	32.6%	9.3%	20.9%
若戸	36	0.0%	16.7%	30.6%	30.6%	11.1%	11.1%
伊良湖岬(和地)	23	0.0%	8.7%	34.8%	47.8%	4.3%	4.3%
伊良湖岬(堀切)	44	0.0%	0.0%	29.5%	40.9%	13.6%	15.9%
伊良湖岬(伊良湖)	12	0.0%	8.3%	41.7%	25.0%	8.3%	16.7%
亀山	17	0.0%	11.8%	41.2%	5.9%	17.6%	23.5%
中山	78	0.0%	3.8%	32.1%	32.1%	7.7%	24.4%
福江	88	1.1%	12.5%	25.0%	35.2%	14.8%	11.4%
清田	40	0.0%	15.0%	42.5%	22.5%	7.5%	12.5%
泉	65	1.5%	6.2%	35.4%	36.9%	9.2%	10.8%

(9) 燃料電池車 (FCV)

【性別】

単位：%

区分	有効回答件数 (件)	導入済み	ぜひ導入したい	できれば導入したい	導入するつもりはない	わからない・知らない	無回答
男性	797	0.1%	5.3%	25.7%	44.0%	13.8%	11.0%
女性	482	0.2%	3.3%	18.3%	38.6%	24.7%	14.9%

【年齢別】

単位：%

区分	有効回答件数 (件)	導入済み	ぜひ導入したい	できれば導入したい	導入するつもりはない	わからない・知らない	無回答
18歳、19歳	5	0.0%	0.0%	60.0%	20.0%	20.0%	0.0%
20歳代	63	0.0%	9.5%	31.7%	38.1%	17.5%	3.2%
30歳代	105	0.0%	7.6%	22.9%	41.9%	27.6%	0.0%
40歳代	163	0.0%	4.3%	28.8%	42.9%	19.6%	4.3%
50歳代	157	1.3%	4.5%	29.9%	44.6%	15.3%	4.5%
60歳代	298	0.0%	4.4%	25.5%	47.0%	15.8%	7.4%
70歳以上	496	0.0%	3.4%	15.5%	37.5%	17.7%	25.8%

【地区別】

単位：%

区分	有効回答件数 (件)	導入済み	ぜひ導入したい	できれば導入したい	導入するつもりはない	わからない・知らない	無回答
六連	34	0.0%	2.9%	20.6%	50.0%	20.6%	5.9%
神戸	129	0.0%	3.9%	22.5%	45.7%	17.1%	10.9%
大草	29	0.0%	3.4%	6.9%	65.5%	10.3%	13.8%
田原東部	94	0.0%	1.1%	22.3%	42.6%	20.2%	13.8%
田原南部	36	0.0%	2.8%	22.2%	52.8%	16.7%	5.6%
童浦	118	0.0%	5.1%	28.8%	44.9%	11.0%	10.2%
田原中部	139	0.0%	5.8%	24.5%	40.3%	20.1%	9.4%
衣笠	110	0.9%	3.6%	28.2%	38.2%	20.9%	8.2%
野田	95	0.0%	6.3%	24.2%	36.8%	22.1%	10.5%
高松	28	0.0%	7.1%	28.6%	21.4%	21.4%	21.4%
赤羽根	43	0.0%	4.7%	16.3%	37.2%	20.9%	20.9%
若戸	36	0.0%	11.1%	16.7%	47.2%	13.9%	11.1%
伊良湖岬(和地)	23	0.0%	4.3%	17.4%	56.5%	17.4%	4.3%
伊良湖岬(堀切)	44	0.0%	0.0%	18.2%	43.2%	20.5%	18.2%
伊良湖岬(伊良湖)	12	0.0%	8.3%	25.0%	33.3%	16.7%	16.7%
亀山	17	0.0%	5.9%	17.6%	29.4%	23.5%	23.5%
中山	78	0.0%	1.3%	25.6%	38.5%	9.0%	25.6%
福江	88	1.1%	5.7%	19.3%	37.5%	21.6%	14.8%
清田	40	0.0%	12.5%	22.5%	30.0%	17.5%	17.5%
泉	65	0.0%	1.5%	26.2%	43.1%	15.4%	13.8%

(10) ヒートポンプ給湯器 (エコキュート)

【性別】

単位：%

区分	有効回答件数 (件)	導入済み	ぜひ導入したい	できれば導入したい	導入するつもりはない	わからない・知らない	無回答
男性	797	21.6%	3.5%	24.1%	30.4%	10.7%	9.8%
女性	482	26.8%	3.5%	19.3%	21.6%	17.0%	11.8%

【年齢別】

単位：%

区分	有効回答件数 (件)	導入済み	ぜひ導入したい	できれば導入したい	導入するつもりはない	わからない・知らない	無回答
18歳、19歳	5	20.0%	0.0%	60.0%	0.0%	20.0%	0.0%
20歳代	63	6.3%	4.8%	36.5%	22.2%	27.0%	3.2%
30歳代	105	41.0%	6.7%	20.0%	15.2%	17.1%	0.0%
40歳代	163	44.8%	3.7%	20.9%	19.0%	8.6%	3.1%
50歳代	157	26.8%	3.8%	22.3%	32.5%	10.2%	4.5%
60歳代	298	20.5%	2.0%	27.9%	32.9%	10.1%	6.7%
70歳以上	496	16.1%	3.4%	17.3%	26.8%	14.7%	21.6%

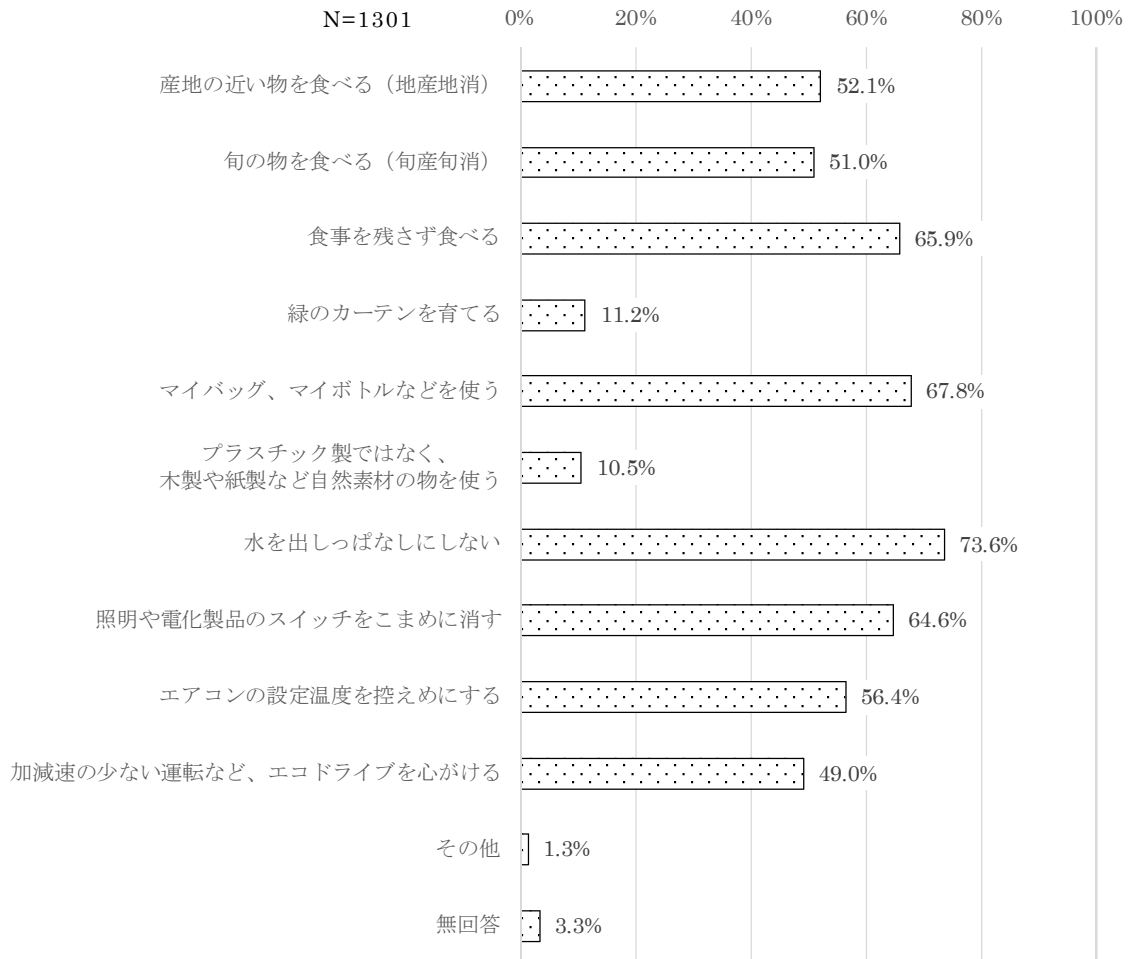
【地区別】

単位：%

区分	有効回答件数 (件)	導入済み	ぜひ導入したい	できれば導入したい	導入するつもりはない	わからない・知らない	無回答
六連	34	26.5%	0.0%	20.6%	35.3%	11.8%	5.9%
神戸	129	16.3%	1.6%	23.3%	36.4%	10.1%	12.4%
大草	29	31.0%	6.9%	13.8%	34.5%	6.9%	6.9%
田原東部	94	37.2%	1.1%	14.9%	29.8%	6.4%	10.6%
田原南部	36	33.3%	0.0%	30.6%	22.2%	8.3%	5.6%
童浦	118	33.1%	5.1%	19.5%	24.6%	11.0%	6.8%
田原中部	139	22.3%	5.0%	21.6%	24.5%	19.4%	7.2%
衣笠	110	29.1%	5.5%	25.5%	21.8%	12.7%	5.5%
野田	95	18.9%	4.2%	23.2%	31.6%	12.6%	9.5%
高松	28	14.3%	3.6%	25.0%	21.4%	14.3%	21.4%
赤羽根	43	20.9%	2.3%	20.9%	25.6%	11.6%	18.6%
若戸	36	25.0%	8.3%	16.7%	27.8%	11.1%	11.1%
伊良湖岬(和地)	23	21.7%	4.3%	21.7%	39.1%	13.0%	0.0%
伊良湖岬(堀切)	44	29.5%	0.0%	22.7%	25.0%	6.8%	15.9%
伊良湖岬(伊良湖)	12	16.7%	8.3%	16.7%	16.7%	33.3%	8.3%
亀山	17	11.8%	11.8%	17.6%	17.6%	17.6%	23.5%
中山	78	19.2%	1.3%	19.2%	26.9%	12.8%	20.5%
福江	88	22.7%	3.4%	23.9%	15.9%	19.3%	14.8%
清田	40	25.0%	5.0%	25.0%	20.0%	7.5%	17.5%
泉	65	13.8%	1.5%	30.8%	33.8%	10.8%	9.2%

**問 26 あなたのエコライフへの取り組みで、実践しているものや関心があるものをお聞かせください。
(あてはまるものすべてに○)**

「水を出しっぱなしにしない」の割合が 73.6%で最も高く、次いで「マイバッグ、マイボトルなどを使う」の割合が 67.8%となっています。



【性別】

性別でみると、《男性》は「水を出しっぱなしにしない」の割合が、《女性》では「マイバッグ、マイボトルなどを使う」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	有効回答件数 (件)	産地の近い物を食べる (地産地消)	旬の物を食べる (旬産旬消)	食事を残さず食べる	緑のカーテンを育てる	マイバッグ、マイボトルなどを使う	プラスチック製ではなく、木製や紙製など自然素材の物を使う	水を出しっぱなしにしない	照明や電化製品のスイッチをこまめに消す	エアコンの設定温度を控えめにする	エコドライブを心がける	その他	無回答
男性	797	49.6%	46.9%	68.5%	10.8%	59.5%	9.3%	71.9%	63.9%	56.0%	53.3%	1.1%	2.8%
女性	482	56.4%	58.1%	62.4%	11.8%	82.2%	12.2%	76.6%	66.2%	57.9%	42.5%	1.7%	3.5%

【年齢別】

年齢別でみると、《20歳代》では「食事を残さず食べる」の割合が、それ以外の年代では「マイバッグ、マイボトルなどを使う」または「水を出しっぱなしにしない」の割合が最も高くなっています。

単位：％

区分	有効回答件数 (件)	産地の近い物を 食べる (産地消)	旬の物を食べる (旬産旬消)	食事を残さず食べる	緑のカーテンを育てる	マイバッグ、 マイボトルなどを使う	プラスチック製ではなく、 木製や紙製など自然 素材の物を使う	水を出しっぱなしにしない	照明や電化製品の スイッチをこまめに消す	エアコンの設定温度を 控えるにする	加減速の少ない運転など、 エコドライブを心がける	その他	無回答
18歳、19歳	5	40.0%	40.0%	60.0%	0.0%	60.0%	0.0%	80.0%	80.0%	40.0%	40.0%	0.0%	0.0%
20歳代	63	38.1%	44.4%	71.4%	3.2%	60.3%	3.2%	60.3%	50.8%	30.2%	44.4%	1.6%	1.6%
30歳代	105	52.4%	50.5%	75.2%	5.7%	82.9%	12.4%	69.5%	57.1%	49.5%	38.1%	2.9%	0.0%
40歳代	163	54.0%	53.4%	69.9%	4.3%	74.2%	15.3%	58.9%	61.3%	51.5%	46.6%	1.2%	1.8%
50歳代	157	52.2%	53.5%	63.7%	8.9%	76.4%	8.9%	72.6%	65.6%	54.1%	52.9%	2.5%	1.3%
60歳代	298	50.0%	53.0%	61.4%	12.4%	68.8%	11.1%	72.8%	70.1%	59.7%	54.7%	0.7%	0.3%
70歳以上	496	55.2%	49.2%	65.7%	16.1%	60.7%	16.9%	75.6%	64.7%	63.1%	47.2%	0.8%	5.2%

【地区別】

地区別でみると、《田原南部》《高松》《赤羽根》《伊良湖岬（和地）》以外の地区で「水を出しっぱなしにしない」の割合が最も高くなっています。

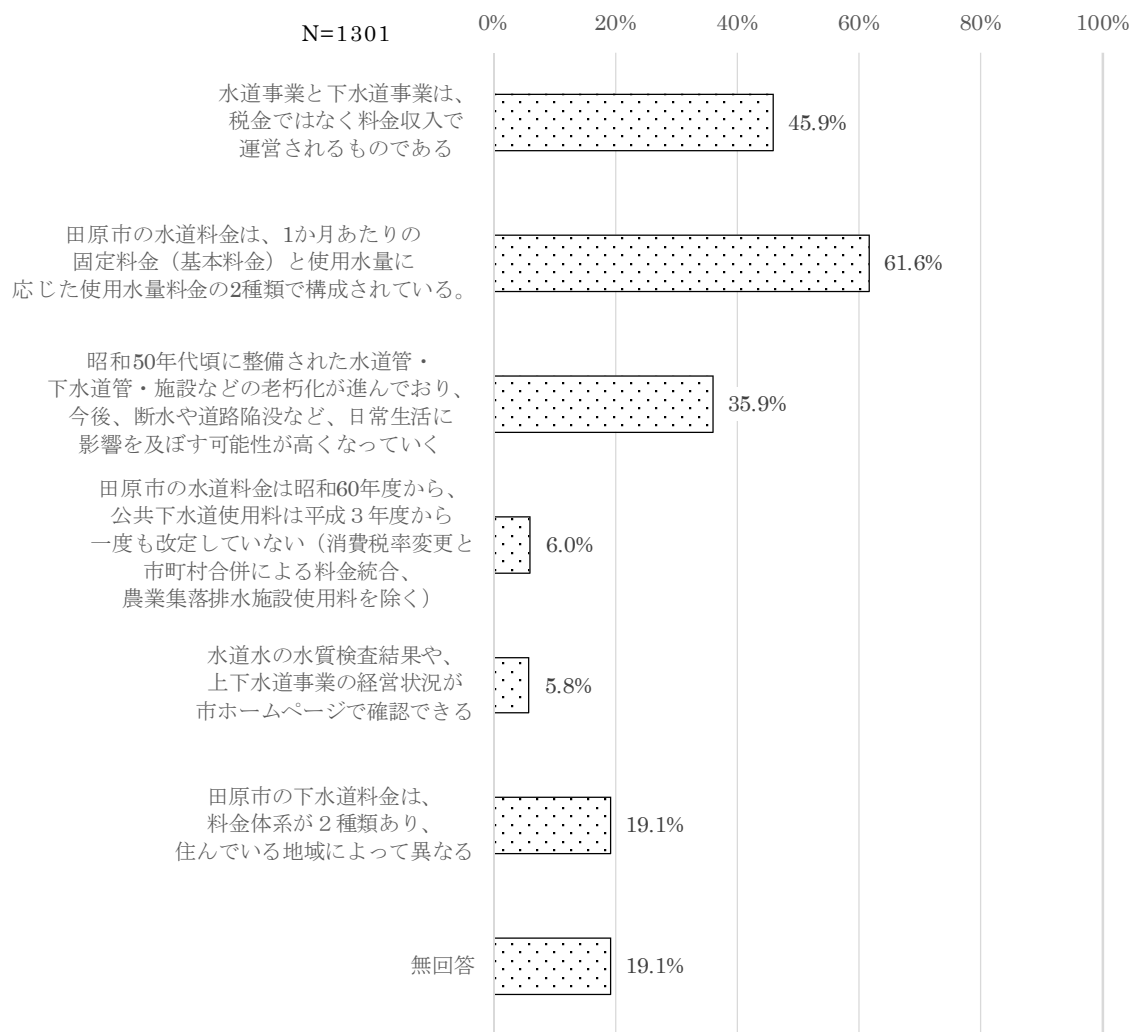
単位：％

区分	有効回答件数 (件)	産地の近い物を 食べる (産地消)	旬の物を食べる (旬産旬消)	食事を残さず食べる	緑のカーテンを育てる	マイバッグ、 マイボトルなどを使う	プラスチック製ではなく、 木製や紙製など自然 素材の物を使う	水を出しっぱなしにしない	照明や電化製品の スイッチをこまめに消す	エアコンの設定温度を 控えるにする	加減速の少ない運転など、 エコドライブを心がける	その他	無回答
六連	34	41.2%	32.4%	47.1%	2.9%	52.9%	11.8%	76.5%	58.8%	50.0%	44.1%	2.9%	2.9%
神戸	129	46.5%	32.6%	41.1%	6.2%	59.7%	8.5%	68.2%	62.0%	55.0%	51.9%	1.6%	3.1%
大草	29	51.7%	37.9%	48.3%	20.7%	51.7%	13.8%	75.9%	62.1%	51.7%	51.7%	0.0%	3.4%
田原東部	94	55.3%	45.7%	47.9%	10.6%	64.9%	7.4%	67.0%	61.7%	62.8%	45.7%	2.1%	1.1%
田原南部	36	41.7%	33.3%	38.9%	2.8%	69.4%	5.6%	61.1%	58.3%	55.6%	38.9%	2.8%	0.0%
童浦	118	56.8%	39.8%	47.5%	9.3%	61.9%	5.9%	66.1%	64.4%	58.5%	49.2%	0.8%	0.8%
田原中部	139	54.0%	41.0%	54.0%	12.9%	74.8%	11.5%	76.3%	66.2%	55.4%	50.4%	2.2%	1.4%
衣笠	110	51.8%	40.9%	47.3%	15.5%	67.3%	14.5%	79.1%	71.8%	55.5%	50.0%	0.9%	0.0%
野田	95	55.8%	36.8%	51.6%	13.7%	55.8%	12.6%	71.6%	72.6%	58.9%	49.5%	1.1%	5.3%
高松	28	53.6%	28.6%	28.6%	3.6%	53.6%	14.3%	60.7%	60.7%	64.3%	50.0%	0.0%	10.7%
赤羽根	43	62.8%	44.2%	46.5%	11.6%	39.5%	9.3%	58.1%	55.8%	44.2%	53.5%	2.3%	14.0%
若戸	36	52.8%	30.6%	58.3%	13.9%	66.7%	13.9%	69.4%	66.7%	58.3%	44.4%	0.0%	2.8%
伊良湖岬（和地）	23	47.8%	34.8%	47.8%	4.3%	65.2%	0.0%	60.9%	60.9%	47.8%	30.4%	0.0%	0.0%
伊良湖岬（堀切）	44	43.2%	31.8%	40.9%	4.5%	59.1%	4.5%	84.1%	65.9%	52.3%	50.0%	4.5%	0.0%
伊良湖岬（伊良湖）	12	66.7%	58.3%	66.7%	8.3%	66.7%	16.7%	66.7%	66.7%	58.3%	50.0%	0.0%	0.0%
亀山	17	58.8%	35.3%	52.9%	0.0%	29.4%	0.0%	58.8%	41.2%	41.2%	52.9%	0.0%	5.9%
中山	78	47.4%	29.5%	48.7%	6.4%	53.8%	7.7%	70.5%	66.7%	56.4%	43.6%	0.0%	6.4%
福江	88	59.1%	44.3%	50.0%	12.5%	58.0%	19.3%	71.6%	64.8%	63.6%	55.7%	1.1%	1.1%
清田	40	60.0%	40.0%	50.0%	7.5%	65.0%	20.0%	82.5%	60.0%	60.0%	47.5%	2.5%	0.0%
泉	65	53.8%	43.1%	49.2%	16.9%	60.0%	12.3%	81.5%	66.2%	63.1%	47.7%	0.0%	1.5%

■上下水道について

問 27 上下水道について、知っていることをお聞かせください。
(あてはまるものすべてに○)

「田原市の水道料金は、1か月あたりの固定料金（基本料金）と使用水量に応じた使用水量料金の2種類で構成されている。」の割合が61.6%で最も高く、次いで「水道事業と下水道事業は、税金ではなく料金収入で運営されるものである」の割合が45.9%となっています。



【性別】

性別でみると、《男性》《女性》ともに「田原市の水道料金は、1か月あたりの固定料金（基本料金）と使用水量に応じた使用水量料金の2種類で構成されている。」の割合が最も高く、6割を超えています。

単位：％

区分	有効回答件数（件）	水道事業と下水道事業は、税金ではなく料金収入で運営されるものである	田原市の水道料金は、1か月あたりの固定料金（基本料金）と使用水量に応じた使用水量料金の2種類で構成されている。	昭和50年代頃に整備された水道管・下水道管・施設などの老朽化が進んでおり、今後、断水や道路陥没など、日常生活に影響を及ぼす可能性が高くなっていく	田原市の水道料金は昭和60年度から、公共下水道使用料は平成3年度から一度も改定していない。消費税率変更と市町村合併による料金統合、農業集落排水施設使用料を除く	水道水の水質検査結果や、上下水道事業の経営状況が市ホームページで確認できる	田原市の下水道料金は、料金体系が2種類あり、住んでいる地域によって異なる	無回答
男性	797	50.6%	62.1%	41.4%	7.4%	7.0%	19.3%	16.7%
女性	482	38.6%	60.8%	26.8%	3.1%	3.7%	18.7%	22.6%

【年齢別】

年齢別でみると、《18歳、19歳》で「水道事業と下水道事業は、税金ではなく料金収入で運営されるものである」の割合が、それ以外の年代では「田原市の水道料金は、1か月あたりの固定料金（基本料金）と使用水量に応じた使用水量料金の2種類で構成されている。」の割合が最も高くなっています。

単位：％

区分	有効回答件数（件）	水道事業と下水道事業は、税金ではなく料金収入で運営されるものである	田原市の水道料金は、1か月あたりの固定料金（基本料金）と使用水量に応じた使用水量料金の2種類で構成されている。	昭和50年代頃に整備された水道管・下水道管・施設などの老朽化が進んでおり、今後、断水や道路陥没など、日常生活に影響を及ぼす可能性が高くなっていく	田原市の水道料金は昭和60年度から、公共下水道使用料は平成3年度から一度も改定していない。消費税率変更と市町村合併による料金統合、農業集落排水施設使用料を除く	水道水の水質検査結果や、上下水道事業の経営状況が市ホームページで確認できる	田原市の下水道料金は、料金体系が2種類あり、住んでいる地域によって異なる	無回答
18歳、19歳	5	60.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	40.0%
20歳代	63	38.1%	41.3%	15.9%	1.6%	9.5%	12.7%	11.1%
30歳代	105	36.2%	53.3%	21.9%	1.9%	7.6%	15.2%	17.1%
40歳代	163	37.4%	58.3%	23.9%	1.2%	5.5%	16.0%	19.6%
50歳代	157	45.9%	65.0%	29.9%	4.5%	3.8%	15.9%	14.0%
60歳代	298	53.4%	69.5%	40.9%	6.7%	5.0%	24.8%	11.1%
70歳以上	496	47.4%	61.9%	44.6%	8.9%	6.0%	19.4%	21.0%

【地区別】

地区別でみると、「亀山」では「水道事業と下水道事業は、税金ではなく料金収入で運営されるものである」と「田原市の水道料金は、1か月あたりの固定料金（基本料金）と使用水量に応じた使用水量料金の2種類で構成されている」の割合が、それ以外の地区では

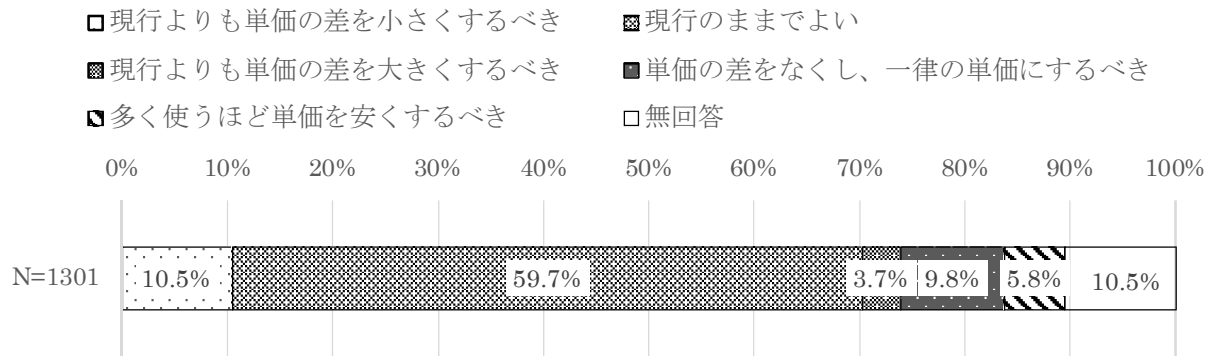
「田原市の水道料金は、1か月あたりの固定料金（基本料金）と使用水量に応じた使用水量料金の2種類で構成されている」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	有効回答件数 (件)	水道事業と下水道事業は、税金ではなく料金収入で運営されるものである	田原市の水道料金は、1か月あたりの固定料金（基本料金）と使用水量に応じた使用水量料金の2種類で構成されている。	昭和50年代頃に整備された水道管・下水道管など、老朽化が進んでおり、今後、断水や道路陥没など、日常生活に影響を及ぼす可能性が高くなっていく	田原市の水道料金は昭和60年度から、公共下水道使用料は平成3年度から一度も改定していない。料金税率変更と市町村合併による料金統合、農業集落排水施設使用料を除外（除く）	田原市の水道料金は昭和60年度から、公共下水道使用料は平成3年度から一度も改定していない。料金税率変更と市町村合併による料金統合、農業集落排水施設使用料を除外（除く）	市ホームページで確認できる 水道水の水質検査結果や、上下水道事業の経営状況が	田原市の下水道料金は、料金体系が2種類あり、住んでいる地域によって異なる	無回答
六連	34	32.4%	55.9%	32.4%	0.0%	0.0%	17.6%	23.5%	
神戸	129	43.4%	60.5%	18.6%	3.1%	6.2%	15.5%	21.7%	
大草	29	55.2%	72.4%	62.1%	13.8%	3.4%	27.6%	3.4%	
田原東部	94	50.0%	62.8%	36.2%	4.3%	4.3%	12.8%	22.3%	
田原南部	36	44.4%	66.7%	27.8%	0.0%	0.0%	25.0%	13.9%	
童浦	118	44.1%	61.0%	28.0%	5.1%	5.9%	16.9%	18.6%	
田原中部	139	46.0%	65.5%	28.1%	6.5%	5.8%	17.3%	19.4%	
衣笠	110	48.2%	59.1%	25.5%	6.4%	4.5%	15.5%	19.1%	
野田	95	44.2%	55.8%	24.2%	6.3%	3.2%	12.6%	17.9%	
高松	28	39.3%	67.9%	42.9%	0.0%	0.0%	21.4%	21.4%	
赤羽根	43	44.2%	62.8%	32.6%	14.0%	2.3%	23.3%	18.6%	
若戸	36	50.0%	69.4%	36.1%	8.3%	2.8%	13.9%	19.4%	
伊良湖岬（和地）	23	60.9%	73.9%	34.8%	4.3%	0.0%	21.7%	8.7%	
伊良湖岬（堀切）	44	47.7%	61.4%	38.6%	11.4%	9.1%	22.7%	18.2%	
伊良湖岬（伊良湖）	12	50.0%	58.3%	41.7%	0.0%	8.3%	33.3%	25.0%	
亀山	17	47.1%	47.1%	17.6%	0.0%	5.9%	11.8%	23.5%	
中山	78	48.7%	53.8%	24.4%	3.8%	0.0%	15.4%	28.2%	
福江	88	43.2%	62.5%	38.6%	8.0%	11.4%	19.3%	14.8%	
清田	40	42.5%	67.5%	42.5%	15.0%	7.5%	22.5%	20.0%	
泉	65	49.2%	70.8%	44.6%	6.2%	6.2%	24.6%	12.3%	

問 28 田原市の水道料金と下水道料金（農業集落排水施設使用料を除く）は、使用水量が多くなればなるほど1㎡あたりの単価が高くなる仕組み（多く使う方に節水を促し、使う水が少ない方へ配慮）となっています。この仕組みについて、どうお考えですか。（あてはまるもの1つだけ○）

「現行のままでよい」の割合が59.7%で最も高く、次いで「現行よりも単価の差を小さくするべき」の割合が10.5%となっています。



【性別】

性別でみると、《男性》《女性》ともに「現行のままでよい」が最も高く、《男性》では6割を超えています。

単位：%

区分	有効回答件数 (件)	現行よりも単価の差を小さくするべき	現行のままでよい	現行よりも単価の差を大きくするべき	一律の単価にするべき、単価の差をなくし、	多く使うほど単価を安くするべき	無回答
男性	797	11.4%	61.5%	4.8%	8.9%	5.6%	7.8%
女性	482	9.1%	57.7%	2.1%	10.8%	5.6%	14.7%

【年齢別】

年齢別でみると、すべての年代において「現行のままでよい」が最も高く、《40歳代》《50歳代》《60歳代》では6割を超えています。

単位：%

区分	有効回答件数 (件)	現行よりも単価の 差を小さくするべき	現行のままでよい	現行よりも単価の差を 大きくするべき	一律の単価に するべき	多く使うほど単価を 安くするべき	無回答
18歳、19歳	5	20.0%	40.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%
20歳代	63	11.1%	54.0%	6.3%	9.5%	11.1%	7.9%
30歳代	105	12.4%	57.1%	2.9%	15.2%	10.5%	1.9%
40歳代	163	9.8%	60.1%	3.7%	15.3%	4.3%	6.7%
50歳代	157	9.6%	63.7%	1.3%	14.0%	4.5%	7.0%
60歳代	298	12.1%	62.8%	4.0%	8.4%	6.4%	6.4%
70歳以上	496	9.1%	58.9%	4.2%	5.8%	4.4%	17.5%

【地区別】

地区別でみると、全ての地区で「現行のままでよい」の割合が最も高く、《若戸》《伊良湖岬（和地）》では7割を超えています。

単位：%

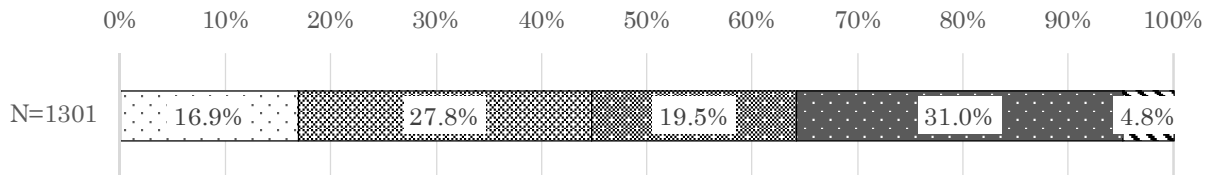
区分	有効回答件数 (件)	現行よりも単価の 差を小さくするべき	現行のままでよい	現行よりも単価の差を 大きくするべき	一律の単価に するべき	多く使うほど単価を 安くするべき	無回答
六連	34	8.8%	64.7%	0.0%	8.8%	8.8%	8.8%
神戸	129	13.2%	58.9%	2.3%	8.5%	4.7%	12.4%
大草	29	20.7%	55.2%	0.0%	13.8%	3.4%	6.9%
田原東部	94	11.7%	52.1%	6.4%	12.8%	3.2%	13.8%
田原南部	36	8.3%	47.2%	2.8%	16.7%	8.3%	16.7%
童浦	118	10.2%	54.2%	7.6%	8.5%	8.5%	11.0%
田原中部	139	10.8%	64.0%	2.2%	8.6%	6.5%	7.9%
衣笠	110	10.9%	60.0%	5.5%	11.8%	8.2%	3.6%
野田	95	7.4%	67.4%	0.0%	11.6%	2.1%	11.6%
高松	28	10.7%	53.6%	7.1%	10.7%	3.6%	14.3%
赤羽根	43	9.3%	51.2%	2.3%	7.0%	14.0%	16.3%
若戸	36	5.6%	77.8%	2.8%	5.6%	0.0%	8.3%
伊良湖岬（和地）	23	4.3%	73.9%	4.3%	8.7%	4.3%	4.3%
伊良湖岬（堀切）	44	6.8%	65.9%	4.5%	6.8%	4.5%	11.4%
伊良湖岬（伊良湖）	12	8.3%	66.7%	8.3%	8.3%	0.0%	8.3%
亀山	17	5.9%	52.9%	0.0%	5.9%	17.6%	17.6%
中山	78	11.5%	57.7%	3.8%	9.0%	2.6%	15.4%
福江	88	14.8%	56.8%	4.5%	13.6%	0.0%	10.2%
清田	40	15.0%	57.5%	2.5%	7.5%	10.0%	7.5%
泉	65	6.2%	67.7%	4.6%	4.6%	9.2%	7.7%

■国際化・多文化共生について

問 29 「多文化共生社会」という言葉を聞いたことがありますか。
(あてはまるもの1つだけ○)

「聞いたことがあります、意味も理解している」「聞いたことはあるが、意味はあまり理解していない」「聞いたことはあるが、意味はほとんど理解していない」を合わせた“聞いたことがある”（以下同じ）の割合は64.2%となっています。

- 聞いたことがあります、意味も理解している
- ▨ 聞いたことはあるが、意味はあまり理解していない
- ▩ 聞いたことはあるが、意味はほとんど理解していない
- 聞いたことがない
- 無回答



【性別】

性別でみると、《男性》《女性》ともに“聞いたことがある”の割合が6割を超えています。

単位：%

区分	有効回答件数 (件)	聞いたことがあり、 意味も理解している	聞いたことはあるが、 意味はあまり理解して いない	聞いたことはあるが、 意味はほとんど理解し ていない	聞いたことがない	無回答
男性	797	17.6%	27.4%	19.1%	32.0%	4.0%
女性	482	15.6%	28.8%	20.3%	29.9%	5.4%

【年齢別】

年齢別でみると、全ての年代で“聞いたことがある”の割合が6割を超えています。

単位：％

区分	有効回答件数 (件)	意味も理解している、聞いたことがある	意味はあまり理解していない、聞いたことがあるが、ほとんど理解していない	聞いたことはあるが、意味はほとんど理解していない	聞いたことがない	無回答
18歳、19歳	5	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%
20歳代	63	23.8%	28.6%	17.5%	25.4%	4.8%
30歳代	105	21.0%	28.6%	17.1%	31.4%	1.9%
40歳代	163	21.5%	31.3%	12.9%	31.9%	2.5%
50歳代	157	15.3%	26.1%	22.3%	34.4%	1.9%
60歳代	298	19.1%	30.2%	17.1%	31.5%	2.0%
70歳以上	496	12.3%	25.4%	23.0%	30.6%	8.7%

【地区別】

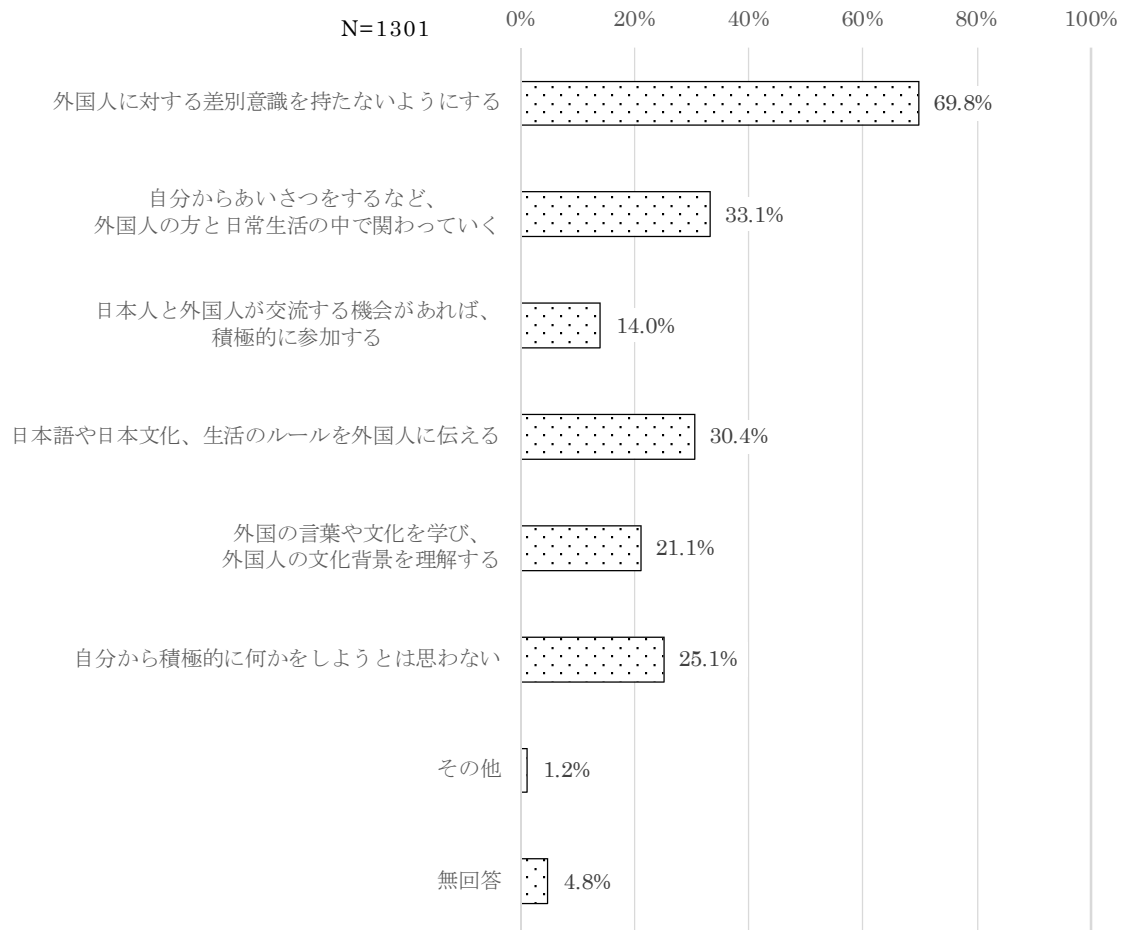
地区別でみると、《伊良湖岬（伊良湖）》で“聞いたことがある”の割合が最も高く、8割を超えています。

単位：％

区分	有効回答件数 (件)	意味も理解している、聞いたことがある	意味はあまり理解していない、聞いたことがあるが、ほとんど理解していない	聞いたことはあるが、意味はほとんど理解していない	聞いたことがない	無回答
六連	34	11.8%	32.4%	14.7%	35.3%	5.9%
神戸	129	15.5%	21.7%	20.2%	36.4%	6.2%
大草	29	24.1%	20.7%	20.7%	31.0%	3.4%
田原東部	94	19.1%	28.7%	17.0%	30.9%	4.3%
田原南部	36	16.7%	41.7%	19.4%	22.2%	0.0%
童浦	118	16.1%	27.1%	18.6%	35.6%	2.5%
田原中部	139	24.5%	26.6%	20.9%	25.2%	2.9%
衣笠	110	20.9%	27.3%	22.7%	29.1%	0.0%
野田	95	11.6%	22.1%	20.0%	36.8%	9.5%
高松	28	17.9%	21.4%	17.9%	35.7%	7.1%
赤羽根	43	18.6%	20.9%	20.9%	25.6%	14.0%
若戸	36	13.9%	41.7%	16.7%	22.2%	5.6%
伊良湖岬(和地)	23	17.4%	26.1%	17.4%	39.1%	0.0%
伊良湖岬(堀切)	44	13.6%	38.6%	15.9%	29.5%	2.3%
伊良湖岬(伊良湖)	12	33.3%	25.0%	25.0%	16.7%	0.0%
亀山	17	11.8%	23.5%	23.5%	35.3%	5.9%
中山	78	11.5%	25.6%	23.1%	32.1%	7.7%
福江	88	15.9%	31.8%	19.3%	30.7%	2.3%
清田	40	20.0%	27.5%	17.5%	25.0%	10.0%
泉	65	12.3%	33.8%	18.5%	27.7%	7.7%

問 30 外国人の人口は増加傾向にあります。共に暮らしやすい地域を作っていくために、あなたは何をすべきだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「外国人に対する差別意識を持たないようにする」の割合が69.8%で最も高く、次いで「自分からあいさつをするなど、外国人の方と日常生活の中で関わっていく」の割合が33.1%となっています。



【性別】

性別でみると、《男性》《女性》ともに「外国人に対する差別意識を持たないようにする」の割合が高く、《男性》では7割を超えています。

単位：%

区分	有効回答件数 (件)	外国人に対する差別意識を持たないようにする	自分からあいさつをするなど、外国人の方と日常生活の中で関わっていく	機会があれば、積極的に参加する	日本語や日本文化、生活のルールを外国人に伝える	外国の言葉や文化を学び、外国人の文化背景を理解する	自分から積極的に何かをしようとは思わない	その他	無回答
男性	797	70.6%	34.4%	15.3%	30.1%	21.5%	26.2%	1.3%	3.6%
女性	482	69.1%	31.3%	12.0%	31.3%	21.0%	22.8%	0.8%	6.0%

【年齢別】

年齢別でみると、全ての年代において「外国人に対する差別意識を持たないようにする」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答件数 (件)	外国人に対する差別意識を持たないようにする	自分からあいさつをするなど、外国人の方と日常生活の中で関わっていく	機会があれば、積極的に参加する	日本人と外国人が交流する	日本語や日本文化、生活のルールを外国人に伝える	外国の言葉や文化を学び、外国人の文化背景を理解する	自分から積極的に何かをしよとは思わない	その他	無回答
18歳、19歳	5	60.0%	20.0%	20.0%	20.0%	40.0%	40.0%	0.0%	0.0%	
20歳代	63	77.8%	50.8%	22.2%	28.6%	33.3%	9.5%	4.8%	1.6%	
30歳代	105	65.7%	37.1%	21.9%	35.2%	33.3%	17.1%	1.0%	1.0%	
40歳代	163	71.8%	30.1%	21.5%	42.3%	35.0%	12.9%	1.2%	2.5%	
50歳代	157	68.2%	31.2%	14.0%	37.6%	21.0%	25.5%	1.3%	1.9%	
60歳代	298	72.5%	30.9%	10.4%	30.5%	18.1%	27.9%	0.7%	2.3%	
70歳以上	496	68.1%	33.5%	11.1%	23.6%	14.3%	30.6%	1.0%	8.9%	

【地区別】

地区別でみると、全ての地区で「外国人に対する差別意識を持たないようにする」の割合が最も高く、《六連》では8割を超えています。

単位：％

区分	有効回答件数 (件)	外国人に対する差別意識を持たないようにする	自分からあいさつをするなど、外国人の方と日常生活の中で関わっていく	機会があれば、積極的に参加する	日本人と外国人が交流する	日本語や日本文化、生活のルールを外国人に伝える	外国の言葉や文化を学び、外国人の文化背景を理解する	自分から積極的に何かをしよとは思わない	その他	無回答
六連	34	88.2%	35.3%	5.9%	29.4%	29.4%	11.8%	0.0%	2.9%	
神戸	129	63.6%	24.8%	12.4%	31.8%	19.4%	20.2%	0.8%	4.7%	
大草	29	69.0%	27.6%	3.4%	17.2%	6.9%	41.4%	0.0%	3.4%	
田原東部	94	72.3%	23.4%	7.4%	23.4%	8.5%	23.4%	2.1%	4.3%	
田原南部	36	72.2%	30.6%	11.1%	27.8%	11.1%	27.8%	0.0%	0.0%	
童浦	118	72.0%	35.6%	16.1%	39.0%	23.7%	24.6%	0.8%	1.7%	
田原中部	139	65.5%	22.3%	19.4%	31.7%	15.8%	30.9%	3.6%	3.6%	
衣笠	110	70.0%	46.4%	22.7%	37.3%	18.2%	20.0%	0.0%	0.0%	
野田	95	71.6%	29.5%	14.7%	29.5%	15.8%	28.4%	2.1%	8.4%	
高松	28	71.4%	25.0%	3.6%	21.4%	25.0%	25.0%	0.0%	10.7%	
赤羽根	43	69.8%	14.0%	4.7%	27.9%	18.6%	18.6%	0.0%	14.0%	
若戸	36	72.2%	33.3%	16.7%	19.4%	8.3%	41.7%	0.0%	5.6%	
伊良湖岬(和地)	23	60.9%	47.8%	4.3%	26.1%	13.0%	34.8%	0.0%	0.0%	
伊良湖岬(堀切)	44	59.1%	52.3%	20.5%	29.5%	11.4%	25.0%	0.0%	9.1%	
伊良湖岬(伊良湖)	12	66.7%	58.3%	16.7%	58.3%	33.3%	25.0%	0.0%	0.0%	
亀山	17	58.8%	47.1%	11.8%	11.8%	5.9%	29.4%	0.0%	11.8%	
中山	78	67.9%	32.1%	7.7%	26.9%	15.4%	26.9%	1.3%	7.7%	
福江	88	73.9%	35.2%	14.8%	35.2%	22.7%	20.5%	1.1%	3.4%	
清田	40	72.5%	47.5%	22.5%	27.5%	7.5%	15.0%	0.0%	12.5%	
泉	65	78.5%	47.7%	15.4%	36.9%	12.3%	24.6%	0.0%	3.1%	

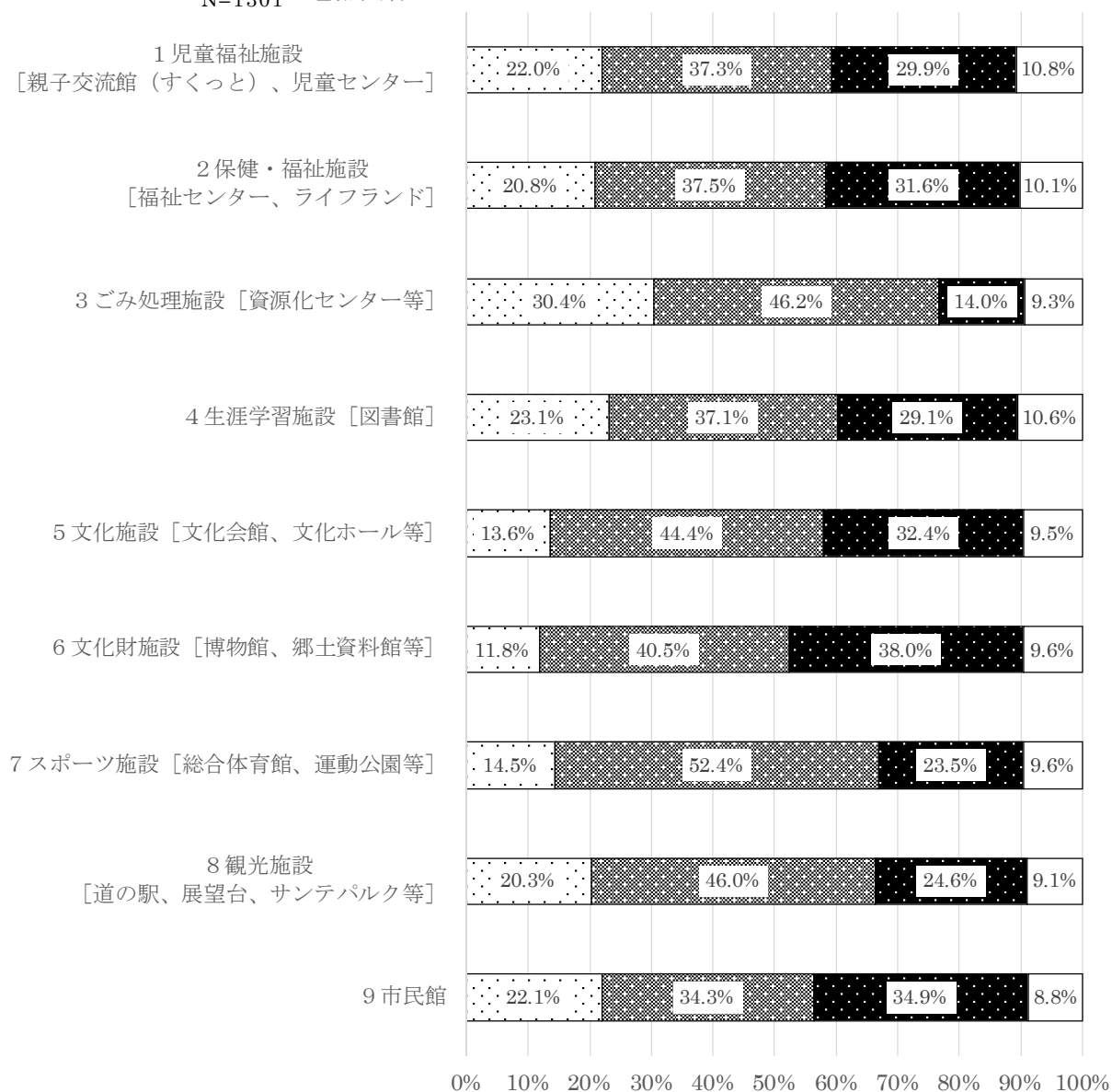
■市内の公共施設について

問 31 公共施設の老朽化により、多額の建替費用や修繕費用が必要となっています。また、少子高齢化による税収減も予想され、全ての施設を維持することが難しくなります。あなたは、この問題に対し、今後どのように取り組むべきだと思いますか。(施設ごとに、あてはまる数字を1つだけ○)

「施設を現状維持するためには、他の行政サービスの低下も仕方ない」の割合は≪3 ごみ処理施設 [資源化センター等]≫が 30.4%で、「施設の利用料を上げて (または有料化して)、現在の施設を維持すべき」の割合は≪7 スポーツ施設 [総合体育館、運動公園等]≫が 52.4%で、「他の行政サービスを維持するため、施設の統廃合があっても仕方ない」の割合は≪6 文化財施設 [博物館、郷土資料館等]≫が 38.0%で最も高くなっています。

- 施設を現状維持するためには、他の行政サービスの低下も仕方ない
- ▨ 施設の利用料を上げて (または有料化して)、現在の施設を維持すべき
- 他の行政サービスを維持するため、施設の統廃合があっても仕方ない

N=1301 □ 無回答



1 児童福祉施設〔親子交流館（すくっと）、児童センター〕

【性別】

単位：％

区分	有効回答件数 (件)	施設を現状維持するためには、他の行政サービス の低下も仕方ない	現在の施設を維持すべき (または有料化して)、 施設の使用料を上げて	他の行政サービスを維持 するため、施設の統廃合 があっても仕方ない	無回答
男性	797	19.3%	37.4%	34.3%	9.0%
女性	482	26.1%	37.6%	23.7%	12.7%

【年齢別】

単位：％

区分	有効回答件数 (件)	施設を現状維持するためには、他の行政サービス の低下も仕方ない	現在の施設を維持すべき (または有料化して)、 施設の使用料を上げて	他の行政サービスを維持 するため、施設の統廃合 があっても仕方ない	無回答
18歳、19歳	5	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%
20歳代	63	44.4%	22.2%	31.7%	1.6%
30歳代	105	35.2%	41.0%	20.0%	3.8%
40歳代	163	20.9%	47.2%	29.4%	2.5%
50歳代	157	19.7%	40.1%	36.3%	3.8%
60歳代	298	20.5%	37.2%	34.2%	8.1%
70歳以上	496	17.7%	34.7%	27.8%	19.8%

【地区別】

単位：％

区分	有効回答件数 (件)	施設を現状維持するためには、他の行政サービスにの低下も仕方ない	現在の施設を維持すべき、 (または有料化して)、 施設の使用料を上げて	他の行政サービスを維持するため、施設の統廃合持 があっても仕方ない	無回答
六連	34	23.5%	41.2%	32.4%	2.9%
神戸	129	25.6%	33.3%	29.5%	11.6%
大草	29	13.8%	48.3%	34.5%	3.4%
田原東部	94	19.1%	37.2%	31.9%	11.7%
田原南部	36	13.9%	36.1%	41.7%	8.3%
童浦	118	21.2%	31.4%	38.1%	9.3%
田原中部	139	20.9%	42.4%	30.9%	5.8%
衣笠	110	30.9%	37.3%	26.4%	5.5%
野田	95	11.6%	40.0%	34.7%	13.7%
高松	28	32.1%	35.7%	14.3%	17.9%
赤羽根	43	18.6%	30.2%	37.2%	14.0%
若戸	36	22.2%	41.7%	19.4%	16.7%
伊良湖岬(和地)	23	21.7%	43.5%	21.7%	13.0%
伊良湖岬(堀切)	44	31.8%	40.9%	15.9%	11.4%
伊良湖岬(伊良湖)	12	25.0%	41.7%	33.3%	0.0%
亀山	17	23.5%	35.3%	35.3%	5.9%
中山	78	15.4%	33.3%	32.1%	19.2%
福江	88	22.7%	30.7%	28.4%	18.2%
清田	40	12.5%	52.5%	25.0%	10.0%
泉	65	30.8%	40.0%	23.1%	6.2%

2 保健・福祉施設〔福祉センター、ライフランド〕

【性別】

単位：％

区分	有効回答件数 (件)	施設を現状維持するためには、他の行政サービスにの低下も仕方ない	現在の施設を維持すべき（または有料化して）、施設の使用料を上げて	他の行政サービスを維持するため、施設の統廃合があっても仕方ない	無回答
男性	797	18.9%	37.8%	35.3%	8.0%
女性	482	23.9%	37.8%	25.7%	12.7%

【年齢別】

単位：％

区分	有効回答件数 (件)	施設を現状維持するためには、他の行政サービスにの低下も仕方ない	現在の施設を維持すべき（または有料化して）、施設の使用料を上げて	他の行政サービスを維持するため、施設の統廃合があっても仕方ない	無回答
18歳、19歳	5	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%
20歳代	63	33.3%	27.0%	39.7%	0.0%
30歳代	105	25.7%	31.4%	39.0%	3.8%
40歳代	163	18.4%	39.3%	39.3%	3.1%
50歳代	157	20.4%	38.9%	36.3%	4.5%
60歳代	298	21.1%	38.6%	32.2%	8.1%
70歳以上	496	19.0%	38.5%	24.8%	17.7%

【地区別】

単位：％

区分	有効回答件数 (件)	施設を現状維持するためには、他の行政サービスにの低下も仕方ない	現在の施設を維持すべき（または有料化して）、施設の使用料を上げて	他の行政サービスを維持するため、施設の統廃合があっても仕方ない	無回答
六連	34	23.5%	41.2%	35.3%	0.0%
神戸	129	27.1%	28.7%	34.1%	10.1%
大草	29	6.9%	48.3%	44.8%	0.0%
田原東部	94	14.9%	35.1%	35.1%	14.9%
田原南部	36	22.2%	33.3%	38.9%	5.6%
童浦	118	22.0%	33.1%	37.3%	7.6%
田原中部	139	18.7%	39.6%	36.7%	5.0%
衣笠	110	21.8%	38.2%	34.5%	5.5%
野田	95	13.7%	38.9%	33.7%	13.7%
高松	28	28.6%	35.7%	17.9%	17.9%
赤羽根	43	20.9%	20.9%	41.9%	16.3%
若戸	36	22.2%	38.9%	22.2%	16.7%
伊良湖岬（和地）	23	21.7%	26.1%	39.1%	13.0%
伊良湖岬（堀切）	44	22.7%	50.0%	15.9%	11.4%
伊良湖岬（伊良湖）	12	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%
亀山	17	29.4%	41.2%	17.6%	11.8%
中山	78	17.9%	47.4%	19.2%	15.4%
福江	88	25.0%	31.8%	23.9%	19.3%
清田	40	15.0%	50.0%	30.0%	5.0%
泉	65	26.2%	47.7%	21.5%	4.6%

3 ごみ処理施設 [資源化センター等]

【性別】

単位：％

区分	有効回答件数 (件)	施設を現状維持するためには、他の行政サービス の低下も仕方がない	現在の施設を維持すべき (または有料化して)	施設の使用料を上げて が、あっても仕方ない	他の行政サービスを維持 するため、施設の統廃合 が必要	無回答
男性	797	28.5%	48.8%	15.4%	7.3%	
女性	482	33.6%	42.7%	11.6%	12.0%	

【年齢別】

単位：％

区分	有効回答件数 (件)	施設を現状維持するためには、他の行政サービス の低下も仕方がない	現在の施設を維持すべき (または有料化して)	施設の使用料を上げて が、あっても仕方ない	他の行政サービスを維持 するため、施設の統廃合 が必要	無回答
18歳、19歳	5	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
20歳代	63	46.0%	31.7%	19.0%	3.2%	
30歳代	105	41.9%	41.0%	12.4%	4.8%	
40歳代	163	38.7%	44.8%	12.3%	4.3%	
50歳代	157	36.9%	42.0%	17.8%	3.2%	
60歳代	298	24.8%	54.4%	14.1%	6.7%	
70歳以上	496	24.2%	47.0%	12.7%	16.1%	

【地区別】

単位：％

区分	有効回答件数 (件)	施設を現状維持するためには、他の行政サービス の低下も仕方がない	現在の施設を維持すべき (または有料化して)	施設の使用料を上げて が、あっても仕方ない	他の行政サービスを維持 するため、施設の統廃合 が必要	無回答
六連	34	38.2%	50.0%	11.8%	0.0%	
神戸	129	35.7%	38.8%	14.7%	10.9%	
大草	29	13.8%	62.1%	20.7%	3.4%	
田原東部	94	23.4%	44.7%	20.2%	11.7%	
田原南部	36	36.1%	36.1%	25.0%	2.8%	
童浦	118	30.5%	47.5%	16.1%	5.9%	
田原中部	139	36.7%	44.6%	13.7%	5.0%	
衣笠	110	35.5%	47.3%	11.8%	5.5%	
野田	95	29.5%	48.4%	8.4%	13.7%	
高松	28	14.3%	67.9%	7.1%	10.7%	
赤羽根	43	25.6%	44.2%	16.3%	14.0%	
若戸	36	38.9%	33.3%	13.9%	13.9%	
伊良湖岬(和地)	23	17.4%	56.5%	21.7%	4.3%	
伊良湖岬(堀切)	44	36.4%	47.7%	11.4%	4.5%	
伊良湖岬(伊良湖)	12	33.3%	50.0%	16.7%	0.0%	
亀山	17	41.2%	47.1%	5.9%	5.9%	
中山	78	25.6%	52.6%	9.0%	12.8%	
福江	88	35.2%	34.1%	10.2%	20.5%	
清田	40	22.5%	57.5%	12.5%	7.5%	
泉	65	13.8%	66.2%	12.3%	7.7%	

4 生涯学習施設 [図書館]

【性別】

単位：％

区分	有効回答件数 (件)	施設を現状維持するためには、他の行政サービス の低下も仕方がない	現在の施設を維持すべき (または有料化して)	施設の使用料を上げて が、あっても仕方ない	他の行政サービスを維持 するため、施設の統廃合 が必要	無回答
男性	797	19.9%	38.4%	33.2%	8.4%	
女性	482	28.6%	35.7%	22.2%	13.5%	

【年齢別】

単位：％

区分	有効回答件数 (件)	施設を現状維持するためには、他の行政サービス の低下も仕方がない	現在の施設を維持すべき (または有料化して)	施設の使用料を上げて が、あっても仕方ない	他の行政サービスを維持 するため、施設の統廃合 が必要	無回答
18歳、19歳	5	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	
20歳代	63	38.1%	22.2%	38.1%	1.6%	
30歳代	105	35.2%	35.2%	25.7%	3.8%	
40歳代	163	25.8%	44.8%	23.9%	5.5%	
50歳代	157	21.7%	40.8%	33.1%	4.5%	
60歳代	298	23.8%	35.9%	31.9%	8.4%	
70歳以上	496	17.3%	36.7%	27.8%	18.1%	

【地区別】

単位：％

区分	有効回答件数 (件)	施設を現状維持するためには、他の行政サービス の低下も仕方がない	現在の施設を維持すべき (または有料化して)	施設の使用料を上げて が、あっても仕方ない	他の行政サービスを維持 するため、施設の統廃合 が必要	無回答
六連	34	29.4%	44.1%	26.5%	0.0%	
神戸	129	29.5%	33.3%	26.4%	10.9%	
大草	29	10.3%	51.7%	37.9%	0.0%	
田原東部	94	18.1%	39.4%	29.8%	12.8%	
田原南部	36	30.6%	22.2%	38.9%	8.3%	
童浦	118	21.2%	37.3%	31.4%	10.2%	
田原中部	139	25.2%	39.6%	29.5%	5.8%	
衣笠	110	40.0%	33.6%	21.8%	4.5%	
野田	95	12.6%	48.4%	26.3%	12.6%	
高松	28	17.9%	17.9%	46.4%	17.9%	
赤羽根	43	16.3%	41.9%	25.6%	16.3%	
若戸	36	33.3%	19.4%	30.6%	16.7%	
伊良湖岬(和地)	23	8.7%	30.4%	52.2%	8.7%	
伊良湖岬(堀切)	44	20.5%	45.5%	25.0%	9.1%	
伊良湖岬(伊良湖)	12	16.7%	41.7%	41.7%	0.0%	
亀山	17	23.5%	35.3%	29.4%	11.8%	
中山	78	16.7%	39.7%	28.2%	15.4%	
福江	88	25.0%	31.8%	21.6%	21.6%	
清田	40	20.0%	50.0%	20.0%	10.0%	
泉	65	15.4%	38.5%	36.9%	9.2%	

5 文化施設 [文化会館、文化ホール等]

【性別】

単位：%

区分	有効回答件数 (件)	施設を現状維持するためには、他の行政サービス の低下も仕方がない	現在の施設を維持すべき (または有料化して)、 施設の使用料を上げて	他の行政サービスを維持 するため、施設の統廃合 があっても仕方がない	無回答
男性	797	13.6%	42.9%	36.1%	7.4%
女性	482	13.7%	46.9%	27.4%	12.0%

【年齢別】

単位：%

区分	有効回答件数 (件)	施設を現状維持するためには、他の行政サービス の低下も仕方がない	現在の施設を維持すべき (または有料化して)、 施設の使用料を上げて	他の行政サービスを維持 するため、施設の統廃合 があっても仕方がない	無回答
18歳、19歳	5	20.0%	40.0%	40.0%	0.0%
20歳代	63	19.0%	34.9%	44.4%	1.6%
30歳代	105	15.2%	43.8%	37.1%	3.8%
40歳代	163	14.1%	53.4%	29.4%	3.1%
50歳代	157	11.5%	46.5%	37.6%	4.5%
60歳代	298	13.8%	44.6%	34.9%	6.7%
70歳以上	496	13.1%	41.9%	27.8%	17.1%

【地区別】

単位：%

区分	有効回答件数 (件)	施設を現状維持するためには、他の行政サービス の低下も仕方がない	現在の施設を維持すべき (または有料化して)、 施設の使用料を上げて	他の行政サービスを維持 するため、施設の統廃合 があっても仕方がない	無回答
六連	34	20.6%	52.9%	26.5%	0.0%
神戸	129	13.2%	51.2%	25.6%	10.1%
大草	29	10.3%	58.6%	31.0%	0.0%
田原東部	94	14.9%	36.2%	36.2%	12.8%
田原南部	36	19.4%	22.2%	55.6%	2.8%
童浦	118	16.1%	47.5%	28.8%	7.6%
田原中部	139	15.1%	48.9%	30.9%	5.0%
衣笠	110	16.4%	57.3%	21.8%	4.5%
野田	95	7.4%	48.4%	32.6%	11.6%
高松	28	7.1%	32.1%	46.4%	14.3%
赤羽根	43	14.0%	37.2%	34.9%	14.0%
若戸	36	16.7%	27.8%	33.3%	22.2%
伊良湖岬(和地)	23	8.7%	34.8%	43.5%	13.0%
伊良湖岬(堀切)	44	11.4%	45.5%	34.1%	9.1%
伊良湖岬(伊良湖)	12	8.3%	50.0%	41.7%	0.0%
亀山	17	5.9%	58.8%	29.4%	5.9%
中山	78	11.5%	43.6%	30.8%	14.1%
福江	88	15.9%	35.2%	29.5%	19.3%
清田	40	7.5%	45.0%	37.5%	10.0%
泉	65	10.8%	35.4%	49.2%	4.6%

6 文化財施設〔博物館、郷土資料館等〕

【性別】

単位：％

区分	有効回答件数 (件)	には、他の行政サービス の低下も仕方がない	施設を現状維持するため	現在の施設を維持すべき (または有料化して)、 施設の使用料を上げて	他の行政サービスを維持 するため、施設の統廃合 があっても仕方がない	無回答
男性	797	11.9%	40.8%	40.0%	7.3%	
女性	482	11.8%	40.2%	35.3%	12.7%	

【年齢別】

単位：％

区分	有効回答件数 (件)	には、他の行政サービス の低下も仕方がない	施設を現状維持するため	現在の施設を維持すべき (または有料化して)、 施設の使用料を上げて	他の行政サービスを維持 するため、施設の統廃合 があっても仕方がない	無回答
18歳、19歳	5	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
20歳代	63	14.3%	30.2%	54.0%	1.6%	
30歳代	105	16.2%	31.4%	48.6%	3.8%	
40歳代	163	10.4%	37.4%	48.5%	3.7%	
50歳代	157	10.2%	41.4%	44.6%	3.8%	
60歳代	298	11.1%	45.6%	35.9%	7.4%	
70歳以上	496	12.1%	41.7%	29.4%	16.7%	

【地区別】

単位：％

区分	有効回答件数 (件)	には、他の行政サービス の低下も仕方がない	施設を現状維持するため	現在の施設を維持すべき (または有料化して)、 施設の使用料を上げて	他の行政サービスを維持 するため、施設の統廃合 があっても仕方がない	無回答
六連	34	23.5%	35.3%	38.2%	2.9%	
神戸	129	13.2%	45.0%	31.0%	10.9%	
大草	29	13.8%	48.3%	37.9%	0.0%	
田原東部	94	11.7%	42.6%	34.0%	11.7%	
田原南部	36	11.1%	16.7%	69.4%	2.8%	
童浦	118	10.2%	39.0%	42.4%	8.5%	
田原中部	139	8.6%	48.2%	38.1%	5.0%	
衣笠	110	14.5%	49.1%	33.6%	2.7%	
野田	95	3.2%	44.2%	40.0%	12.6%	
高松	28	10.7%	32.1%	42.9%	14.3%	
赤羽根	43	11.6%	39.5%	34.9%	14.0%	
若戸	36	16.7%	27.8%	38.9%	16.7%	
伊良湖岬(和地)	23	8.7%	39.1%	39.1%	13.0%	
伊良湖岬(堀切)	44	6.8%	50.0%	34.1%	9.1%	
伊良湖岬(伊良湖)	12	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	
亀山	17	17.6%	41.2%	35.3%	5.9%	
中山	78	12.8%	32.1%	41.0%	14.1%	
福江	88	15.9%	30.7%	34.1%	19.3%	
清田	40	12.5%	50.0%	27.5%	10.0%	
泉	65	12.3%	33.8%	47.7%	6.2%	

7 スポーツ施設 [総合体育館、運動公園等]

【性別】

単位：％

区分	有効回答件数 (件)	施設を現状維持するためには、他の行政サービス の低下も仕方がない	現在の施設を維持すべき (または有料化して)	施設の使用料を上げて が、あっても仕方ない	他の行政サービスを維持 するため、施設の統廃合 が必要	無回答
男性	797	14.4%	53.5%	25.0%	7.2%	
女性	482	14.1%	51.5%	21.4%	13.1%	

【年齢別】

単位：％

区分	有効回答件数 (件)	施設を現状維持するためには、他の行政サービス の低下も仕方がない	現在の施設を維持すべき (または有料化して)	施設の使用料を上げて が、あっても仕方ない	他の行政サービスを維持 するため、施設の統廃合 が必要	無回答
18歳、19歳	5	0.0%	60.0%	40.0%	0.0%	
20歳代	63	30.2%	41.3%	27.0%	1.6%	
30歳代	105	19.0%	59.0%	18.1%	3.8%	
40歳代	163	16.0%	58.9%	22.1%	3.1%	
50歳代	157	12.1%	56.1%	28.0%	3.8%	
60歳代	298	12.1%	53.7%	27.2%	7.0%	
70歳以上	496	12.9%	49.0%	20.8%	17.3%	

【地区別】

単位：％

区分	有効回答件数 (件)	施設を現状維持するためには、他の行政サービス の低下も仕方がない	現在の施設を維持すべき (または有料化して)	施設の使用料を上げて が、あっても仕方ない	他の行政サービスを維持 するため、施設の統廃合 が必要	無回答
六連	34	29.4%	47.1%	20.6%	2.9%	
神戸	129	17.1%	52.7%	20.2%	10.1%	
大草	29	10.3%	58.6%	31.0%	0.0%	
田原東部	94	16.0%	45.7%	27.7%	10.6%	
田原南部	36	19.4%	47.2%	30.6%	2.8%	
童浦	118	16.9%	48.3%	26.3%	8.5%	
田原中部	139	11.5%	59.0%	24.5%	5.0%	
衣笠	110	19.1%	54.5%	21.8%	4.5%	
野田	95	7.4%	56.8%	24.2%	11.6%	
高松	28	14.3%	42.9%	28.6%	14.3%	
赤羽根	43	7.0%	65.1%	16.3%	11.6%	
若戸	36	19.4%	33.3%	27.8%	19.4%	
伊良湖岬(和地)	23	13.0%	47.8%	30.4%	8.7%	
伊良湖岬(堀切)	44	9.1%	59.1%	18.2%	13.6%	
伊良湖岬(伊良湖)	12	0.0%	75.0%	25.0%	0.0%	
亀山	17	17.6%	52.9%	17.6%	11.8%	
中山	78	14.1%	57.7%	15.4%	12.8%	
福江	88	12.5%	48.9%	19.3%	19.3%	
清田	40	5.0%	55.0%	27.5%	12.5%	
泉	65	13.8%	50.8%	30.8%	4.6%	

8 観光施設〔道の駅、展望台、サンテパーク等〕

【性別】

単位：％

区分	有効回答件数 (件)	施設を現状維持するためには、他の行政サービス の低下も仕方ない	現在の施設を維持すべき (または有料化して)	施設の使用料を上げて （または有料化して） が、あっても仕方ない	他の行政サービスを維持 するため、施設の統廃合 が必要	無回答
男性	797	18.8%	45.4%	29.0%	6.8%	
女性	482	22.6%	46.9%	18.3%	12.2%	

【年齢別】

単位：％

区分	有効回答件数 (件)	施設を現状維持するためには、他の行政サービス の低下も仕方ない	現在の施設を維持すべき (または有料化して)	施設の使用料を上げて （または有料化して） が、あっても仕方ない	他の行政サービスを維持 するため、施設の統廃合 が必要	無回答
18歳、19歳	5	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	
20歳代	63	31.7%	47.6%	19.0%	1.6%	
30歳代	105	33.3%	44.8%	17.1%	4.8%	
40歳代	163	25.2%	52.1%	20.2%	2.5%	
50歳代	157	21.0%	50.3%	24.8%	3.8%	
60歳代	298	18.1%	43.6%	31.5%	6.7%	
70歳以上	496	15.1%	44.6%	24.2%	16.1%	

【地区別】

単位：％

区分	有効回答件数 (件)	施設を現状維持するためには、他の行政サービス の低下も仕方ない	現在の施設を維持すべき (または有料化して)	施設の使用料を上げて （または有料化して） が、あっても仕方ない	他の行政サービスを維持 するため、施設の統廃合 が必要	無回答
六連	34	32.4%	41.2%	26.5%	0.0%	
神戸	129	22.5%	47.3%	20.2%	10.1%	
大草	29	13.8%	65.5%	20.7%	0.0%	
田原東部	94	18.1%	42.6%	27.7%	11.7%	
田原南部	36	27.8%	27.8%	41.7%	2.8%	
童浦	118	15.3%	44.1%	32.2%	8.5%	
田原中部	139	15.8%	48.2%	31.7%	4.3%	
衣笠	110	21.8%	49.1%	26.4%	2.7%	
野田	95	16.8%	51.6%	21.1%	10.5%	
高松	28	32.1%	39.3%	14.3%	14.3%	
赤羽根	43	27.9%	44.2%	14.0%	14.0%	
若戸	36	19.4%	38.9%	22.2%	19.4%	
伊良湖岬(和地)	23	17.4%	43.5%	21.7%	17.4%	
伊良湖岬(堀切)	44	18.2%	40.9%	31.8%	9.1%	
伊良湖岬(伊良湖)	12	8.3%	50.0%	41.7%	0.0%	
亀山	17	29.4%	52.9%	5.9%	11.8%	
中山	78	23.1%	44.9%	17.9%	14.1%	
福江	88	23.9%	38.6%	18.2%	19.3%	
清田	40	22.5%	52.5%	17.5%	7.5%	
泉	65	13.8%	55.4%	29.2%	1.5%	

9 市民館

【性別】

単位：％

区分	有効回答件数 (件)	施設を現状維持するためには、他の行政サービス の低下も仕方ない	現在の施設を維持すべき (または有料化して)	施設の使用料を上げて が、あっても仕方ない	他の行政サービスを維持 するため、施設の統廃合 が必要	無回答
男性	797	21.3%	34.5%	37.5%	6.6%	
女性	482	23.2%	33.8%	31.5%	11.4%	

【年齢別】

単位：％

区分	有効回答件数 (件)	施設を現状維持するためには、他の行政サービス の低下も仕方ない	現在の施設を維持すべき (または有料化して)	施設の使用料を上げて が、あっても仕方ない	他の行政サービスを維持 するため、施設の統廃合 が必要	無回答
18歳、19歳	5	40.0%	20.0%	20.0%	20.0%	
20歳代	63	25.4%	17.5%	55.6%	1.6%	
30歳代	105	21.0%	31.4%	43.8%	3.8%	
40歳代	163	21.5%	35.0%	40.5%	3.1%	
50歳代	157	17.8%	33.1%	45.9%	3.2%	
60歳代	298	21.5%	36.6%	34.2%	7.7%	
70歳以上	496	23.2%	36.1%	26.0%	14.7%	

【地区別】

単位：％

区分	有効回答件数 (件)	施設を現状維持するためには、他の行政サービス の低下も仕方ない	現在の施設を維持すべき (または有料化して)	施設の使用料を上げて が、あっても仕方ない	他の行政サービスを維持 するため、施設の統廃合 が必要	無回答
六連	34	41.2%	29.4%	29.4%	0.0%	
神戸	129	19.4%	31.8%	38.8%	10.1%	
大草	29	31.0%	37.9%	27.6%	3.4%	
田原東部	94	17.0%	33.0%	38.3%	11.7%	
田原南部	36	30.6%	13.9%	50.0%	5.6%	
童浦	118	22.0%	32.2%	38.1%	7.6%	
田原中部	139	14.4%	33.1%	47.5%	5.0%	
衣笠	110	22.7%	40.0%	33.6%	3.6%	
野田	95	18.9%	44.2%	26.3%	10.5%	
高松	28	28.6%	32.1%	21.4%	17.9%	
赤羽根	43	23.3%	37.2%	27.9%	11.6%	
若戸	36	30.6%	33.3%	22.2%	13.9%	
伊良湖岬(和地)	23	17.4%	30.4%	43.5%	8.7%	
伊良湖岬(堀切)	44	25.0%	36.4%	27.3%	11.4%	
伊良湖岬(伊良湖)	12	16.7%	25.0%	50.0%	8.3%	
亀山	17	35.3%	29.4%	29.4%	5.9%	
中山	78	17.9%	43.6%	24.4%	14.1%	
福江	88	22.7%	29.5%	33.0%	14.8%	
清田	40	22.5%	42.5%	30.0%	5.0%	
泉	65	24.6%	35.4%	36.9%	3.1%	

7. 市政に対するご意見

問 32 市政に対するご意見、ご要望がありましたらご自由にお書きください。

(1) 市民環境について

◆ごみ (9 件)

- ・ごみのマナーが悪すぎる。(7 件)
- ・ごみの回収回数を増やして欲しい。(1 件)
- ・市で清掃チームをつくって時々清掃してほしい。(1 件)

◆環境問題 (13 件)

- ・地球温暖化対策をしてほしい。(4 件)
- ・除草をしてほしい。(3 件)
- ・堆肥の悪臭対策を。年々悪臭がひどくなっている。(2 件)
- ・畑のスプリンクラー。歩道、車道に出ない様、個々の農家が配慮してほしい。(1 件)
- ・タバコの煙、屋外の焼却、野焼きの煙、工場の排気に苦しんでいる。(2 件)
- ・漂流物への対策をしてほしい。(1 件)

◆防犯・安全対策 (6 件)

- ・町の中心は全体的に街灯が少ない。(1 件)
- ・防犯カメラの設置。(1 件)
- ・子供達の安全のため、通学・下校時のパトロールを強化してほしい。(2 件)
- ・犯罪のない街づくり。(1 件)
- ・サーファーの路上駐車が気になる。(1 件)

◆ペット問題 (1 件)

- ・地域猫の避妊手術に市から補助金を出してほしい。(1 件)

(2) 健康福祉について

◆子育て (17 件)

- ・子ども手当など子どもを産みやすい、育てやすい街になるようにしてほしい。(11 件)
- ・病院で夜間対応できる小児科が必要。(3 件)
- ・近くに子どもが遊べる公園がない。(2 件)
- ・子ども用品が揃いづらい。(1 件)

◆医療 (7 件)

- ・検診制度の改善。(4 件)
- ・病院も夜だと診てもらえなく豊橋まで行かなければならない事もあるので、夜間の先生を増やしてほしい。(3 件)

(3) 産業経済について

◆市の活性化・魅力づくり（13件）

- ・観光に力を入れて取り組んでほしい。（11件）
- ・中心部以外はさびれていく一方なので、市全体の活性化をするような政策を進めてほしい。（2件）

◆雇用・労働（2件）

- ・若い人達が帰って来れる雇用がもっといると思う。（1件）
- ・今後も農業が発展できるような環境作りをお願いしたい。（1件）

(4) 都市整備について

◆公共交通（26件）

- ・公共交通機関の利便性の改善（本数・時間・料金・路線拡大）。（19件）
- ・車の免許を返納したくても交通の手段がなければ返納できないので、高齢者の交通アクセスを考えていただきたい。（3件）
- ・バス券やタクシー券の使用枚数や使用期間の撤廃や、乗り物の補助券が欲しい。（4件）

◆インフラ整備（30件）

- ・道路の舗装、草刈り。（16件）
- ・広域幹線道路の整備、渥美半島縦貫道路や信号のない道路の実現、渋滞の解消等。（6件）
- ・歩道の整備。（4件）
- ・上下水道の整備。（4件）

◆まちづくり（30件）

- ・もっと色々な店を増やしてほしい。（16件）
- ・田原の中心部のみが整備がされ、その他の地域の整備があまりされていない。（5件）
- ・高齢者が暮しやすい街にしてほしい。（2件）
- ・新しく施設を作るのではなく、使っていない建物を利用するようにしてほしい。（2件）
- ・スポーツ施設がもっと欲しい。（3件）
- ・市民の税金をもっと有効に使っていただきたい。（1件）
- ・駅前でのスケートボードを禁止にしてほしい。（1件）

◆地域・過疎対策（19件）

- ・少子高齢化への対策。（6件）
- ・若い人達が住みたいまちにしてほしい。（4件）
- ・人口を増やす政策を行ってほしい。（3件）
- ・空き家（家屋）の対策。（3件）
- ・後継者不足への対策。（3件）

(5) 教育文化について

◆学校・教育（4件）

- ・学校の部活動が段々と減っていく。中高生が、学校のない時間に友達と気軽に集まって、スポーツをしたり、友達と話をしたりして過ごせる場があればいいと思う。（1件）
- ・給食費の無償化。（1件）
- ・小中学生への支援は充実しているが、高校生や大学生への支援が充実していない。（1件）
- ・小学校の行事が多く、PTA や子ども会の役員がとても負担。（1件）

(6) 消防防災について

◆災害対策（11件）

- ・防災ラジオやスピーカーが聞こえない。（5件）
- ・自然災害への心配。（5件）
- ・災害の時に使用する避難所等の施設の充実。（1件）

(7) 市政・行政について

◆市役所・市職員・行政サービス等（44件）

- ・もっと現場をよく見て行動してほしい。（1件）
- ・市職員の休日出勤を減らし、市職員こそ市民活動・ボランティア活動に積極的に参加すべき。（1件）
- ・職員採用の機会を増やしてほしい。（1件）
- ・土日や休日にも対応してほしい。（1件）
- ・市政サービス等を含め職員が多すぎる。（3件）
- ・行政の仕事を住民に押しつけ過ぎている。（2件）
- ・職員の教育をしっかりしてほしい。（7件）
- ・職員の方は市民に対し親切で良くやっていると思います。（2件）
- ・いつも市民のためにありがとうございます。これからも頑張ってください。（7件）
- ・パフォーマンス重視でなく、地に足をつけた地道な運営をしてほしい。（2件）
- ・議員への不満。（3件）
- ・これから田原市を支えていく若い人たちが住みやすい市になってほしい。（2件）
- ・田原市が何に力を入れているのか伝わってこない。田原市のカラーが見えない。（1件）
- ・多くの方が幸せを感じる田原市にしてほしい。（1件）
- ・書いても実行してもらえないから書きません。（1件）
- ・動きが遅い。（1件）
- ・明るい未来を予感できる施策をお願いします。（1件）
- ・不在者の選挙に行ってきたが、投票済証は不要と思った。紙代も手間も無駄。（1件）
- ・他の自治体を見習ってほしい。（1件）
- ・適切な政策を実行してほしい。（4件）

- ・旧田原町中心の行政ばかりではなく、旧渥美農村部へも心を使って行政をしてほしい。(1件)

◆税金 (8件)

- ・税金を安くしてほしい。(5件)
- ・あまり無駄な所に税金を使わないでほしい。(2件)
- ・トヨタ自動車ほか、税収で豊かな自治体と思われる。市長、議会、校区の努力によって、住みよい市となっている。(1件)

◆広報広聴・情報発信 (13件)

- ・もっと市のPRをしてほしい。(4件)
- ・広報たはらの改善をしてほしい。(2件)
- ・回覧板は月に1回でもよいと思う。(1件)
- ・市のホームページが見つらい。(3件)
- ・市のHPで検索する際、目的にたどり着きにくい。カテゴリ別に検索できる様に改善をお願いしたい。(1件)
- ・市民の意見を聞く機会も設けてほしい。(1件)
- ・市の政策について、結果だけでなく市民に状況がみえる様にアナウンスしてほしい。(1件)

(8) その他

◆その他 (8件)

- ・田原市の継続には、東三河の発展が重要。(1件)
- ・田原は渡辺華山先生を輩出し、歴史的にすばらしい所です。華山の劇を市民で毎年でも盛り上げ、市内外に伝えていくことをもっとすべきではないかと思えます。(1件)
- ・第1次産業にもっと耳を傾けて補助金などの支援をしてほしい。(1件)
- ・電子マネー・キャッシュレス決済の促進に力を入れてほしい。(1件)
- ・インターネットの普及等、便利になっていい事もあるが、使いこなせない人たちが置いてきぼりにならないようにしてほしい。(2件)
- ・田原全市民への給付金を出してほしい。(2件)

◆アンケートについて (18件)

- ・対象者について年齢を考えて選んでほしい。(3件)
- ・わからない項目が多い。(8件)
- ・自分自身のこととして捉えるのか、客観的に答えるべきか迷った。
- ・設問数が多い。(2件)
- ・適切な選択肢が無いものもあると思う。(2件)
- ・こういったアンケートは定期的に行うべきだと思う。(1件)
- ・アンケート中あまり自生活で関わりのない項目が多く、どう答えたらいいかわからないものが多かった。(1件)

- ・少子化問題に対する質問も入れるべきだと思う。(1件)

Ⅲ 市内事業者アンケート調査

Ⅲ 市内事業者

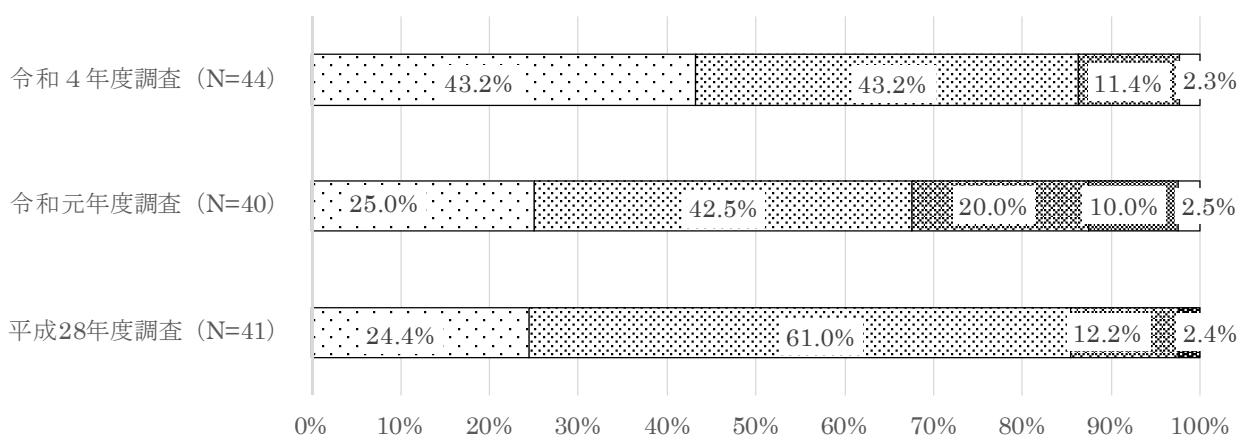
1. 回答者属性

問1 あなたの事業所についてお聞きします。

① 企業形態

「個人企業（個人経営）」「株式会社」の割合がともに 43.2%と最も高く、次いで「有限会社」の割合が 11.4%となっています。

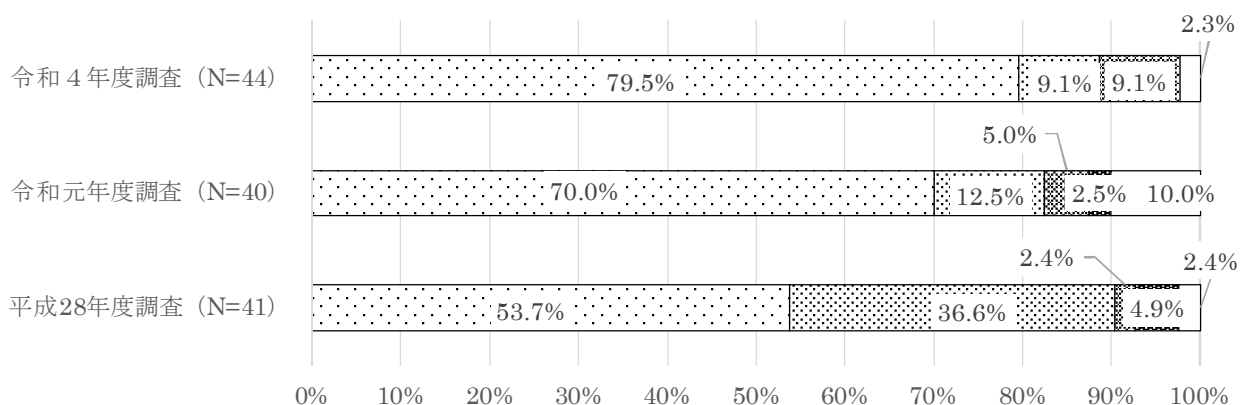
□個人企業（個人経営） □株式会社 □有限会社 □合名・合資会社 □その他 □無回答



② 本社・事業所区分

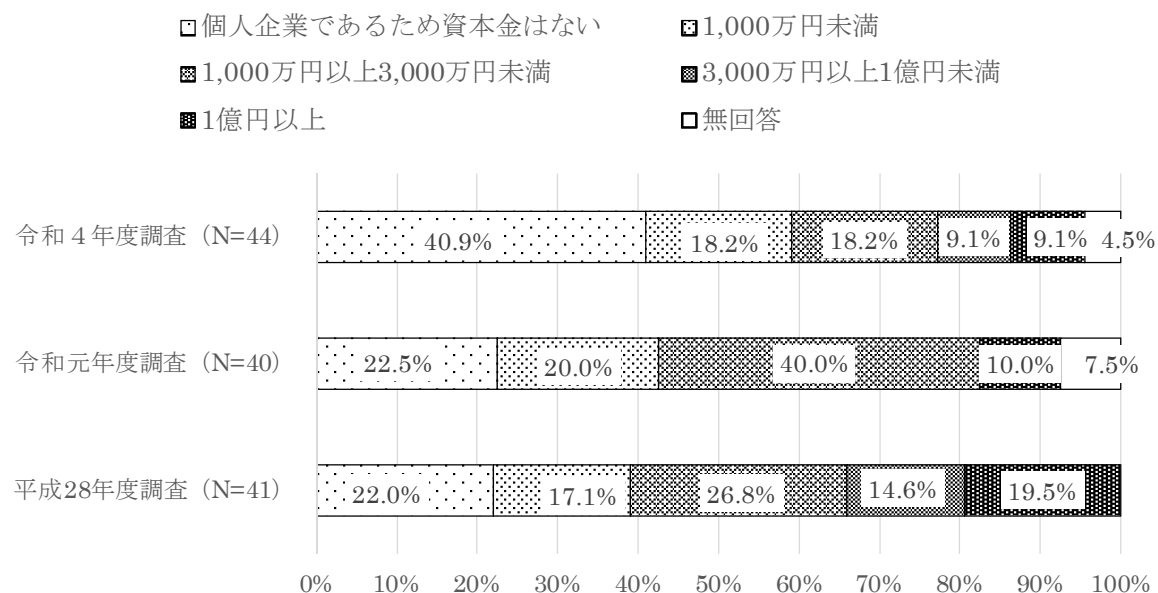
「本社（事業所・工場併設の本社）」の割合が 79.5%と最も高く、次いで「支社・支店・事業所」「本社以外の分工場」の割合がともに 9.1%となっています。

□本社（事業所・工場併設の本社） □支社・支店・事業所
 □本社以外の分工場 □チェーン直営店もしくは加盟店
 □その他 □無回答



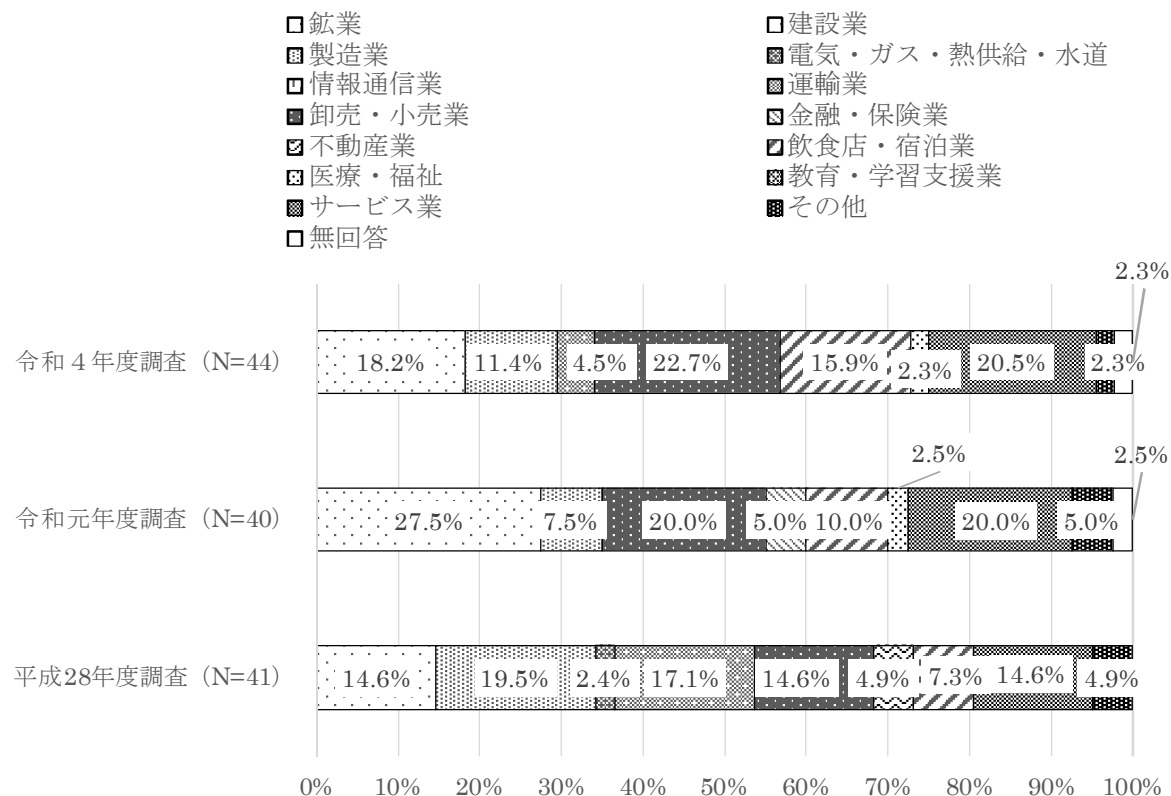
③ 資本金

「個人企業であるため資本金はない」の割合が 40.9%と最も高く、次いで「1,000 万円未満」「1,000 万円以上 3,000 万円未満」の割合がともに 18.2%となっています。



④ 業種

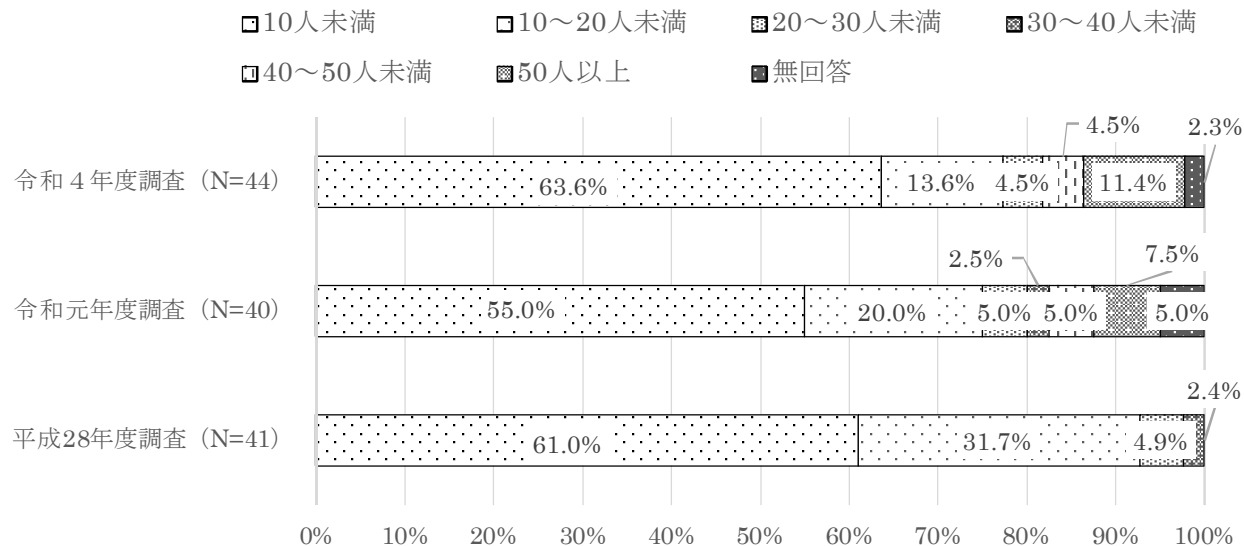
「卸売・小売業」の割合が 22.7%と最も高く、次いで「サービス業」の割合が 20.5%、「建設業」の割合が 18.2%となっています。



⑤ 従業員数 (R4.4.1 時点)

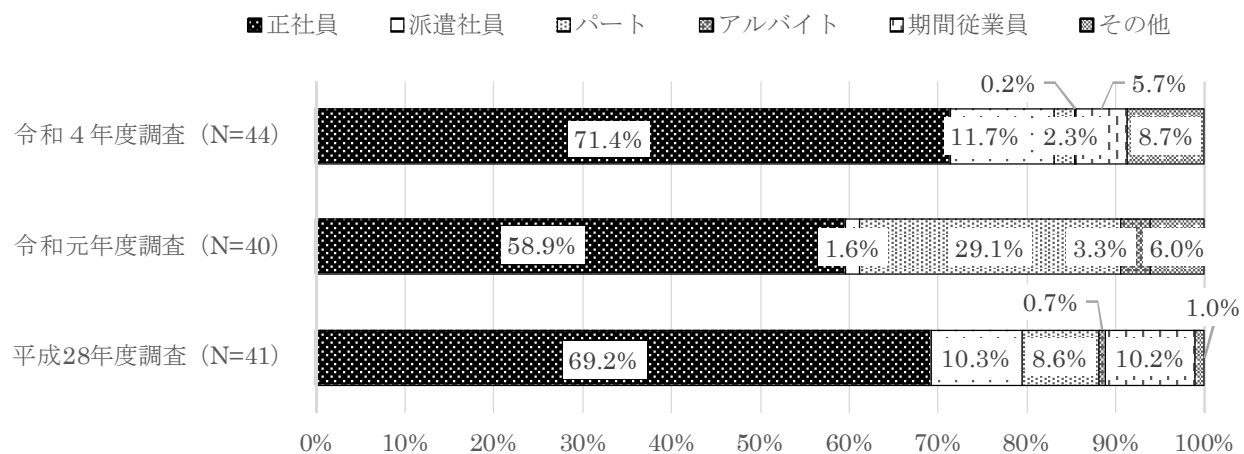
【総数】

「10 人未満」の割合が 63.6%と最も高く、次いで「10～20 人未満」の割合が 13.6%となっています。



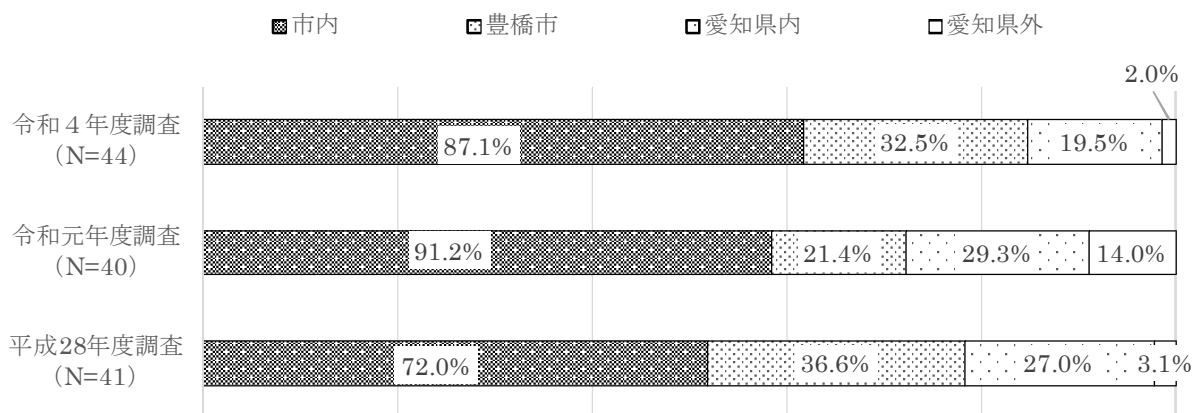
【従業員の内訳】

「正社員」の割合が 71.4%と最も高く、次いで「派遣社員」の割合が 11.7%となっています。



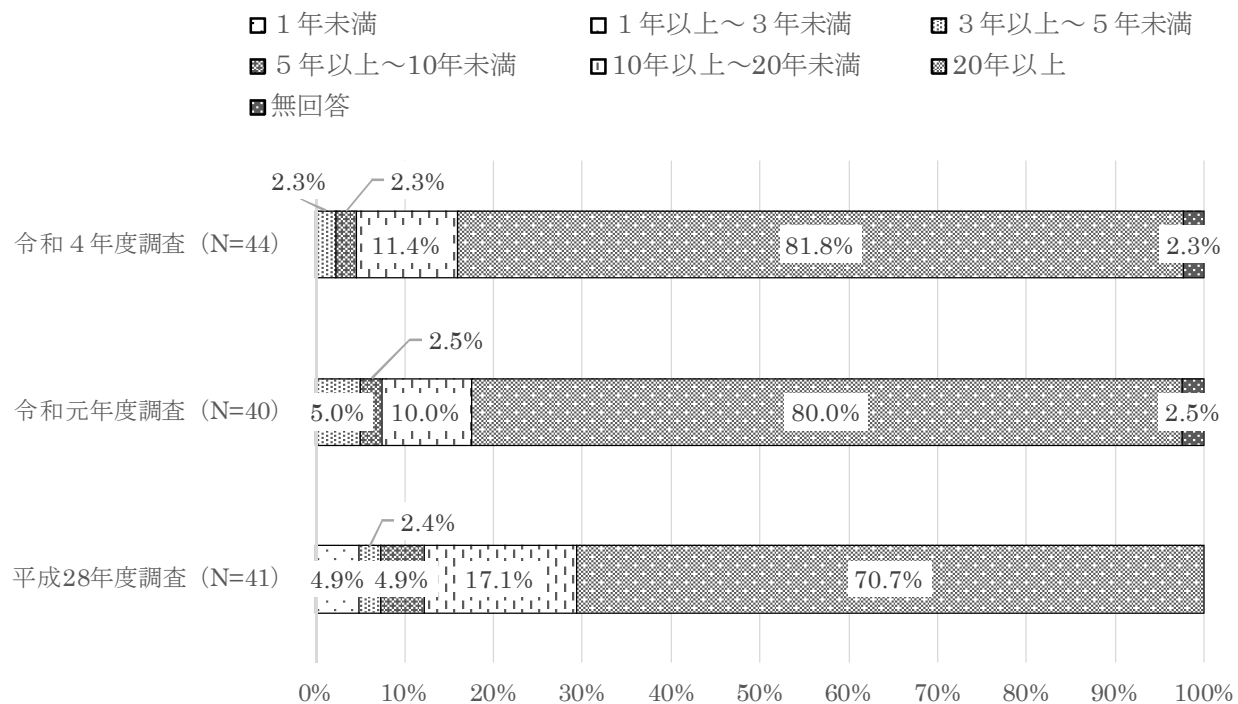
⑥ 事業所（工場）の従業員の居住先の概ねの比率

回答者の平均値は「市内」の割合が 87.1%と最も高く、次いで「豊橋市」の割合が 32.5%となっています。



⑦ 田原市での事業年数

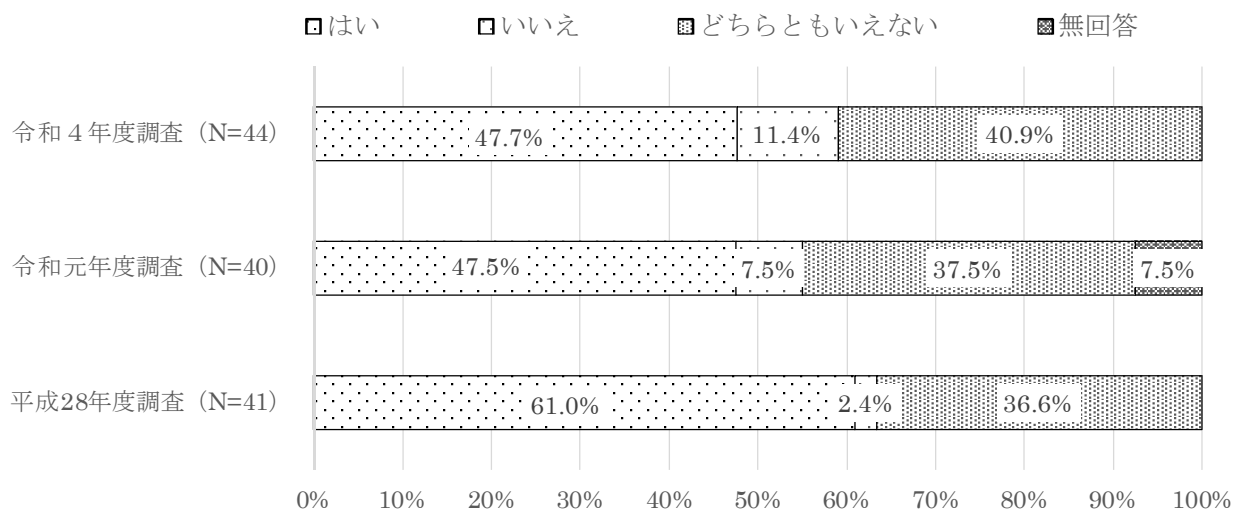
「20年以上」の割合が 81.8%と最も高く、次いで「10年以上～20年未満」の割合が 11.4%となっています。



2. 田原市での事業環境について

問 2 田原市は、あなたの事業所にとって事業をしやすいまちだと思いますか。(〇は1つ)

「はい」の割合が47.7%、「どちらともいえない」の割合が40.9%となっています。
令和元年度調査と比べると、「いいえ」の割合が3.9ポイント増加しています。



【業種別】

単位：%

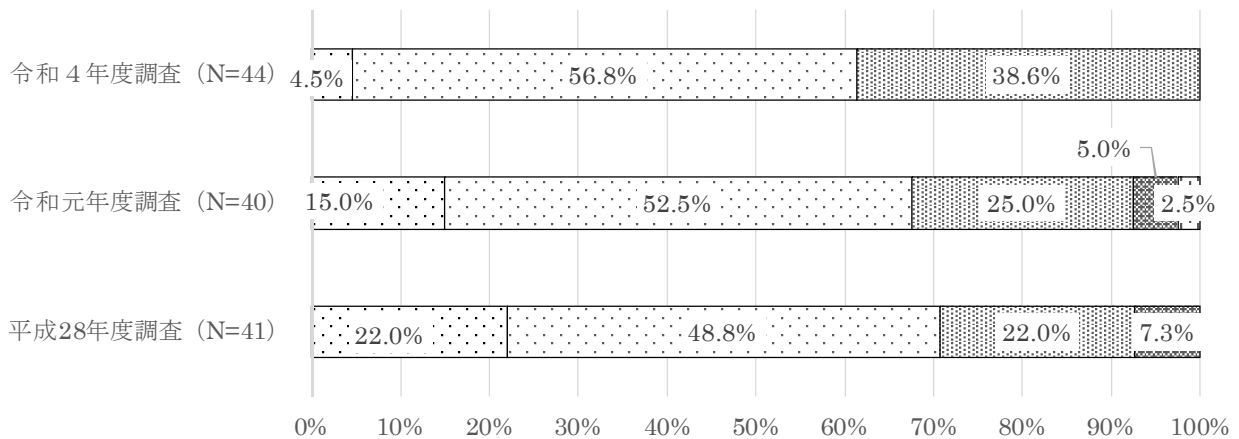
区分	有効回答件数 (件)	はい	いいえ	どちらともいえない	無回答
鉱業	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
建設業	8	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%
製造業	5	80.0%	0.0%	20.0%	0.0%
電気・ガス・熱供給・水道業	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
情報通信業	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
運輸業	2	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%
卸売・小売業	10	30.0%	20.0%	50.0%	0.0%
金融・保険業	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
不動産業	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
飲食店・宿泊業	7	28.6%	14.3%	57.1%	0.0%
医療・福祉	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
教育・学習支援業	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
サービス業	9	55.6%	22.2%	22.2%	0.0%
その他	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問3 田原市で事業を行う環境は、5年前と比べて全体的にどうなったとお考えですか。(〇は1つ)

「きびしくなった」の割合が56.8%と最も高く、次いで「変わらない」が38.6%、「良くなった」が4.5%となっています。

令和元年度調査と比べると、「良くなった」の割合が10.5ポイント減少しています。

□良くなった □きびしくなった ■変わらない ■5年前は事業をしていない □無回答



【業種別】

単位：%

区分	有効回答件数 (件)	良くなった	きびしくなった	変わらない	5年前は事業をしていない	無回答
鉱業	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
建設業	8	0.0%	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%
製造業	5	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
電気・ガス・熱供給・水道業	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
情報通信業	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
運輸業	2	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
卸売・小売業	10	0.0%	70.0%	30.0%	0.0%	0.0%
金融・保険業	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
不動産業	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
飲食店・宿泊業	7	14.3%	85.7%	0.0%	0.0%	0.0%
医療・福祉	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
教育・学習支援業	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
サービス業	9	0.0%	55.6%	44.4%	0.0%	0.0%
その他	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%

問4 田原市で事業を行う環境について、良くなった点、きびしくなった点などを、具体的にお聞かせください。

【良くなった点】

- ・コロナ禍で大変ではあるが、色々対策してくれている。
- ・国道沿いに店舗を移転した当初、業績は良くなりました。
- ・田原市在住の社員を、直近5年間で4名採用しており、定着して戦力になっている。
- ・地元の建設会社を新築の際に使うことで、補助金が増える。

【きびしくなった点】

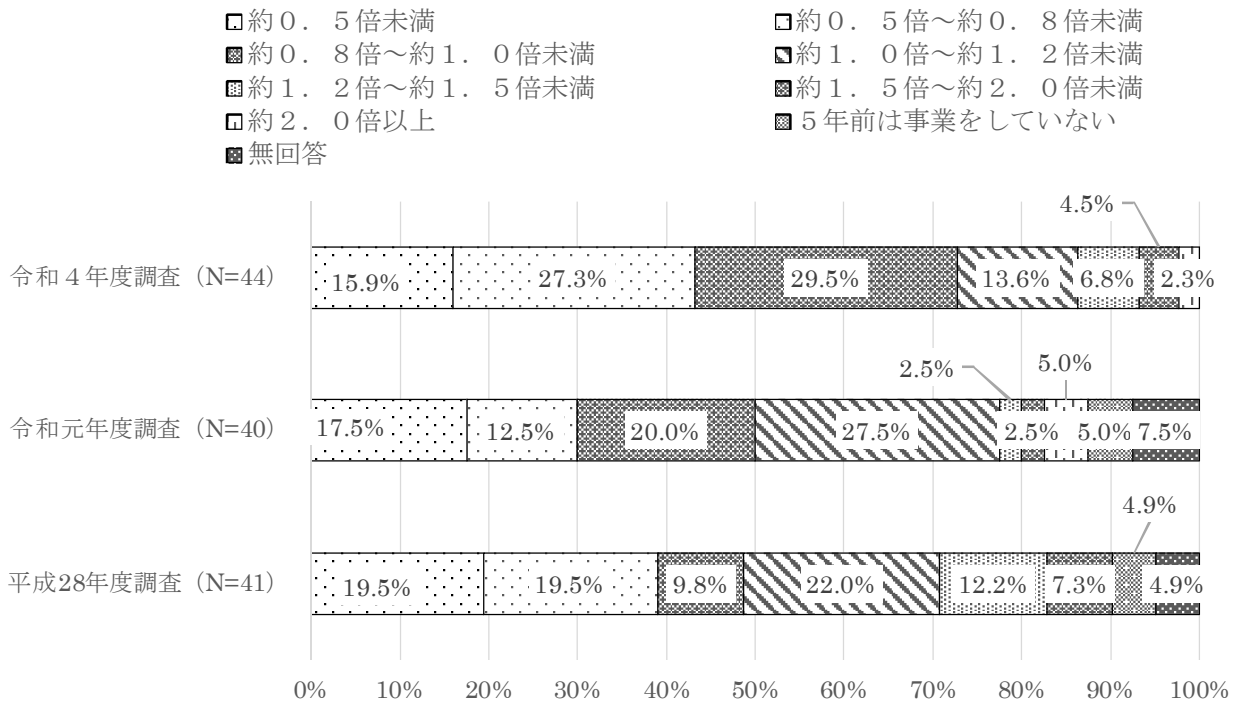
- ・外出をしなくなった。外出しても、長居をしなくなった。
- ・農家の収入による影響が顕著に表れる地域なので、農家が厳しい状況が続いている現状が、そのまま事業にも表れていると思われる。
- ・仕事量が減った。
- ・公共工事の減少。
- ・個人経営が難しくなった。
- ・人口減少。
- ・人口が減ってきて若者がいない。
- ・人口減少による購買力の低下。
- ・人口減少により、ラーム販売が少なくなった。
- ・伊良湖の観光業の衰退とともに売り上げが減り、市外に売り上げを求めため配送コストがかかり、競争力が無くなってきている。
- ・県外・市外からの業者が多くなり、入札制度になる発注が多くなった。市内の小さな個人自営業では、入札の物品参加は難しい状態が続いている。小規模制度に登録してあっても、あまり意味がなくなっている！
- ・田原市発注の工事の受注がほとんどない。(旧渥美地区に予算がとられ、旧田原地区には回ってきていないような気がする。まだまだ道の補修等やるべき事ができていない。)
- ・少子化による過疎化とコロナ感染症。
- ・事業所周辺の道路が拡張され通勤時の渋滞が緩和されたが、田原市全体で見れば、まだまだ渋滞が発生する道路がある。
- ・近年、国道沿いでも空き地・空き店舗等目立ち寂しい街になってしまって、活気がなく経済活動もきびしくなったと思います。
- ・LPガスの取扱量の維持が少しずつ厳しくなっている。(省エネと温暖化と世帯数の減少等)
- ・コロナの2年間で夜の宴会は皆無。冠婚葬祭の簡素化。若者の生活スタイルの変化等。
- ・コロナ禍によるイベント自粛。
- ・同業(流し、外国人が増えた)。
- ・同業者減少による顧客の流出。
- ・飲酒人口の高齢化。
- ・主要顧客の生産数減少。

3. あなたの事業所の事業について

問5 あなたの事業所の直近の売上高は、5年前に比べ何倍程度ですか。(〇は1つ)

「約0.5倍未満」「約0.5倍～約0.8倍未満」「約0.8倍～約1.0倍未満」を合わせた“1倍未満”が72.7%、「約1.0倍～約1.2倍未満」「約1.2倍～約1.5倍未満」「約1.5倍～2倍未満」「約2.0倍以上」を合わせた“1倍以上”が27.2%となっており、売上高が減少している事業所が7割以上を占めています。

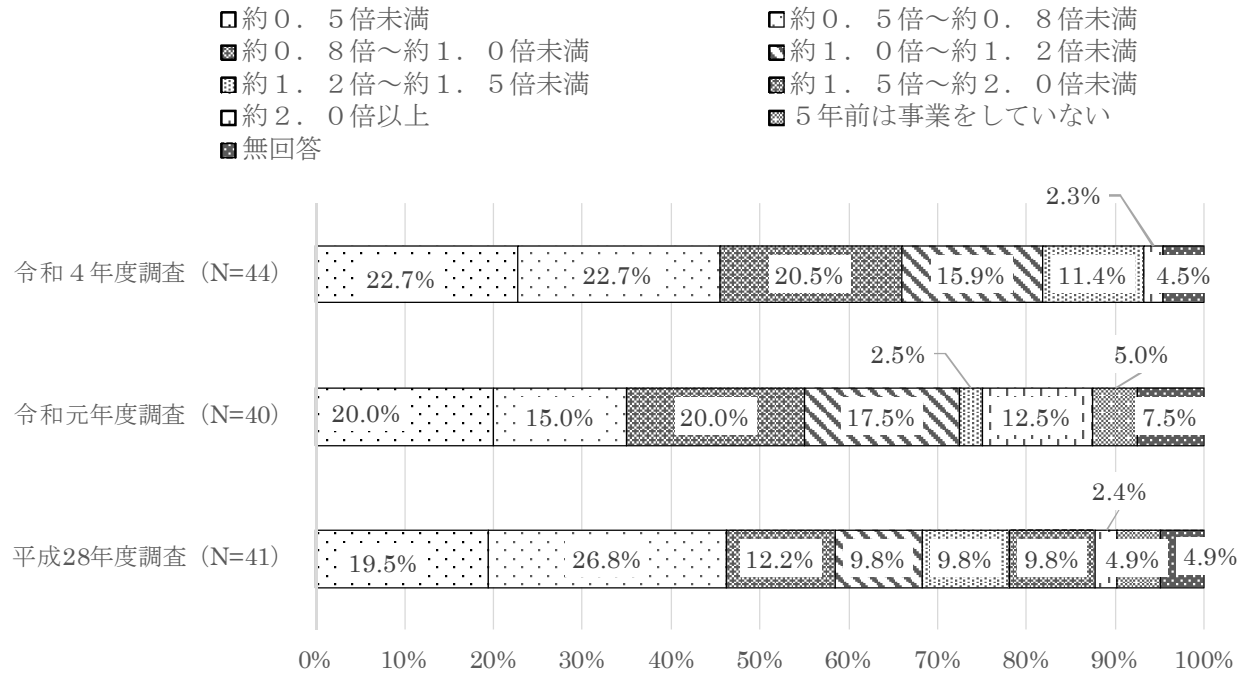
令和元年度調査と比べると、“1倍未満”が22.7ポイント増加しています。



問6 あなたの事業所の直近の経常利益(所得)は、5年前に比べ何倍程度ですか。(〇は1つ)

「約0.5倍未満」「約0.5倍～約0.8倍未満」「約0.8倍～約1.0倍未満」を合わせた“1倍未満”が65.9%、「約1.0倍～約1.2倍未満」「約1.2倍～約1.5倍未満」「約1.5倍～2倍未満」「約2.0倍以上」を合わせた“1倍以上”が29.6%となっており、経常利益(所得)が減少している事業所が6割以上を占めています。

令和元年度調査と比べると、“1倍未満”が10.9ポイント増加しています。



問7 あなたの事業所が、現在の事業を行う上で、経営上の問題点はどこにあるとお考えですか。
(〇は3つまで)

「売上額の減少」が63.6%で最も高く、次いで「利幅の縮小」が47.7%、「同業者との競争激化」が29.5%となっています。

令和元年度調査と比べると、「売上額の減少」が26.1ポイント増加しています。

単位：%

項目	平成28年度調査 (N=41)	令和元年度調査 (N=40)	令和4年度調査 (N=44)
売上額の減少	46.3	37.5	63.6
利幅の縮小	26.8	30.0	47.7
物流・在庫コストの増大	14.6	10.0	18.2
人件費の増加	19.5	10.0	27.3
資金調達が困難	2.4	7.5	0.0
相続税、固定資産税等の税金対策	4.9	2.5	9.1
大手企業との競争激化	4.9	12.5	9.1
同業者との競争激化	36.6	15.0	29.5
取引先減少、業績不振	2.4	20.0	11.4
国際競争の激化	2.4	0.0	2.3
コストダウン要求の強まり	12.2	0.0	4.5
市場の成熟、縮小	29.3	37.5	25.0
自然災害（地震・津波・高潮等）の脅威	17.1	7.5	4.5
高速道路・高規格道路へのアクセス	12.2	15.0	11.4
その他	9.8	20.0	4.5
無回答	4.9	2.5	0.0

問8 あなたの事業所が今後重視したい取り組みは何ですか。(〇は3つまで)

「人材の確保・育成」が65.9%と最も高く、次いで「新技術や新商品の開発」が27.3%、「事業の再構築」が22.7%となっています。

令和元年度調査と比べると、「新技術や新商品の開発」が12.3ポイント、「情報化（デジタル化）への対応」が10.7ポイント増加しています。

単位：%

項目	平成28年度調査 (N=41)	令和元年度調査 (N=40)	令和4年度調査 (N=44)
新分野への進出	26.8	20.0	15.9
新技術や新商品の開発	14.6	15.0	27.3
情報化（デジタル化）への対応	14.6	7.5	18.2
国際化への対応	0.0	0.0	0.0
経営組織の見直し	9.8	15.0	11.4
企業間ネットワークの推進	4.9	5.0	9.1
人材の確保・育成	43.9	55.0	65.9
マーケティングや販路・市場開拓	17.1	27.5	18.2
資金調達の円滑化	4.9	5.0	6.8
後継者の育成	34.1	22.5	20.5
事業の再構築	14.6	12.5	22.7
外部経営資源の活用	0.0	2.5	0.0
その他経営方針の見直し	22.0	17.5	9.1
その他	0.0	7.5	6.8
無回答	9.8	2.5	0.0

問9 経営課題を解決する上で、必要となる市の取り組みがありましたら、具体的にご記入ください。

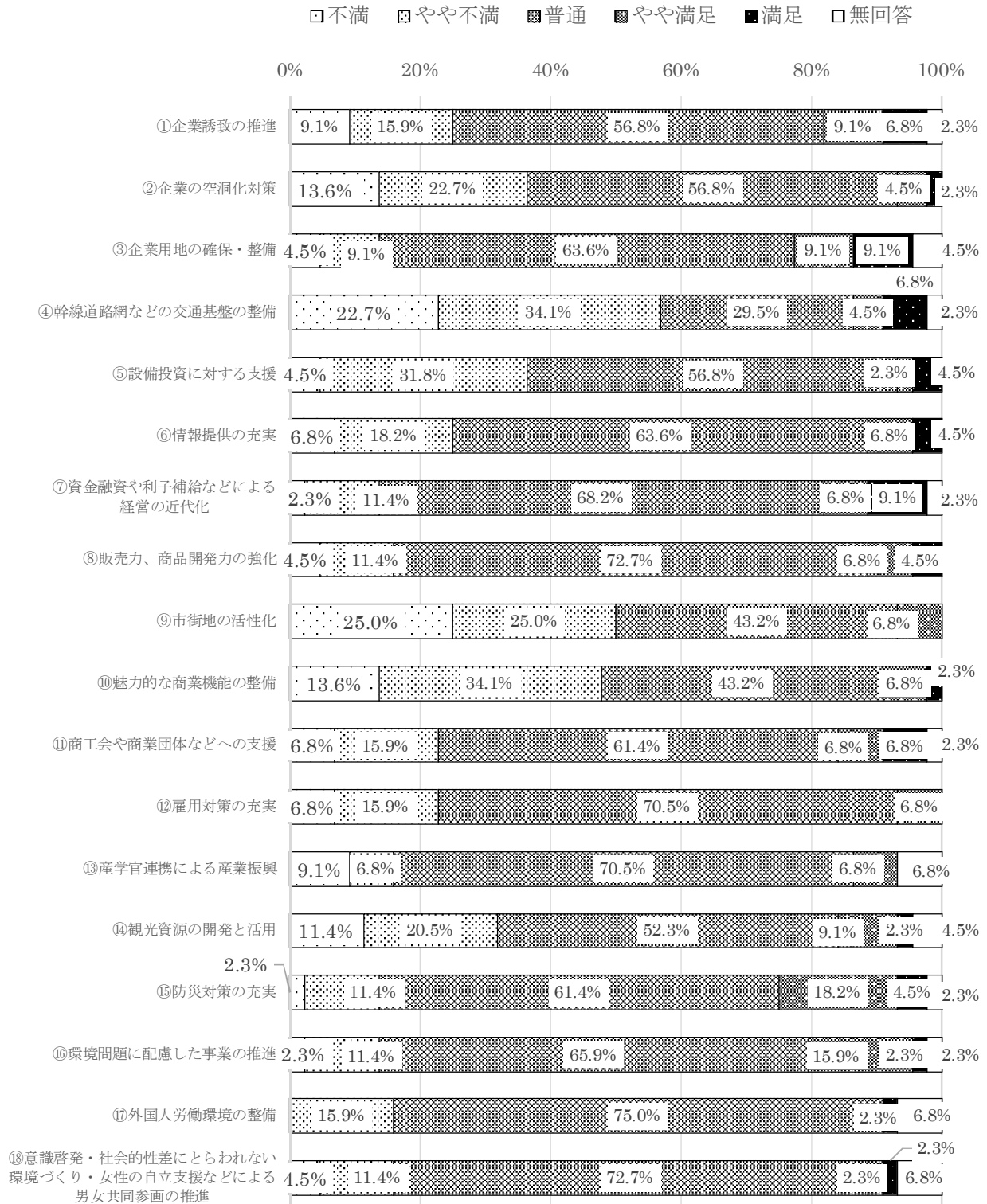
- ・働き手が市外に流出しないような施策が必要。
- ・定年退職後の生きがい支援。(本人たちへもメリットがある仕組みの構築、人材の福祉事業への再就職への提案)(事業者への助成金支給)
- ・出来る限り市内のお店、会社を利用して下さい。
- ・若者が集まるような市。(コストコ等の誘致)(広く開いている土地はあるので、それをうまく利用してほしい。)
- ・他県にある有名温泉地もさびれてきているのに温泉を掘る、そこに多額の予算を投入する価値があるのかよくわからない。温泉を活性化させるのであれば、まず交通網の充実が必要では。
- ・人口増、少子化対策。
- ・過疎化を防ぐにはかなり厳しい状況にあると思います。
となれば土日などの休日に、他の地域からのお客様を昔の様に呼び込む必要があると思います。
- ・各種共用場の提供(異業種が集える場や人材確保に繋げる場等)。
- ・店舗の所在地が市街化調整区域のため、経営形態変更もままならぬ状態です。
農転とかどうすればいいかなどの相談窓口とかあればありがたい。
- ・市には期待できない。
- ・馴れ合いがあるために市役所職員が変わるかと思いますが、変わるがために起こる二度手間を無くしてほしい。
- ・人によって基準が変わるので、マニュアル化で昨年の話が変わってしまうのを無くしてほしい。
- ・バリアフリーの補助。
- ・新たな企業連携を推進するためにも企業間ネットワークの取組みを強化していただき、ビジネスチャンスの拡大やカーボンニュートラルなど、環境へ向けた取組みも行政や周辺企業とともに考えていきたい。
- ・お米の取扱店ですが、給食センター等、公共のものは地元で利用してほしい。安いからと言って、税金を田原市以外の事業者に使うのはナンセンス、納税者を大切にしてほしい。
- ・人財育成に関するセミナー開催や、企業と学校を結ぶ交流会の開催等。
- ・田原市商工会と組んで、商工業者の YouTube チャンネルを開設したらどうか。(西尾市参照)

4. 市の施策について

問 10 市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。
 (各問に対し「現在の評価」、「今後の重要性」の項目に○を1つずつ)

【現在の評価】

「不満」と「やや不満」を合わせた“不満”(以下同じ)の割合が「④幹線道路網などの交通基盤の整備」「⑨市街地の活性化」で高く、5割以上となっています。



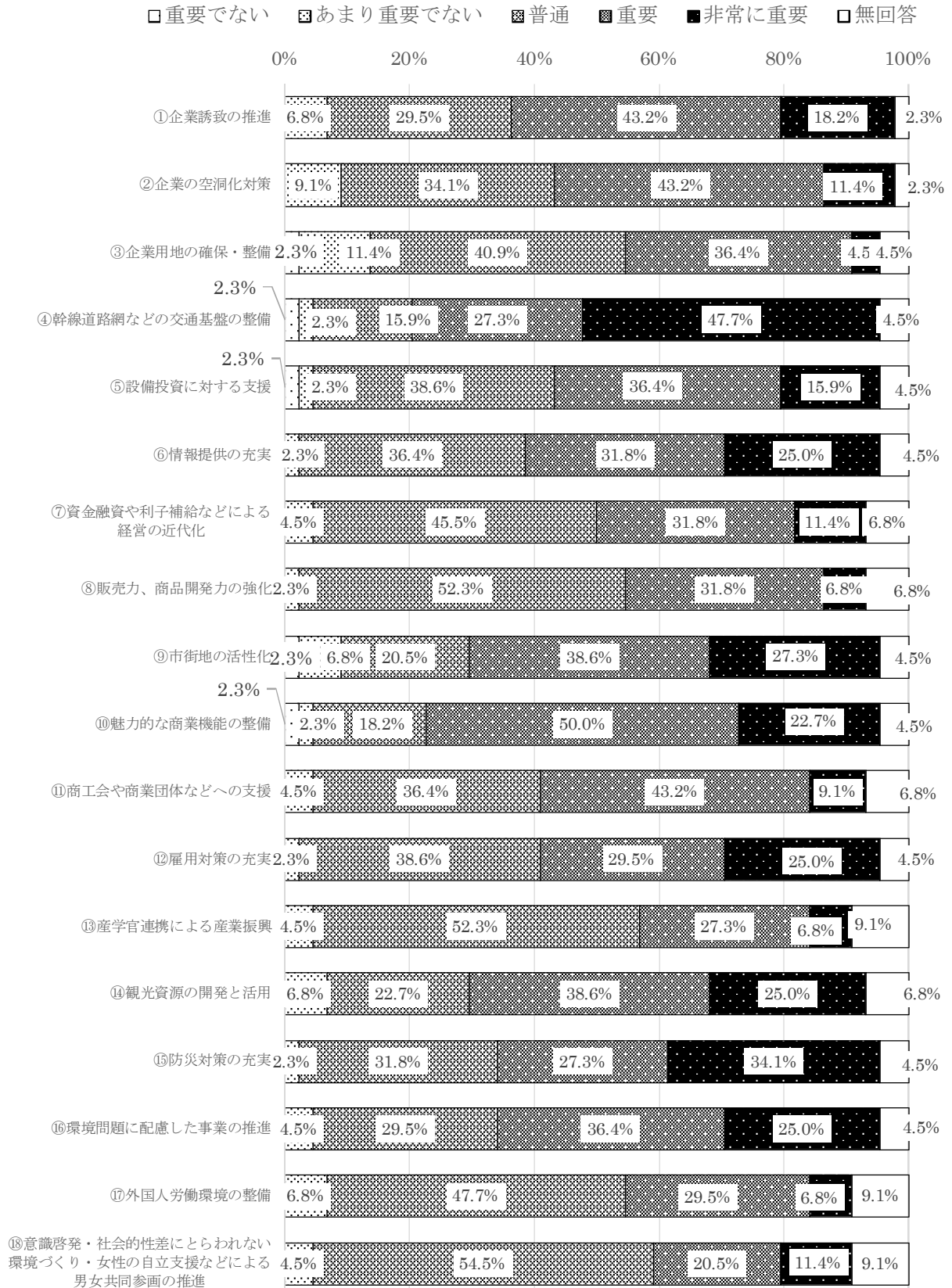
【経年比較—現在の評価】

令和元年度調査と比べると、“不満”の割合は「②企業の空洞化対策」「④幹線道路網などの交通基盤の整備」「⑤設備投資に対する支援」「⑨市街地の活性化」「⑩魅力的な商業機能の整備」で、10ポイント以上増加しています。

状況	調査年度	N	評価					無回答
			不満	やや不満	普通	やや満足	満足	
①企業誘致の推進	R4	44	9.1	15.9	56.8	9.1	6.8	2.3
	R1	40	7.5	15.0	57.5	10.0	2.5	7.5
	H28	41	4.9	14.6	63.4	2.4	4.9	9.8
②企業の空洞化対策	R4	44	13.6	22.7	56.8	4.5	2.3	0.0
	R1	40	7.5	17.5	57.5	7.5	0.0	10.0
	H28	41	2.4	9.8	70.7	4.9	2.4	9.8
③企業用地の確保・整備	R4	44	4.5	9.1	63.6	9.1	9.1	4.5
	R1	40	0.0	5.0	67.5	10.0	5.0	12.5
	H28	41	0.0	9.8	65.9	12.2	2.4	9.8
④幹線道路網などの交通基盤の整備	R4	44	22.7	34.1	29.5	4.5	6.8	2.3
	R1	40	15.0	30.0	32.5	7.5	2.5	12.5
	H28	41	17.1	24.4	31.7	12.2	2.4	12.2
⑤設備投資に対する支援	R4	44	4.5	31.8	56.8	2.3	4.5	0.0
	R1	40	0.0	22.5	65.0	5.0	0.0	7.5
	H28	41	9.8	12.2	61.0	7.3	0.0	9.8
⑥情報提供の充実	R4	44	6.8	18.2	63.6	6.8	4.5	0.0
	R1	40	2.5	17.5	65.0	2.5	5.0	7.5
	H28	41	9.8	9.8	58.5	7.3	4.9	9.8
⑦資金融資や利子補給などによる経営の近代化	R4	44	2.3	11.4	68.2	6.8	9.1	2.3
	R1	40	2.5	12.5	72.5	2.5	2.5	7.5
	H28	41	2.4	2.4	82.9	2.4	0.0	9.8
⑧販売力、商品開発力の強化	R4	44	4.5	11.4	72.7	6.8	4.5	0.0
	R1	40	5.0	12.5	70.0	2.5	2.5	7.5
	H28	41	7.3	12.2	70.7	0.0	0.0	9.8
⑨市街地の活性化	R4	44	25.0	25.0	43.2	6.8	0.0	0.0
	R1	40	7.5	32.5	27.5	20.0	5.0	7.5
	H28	41	4.9	29.3	48.8	4.9	0.0	12.2
⑩魅力的な商業機能の整備	R4	44	13.6	34.1	43.2	6.8	2.3	0.0
	R1	40	7.5	30.0	42.5	10.0	2.5	7.5
	H28	41	7.3	31.7	46.3	2.4	0.0	12.2
⑪商工会や商業団体などへの支援	R4	44	6.8	15.9	61.4	6.8	6.8	2.3
	R1	40	5.0	10.0	62.5	12.5	2.5	7.5
	H28	41	2.4	7.3	73.2	4.9	0.0	12.2
⑫雇用対策の充実	R4	44	6.8	15.9	70.5	6.8	0.0	0.0
	R1	40	5.0	25.0	57.5	7.5	0.0	5.0
	H28	41	2.4	9.8	73.2	2.4	0.0	12.2
⑬産学官連携による産業振興	R4	44	9.1	6.8	70.5	6.8	0.0	6.8
	R1	40	2.5	15.0	67.5	2.5	2.5	10.0
	H28	41	4.9	4.9	75.6	4.9	0.0	9.8
⑭観光資源の開発と活用	R4	44	11.4	20.5	52.3	9.1	2.3	4.5
	R1	40	12.5	22.5	37.5	22.5	0.0	5.0
	H28	41	9.8	12.2	58.5	7.3	0.0	12.2
⑮防災対策の充実	R4	44	2.3	11.4	61.4	18.2	4.5	2.3
	R1	40	7.5	12.5	50.0	17.5	5.0	7.5
	H28	41	4.9	29.3	36.6	17.1	2.4	9.8
⑯環境問題に配慮した事業の推進	R4	44	2.3	11.4	65.9	15.9	2.3	2.3
	R1	40	5.0	10.0	67.5	10.0	2.5	5.0
	H28	41	2.4	7.3	68.3	7.3	2.4	12.2
⑰外国人労働環境の整備	R4	44	0.0	15.9	75.0	0.0	2.3	6.8
	R1	40	5.0	27.5	55.0	2.5	2.5	7.5
	H28	41	2.4	4.9	80.5	2.4	0.0	9.8
⑱意識啓発・社会的性差にとらわれない環境づくり・女性の自立支援などによる男女共同参画の推進	R4	44	4.5	11.4	72.7	2.3	2.3	6.8
	R1	40	2.5	12.5	77.5	2.5	0.0	5.0
	H28	41	2.4	7.3	78.0	2.4	0.0	9.8

【今後の重要性】

今後の重要性については、「重要」と「非常に重要」を合わせた“重要”（以下同じ）の割合が「④幹線道路網などの交通基盤の整備」「⑩魅力的な商業機能の整備」で高く、7割以上となっています。

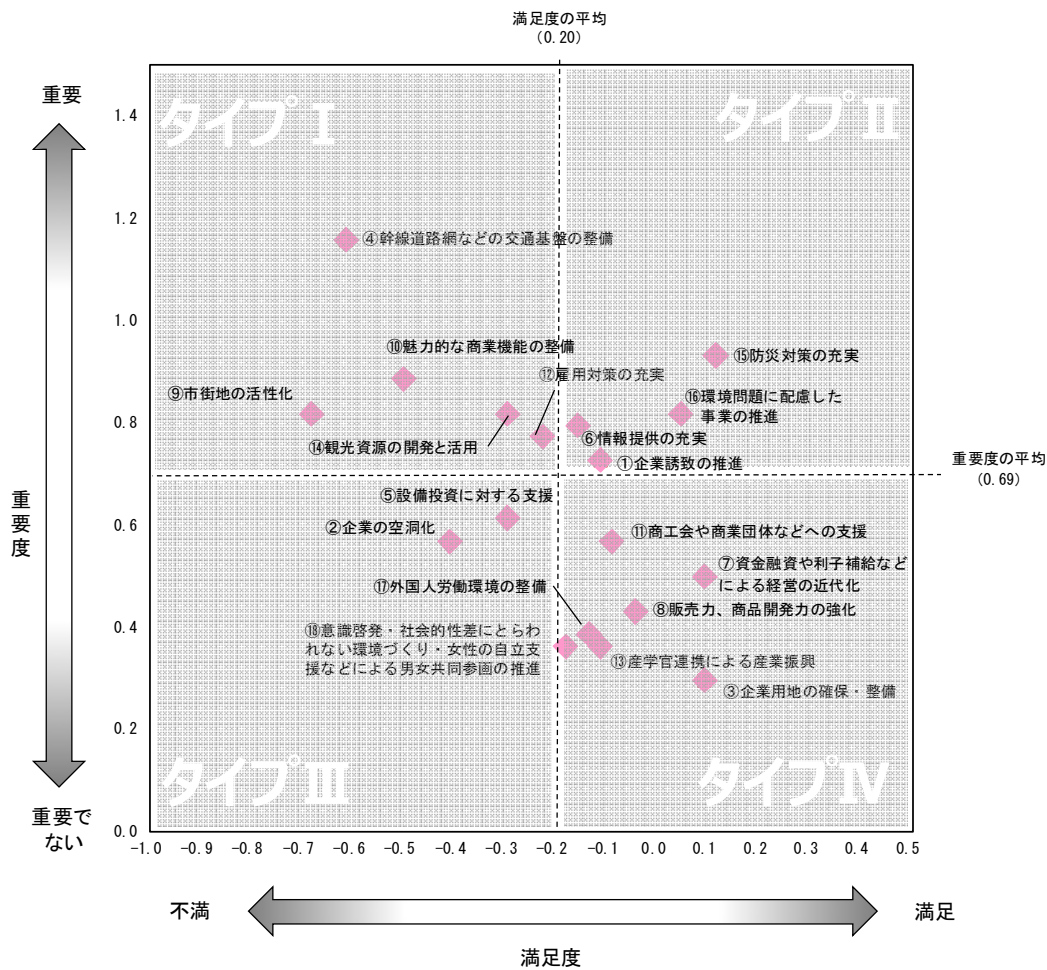


【経年比較—今後の重要性】

令和元年度調査と比べると、“重要”の割合は「③企業用地の確保・整備」「⑥情報提供の充実」「⑯環境問題に配慮した事業の推進」で、20ポイント以上増加しています。

状況	調査年度	N	評価					
			重要ではない	あまり重要ではない	普通	重要	非常に重要	無回答
①企業誘致の推進	R4	44	0.0	6.8	29.5	43.2	18.2	2.3
	R1	40	0.0	10.0	10.0	30.0	35.0	15.0
	H28	41	0.0	7.3	24.4	41.5	14.6	12.2
②企業の空洞化対策	R4	44	0.0	9.1	34.1	43.2	11.4	2.3
	R1	40	0.0	2.5	32.5	32.5	17.5	15.0
	H28	41	0.0	0.0	29.3	43.9	14.6	12.2
③企業用地の確保・整備	R4	44	2.3	11.4	40.9	36.4	4.5	4.5
	R1	40	0.0	10.0	50.0	17.5	2.5	20.0
	H28	41	2.4	0.0	51.2	31.7	2.4	12.2
④幹線道路網などの交通基盤の整備	R4	44	2.3	2.3	15.9	27.3	47.7	4.5
	R1	40	2.5	2.5	10.0	20.0	45.0	20.0
	H28	41	0.0	0.0	12.2	34.1	39.0	14.6
⑤設備投資に対する支援	R4	44	2.3	2.3	38.6	36.4	15.9	4.5
	R1	40	0.0	5.0	42.5	27.5	5.0	20.0
	H28	41	2.4	0.0	43.9	36.6	4.9	12.2
⑥情報提供の充実	R4	44	0.0	2.3	36.4	31.8	25.0	4.5
	R1	40	0.0	2.5	47.5	20.0	12.5	17.5
	H28	41	0.0	2.4	48.8	31.7	4.9	12.2
⑦資金融資や利子補給などによる経営の近代化	R4	44	0.0	4.5	45.5	31.8	11.4	6.8
	R1	40	0.0	5.0	52.5	17.5	7.5	17.5
	H28	41	0.0	0.0	75.6	12.2	0.0	12.2
⑧販売力、商品開発力の強化	R4	44	0.0	2.3	52.3	31.8	6.8	6.8
	R1	40	0.0	7.5	40.0	25.0	10.0	17.5
	H28	41	0.0	7.3	56.1	19.5	4.9	12.2
⑨市街地の活性化	R4	44	2.3	6.8	20.5	38.6	27.3	4.5
	R1	40	0.0	5.0	22.5	27.5	30.0	15.0
	H28	41	2.4	4.9	34.1	34.1	12.2	12.2
⑩魅力的な商業機能の整備	R4	44	2.3	2.3	18.2	50.0	22.7	4.5
	R1	40	0.0	7.5	20.0	30.0	30.0	12.5
	H28	41	2.4	4.9	36.6	29.3	14.6	12.2
⑪商工会や商業団体などへの支援	R4	44	0.0	4.5	36.4	43.2	9.1	6.8
	R1	40	0.0	2.5	47.5	22.5	12.5	15.0
	H28	41	0.0	4.9	63.4	9.8	9.8	12.2
⑫雇用対策の充実	R4	44	0.0	2.3	38.6	29.5	25.0	4.5
	R1	40	0.0	2.5	37.5	30.0	17.5	12.5
	H28	41	0.0	2.4	48.8	29.3	4.9	14.6
⑬産学官連携による産業振興	R4	44	0.0	4.5	52.3	27.3	6.8	9.1
	R1	40	0.0	0.0	50.0	20.0	12.5	17.5
	H28	41	0.0	2.4	61.0	9.8	12.2	14.6
⑭観光資源の開発と活用	R4	44	0.0	6.8	22.7	38.6	25.0	6.8
	R1	40	2.5	2.5	22.5	25.0	35.0	12.5
	H28	41	0.0	4.9	46.3	26.8	9.8	12.2
⑮防災対策の充実	R4	44	0.0	2.3	31.8	27.3	34.1	4.5
	R1	40	0.0	2.5	22.5	37.5	22.5	15.0
	H28	41	0.0	0.0	19.5	48.8	19.5	12.2
⑯環境問題に配慮した事業の推進	R4	44	0.0	4.5	29.5	36.4	25.0	4.5
	R1	40	0.0	5.0	42.5	27.5	12.5	12.5
	H28	41	0.0	2.4	53.7	22.0	9.8	12.2
⑰外国人労働環境の整備	R4	44	0.0	6.8	47.7	29.5	6.8	9.1
	R1	40	2.5	10.0	32.5	30.0	10.0	15.0
	H28	41	7.3	4.9	63.4	9.8	2.4	12.2
⑱意識啓発・社会的性差にとらわれない環境づくり・女性の自立支援などによる男女共同参画の推進	R4	44	0.0	4.5	54.5	20.5	11.4	9.1
	R1	40	2.5	5.0	50.0	22.5	7.5	12.5
	H28	41	2.4	7.3	61.0	14.6	2.4	12.2

ポートフォリオ分析による市の施策の評価については、『④幹線道路網などの交通基盤の整備』など5項目が、重要度が高いものの満足度が低く、改善が求められます。



項目	満足度	重要度
①企業誘致の推進	-0.11	0.73
②企業の空洞化対策	-0.41	0.57
③企業用地の確保・整備	0.09	0.30
④幹線道路網などの交通基盤の整備	-0.61	1.16
⑤設備投資に対する支援	-0.30	0.61
⑥情報提供の充実	-0.16	0.80
⑦資金融資や利子補給などによる経営の近代化	0.09	0.50
⑧販売力、商品開発力の強化	-0.05	0.43
⑨市街地の活性化	-0.68	0.82
⑩魅力的な商業機能の整備	-0.50	0.89
⑪商工会や商業団体などへの支援	-0.09	0.57
⑫雇用対策の充実	-0.23	0.77
⑬産学官連携による産業振興	-0.18	0.36
⑭観光資源の開発と活用	-0.30	0.82
⑮防災対策の充実	0.11	0.93
⑯環境問題に配慮した事業の推進	0.05	0.82
⑰外国人労働環境の整備	-0.11	0.36
⑱意識啓発・社会的性差にとられない環境づくり・女性の自立支援などによる男女共同参画の推進	-0.14	0.39

◆上図から分析判断できる最優先課題◆

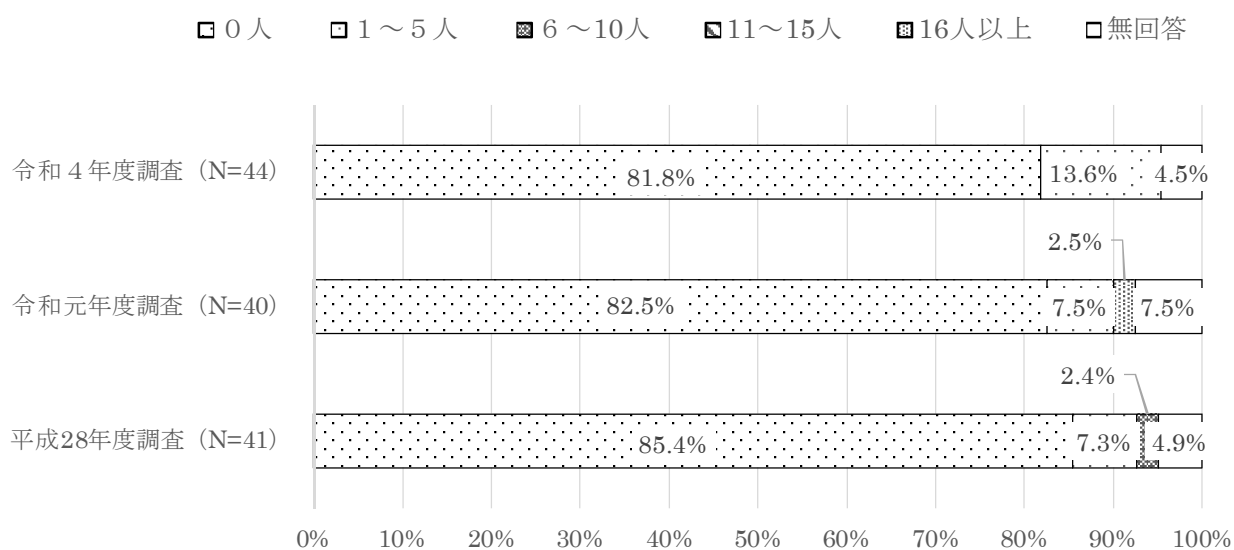
- ④ 幹線道路網などの交通基盤の整備
- ⑨ 市街地の活性化
- ⑩ 魅力的な商業機能の整備
- ⑫ 雇用対策の充実
- ⑭ 観光資源の開発と活用

5. 従業者の雇用環境について

問 11 あなたの事業所の新規学卒者の採用状況、今後5年間の採用見込みをお聞かせください。

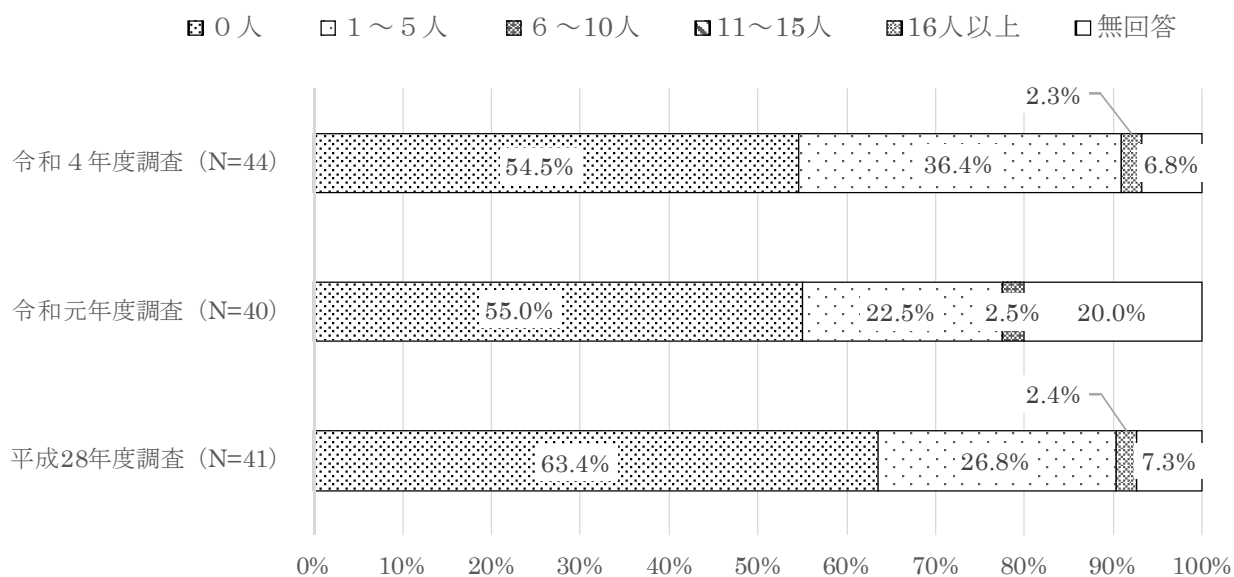
【今年度の新規学卒者の採用状況】

「0人」の割合が81.8%と最も高く、次いで「1～5人」の割合が13.6%となっています。令和元年度調査と比べると、「1～5人」の割合が6.1ポイント増加しています。



【今後5年間の採用見込み】

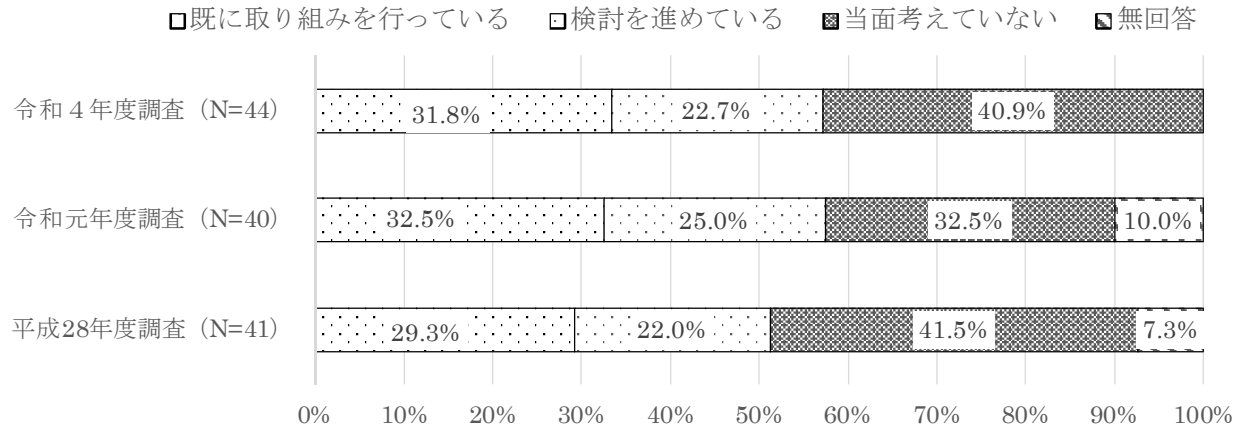
「0人」の割合が54.5%と最も高く、次いで「1～5人」の割合が36.4%となっています。令和元年度調査と比べると「1～5人」の割合が13.9ポイント増加しています。



問 12 あなたの事業所では、定年制の延長についての取り組みが行われていますか。

「当面考えていない」の割合が 40.9%と最も高く、次いで「既に取り組みを行っている」が 31.8%となっています。

令和元年度調査と比べると、「当面考えていない」の割合が 8.4 ポイント増加しています。



6. 従業員の市内定住対策について

問 13 従業員の方が田原市に住んでいただくためには、特にどのような対策が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

「出産・子育て支援の充実」が 45.5%と最も高く、次いで「医療・福祉の充実」が 43.2%となっています。

単位：%

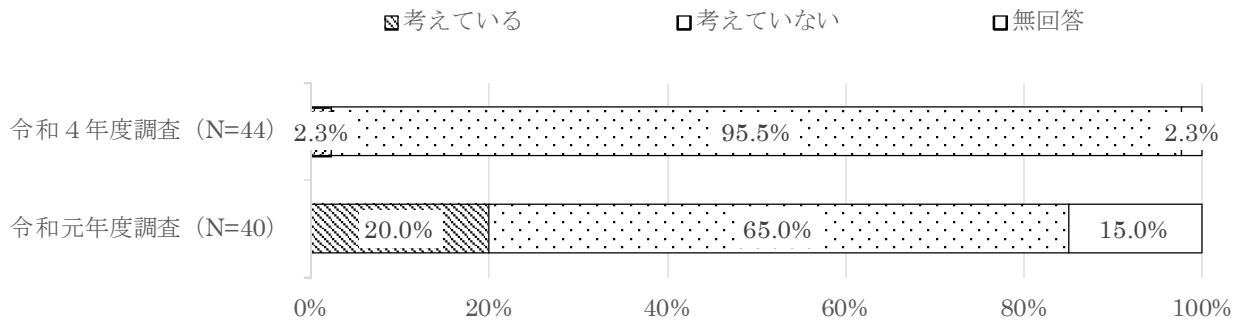
項目	平成28年度調査 (N=41)	令和元年度調査 (N=40)	令和4年度調査 (N=44)
医療・福祉の充実	39.0	45.0	43.2
教育環境の充実	19.5	20.0	15.9
住宅対策の充実	24.4	30.0	40.9
商業・サービス機能の充実	31.7	25.0	34.1
余暇・娯楽機能の充実	14.6	17.5	11.4
公共交通機能の充実	41.5	30.0	40.9
道路環境の充実	26.8	35.0	22.7
結婚支援の充実	24.4	7.5	20.5
出産・子育て支援の充実	22.0	37.5	45.5
その他	4.9	0.0	2.3
無回答	7.3	10.0	0.0

7. 農業分野での事業展開について

問 14 田原市は、農業産出額が全国トップクラスです。あなたの事業所では、農業分野に関連した事業展開をお考えですか。(〇は1つ)

「考えていない」の割合が9割を超えています。

令和元年度調査と比べると、「考えている」の割合が17.7ポイント減少しています。

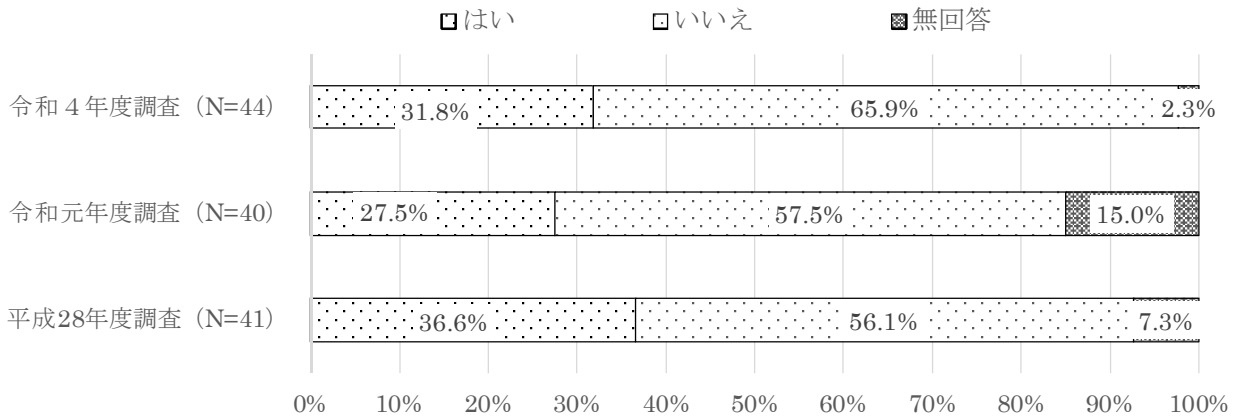


8. 環境共生について

問 15 環境や景観などに配慮した事業経営を行っていますか。(〇は1つ)

「いいえ」の割合が6割を超えています。

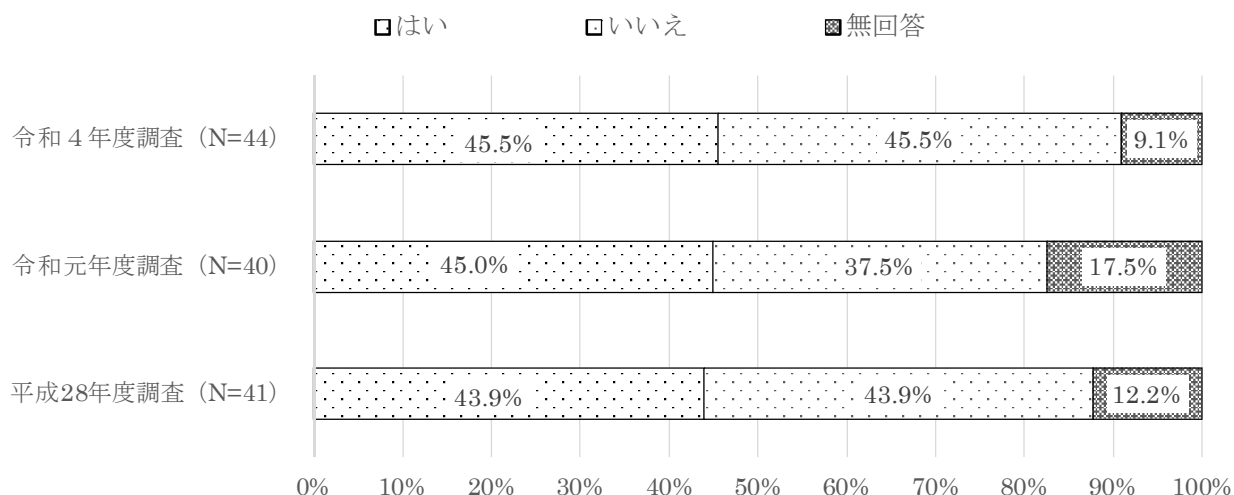
令和元年度調査と比べると、「はい」の割合が4.3ポイント増加しています。



9. 男女共同参画について

問 16 職場での性差別をなくし、仕事と家庭生活を両立できる環境づくりに取り組んでいますか。
(○は1つ)

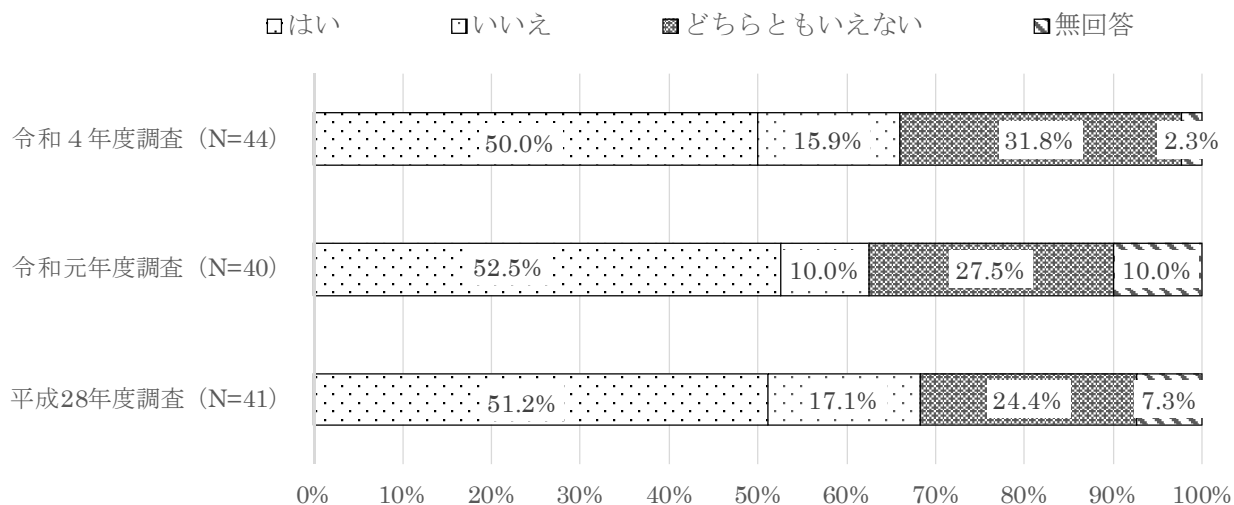
「はい」「いいえ」の割合がともに 45.5%となっています。
令和元年度調査と比べると、「いいえ」の割合が 8.0 ポイント増加しています。



10. 地域社会への貢献活動について

問 17 あなたの事業所では、地域社会へ何らかの貢献活動を行っていますか。(○は1つ)

「はい」の割合が 50.0%、「どちらともいえない」が 31.8%となっています。
令和元年度調査と比べると、「いいえ」の割合が 5.9 ポイント増加しています。



問 18 あなたの事業所での、地域への貢献活動の状況についてお聞きします。次の項目について、あてはまるものに○をつけてください。(該当する欄に○を記入)

【現在行っている貢献活動】

「祭りやイベントなどへの寄付、資金の提供など」が 79.5%と最も高く、次いで「環境美化、環境保全活動への参加」が 56.8%、「祭りやイベントなどへの参加」が 52.3%となっています。

単位：%

項目	平成28年度調査 (N=41)	令和元年度調査 (N=40)	令和4年度調査 (N=44)
芸術文化活動やスポーツ活動への参加	9.8	17.5	11.4
商店街活動や事業者組合などでの活動	43.9	60.0	45.5
祭りやイベントなどへの参加	31.7	62.5	52.3
祭りやイベントなどへの寄付、資金の提供など	75.6	82.5	79.5
環境美化、環境保全活動への参加	36.6	60.0	56.8
地域まちづくり活動への参加	19.5	30.0	36.4
市民活動、ボランティア活動への参加	22.0	32.5	38.6
その他	2.4	5.0	4.5
無回答	17.1	10.0	0.0

【今後行ってもよい貢献活動】

「地域まちづくり活動への参加」が 29.5%と最も高く、次いで「芸術文化活動やスポーツ活動への参加」が 27.3%となっています。

単位：%

項目	平成28年度調査 (N=41)	令和元年度調査 (N=40)	令和4年度調査 (N=44)
芸術文化活動やスポーツ活動への参加	14.6	17.5	27.3
商店街活動や事業者組合などでの活動	19.5	17.5	18.2
祭りやイベントなどへの参加	14.6	15.0	15.9
祭りやイベントなどへの寄付、資金の提供など	24.4	12.5	6.8
環境美化、環境保全活動への参加	12.2	20.0	18.2
地域まちづくり活動への参加	22.0	22.5	29.5
市民活動、ボランティア活動への参加	17.1	17.5	18.2
その他	0.0	0.0	2.3
無回答	51.2	60.0	0.0

【行う予定はない】

「芸術文化活動やスポーツ活動への参加」が 50.0%と最も高く、次いで「市民活動、ボランティア活動への参加」が 34.1%となっています。

単位：%

項目	平成28年度調査 (N=41)	令和元年度調査 (N=40)	令和4年度調査 (N=44)
芸術文化活動やスポーツ活動への参加	-	-	50.0
商店街活動や事業者組合などでの活動	-	-	27.3
祭りやイベントなどへの参加	-	-	25.0
祭りやイベントなどへの寄付、資金の提供など	-	-	9.1
環境美化、環境保全活動への参加	-	-	18.2
地域まちづくり活動への参加	-	-	29.5
市民活動、ボランティア活動への参加	-	-	34.1
その他	-	-	0.0
無回答	-	-	0.0

問 19 あなたの事業所が行っている地域社会への貢献活動をご紹介します。また、貢献活動を行う上で、市へのご要望、ご意見などがあればお書きください。

- ・コミュニティが行う環境美化活動への参加、商工会の行うイベントや祭りへの参加と寄付、団体の行う地域まちづくり活動への参加。
- ・渥美半島観光ビューロー、商工会に加入しており、各イベント等には極力参加している。
- ・弁財の清掃、観光ビューロー（菜の花）。
- ・環境整備。
- ・草刈りなどの清掃活動。
- ・会社近隣のカーブミラーの清掃、年 2 回実施。
- ・事業所周辺地域における定期的な清掃作業の実施（全 4 ヶ所）。
- ・生活にお困りの方々への食品等の寄付。
- ・清掃作業を実施している場所では、「ゴミのポイ捨て」が止まりません。拾っても拾っても埒があかない為、何らかの対策を講じてほしい。
- ・喫茶店を営んでいるが、経営そのものが主に年配の方達への地域社会貢献だと思っている。
- ・少年スポーツ活動の参加。
- ・アイシン田原工場と連携した社会貢献活動。
- ・市には、期待していない。
- ・保育園の園児を招待。
- ・貢献活動への参加はしてもよいが、市役所職員も貢献をしてもらいたい。
- ・現在は地域のお祭りへの寄付や環境美化として周辺の清掃などを実施している。
- ・限られた人数で、24 時間体制(当直等)なので、メンバーが少ないが、今後何か地域の活動に参加できればと思う。
- ・町内会活動の参加により環境美化活動をしている。お祭りへの参加により地元意識の向上に役立っている。
- ・環境美化推進デーへの参加。
- ・お祭りへの寄付。
- ・田原祭りへの寄付金。
- ・田原祭り協賛。
- ・地域のお祭りの休憩場所、飲食物の提供。
- ・地域の夏祭り模擬店への参加。
- ・オフロードトライアスロン協賛など。
- ・草刈りに使う道具の保守費用の一部負担。

問 20 あなたの事業所では、次のような貢献活動の考え方について賛同できますか。(〇はいくつでも)

「地域社会への貢献活動は地域との関係を維持するために必要である」の割合が75.0%と最も高くなっています。

令和元年度調査と比べると、「地域社会への貢献活動がもっと社会的に評価されるべきだ」が19.3ポイント増加しています。

単位：%

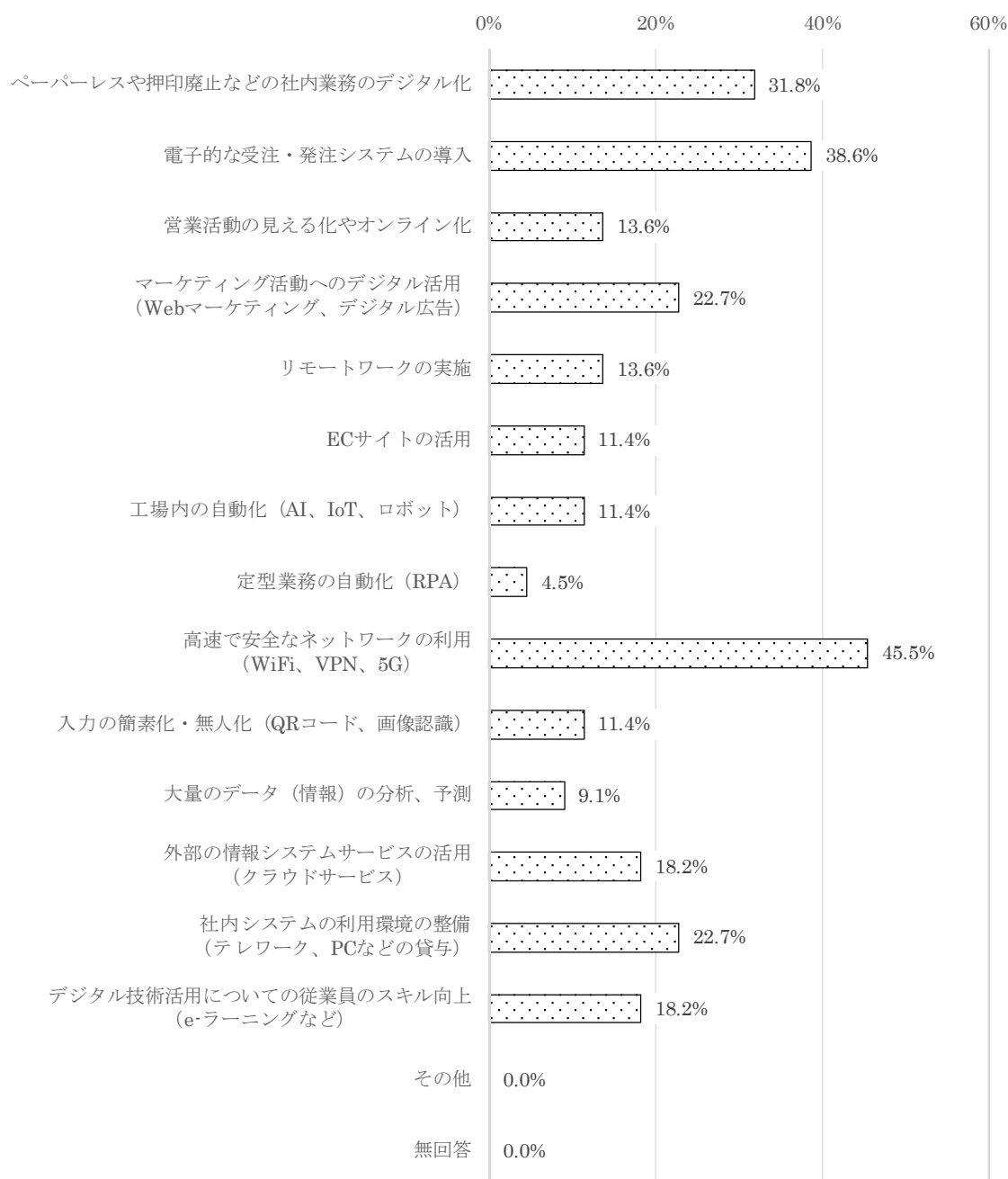
項目	平成28年度調査 (N=41)	令和元年度調査 (N=40)	令和4年度調査 (N=44)
地域社会への貢献活動は地域との関係を維持するために必要である	63.4	75.0	75.0
地域社会への貢献活動がもっと社会的に評価されるべきだ	17.1	12.5	31.8
社会的評価が向上するので、今後も地域社会への貢献活動は重要である	19.5	20.0	36.4
個々の企業にとって負担になるので、地域社会への貢献活動は勧められない	4.9	2.5	11.4
地域社会への貢献活動は仕事につながる可能性もあるので大事にしたい	31.7	35.0	36.4
地域社会への貢献活動によって職場が活性化するので意味がある	17.1	32.5	29.5
無回答	26.8	15.0	2.3

11. デジタル社会について

問 21 あなたの事業所での、デジタル技術の活用状況についてお聞きます。次の項目について、あてはまるものに○をつけてください。（該当する欄に○を記入）

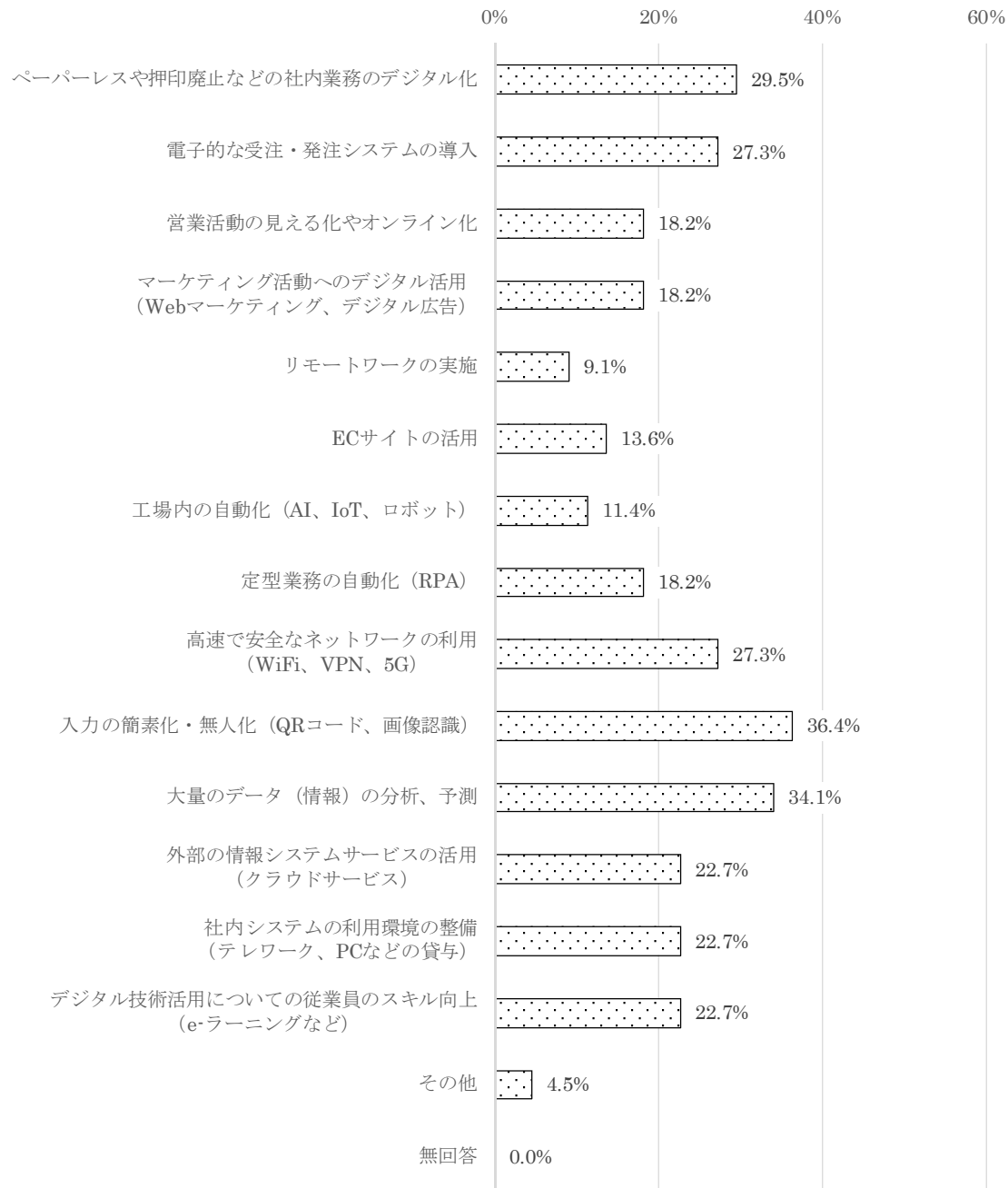
【現在取り組んでいる】

「高速で安全なネットワークの利用（WiFi、VPN、5G）」が45.5%と最も高く、次いで「電子的な受注・発注システムの導入」が38.6%、「ペーパーレスや押印廃止などの社内業務のデジタル化」が31.8%となっています。



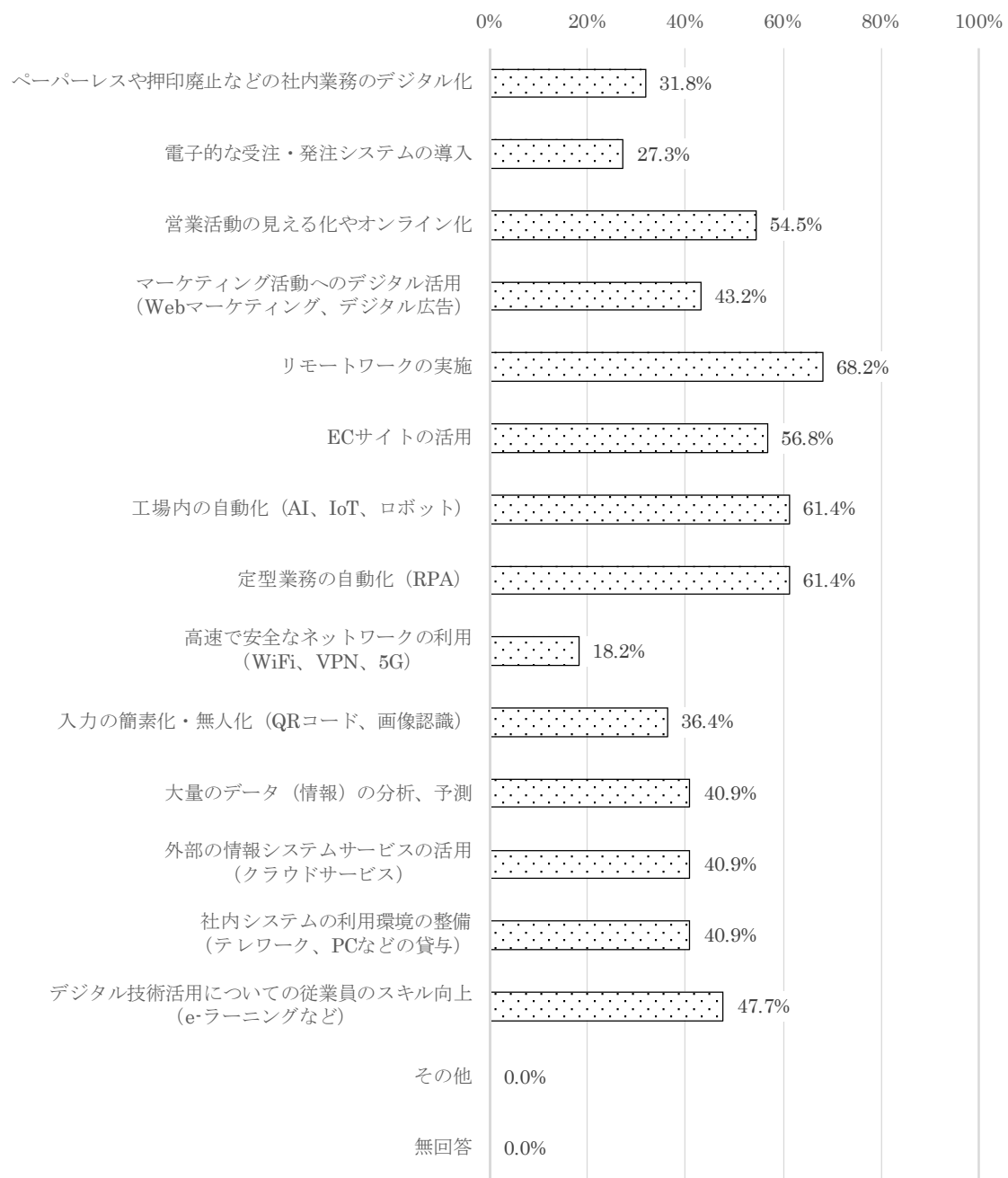
【今後取り組みたい】

「入力の簡素化・無人化（QRコード、画像認識）」が36.4%と最も高く、次いで「大量のデータ（情報）の分析、予測」が34.1%、「ペーパーレスや押印廃止などの社内業務のデジタル化」が29.5%となっています。



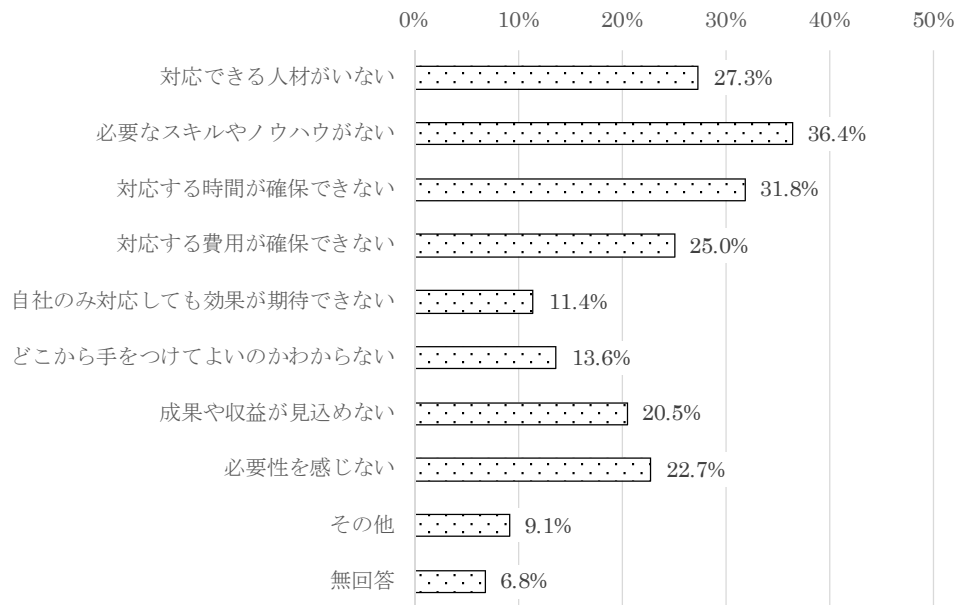
【取り組む予定はない】

「リモートワークの実施」が68.2%と最も高く、次いで「工場内の自動化（AI、IoT、ロボット）」「定型業務の自動化（RPA）」の割合がともに61.4%となっています。



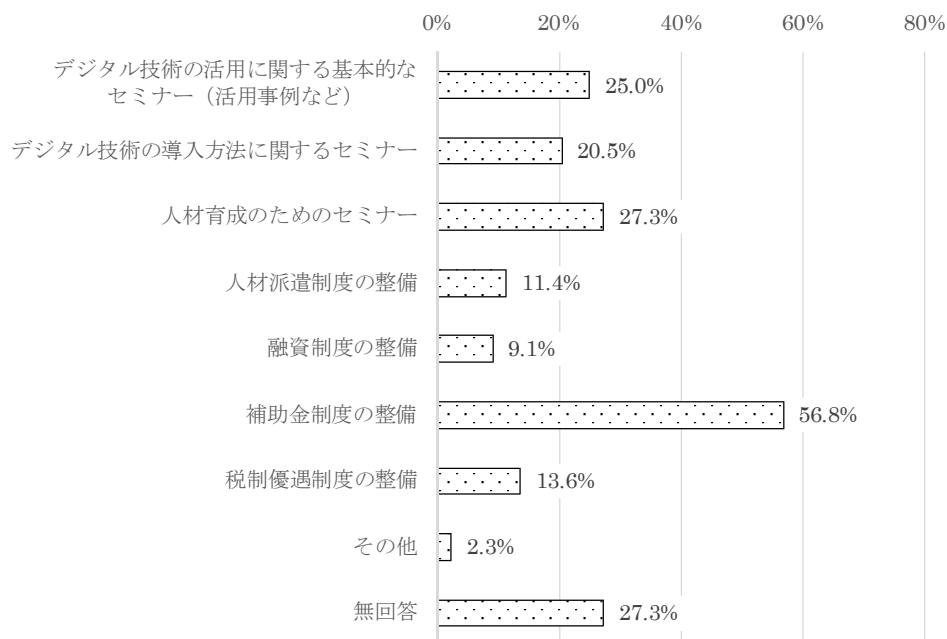
問 22 あなたの事業所で、デジタル技術の活用に取り組む上での課題は何ですか。(〇はいくつでも)

「必要なスキルやノウハウがない」の割合が36.4%で最も高く、次いで「対応する時間が確保できない」の割合が31.8%、「対応できる人材がない」の割合が27.3%となっています。



問 23 あなたの事業所で、デジタル技術の活用に取り組む上で、市・県・国に期待することは何ですか。(〇はいくつでも)

「補助金制度の整備」の割合が56.8%で最も高く、次いで「人材育成のためのセミナー」の割合が27.3%、「デジタル技術の活用に関する基本的なセミナー（活用事例など）」の割合が25.0%となっています。



12. 市政に対するご意見

- ・田原市が定めた将来都市像「うるおいと活力のあるガーデンシティ」の実現が市内事業所の経営向上に繋がる様な施策を期待しています。
- ・田原駅周辺は、整備され住みやすい暮らしやすい場所となっていますが、旧渥美地区はショッピングセンターがなくなって国道沿いでも全く活気がありません。夜には真っ暗になってしまいます。なんとかしてください。
- ・様々な理由（利用者の保護など）があるとは思いますが、各方面での規制緩和を進めて頂けると事業者としては活動がしやすくなるかと考えます。
- ・市政のみではありませんが、行政に必要な書類等をマイナンバーも普及していることから、一括委託、例えば〇〇補助に必要な書類〇〇、□□、△△とあった場合、行政所轄のものに関しては〇〇、□□、△△を〇〇補助のため委託するとの書類に本人が確認できる身分証明書及び署名・マイナンバー記入で済むようにする。そして申請があった場合マイナンバーに紐付けして各種書類等をPDFで引出、その場でデジタルデータで申請を管理する。など導入頂けたら、いろいろな場所に都度必要な書類を取りに行く必要がなくなります。特に市街地から離れた地域に住む方には助けになります。
- ・市に出す書類をペーパーレスにしてほしい。
- ・予算の使い道のバランスが悪いと思う。人口を増やすのは必要なことだとは思いますが、そのために施設などの修繕費が少ないように思う。
よく「修理費用がないので安くお願いします。」と言われることが多いので、予算編成を考えてほしい。
早いうちに対処すれば安く収まるはずなのに、酷くなってから修理依頼がくるパターンが多い。市内で頑張っている業者が、市内の仕事だけで安心して暮らせるぐらいの仕事量が欲しい。
- ・個人の力には限界があるので、市との共同企画を増やせるようにしてほしい。
- ・道路の歩道や植え込みなど、公共の場所の雑草が非常に多い、予算が無いのならば、公務員と民間でボランティアを募集して、もう少しきれいにしてほしい。
- ・農・商・工がバランスよく発展していけるような施策を実行して下さい。
- ・道路に出た草や樹木の伐採。
- ・よい街にしましょう。

IV 市内農業者アンケート調査

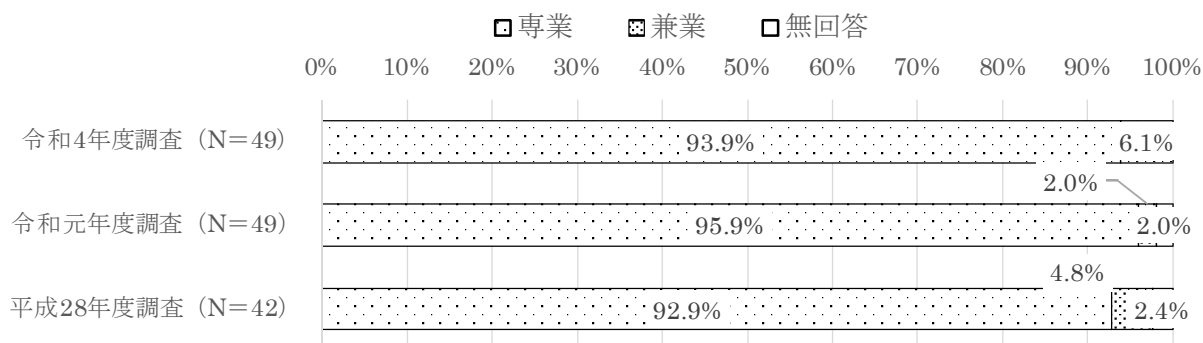
IV 市内農業者

1. 回答者属性

問1 あなたの事業についてお聞きします。

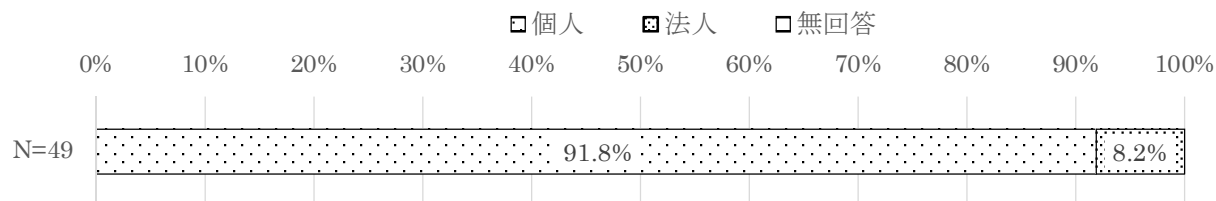
① 専業・兼業の別

「専業」の割合が93.9%、「兼業」の割合が6.1%となっています。



② 個人・法人の別

「個人」の割合が91.8%、「法人」の割合が8.2%となっています。

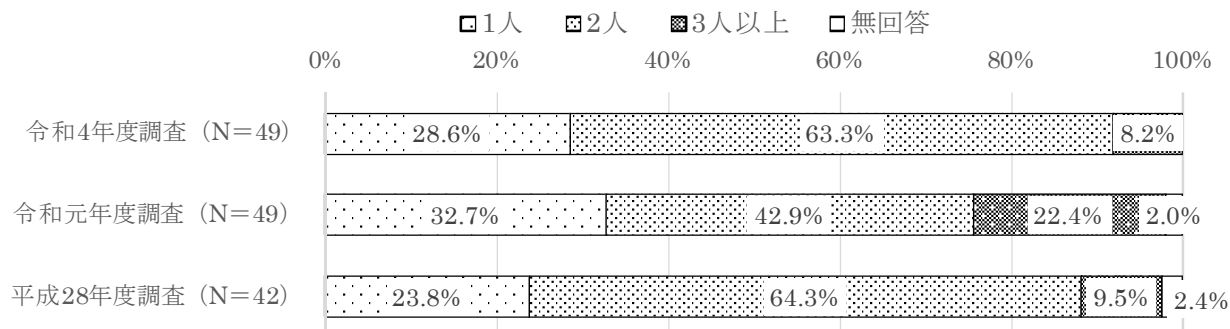


③ 農業に従事している人数

<常時農業に従事している人>

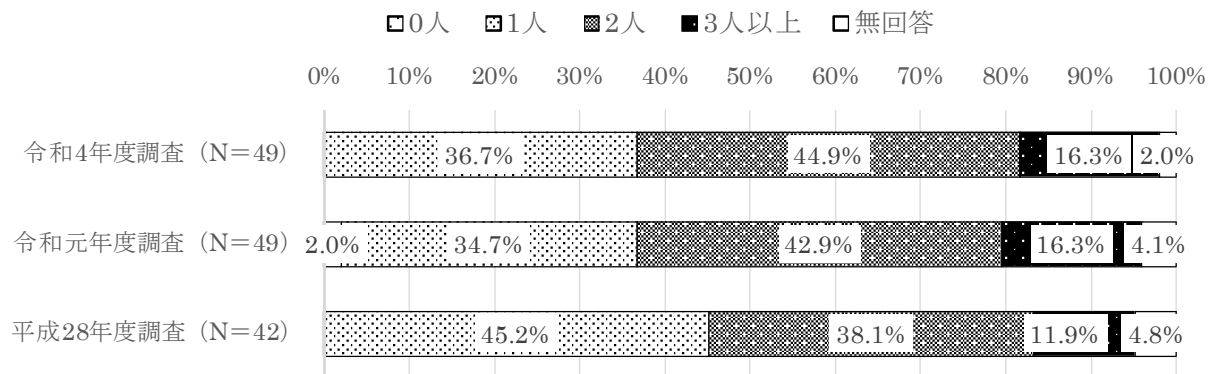
【男性】

「2人」の割合が63.3%と最も高く、次いで「1人」の割合が28.6%となっています。



【女性】

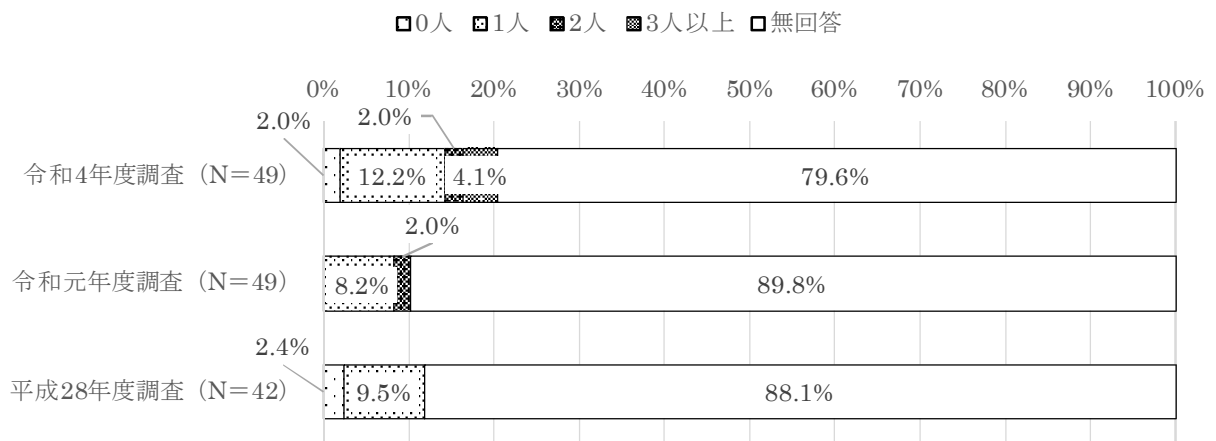
「2人」の割合が44.9%と最も高く、次いで「1人」の割合が36.7%となっています。



<臨時に農業に従事している人>

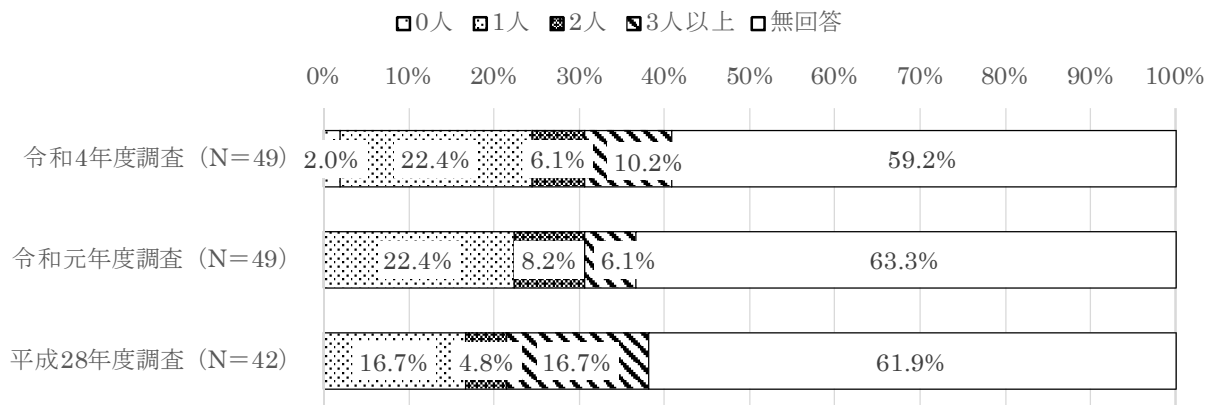
【男性】

「1人」の割合が12.2%、次いで「3人以上」の割合が4.1%となっています。



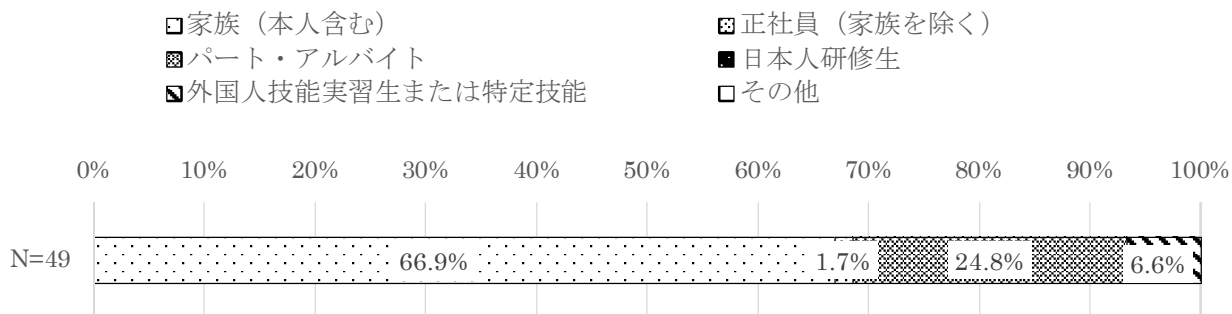
【女性】

「1人」の割合が22.4%、次いで「3人以上」の割合が10.2%となっています。



<農業に従事している人の内訳>

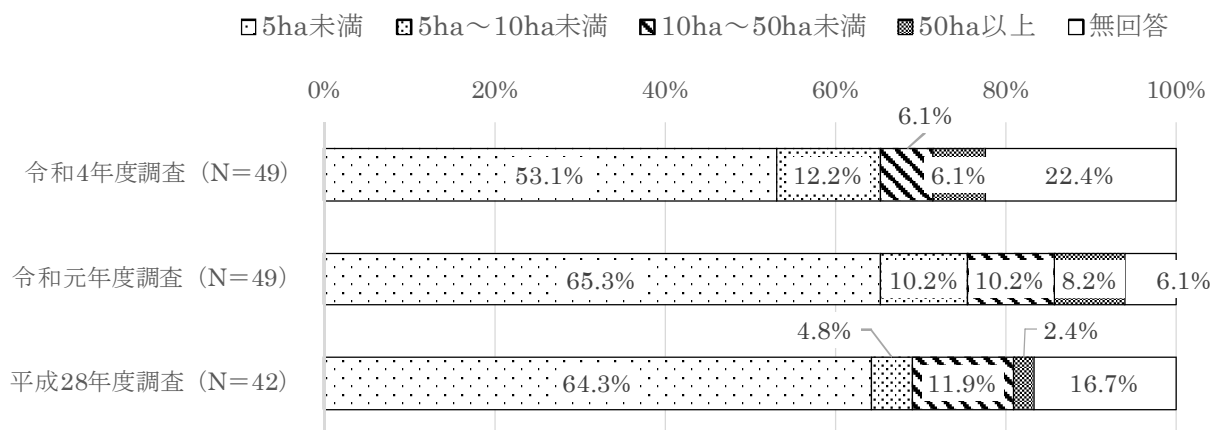
「家族（本人含む）」の割合が 66.9%と最も高く、次いで「パート・アルバイト」の割合が 24.8%となっています。



④ おおよその耕地面積

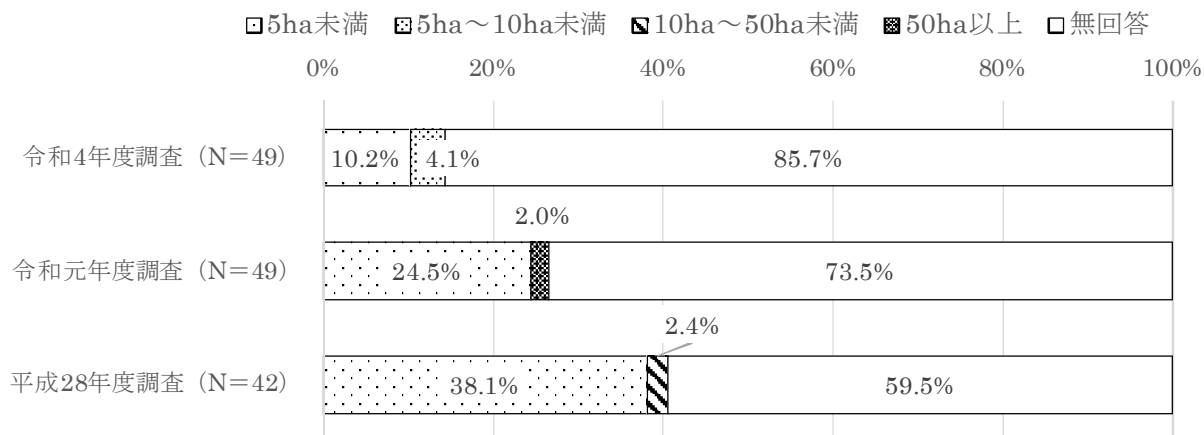
【耕作地】

「5ha未満」の割合が 53.1%、次いで「5～10ha未満」の割合が 12.2%となっています。



【不耕作地】

「5ha未満」の割合が 10.2%、次いで「5～10ha未満」の割合が 4.1%となっています。

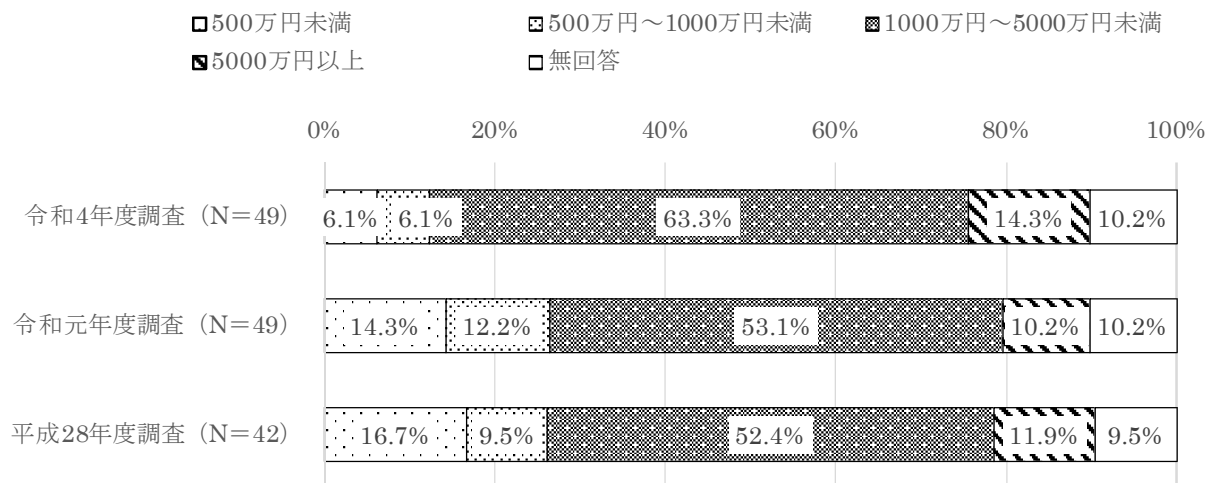


⑤ 主な農作物

No.	農作物	件数	No.	農作物	件数
1	菊	17	20	メロン	1
2	キャベツ	16	21	バラ	1
3	水稲	4	22	鉢物	1
4	とうもろこし	3	23	青パパイヤ	1
5	ブロッコリー	3	24	園芸 (ポット苗・花)	1
6	トマト	3	25	肉牛肥育	1
7	ミニトマト	2	26	アスパラガス	1
8	スイートコーン	2	27	洋花 (ケイトウ)	1
9	セロリ	2	28	シクラメン鉢花	1
10	露地メロン	2	29	肥育牛	1
11	イエローキングメロン	1	30	米	1
12	大根	1	31	ストック	1
13	人参	1	32	スイカ	1
14	鉢花	1	33	花丹	1
15	花苗	1	34	牧草	1
16	スプレーマム	1	35	スナックエンドウ	1
17	アジサイ鉢花	1	36	牛乳	1
18	切花	1			
19	肉用牛	1		総計	80

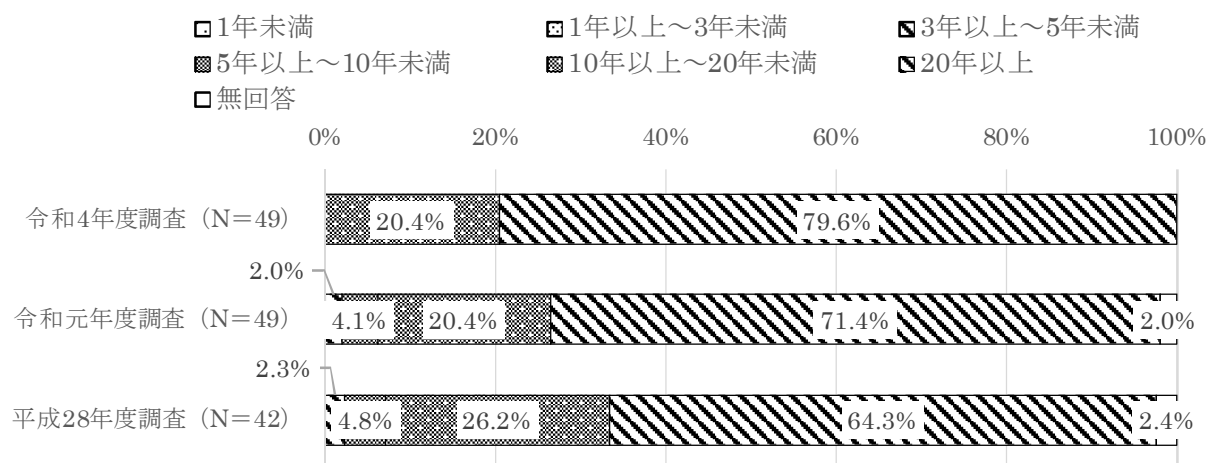
⑥ おおよその農業所得

「1,000万～5,000万円未満」の割合が63.3%と最も高く、次いで「5,000万円以上」の割合が14.3%となっています。



⑥ 田原市での就農年数

「20年以上」の割合が79.6%と最も高く、令和元年度調査と比べると、「20年以上」の割合が8.2ポイント増加しています。

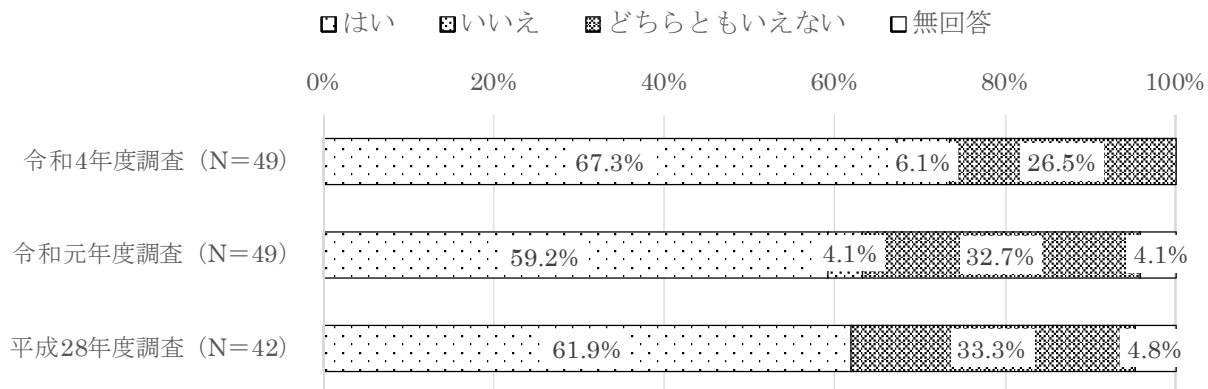


2. 田原市の農業全般について

問2 田原市は、農業がしやすいまちだと思いますか。(〇は1つ)

「はい」の割合が67.3%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が26.5%となっています。

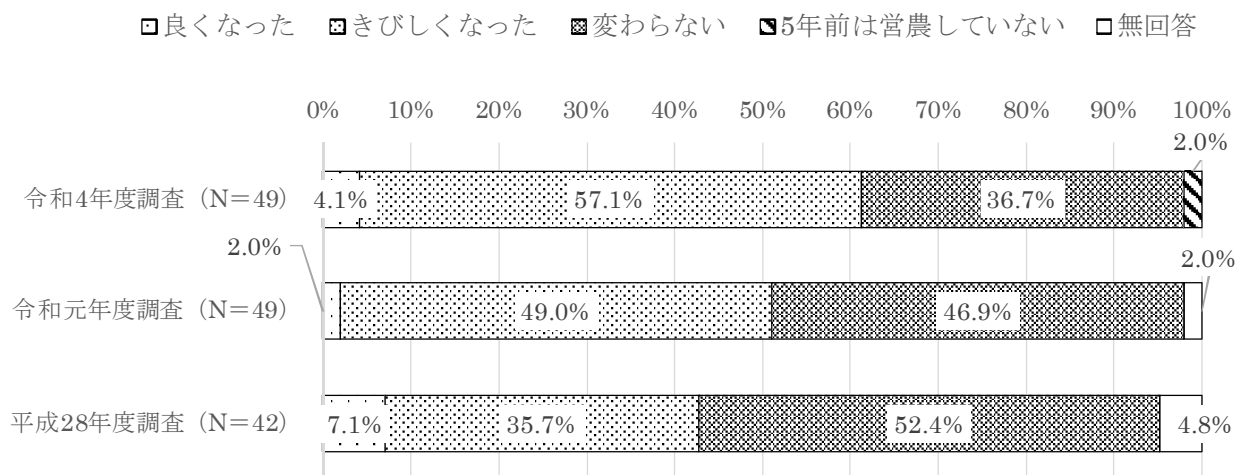
令和元年度と比べると、「はい」の割合が8.1ポイント増加しています。



問3 田原市で農業を行う環境は、5年前と比べて全体的にどうなったとお考えですか。(〇は1つ)

「きびしくなった」の割合が57.1%と最も高く、次いで「変わらない」の割合が36.7%となっています。

令和元年度調査と比べると、「きびしくなった」の割合が8.1ポイント増加しています。



問 4 あなたは、農業産出額全国トップクラスである田原市が、今後さらに農業を発展させるためには何が重要だと思いますか。(〇は3つまで)

「労働力の確保」の割合が53.1%と最も高く、次いで「物流を支える道路網の整備」が42.9%、「環境や経費削減に配慮した栽培技術の導入」が32.7%となっています。

令和元年度調査と比べると、「環境や経費削減に配慮した栽培技術の導入」が16.4ポイント増加しています。

単位：%

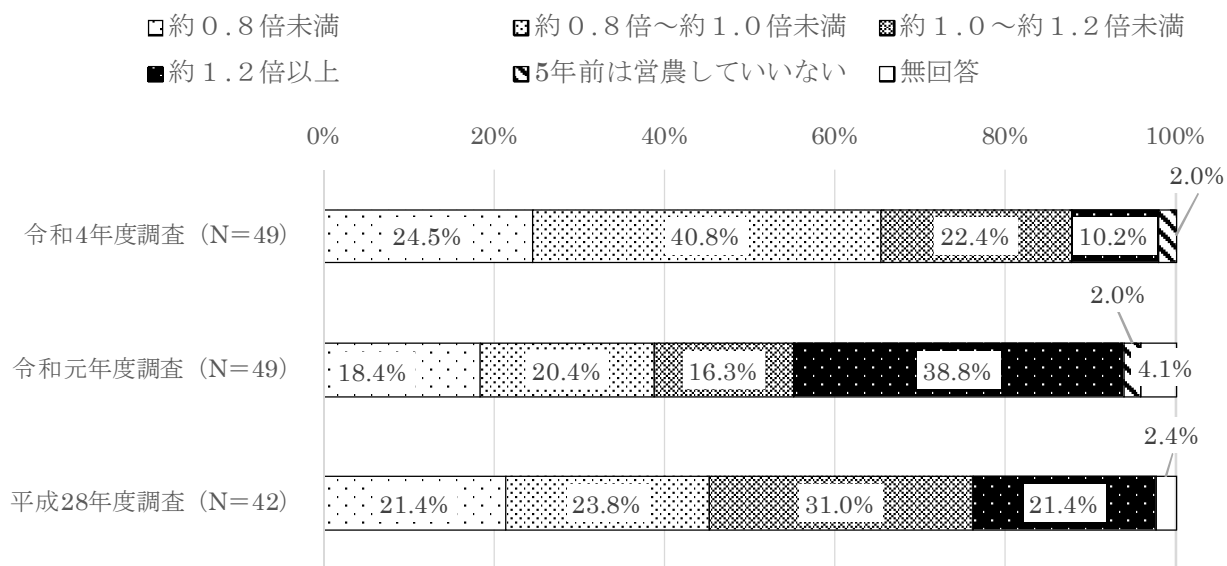
項目	令和元年度調査 (N=49)	令和4年度調査 (N=49)
物流を支える道路網の整備	53.1	42.9
環境や経費削減に配慮した栽培技術の導入	16.3	32.7
悪臭・景観などに配慮した農業の推進	10.2	4.1
生産性向上のための機械化・IT化	10.2	14.3
農地・農道・用排水路の整備等の土地改良事業	24.5	22.4
労働力の確保	40.8	53.1
食を学ぶ取り組み（食育）の推進	2.0	2.0
安心・安全な農産物の生産・供給	14.3	6.1
農業のイメージを向上させる啓発活動	4.1	4.1
国内外への販路拡大の取り組み	10.2	16.3
遊休農地の解消への取り組み	12.2	8.2
農商工連携・6次産業化の推進	10.2	6.1
農業経営の法人化	4.1	0.0
地域農業の中心となる経営者の育成	6.1	10.2
新規就農者の育成	14.3	18.4
農産物の産地ブランド化の推進	8.2	16.3
市民農園の整備などによる 都市住民との交流	0.0	0.0
農業ヘルパー派遣制度の維持	12.2	8.2
女性の農業経営参画	0.0	2.0
中心となる農業経営体への農地の集約化	8.2	10.2
集出荷施設等の物流システムの整備	4.1	4.1
家族経営協定の締結の推進	0.0	0.0
その他	8.2	4.1
無回答	4.1	14.3

3. あなたの農業経営について

問5 あなたの直近の売上高は、5年前に比べ何倍程度になりましたか。(○は1つ)

「約0.8倍未満」「約0.8倍～約1.0倍未満」を合わせた“1倍未満”の割合が65.3%、「約1.0倍～約1.2倍未満」「約1.2倍以上」を合わせた“1倍以上”の割合が32.6%となっており、売上高が減少している農業者が6割以上を占めています。

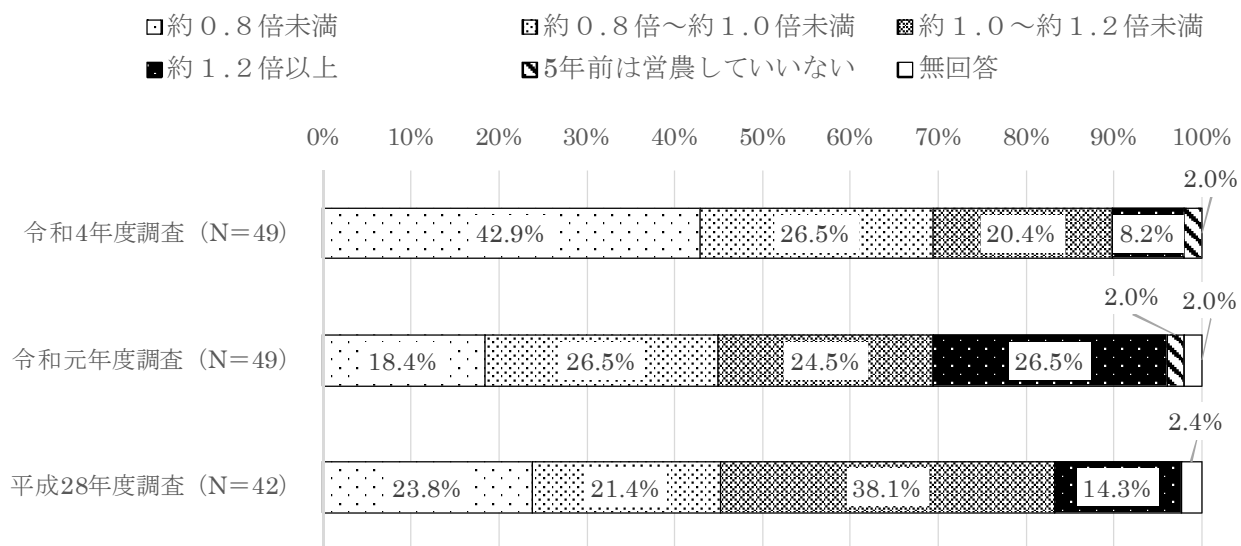
令和元年度調査と比べると、“1倍未満”の割合が26.5ポイント増加しています。



問6 あなたの直近の経常利益(所得)は、5年前に比べ何倍程度になりましたか。(○は1つ)

「約0.8倍未満」「約0.8倍～約1.0倍未満」を合わせた“1倍未満”の割合が69.4%、「約1.0倍～約1.2倍未満」「約1.2倍以上」を合わせた“1倍以上”の割合が28.6%となっており、経常利益(所得)が減少している農業者が6割以上を占めています。

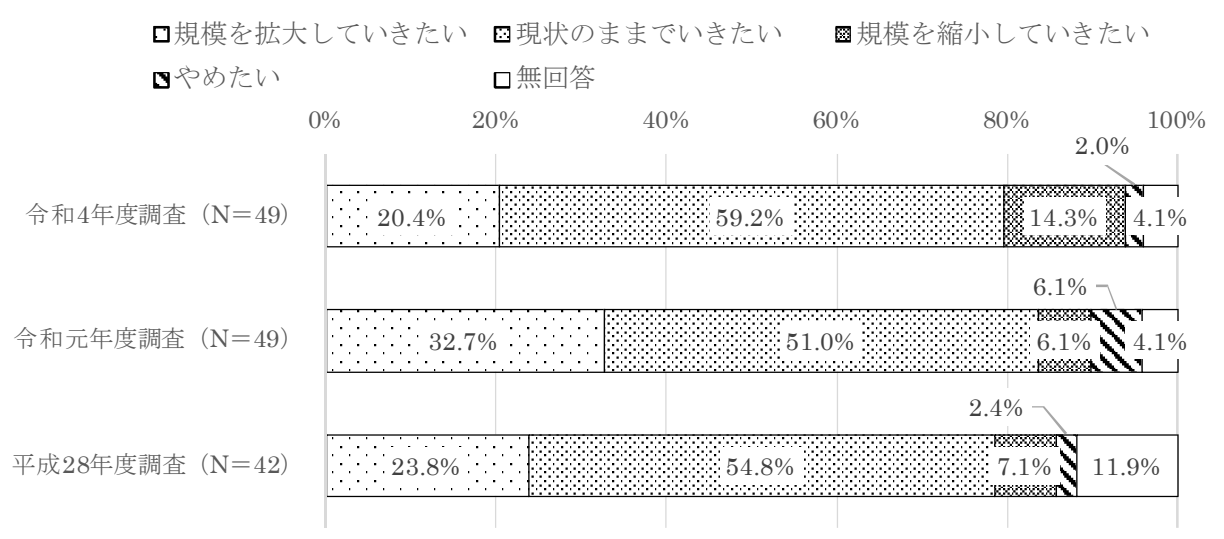
令和元年度調査と比べると、“1倍未満”の割合が24.5ポイント増加しています。



問 7 あなたは、これから農業経営をどのようにしていきたいとお考えですか。(〇は1つ)

「現状のままでいきたい」の割合が 59.2%と最も高く、次いで「規模を拡大していきたい」が 20.4%となっています。

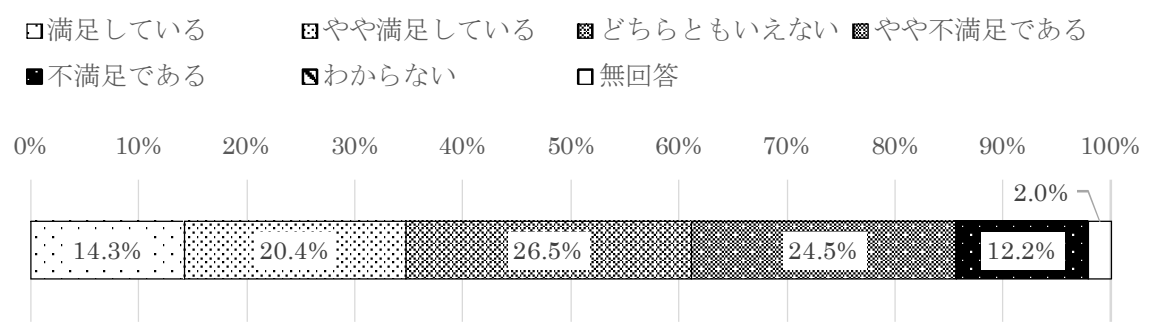
令和元年度調査と比べると、「規模を拡大していきたい」の割合が 12.3 ポイント減少し、「現状のままでいきたい」「規模を縮小していきたい」の割合がともに 8.2 ポイント増加しています。



問 8 あなたは、ご自身の農業経営に満足していますか。(〇は1つ)

「満足している」「やや満足している」を合わせた“満足”の割合が 34.7%となっています。

「やや不満足である」「不満足である」を合わせた“不満”の割合が 36.7%となっています。



問 9 あなた自身の農業経営で、重要と考えることは何ですか。(〇は3つまで)

「農産物価格の安定」の割合が71.4%と最も高く、次いで「労働力の確保」が59.2%、「行政の支援」が32.7%となっています。

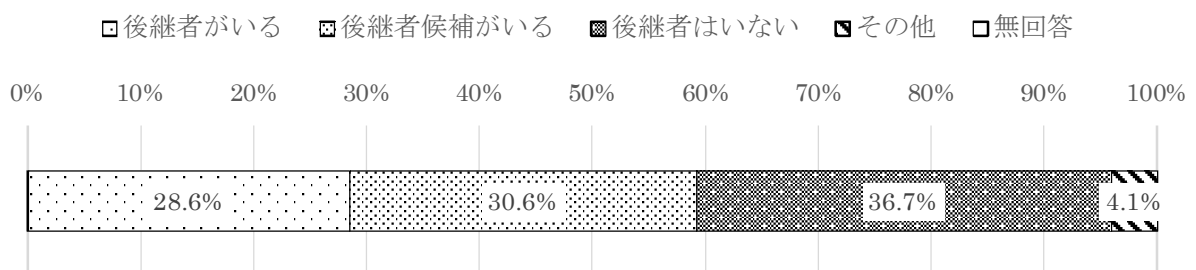
令和元年度調査と比べると、「農産物価格の安定」が16.3ポイント増加しています。

単位：%

項目	令和元年度調査 (N=49)	令和4年度調査 (N=49)
自分の才覚	16.3	16.3
行政の支援	38.8	32.7
技術支援体制の確保	10.2	4.1
品目・品種の選択	8.2	16.3
農地の確保	22.4	6.1
販路の確保	24.5	18.4
後継者の確保	20.4	12.2
農産物価格の安定	55.1	71.4
労働力の確保	44.9	59.2
新しい栽培技術の導入	6.1	4.1
設備投資	22.4	20.4
ICTや省力化機械等の導入	-	24.5
その他	2.0	2.0
無回答	4.1	12.2

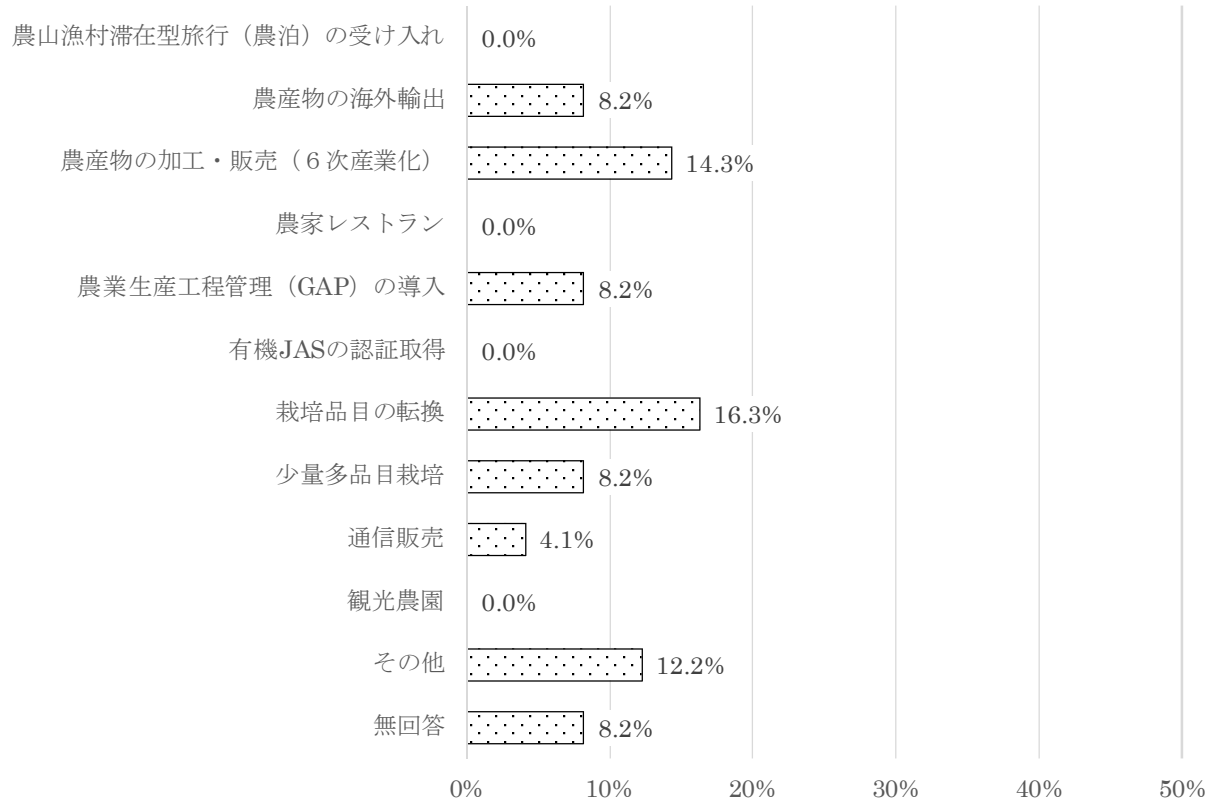
問 10 あなたの農業経営の後継者はいますか。(〇は1つ)

「後継者はいない」の割合が36.7%と最も高く、次いで「後継者候補がいる」が30.6%、「後継者がいる」が28.6%となっています。



問 11 あなたが、10年以内に取り組もうと考えていることはありますか。(あてはまるものすべて○)

「栽培品目の転換」の割合が16.3%で最も高く、次いで「農産物の加工・販売（6次産業化）」が14.3%となっています。



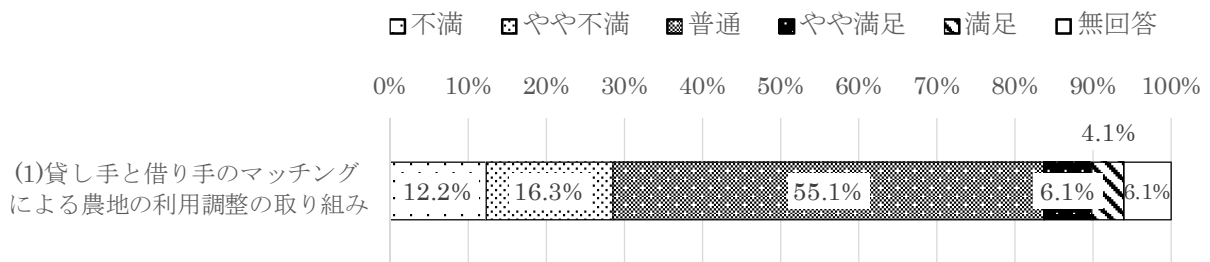
4. 農地の保全・活用について

問 12 田原市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。（各問に対し「現在の評価」、「今後の重要性」の項目に○を1つずつ）

現在の評価については、「不満」「やや不満」を合わせた“不満”（以下同じ）の割合が28.5%となっています。

今後の重要性については、「重要」「非常に重要」を合わせた“重要”（以下同じ）の割合が59.2%となっています。

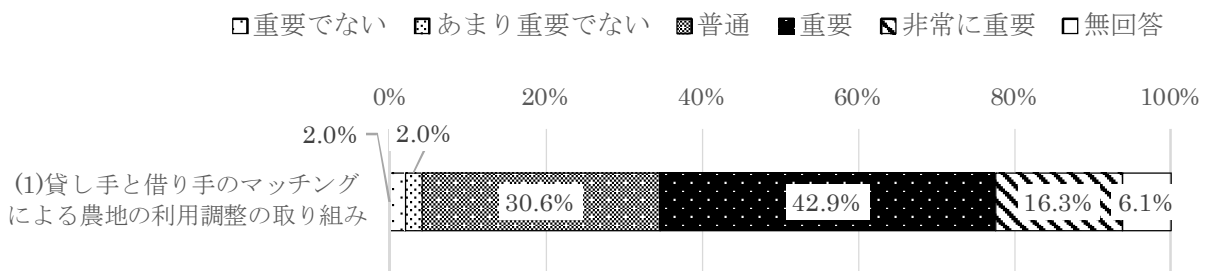
【現在の評価】



【経年変化—現在の評価】

状況	調査年度	N	評価					
			不満	やや不満	普通	やや満足	満足	無回答
①貸し手と借り手のマッチングによる農地の利用調整の取り組み	R4	49	12.2	16.3	55.1	6.1	4.1	6.1
	R1	49	14.3	14.3	46.9	4.1	6.1	14.3
	H28	42	-	-	-	-	-	-

【今後の重要性】



【経年変化—今後の重要性】

状況	調査年度	N	評価					
			重要ではない	あまり重要ではない	普通	重要	非常に重要	無回答
①貸し手と借り手のマッチングによる農地の利用調整の取り組み	R4	49	2.0	2.0	30.6	42.9	16.3	6.1
	R1	49	2.0	0.0	30.6	36.7	16.3	14.3
	H28	42	-	-	-	-	-	-

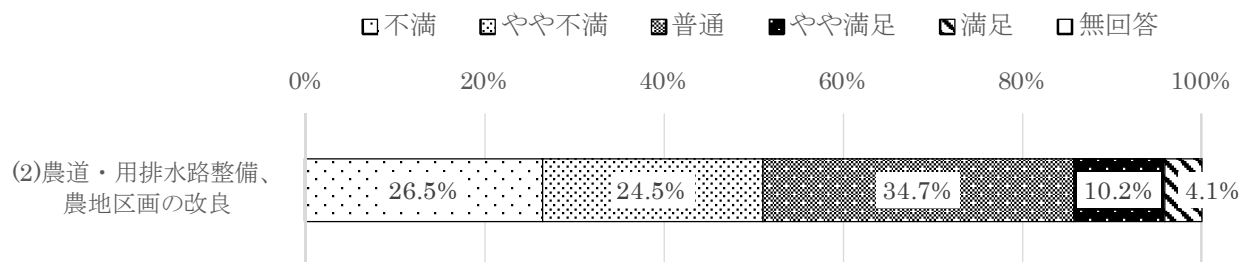
5. 農地基盤の整備について

問 13 田原市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。（各問に対し「現在の評価」、「今後の重要性」の項目に○を1つずつ）

現在の評価については、“不満”の割合が51.0%となっています。

今後の重要性については、“重要”の割合が83.7%となっています。

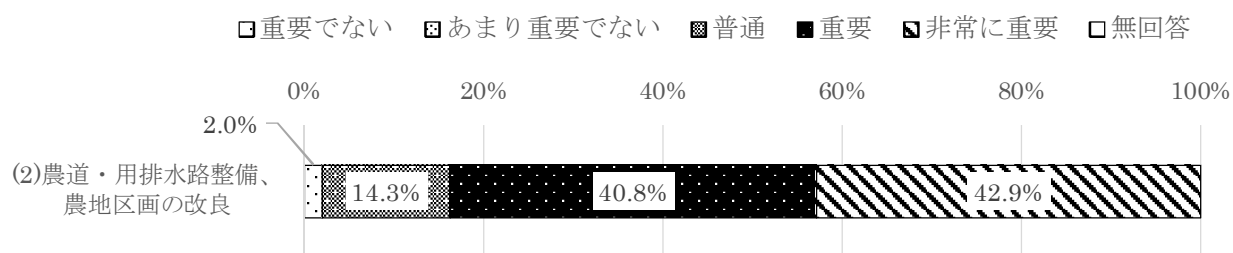
【現在の評価】



【経年変化—現在の評価】

状況	調査年度	N	評価					
			不満	やや不満	普通	やや満足	満足	無回答
②農道・用排水路整備、 農地区画の改良	R4	49	26.5	24.5	34.7	10.2	4.1	0.0
	R1	49	20.4	18.4	36.7	18.4	4.1	2.0
	H28	42	23.8	23.8	33.3	11.9	4.8	2.4

【今後の重要性】



【経年変化—今後の重要性】

状況	調査年度	N	評価					
			重要ではない	あまり重要ではない	普通	重要	非常に重要	無回答
②農道・用排水路整備、 農地区画の改良	R4	49	2.0	0.0	14.3	40.8	42.9	0.0
	R1	49	0.0	0.0	24.5	44.9	28.6	2.0
	H28	42	0.0	2.4	19.0	47.6	26.2	4.8

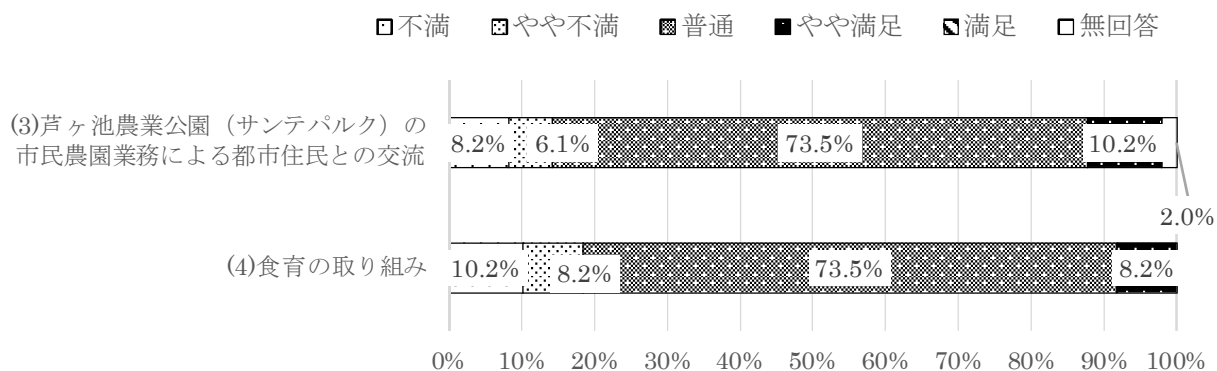
6. 交流・食育の推進について

問 14 田原市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。（各問に対し「現在の評価」、「今後の重要性」の項目に○を1つずつ）

現在の評価については、「④食育の取り組み」で、“不満”の割合が18.4%と高くなっています。

今後の重要性については、「④食育の取り組み」で、“重要”の割合が49.0%と高くなっています。

【現在の評価】

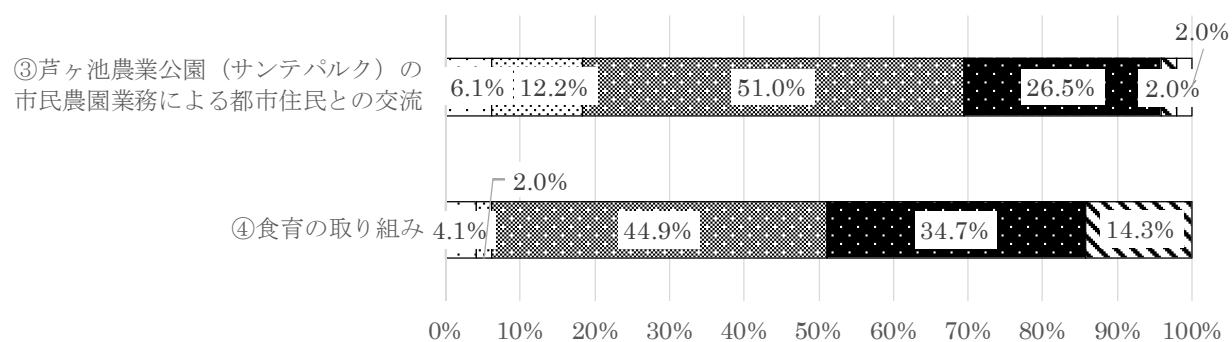


【経年比較—現在の評価】

状況	調査年度	N	評価					
			不満	やや不満	普通	やや満足	満足	無回答
③芦ヶ池農業公園（サンテパーク）の市民農園業務による都市住民との交流	R4	49	8.2	6.1	73.5	10.2	0.0	2.0
	R1	49	8.2	12.2	59.2	12.2	0.0	8.2
	H28	42	7.1	11.9	73.8	0.0	0.0	7.1
④食育の取り組み	R4	49	10.2	8.2	73.5	8.2	0.0	0.0
	R1	49	6.1	14.3	65.3	8.2	0.0	6.1
	H28	42	4.8	7.1	71.4	7.1	2.4	7.1

【今後の重要性】

□重要でない □あまり重要でない □普通 □重要 □非常に重要 □無回答



【経年比較—今後の重要性】

状況	調査年度	N	評価					
			重要ではない	あまり重要ではない	普通	重要	非常に重要	無回答
③芦ヶ池農業公園（サンテパーク）の市民農園業務による都市住民との交流	R4	49	6.1	12.2	51.0	26.5	2.0	2.0
	R1	49	4.1	6.1	36.7	34.7	8.2	10.2
	H28	42	4.8	11.9	50.0	21.4	4.8	7.1
④食育の取り組み	R4	49	4.1	2.0	44.9	34.7	14.3	0.0
	R1	49	2.0	0.0	40.8	38.8	10.2	8.2
	H28	42	0.0	2.4	42.9	31.0	14.3	9.5

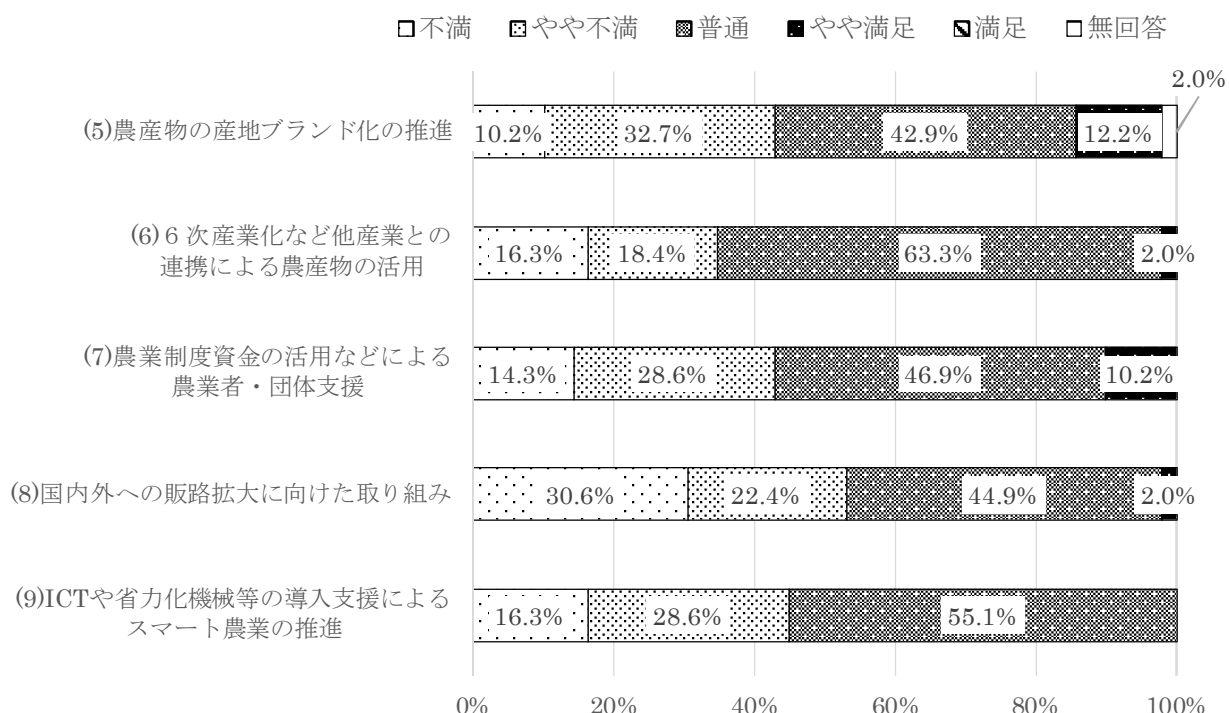
7. 農業経営について

問 15 田原市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。（各問に対し「現在の評価」、「今後の重要性」の項目に○を1つずつ）

現在の評価については、「⑧国内外への販路拡大に向けた取り組み」で、“不満”の割合が53.0%と最も高くなっています。

今後の重要性については、「⑤農産物の産地ブランド化の推進」で、“重要”の割合が69.4%と最も高くなっています。

【現在の評価】

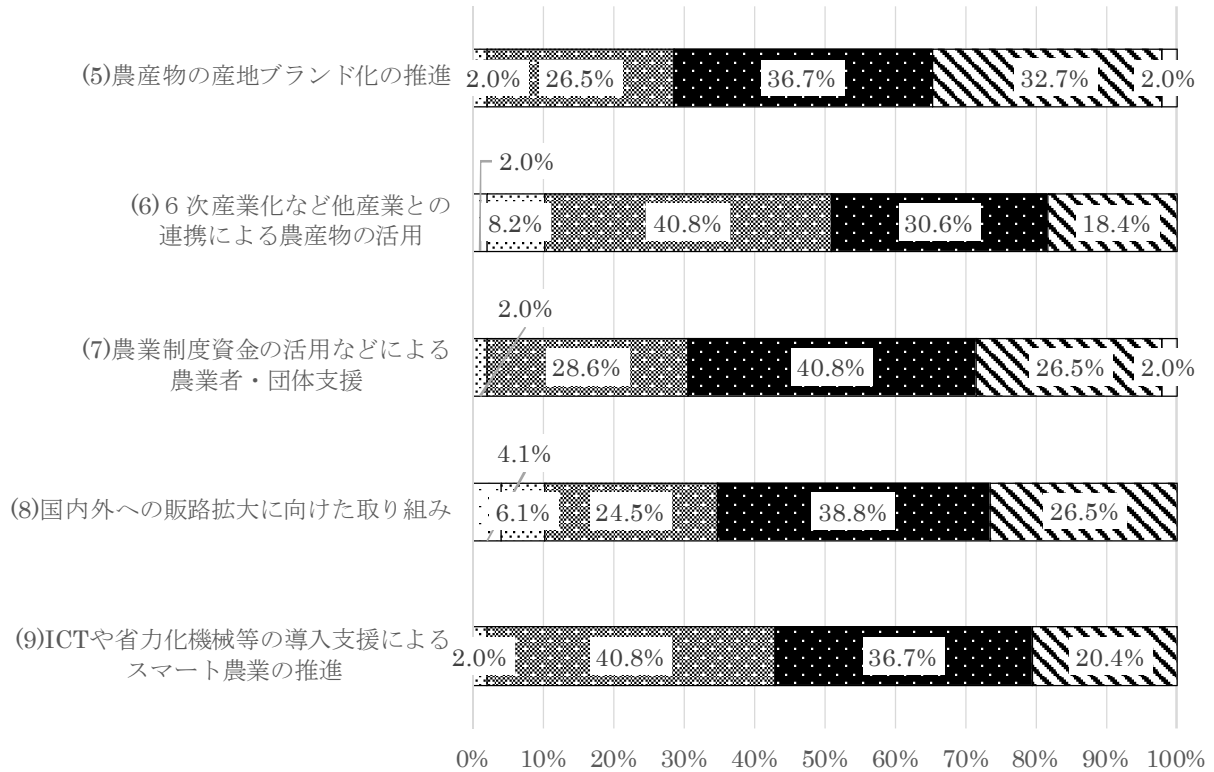


【経年比較—現在の評価】

状況	調査年度	N	評価					
			不満	やや不満	普通	やや満足	満足	無回答
⑤農産物の産地ブランド化の推進	R4	49	10.2	32.7	42.9	12.2	0.0	2.0
	R1	49	16.3	10.2	53.1	14.3	0.0	6.1
	H28	42	4.8	23.8	67.3	2.0	0.0	8.2
⑥6次産業化など他産業との連携による農産物の活用	R4	49	16.3	18.4	63.3	2.0	0.0	0.0
	R1	49	10.2	12.2	67.3	2.0	0.0	8.2
	H28	-	-	-	-	-	-	-
⑦農業制度資金の活用などによる農業者・団体支援	R4	49	14.3	28.6	46.9	10.2	0.0	0.0
	R1	49	18.4	22.4	38.8	12.2	0.0	8.2
	H28	-	-	-	-	-	-	-
⑧国内外への販路拡大に向けた取り組み	R4	49	30.6	22.4	44.9	2.0	0.0	0.0
	R1	49	10.2	16.3	65.3	0.0	0.0	8.2
	H28	42	9.5	23.8	54.8	4.8	0.0	7.1
⑨ICTや省力化機械等の導入支援によるスマート農業の推進	R4	49	16.3	28.6	55.1	0.0	0.0	0.0
	R1	-	-	-	-	-	-	-
	H28	-	-	-	-	-	-	-

【今後の重要性】

□重要でない □あまり重要でない ▨普通 ■重要 ▩非常に重要 □無回答



【経年比較—今後の重要性】

状況	調査年度	N	評価					無回答
			重要ではない	あまり重要ではない	普通	重要	非常に重要	
⑤ 農産物の産地ブランド化の推進	R4	49	0.0	2.0	26.5	36.7	32.7	2.0
	R1	49	0.0	0.0	8.2	53.1	28.6	10.2
	H28	42	0.0	0.0	16.7	42.9	28.6	11.9
⑥ 6次産業化など他産業との連携による農産物の活用	R4	49	2.0	8.2	40.8	30.6	18.4	0.0
	R1	49	0.0	0.0	30.6	34.7	22.4	12.2
	H28	-	-	-	-	-	-	-
⑦ 農業制度資金の活用などによる農業者・団体支援	R4	49	0.0	2.0	28.6	40.8	26.5	2.0
	R1	49	0.0	2.0	12.2	34.7	38.8	12.2
	H28	-	-	-	-	-	-	-
⑧ 国内外への販路拡大に向けた取り組み	R4	49	4.1	6.1	24.5	38.8	26.5	0.0
	R1	49	4.1	2.0	28.6	26.5	26.5	12.2
	H28	42	0.0	2.4	19.0	31.0	35.7	11.9
⑨ ICTや省力化機械等の導入支援によるスマート農業の推進	R4	49	2.0	0.0	40.8	36.7	20.4	0.0
	R1	-	-	-	-	-	-	-
	H28	-	-	-	-	-	-	-

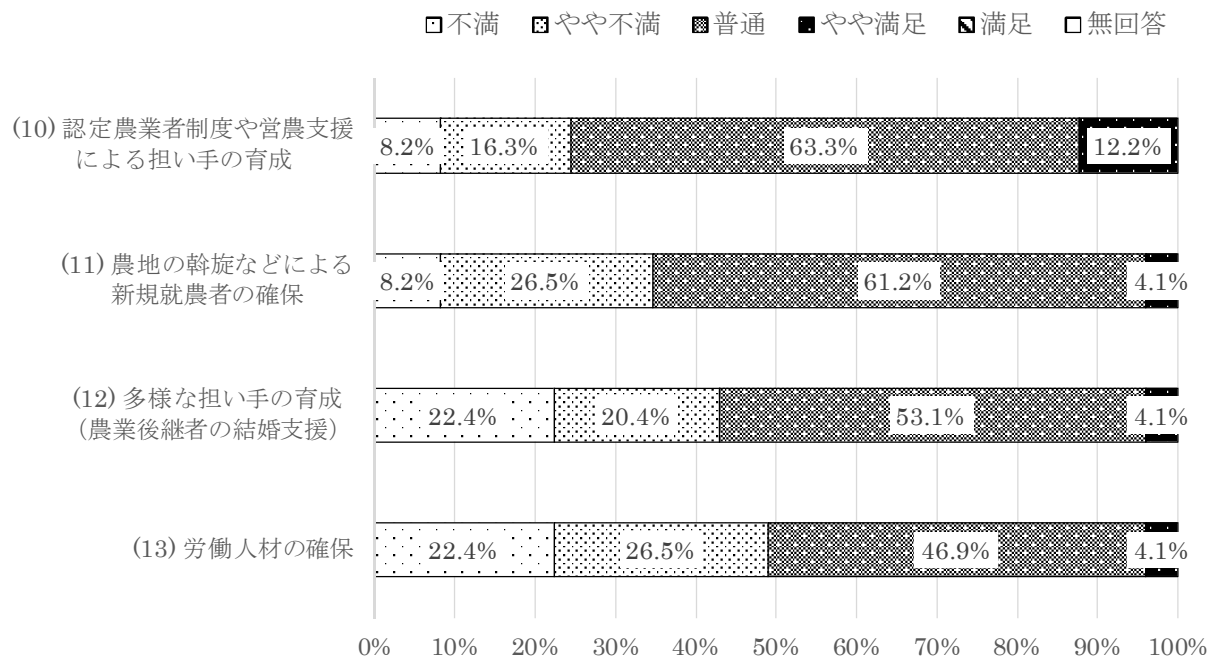
8. 担い手づくりの推進について

問 16 田原市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。（各問に対し「現在の評価」、「今後の重要性」の項目に○を1つずつ）

現在の評価については、「⑬労働人材の確保」で、“不満”の割合が48.9%と最も高くなっています。

今後の重要性については、「⑬労働人材の確保」で、“重要”の割合が71.4%と最も高くなっています。

【現在の評価】

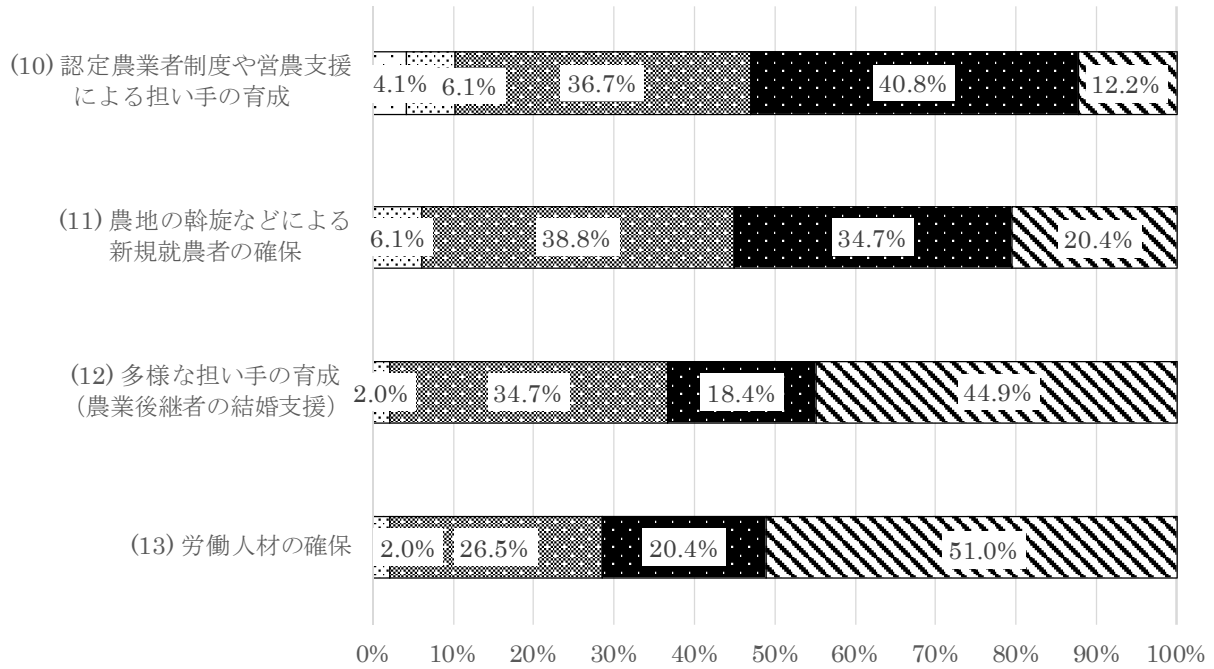


【経年比較—現在の評価】

状況	調査年度	N	評価					
			不満	やや不満	普通	やや満足	満足	無回答
⑩認定農業者制度や営農支援による担い手の育成	R4	49	8.2	16.3	63.3	12.2	0.0	0.0
	R1	49	8.2	10.2	59.2	12.2	2.0	8.2
	H28	42	9.5	16.7	57.1	9.5	2.4	4.8
⑪農地の幹旋などによる新規就農者の確保	R4	49	8.2	26.5	61.2	4.1	0.0	0.0
	R1	49	4.1	12.2	73.5	0.0	0.0	10.2
	H28	42	4.8	11.9	69.0	4.8	2.4	7.1
⑫多様な担い手の育成（農業後継者の結婚支援）	R4	49	22.4	20.4	53.1	4.1	0.0	0.0
	R1	49	14.3	16.3	57.1	6.1	0.0	6.1
	H28	-	-	-	-	-	-	-
⑬労働人材の確保	R4	49	22.4	26.5	46.9	4.1	0.0	0.0
	R1	49	10.2	18.4	59.2	6.1	0.0	6.1
	H28	-	-	-	-	-	-	-

【今後の重要性】

□重要でない □あまり重要でない ■普通 ■重要 ■非常に重要 □無回答



【経年比較—今後の重要性】

状況	調査年度	N	評価					無回答
			重要ではない	あまり重要ではない	普通	重要	非常に重要	
⑩認定農業者制度や営農支援による担い手の育成	R4	49	4.1	6.1	36.7	40.8	12.2	0.0
	R1	49	0.0	4.1	24.5	42.9	20.4	8.2
	H28	42	2.4	4.8	28.6	33.3	21.4	9.5
⑪農地の輪転などによる新規就農者の確保	R4	49	0.0	6.1	38.8	34.7	20.4	0.0
	R1	49	6.1	10.2	28.6	28.6	16.3	10.2
	H28	42	2.4	2.4	38.1	35.7	9.5	11.9
⑫多様な担い手の育成 (農業後継者の結婚支援)	R4	49	0.0	2.0	34.7	18.4	44.9	0.0
	R1	49	2.0	2.0	16.3	40.8	32.7	6.1
	H28	-	-	-	-	-	-	-
⑬労働人材の確保	R4	49	0.0	2.0	26.5	20.4	51.0	0.0
	R1	49	2.0	0.0	12.2	42.9	36.7	6.1
	H28	-	-	-	-	-	-	-

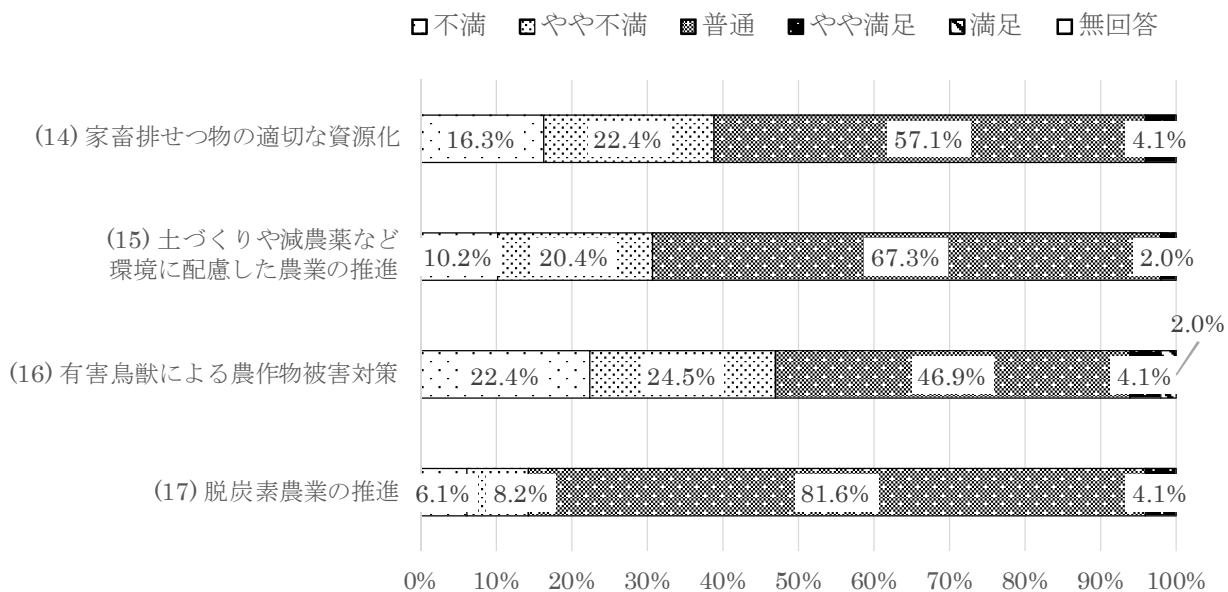
9. 環境保全型農業の推進について

問 17 田原市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。（各問に対し「現在の評価」、「今後の重要性」の項目に○を1つずつ）

現在の評価については、「⑩ 有害鳥獣による農作物被害対策」で、“不満”の割合が46.9%と最も高くなっています。

今後の重要性については、「⑩ 有害鳥獣による農作物被害対策」で、“重要”の割合が67.3%と最も高くなっています。

【現在の評価】

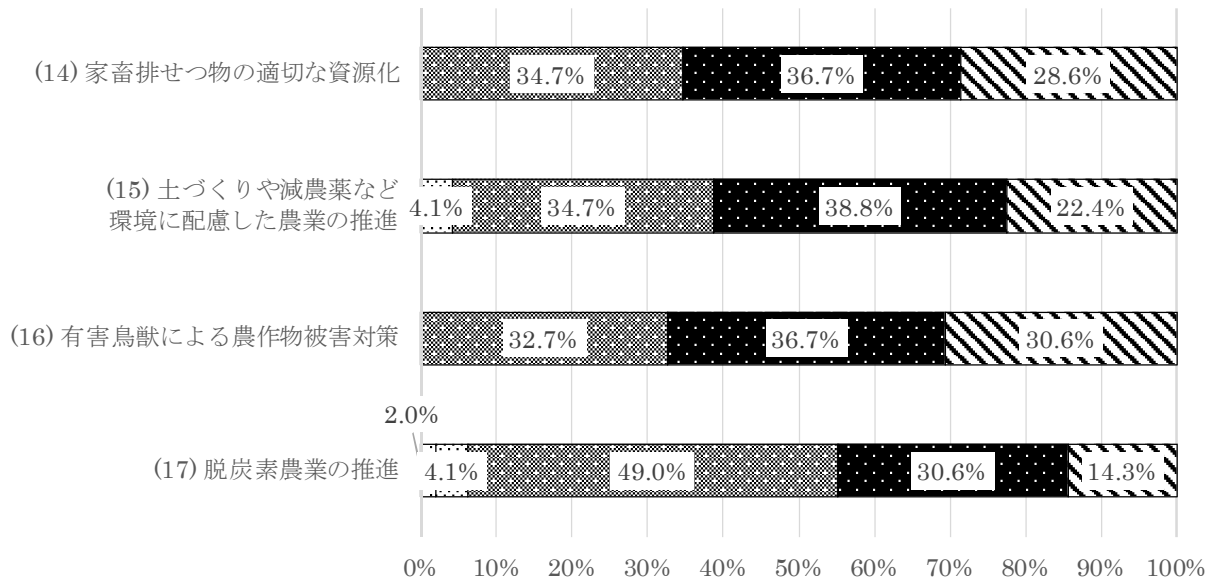


【経年比較—現在の評価】

状況	調査年度	N	評価					
			不満	やや不満	普通	やや満足	満足	無回答
⑭ 家畜排せつ物の適切な資源化	R4	49	16.3	22.4	57.1	4.1	0.0	0.0
	R1	49	20.4	14.3	61.2	4.1	0.0	0.0
	H28	-	-	-	-	-	-	-
⑮ 土づくりや減農薬など環境に配慮した農業の推進	R4	49	10.2	20.4	67.3	2.0	0.0	0.0
	R1	49	12.2	14.3	65.3	4.1	2.0	2.0
	H28	42	14.3	16.7	59.5	2.4	0.0	7.1
⑯ 有害鳥獣による農作物被害対策	R4	49	22.4	24.5	46.9	4.1	2.0	0.0
	R1	49	34.7	22.4	40.8	2.0	0.0	0.0
	H28	-	-	-	-	-	-	-
⑰ 脱炭素農業の推進	R4	49	6.1	8.2	81.6	4.1	0.0	0.0
	R1	-	-	-	-	-	-	-
	H28	-	-	-	-	-	-	-

【今後の重要性】

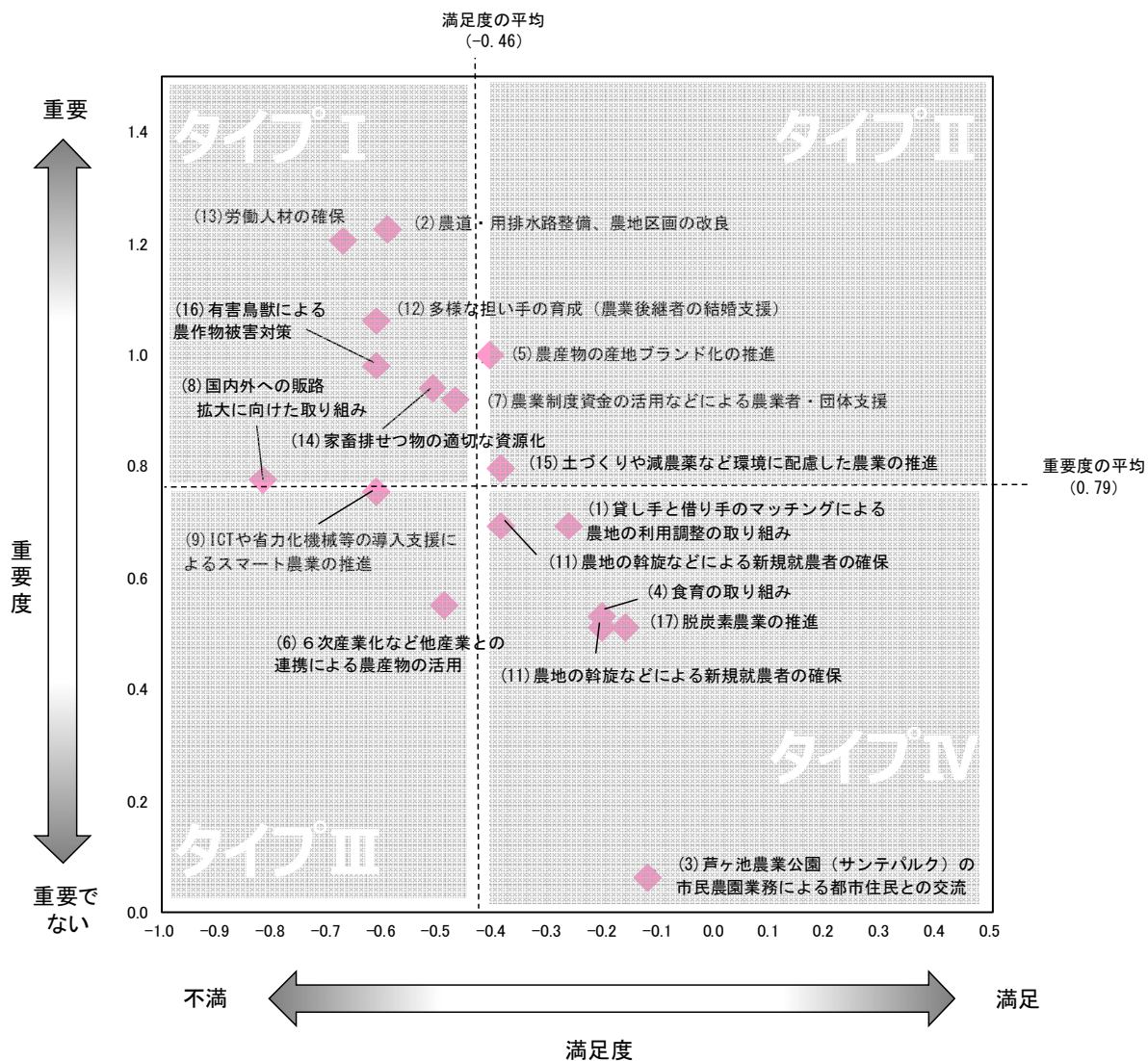
□重要でない ■あまり重要でない ▨普通 ■重要 ▩非常に重要 □無回答



【経年比較—今後の重要性】

状況	調査年度	N	評価					無回答
			重要でない	あまり重要ではない	普通	重要	非常に重要	
⑭ 家畜排せつ物の適切な資源化	R4	49	0.0	0.0	34.7	36.7	28.6	0.0
	R1	49	0.0	0.0	30.6	40.8	28.6	0.0
	H28	-	-	-	-	-	-	-
⑮ 土づくりや減農薬など環境に配慮した農業の推進	R4	49	0.0	4.1	34.7	38.8	22.4	0.0
	R1	49	2.0	4.1	24.5	42.9	26.5	0.0
	H28	42	0.0	0.0	33.3	31.0	28.6	7.1
⑯ 有害鳥獣による農作物被害対策	R4	49	0.0	0.0	32.7	36.7	30.6	0.0
	R1	49	0.0	2.0	14.3	44.9	38.8	0.0
	H28	-	-	-	-	-	-	-
⑰ 脱炭素農業の推進	R4	49	2.0	4.1	49.0	30.6	14.3	0.0
	R1	-	-	-	-	-	-	-
	H28	-	-	-	-	-	-	-

ポートフォリオ分析による市の取り組みの評価については、『(13)労働人材の確保』など7項目が、重要度が高いものの満足度が低く、改善が求められます。



項目	満足度	重要度
(1)貸し手と借り手のマッチングによる農地の利用調整の取り組み	-0.30	0.77
(2)農道・用排水路整備、農地区画の改良	-0.66	1.36
(3)芦ヶ池農業公園(サンテパーク)の市民農園業務による都市住民との交流	-0.14	0.07
(4)食育の取り組み	-0.23	0.59
(5)農産物の産地ブランド化の推進	-0.45	1.11
(6)6次産業化など他産業との連携による農産物の活用	-0.55	0.61
(7)農業制度資金の活用などによる農業者・団体支援	-0.52	1.02
(8)国内外への販路拡大に向けた取り組み	-0.91	0.86
(9)ICTや省力化機械等の導入支援によるスマート農業の推進	-0.68	0.84
(10)認定農業者制度や営農支援による担い手の育成	-0.23	0.57
(11)農地の斡旋などによる新規就農者の確保	-0.43	0.77
(12)多様な担い手の育成(農業後継者の結婚支援)	-0.68	1.18
(13)労働人材の確保	-0.75	1.34
(14)家畜排せつ物の適切な資源化	-0.57	1.05
(15)土づくりや減農薬など環境に配慮した農業の推進	-0.43	0.89
(16)有害鳥獣による農作物被害対策	-0.68	1.09
(17)脱炭素農業の推進	-0.18	0.57

◆上図から分析判断できる最優先課題◆

- (2) 農道・用水路整備、農地区画の改良
- (7) 農業制度資金の活用などによる農業者・団体支援
- (8) 国内外への販路拡大に向けた取り組み
- (12) 多様な担い手の育成（農業後継者の結婚支援）
- (13) 労働人材の確保
- (14) 家畜排せつ物の適切な資源化
- (16) 有害鳥獣による農作物被害対策

10. 市政に対するご意見

- ・所得が安定するように補助金などを出して良い生活ができていければ良いと思う。農業に関係した税金をもっと下げてもらいたい。
- ・堆肥による悪臭や大量発生するハエに困っている。堆肥の悪臭対策をしてほしい。
- ・農業への支援が、農協や普及センターに比べると、感じられない。国の補助事業への申請サポートも任せきりの感じがする。有数の農業地帯なので、行政からも産地のブランド化をもっと押し進めてもらいたい。
- ・後継者が魅力を感じない農業ではだめ。
- ・新規就農（親元）も含め1ヶ月10万円位の助成金を3年間位、たとえば自分の家に入っても家の収入がすぐに1人分又は夫婦であれば2人分増えないから子供を1人産んだら1ヶ月5万、2人産んだら10万円といったような手当を18才まで出してあげる、そうすれば子供を産みやすくなると思います。
- ・補助事業が、規模のある程度大きな農家しか利用しにくい。
- ・農産物の価格が安い、このままでは農業をやっていこうと言う人が無くなります。後継者達にやりやすい農業をと思います。
- ・若者に魅力ある農業、町からお嫁さんが来てくれる農業、安定した収入。
- ・農業人口が減っていく中、いかに農業に取り組む人を増やすか、定年退職者、サーファー、公務員の副業として農業、なにかあると思う！
- ・他県に比べ補助金が少なく価格面でかなわない。
- ・施設園芸に比べ露地野菜は県や市の補助金が少ない。
- ・渥美地区では規模拡大しにくい。
- ・愛知県や田原市は他の産業にくらべ農業を軽視している感じがする。（特に露地野菜）
- ・田原市は日本一の品目がたくさんあるのに、農業に関係のない一般市民の認知度が低い。もっとPRした方がいい。
- ・6次産業化は重要であるが、農家が単体で行うには難しいと思う。加工に関する支援（加工所、業者の誘致）、流通に対する支援などが必要かと思う。
- ・農産物のブランド化と共に、新品目に対するチャレンジを支援し、次の世代の農業を作り上げてほしい。
- ・農業用水の整備。
- ・農地の集約（耕地整理）。
- ・農業後継者の結婚支援。
- ・今後の離農や廃業は歯止めが効かない状況だと思う。今いる農業者の保護策などを考えてみたらどうか。
- ・農業をやめた方の農地や施設を荒れさせない施策。
- ・排水路の整備。
- ・農業用水の老朽化の改修や、水不足に対する対策。
- ・肥料、燃料の高騰に対する補助。
- ・稼げる農業にしないと後継をすすめられない。

- ・農業生産においてもSDGsの考え方が重要になってくると思います。渥美半島は豊川用水の通水とともに、施設園芸の拡大で大きく農業生産額を伸ばしました。施設の耐用年数を超えてきた昨今、古い施設の更新が大きな問題になりつつあります。施設の建て替えには新規事業のように補助金は無く、昨今の資材高騰も相まって、とても自己資金で賄えない状態です。この難問を解決しない限り、渥美半島の施設園芸は持続可能な産業とは言えません。国や県の補助金に対する考え方を変えていただくよう、尽力いただけるよう期待します。
- ・農地の規模でhaを単位に使うのはどうか。例えば0.3と入力するとエラーとなり「0」としか表記できない。渥美半島でhaで表される規模の経営をしている農家がどれほど居るか。国勢調査でも「平米」（これもmの二乗の表記がはじかれた）か「坪」を使うのに。
- ・九州、沖縄等と比べて補助金が少なく申請する気にならない。
- ・九州地方のような、手厚い補助事業があると良い。
- ・田原市のオリジナル品種づくり。
- ・農業で働きたいという若者は、ホームページ、フェイスブックやツイッターで調べて働きたいと連絡するケースが多らしい。個人で連絡がくるような魅力ある発信は難しいと思うので、そういうネットなどを通して就活をする人たちが田原市に連絡して田原市が希望する農家に斡旋するなどができればうれしい。

V 市内漁業者アンケート調査

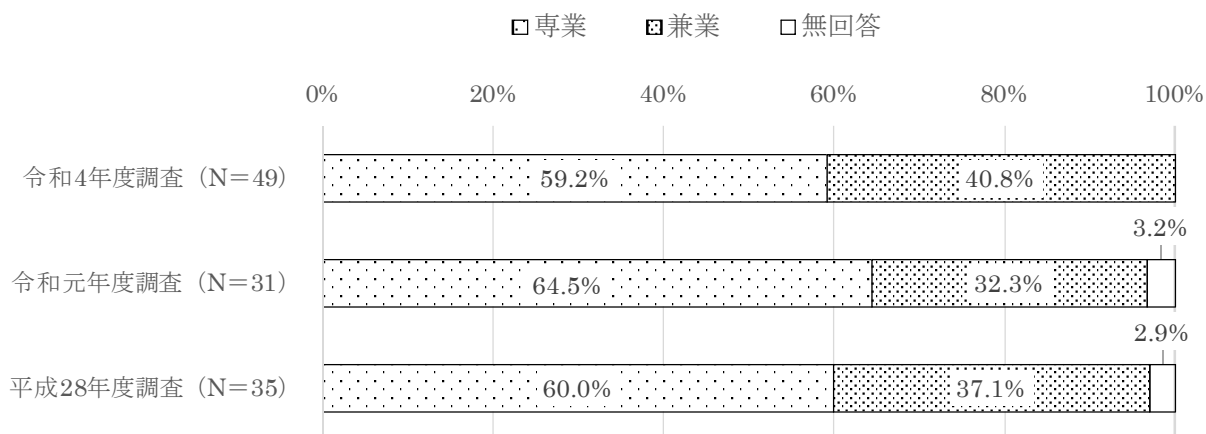
V 市内漁業者

1. 回答者属性

問1 あなたの事業についてお聞きします。

① 専業・兼業の別

「専業」の割合が 59.2%、「兼業」の割合が 40.8%となっています。

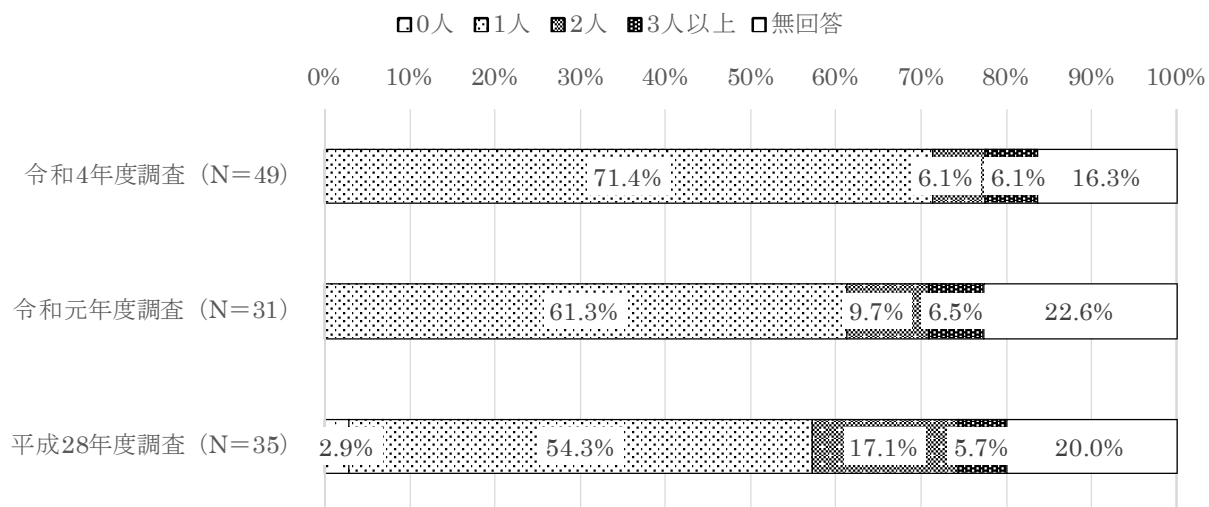


② 漁業に従事している人数

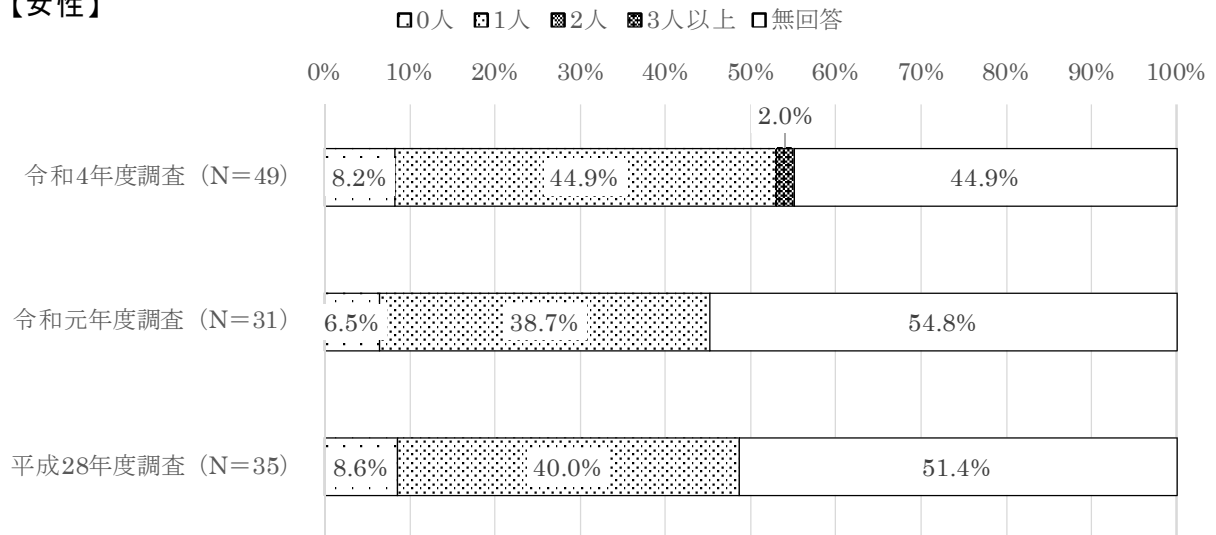
<常時漁業に従事している人>

男性では「1人」の割合が 71.4%、女性では「1人」の割合が 44.9%と最も高くなっています。

【男性】



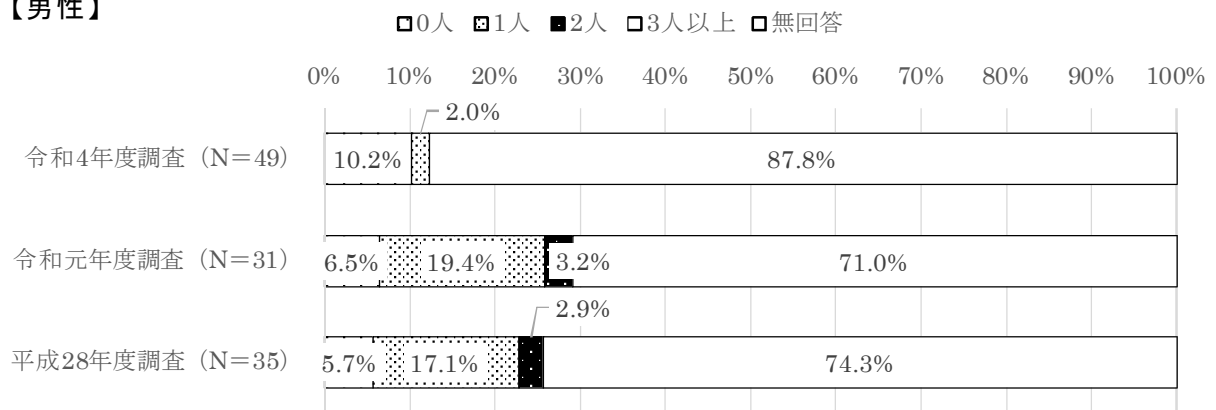
【女性】



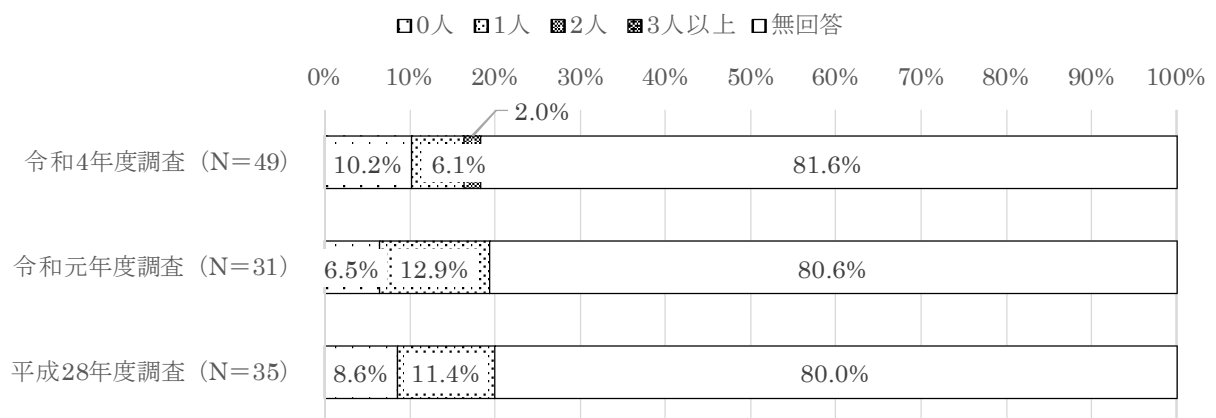
<臨時に漁業に従事している人>

男性では「1人」の割合が10.2%、女性では「1人」の割合が6.1%となっています。

【男性】



【女性】

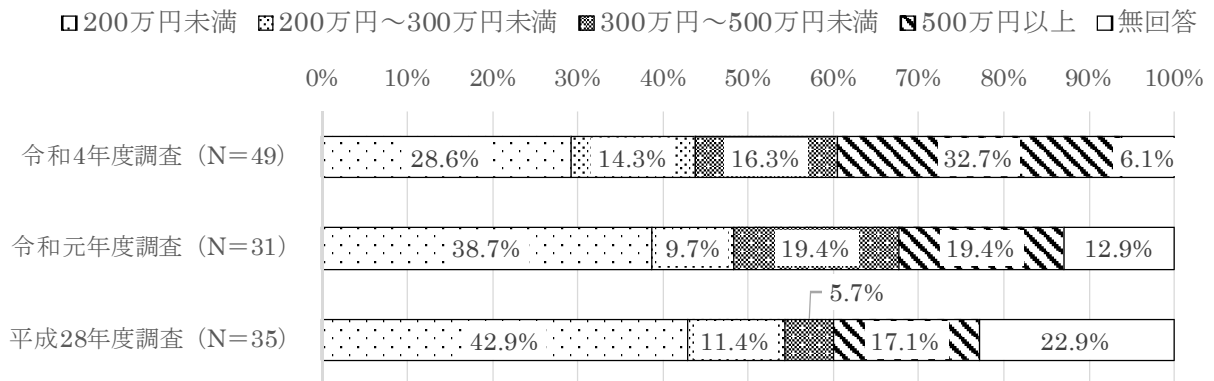


③ 主な漁業物

No.	漁獲物	件数	No.	漁獲物	件数
1	あさり	23	13	カマス	2
2	貝類	13	14	小型底引き（貝採取）	1
3	大あさり	6	15	海苔養殖	1
4	カニ	4	16	刺網、籠漁	1
5	ナマコ	4	17	黒海苔	1
6	しらす	3	18	キス	1
7	海苔	2	19	青海苔	1
8	キス	2	20	カレイ	1
9	タコ	2	21	アオサ	1
10	イカ	2	22	カンパ	1
11	カキ	2	23	魚	1
12	わかめ	2	24	定置あみ	1
				総計	78

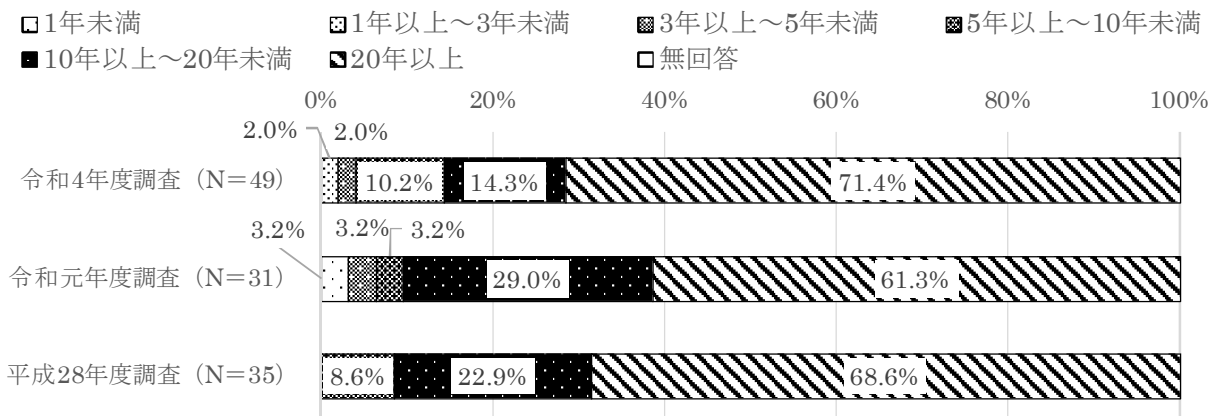
④ おおよその漁業所得

「500万円以上」の割合が32.7%と最も高く、次いで「200万円未満」の割合が28.6%となっています。



⑦ 田原市での就漁年数

「20年以上」の割合が71.4%と最も高く、令和元年度調査と比べると、「20年以上」の割合が10.1ポイント増加しています。

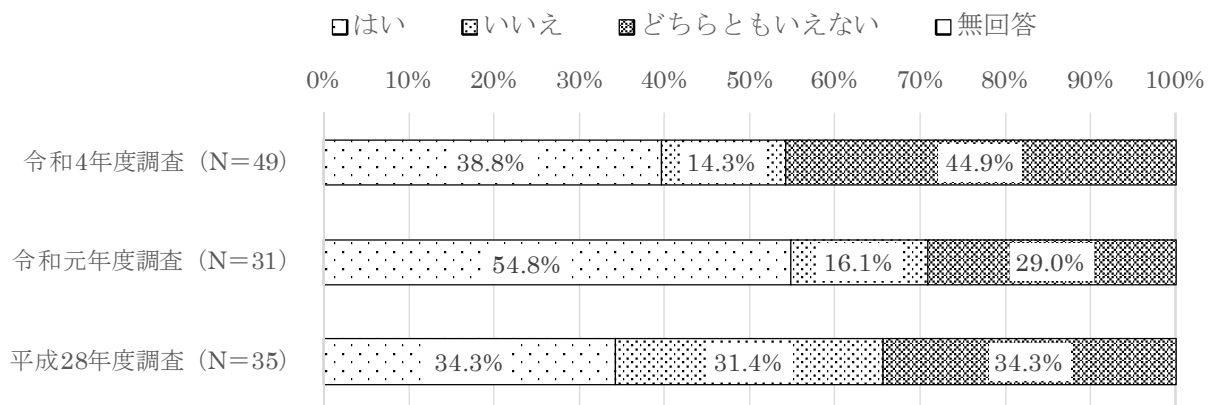


2. 田原市の漁業全般について

問2 田原市は、漁業がしやすいまちだと思いますか。(〇は1つ)

「どちらともいえない」の割合が44.9%と最も高く、次いで「はい」の割合が38.8%となっています。

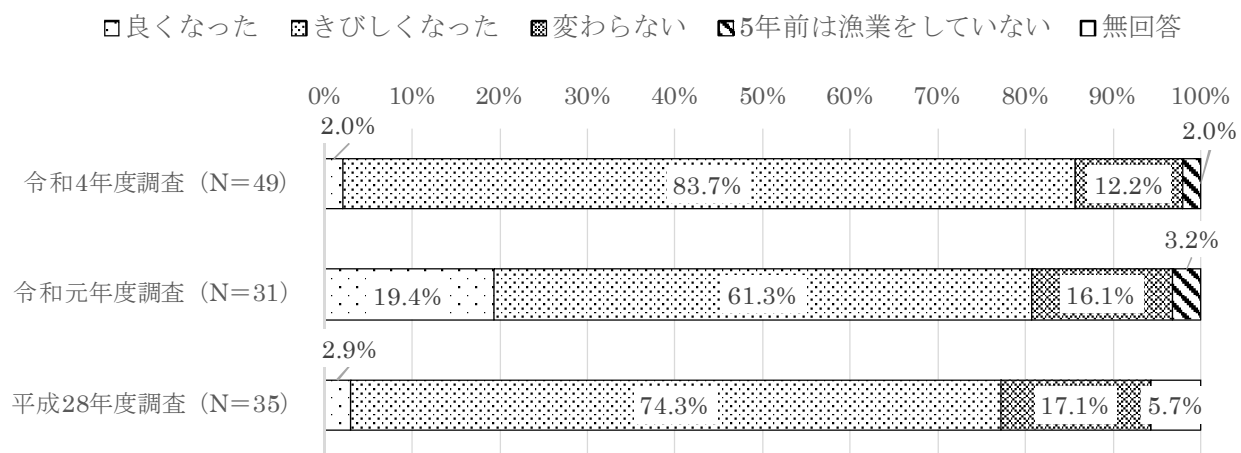
令和元年度調査と比べると、「はい」の割合が16.0ポイント減少しています。



問3 田原市で漁業を行う環境は、5年前と比べて全体的にどうなったとお考えですか。(〇は1つ)

「きびしくなった」の割合が83.7%と最も高く、次いで「変わらない」の割合が12.2%となっています。

令和元年度調査と比べると、「きびしくなった」の割合が22.4ポイント増加しています。

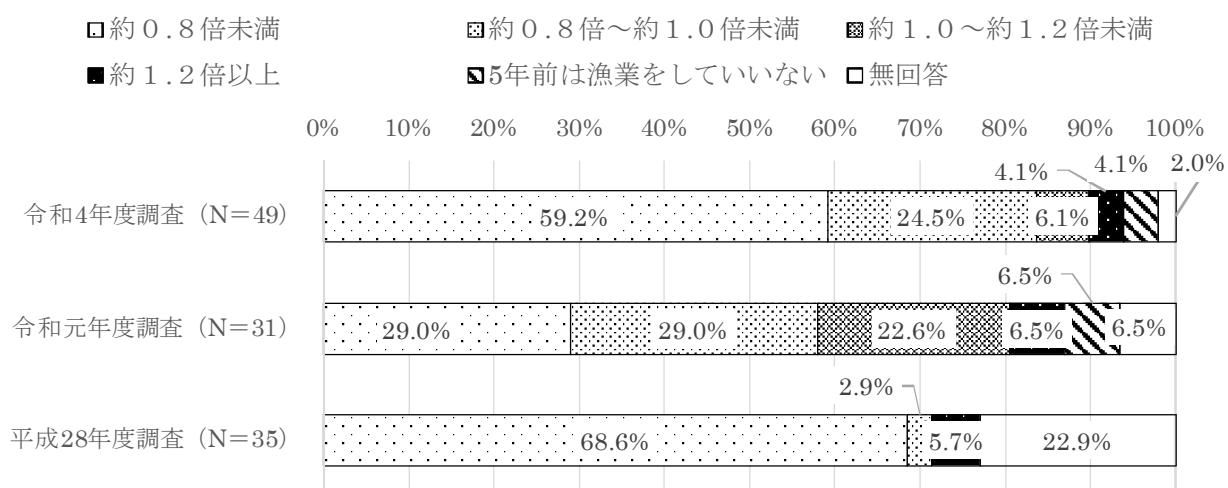


3. あなたの漁業経営について

問4 あなたの直近の売上高は、5年前に比べ何倍程度になりましたか。(〇は1つ)

「約0.8倍未満」「約0.8倍～約1.0倍未満」を合わせた“1倍未満”の割合は83.7%、「約1.0倍～約1.2倍未満」「約1.2倍以上」を合わせた“1倍以上”の割合は10.2%となっており、売上高が減少している漁業者が8割以上を占めています。

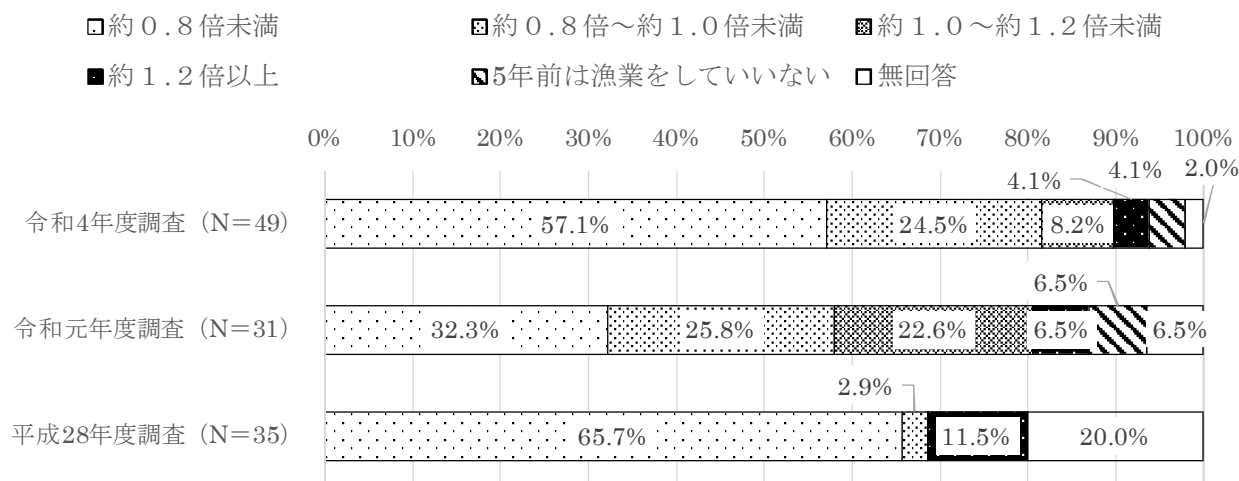
令和元年度調査と比べると、“1倍未満”の割合が25.7ポイント増加しています。



問5 あなたの直近の経常利益(所得)は、5年前に比べ何倍程度になりましたか。(〇は1つ)

「約0.8倍未満」「約0.8倍～約1.0倍未満」を合わせた“1倍未満”の割合は81.6%、「約1.0倍～約1.2倍未満」「約1.2倍以上」を合わせた“1倍以上”の割合は12.3%となっており、経常利益(所得)が減少している漁業者が8割以上を占めています。

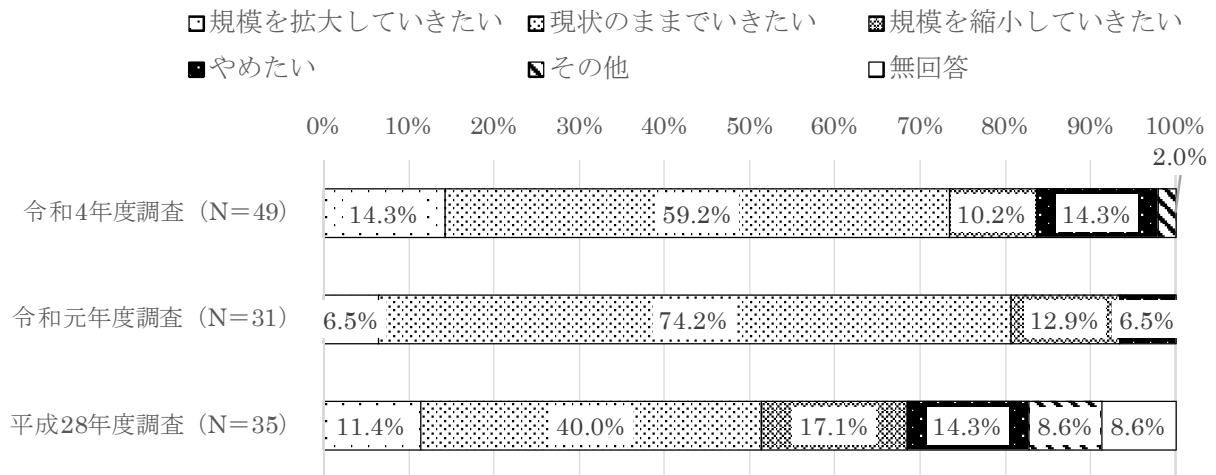
令和元年度調査と比べると、“1倍未満”の割合が23.5ポイント増加しています。



問 6 あなたは、これから漁業経営をどのようにしていきたいとお考えですか。(〇は1つ)

「現状のままでいきたい」の割合が59.2%と最も高く、次いで「規模を拡大していきたい」「やめたい」の割合が、ともに14.3%となっています。

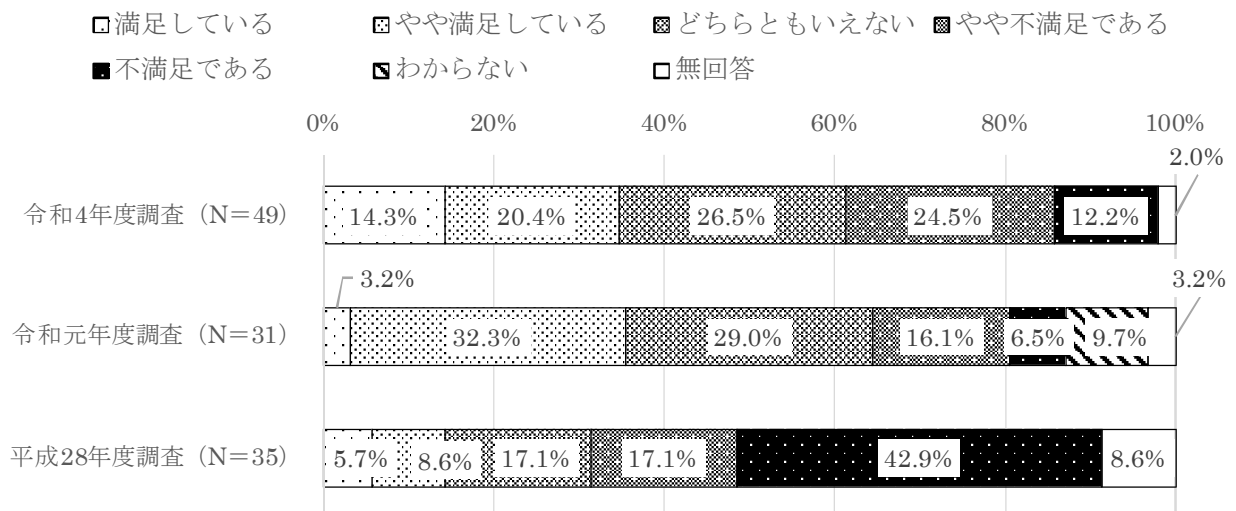
令和元年度調査と比べると、「やめたい」の割合は7.8ポイント増加しています。



問 7 あなたは、ご自身の漁業経営に満足していますか。(〇は1つ)

「満足している」と「やや満足している」を合わせた“満足”の割合は34.7%、「やや不満足である」「不満足である」を合わせた“不満”の割合は36.7%となっています。

令和元年度調査と比べると、“不満”の割合は14.1ポイント増加しています。



問 8 あなた自身の漁業経営で、重要と考えることは何ですか。(〇は3つまで)

「販売価格の安定」の割合が 36.7%と最も高く、次いで「行政の支援」「種苗放流」がともに 34.7%となっています。

令和元年度調査と比べると、「種苗放流」が 15.3 ポイント増加しています。

単位：%

項目	令和元年度調査 (N=31)	令和4年度調査 (N=49)
自分の才覚	29.0	14.3
行政の支援	25.8	34.7
漁協の指導	3.2	6.1
規模の拡大	3.2	2.0
販売・流通対策	25.8	24.5
後継者の育成	9.7	14.3
販売価格の安定	41.9	36.7
船や道具などの設備投資	9.7	14.3
種苗放流	19.4	34.7
資源管理型漁業の実践	16.1	24.5
漁場造成	32.3	10.2
有害生物の除去	12.9	4.1
広告・宣伝・ブランド化	3.2	2.0
その他	0.0	24.5
無回答	3.2	0.0

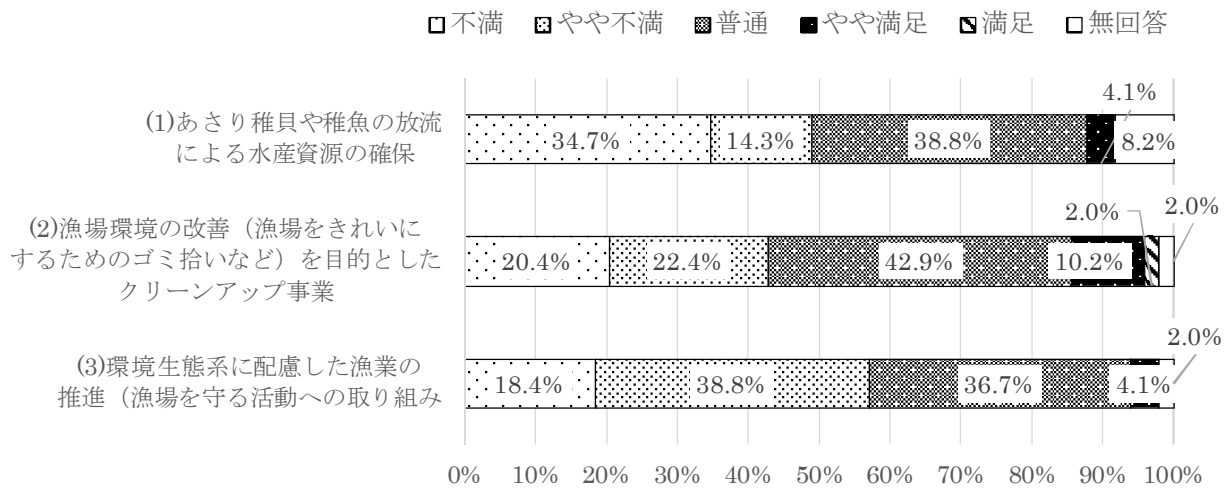
4. 水産資源の確保について

問 9 田原市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。
 (各問に対し「評価」、「重要性」の項目に○を1ずつつける)

現在の評価については、「③環境生態系に配慮した漁業の推進（漁場を守る活動への取り組み）」で、「不満」「やや不満」を合わせた“不満”（以下同じ）の割合が57.2%と最も高くなっています。

今後の重要性については、「③環境生態系に配慮した漁業の推進（漁場を守る活動への取組）」で、「重要」「非常に重要」を合わせた“重要”（以下同じ）の割合が79.6%と最も高くなっています。

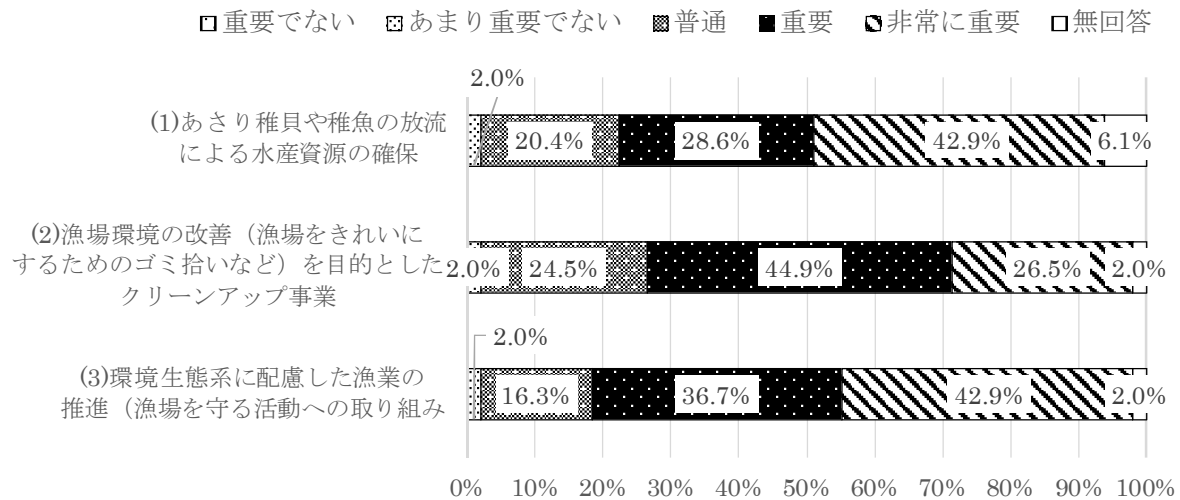
【現在の評価】



【経年変化—現在の評価】

状況	調査年度	N	評価					
			不満	やや不満	普通	やや満足	満足	無回答
①あさり稚貝や稚魚の放流による水産資源の確保	R4	N=49	34.7	14.3	38.8	4.1	0.0	8.2
	R1	N=31	0.0	12.9	54.8	19.4	3.2	9.7
	H28	N=35	20.0	25.7	28.6	2.9	5.7	17.1
②漁場環境の改善（漁場をきれいにするためのゴミ拾いなど）を目的としたクリーンアップ事業	R4	N=49	20.4	22.4	42.9	10.2	2.0	2.0
	R1	N=31	3.2	12.9	48.4	22.6	3.2	9.7
	H28	N=35	17.1	11.4	42.9	8.6	0.0	20.0
③環境生態系に配慮した漁業の推進（漁場を守る活動への取り組み）	R4	N=49	18.4	38.8	36.7	4.1	0.0	2.0
	R1	N=31	6.5	22.6	48.4	9.7	3.2	9.7
	H28	N=35	20.0	14.3	42.9	5.7	0.0	17.1

【今後の重要性】

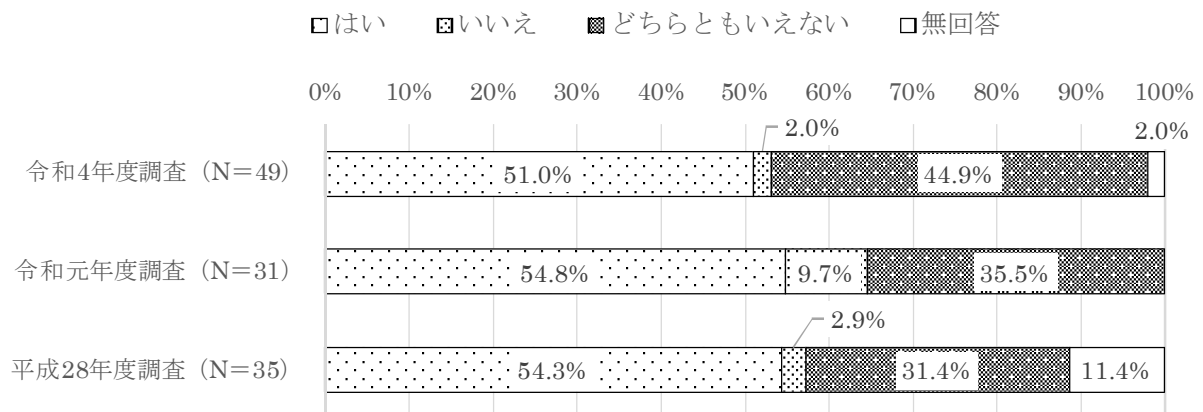


【経年変化—今後の重要性】

状況	調査年度	N	評価					無回答
			重要でない	あまり重要でない	普通	重要	非常に重要	
①あさり稚貝や稚魚の放流による水産資源の確保	R4	N=49	0.0	2.0	20.4	28.6	42.9	6.1
	R1	N=31	0.0	3.2	25.8	41.9	19.4	9.7
	H28	N=35	0.0	8.6	14.3	25.7	31.4	20.0
②漁場環境の改善（漁場をきれいにするためのゴミ拾いなど）を目的としたクリーンアップ事業	R4	N=49	0.0	2.0	24.5	44.9	26.5	2.0
	R1	N=31	0.0	0.0	25.8	35.5	29.0	9.7
	H28	N=35	2.9	2.9	28.6	34.3	8.6	22.9
③環境生態系に配慮した漁業の推進（漁場を守る活動への取り組み）	R4	N=49	0.0	2.0	16.3	36.7	42.9	2.0
	R1	N=31	0.0	0.0	22.6	32.3	35.5	9.7
	H28	N=35	0.0	0.0	22.9	40.0	14.3	22.9

問 10 あなたは環境生態系に配慮した漁業経営を行っていますか。（○は1つ）

「はい」の割合が51.0%、「どちらともいえない」の割合が44.9%となっています。令和元年度調査と比べると、「どちらともいえない」の割合は9.4ポイント増加しています。



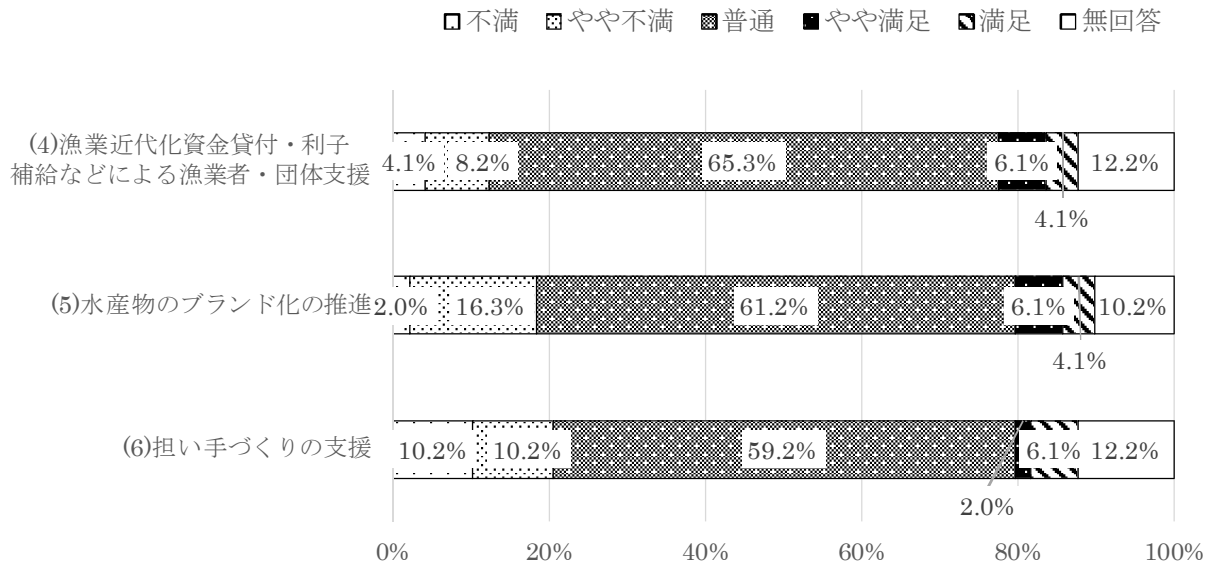
5. 漁業経営について

問 11 田原市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。
 (各問に対し「評価」、「重要性」の項目に○を1つずつ付ける)

現在の評価については、「⑥担い手づくりの支援」で、“不満”の割合が20.4%と最も高くなっています。

今後の重要性については、「⑤水産物のブランド化の推進」で、“重要”の割合が55.1%と最も高くなっています。

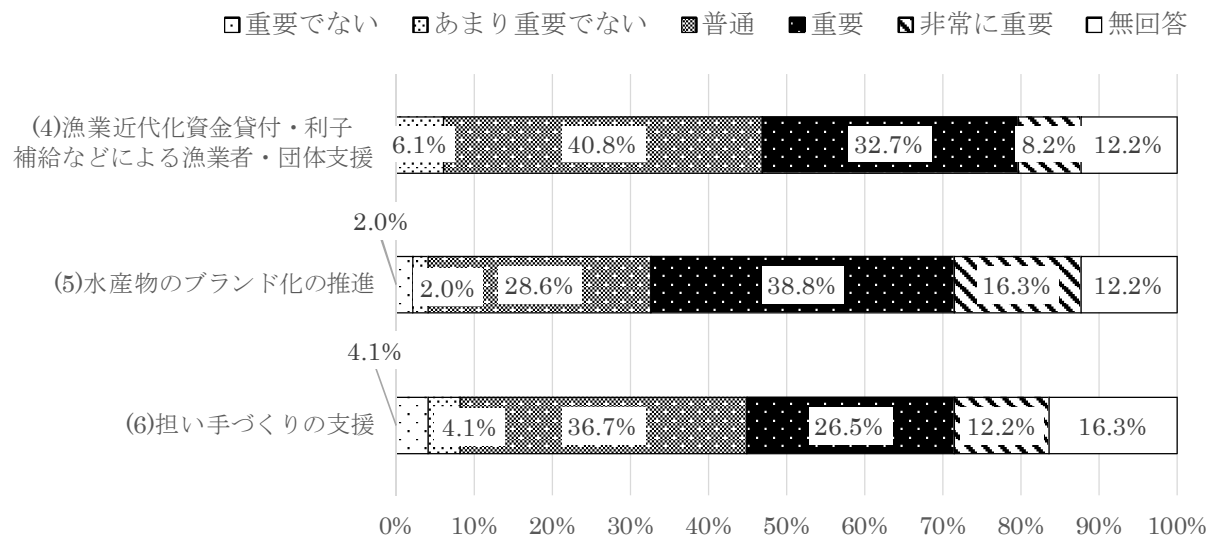
【現在の評価】



【経年変化—現在の評価】

状況	調査年度	N	評価					
			不満	やや不満	普通	やや満足	満足	無回答
④漁業近代化資金貸付・利子補給などによる漁業者・団体支援	R4	N=49	4.1	8.2	65.3	6.1	4.1	12.2
	R1	N=31	6.5	6.5	71.0	3.2	3.2	9.7
	H28	N=35	14.3	8.6	45.7	2.9	0.0	28.6
⑤水産物のブランド化の推進	R4	N=49	2.0	16.3	61.2	6.1	4.1	10.2
	R1	N=31	6.5	12.9	61.3	9.7	0.0	9.7
	H28	N=35	17.1	14.3	31.4	8.6	0.0	28.6
⑥担い手づくりの支援	R4	N=49	10.2	10.2	59.2	2.0	6.1	12.2
	R1	N=31	9.7	9.7	71.0	0.0	0.0	9.7
	H28	N=35	11.4	20.0	34.3	5.7	0.0	28.6

【今後の重要性】



【経年変化—今後の重要性】

状況	調査年度	N	評価					
			重要でない	あまり重要でない	普通	重要	非常に重要	無回答
④漁業近代化資金貸付・利子補給などによる漁業者・団体支援	R4	N=49	0.0	6.1	40.8	32.7	8.2	12.2
	R1	N=31	0.0	0.0	48.4	29.0	12.9	9.7
	H28	N=35	2.9	0.0	28.6	17.1	8.6	42.9
⑤水産物のブランド化の推進	R4	N=49	2.0	2.0	28.6	38.8	16.3	12.2
	R1	N=31	0.0	0.0	29.0	48.4	12.9	9.7
	H28	N=35	0.0	2.9	17.1	22.9	14.3	42.9
⑥担い手づくりの支援	R4	N=49	4.1	4.1	36.7	26.5	12.2	16.3
	R1	N=31	0.0	0.0	45.2	32.3	12.9	9.7
	H28	N=35	5.7	0.0	20.0	28.6	2.9	42.9

問 12 漁業経営を強化するためにはどのような取り組みが必要だと考えますか。理由もあればご記入ください。

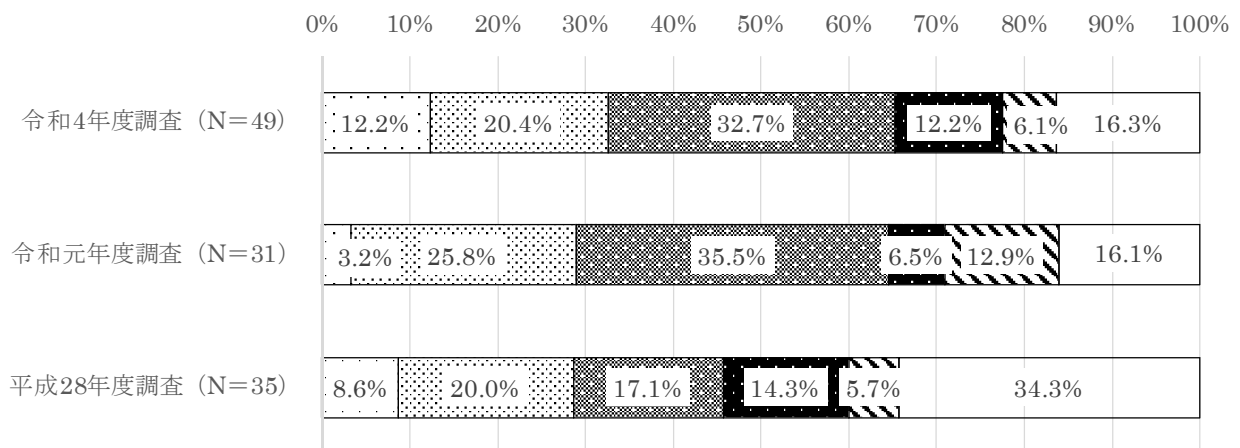
- ・豊川河口のあさり種子の有効活用（過去に行った放流で一定の効果があつたと実感している）。
- ・海を美しくすること。
- ・稚貝の放流。
- ・この数年海グモ（寄生虫）により豊川河口への稚貝を確保出来ない状態にある。水産課による調査の回数を増やし、確実な調査結果を期待したい。漁民は調査結果に不安があると稚貝確保に踏み出せないでいる。
- ・昔（10年前）に比べてあさりの採取する干潟が半分以下の面積になった。航路を掘るようになってからだと思われるので水中にテトラポット等で干潟の土が流されないような対策をとってほしい。
- ・海に魚貝類が少なすぎる。漁場を良くしてほしい。
- ・少々の波で出漁できないために経営不振であります。港の出口の整備が必要です。
- ・種苗放流。
- ・経営をしていくのに人材の育成。
- ・資源が減少している現在、漁場の拡大が重要だと思います。指定区域の採取では生活していくのに非常にきびしいです。県水産課との協議がされることをお願いしたいです。
- ・近年の水産物（あさり）の激変に伴い、漁場の造式種子の放流を推進し安定した漁獲を確保できるようにする。
- ・資源管理型漁業の推奨（栽培漁業）。
- ・漁場整備、補助金の強化。
- ・後継者が先細り。若者が他の産業に従事したり、未婚の男が多くなっている。漁業だけで生計を立てていくのが困難になってきている。漁業振興策、少子高齢化対策が必要。
- ・天敵駆除。
- ・各漁協の理事の意識が弱い。市役所が手助けしてくれる時も、組合の意識が低すぎるため、漁業経営が強化できないと思う。例えば大胆に市役所側が漁協組合のトップを選出するとかしない限り何も変わらない。派閥だの親戚関係なので決まる理事、監事だからです。
- ・後継者の育成。
- ・漁場確保。
- ・経営よりもまずは資源保護。漁獲量の制限。小さな貝をなるべく残す。その場での放流。貝を採っている方の組合許可証の発行を徹底すべきだと考えます。それが出来てからの話だと考えます。
- ・しらす従業員として働いています。しらす経営で言えば、会社組織にすること。現状収入不安定 社会保障無し 不定休 雇用保険すら無い。これで新たな人材が入ってくるわけなく、結局経営が立ち行かなくなると思う。

問 13 漁業の担い手を確保・育成するためには、何が必要だとお考えですか。(〇は1つ)

「意欲ある漁業者への支援制度等の充実や企業的経営手法の指導」の割合が 32.7%と最も高く、次いで「漁業以外の新規参入者が就漁しやすい環境の整備」の割合が 20.4%となっています。

令和元年度調査と比べると「後継者やU I J ターン者に対する支援の充実」が 9.0 ポイント増加しています。

- 後継者やU I J ターン者に対する支援の充実
- 漁業以外の新規参入者が就漁しやすい環境の整備
- 意欲ある漁業者への支援制度等の充実や企業的経営手法の指導
- 後継者や漁業参入希望者への技術指導
- その他
- 無回答



6. 水産施設の充実について

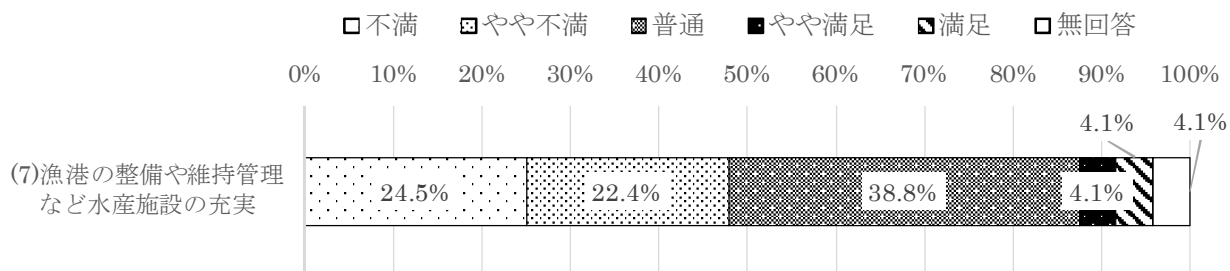
問 14 田原市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。

(各問に対し「現在の評価」、「今後の重要性」の項目に○を1つずつ)

現在の評価については、“不満”の割合が46.9%となっています。

今後の重要性については、“重要”の割合が77.6%となっています。

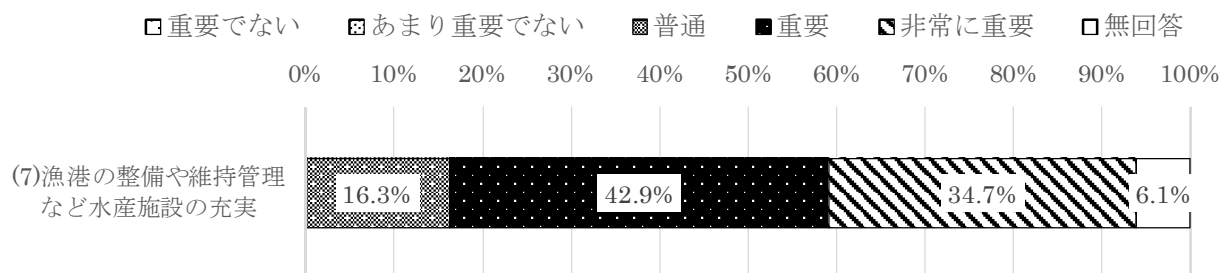
【現在の評価】



【経年変化—現在の評価】

状況	調査年度	N	評価					無回答
			不満	やや不満	普通	やや満足	満足	
⑦漁港の整備や維持管理 など水産施設の充実	R4	N=49	24.5	22.4	38.8	4.1	4.1	4.1
	R1	N=31	16.1	19.4	45.2	12.9	0.0	6.5
	H28	N=35	28.6	8.6	37.1	5.7	0.0	20.0

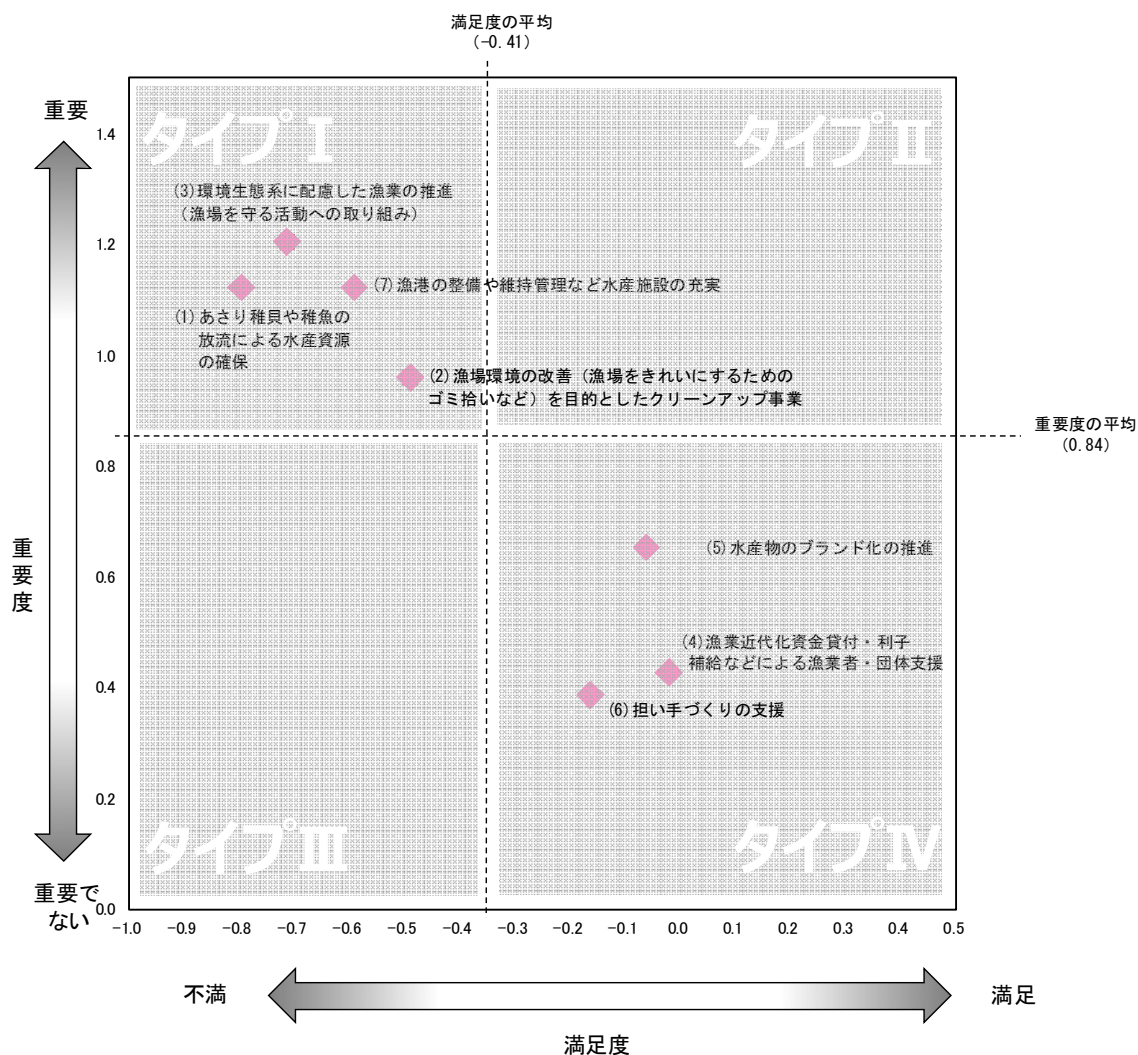
【今後の重要性】



【経年変化—今後の重要性】

状況	調査年度	N	評価					無回答
			重要でない	あまり重要でない	普通	重要	非常に重要	
⑦漁港の整備や維持管理 など水産施設の充実	R4	N=49	0.0	0.0	16.3	42.9	34.7	6.1
	R1	N=31	0.0	0.0	22.6	38.7	29.0	9.7
	H28	N=35	5.7	2.9	22.9	28.6	20.0	20.0

ポートフォリオ分析による市の取り組みの評価については、『(3)環境生態系に配慮した漁業の推進（漁場を守る活動への取り組み）』など4項目が、重要度が高いものの満足度が低く、改善が求められます。



項目	満足度	重要度
(1)あさり稚貝や稚魚の放流による水産資源の確保	-0.30	0.77
(2)漁場環境の改善(漁場をきれいにするためのゴミ拾いなどを目的としたクリーンアップ事業)	-0.66	1.36
(3)環境生態系に配慮した漁業の推進(漁場を守る活動への取り組み)	-0.14	0.07
(4)漁業近代化資金貸付・利子補給などによる漁業者・団体支援	-0.23	0.59
(5)水産物のブランド化の推進	-0.45	1.11
(6)担い手づくりの支援	-0.55	0.61
(7)漁港の整備や維持管理など水産施設の充実	-0.52	1.02

◆上図から分析判断できる最優先課題◆

- (1) あさり稚貝や稚魚の放流による水産資源の確保
- (2) 漁場環境の改善を目的としたクリーンアップ事業
- (3) 環境生態系に配慮した漁業の推進（漁場を守る活動への取り組み）
- (7) 漁港の整備や維持管理など水産施設の充実

7. 市政に対するご意見

- ・市内湾では魚が減っている。特に、イワシ、サバ等が入ってくると二艘引きの船が来て全部取ってしまう。(田原所属外船) 結果イワシ等を餌にしている魚が減ってしまっている。
- ・近年漁場が急速に縮小しているように思う。夏のかんばの腐敗による漁場の変化、エイ、ツメタ貝、ヒトデなどによる食害、個人でもできる範囲で食害成物の駆除などしているがたかがしれている。希望としては強風、強波対策として漁場沖合に防波堤の設置、漁場のさらなる造成をお願いしたい。
- ・六条がた 4 区の埋立てで小魚の育て場がなくなり、そのうえ赤潮が発生し海はだめ。
- ・あさり稚貝放流だけでなく、大あさりなども考えてほしい。(放流)
- ・個人事業主が経営をしていくのには厳しすぎる。
- ・稚貝を放流してほしい。
- ・渥美、田原が合併したのに、漁場のルールが渥美と田原で異なっているのがおかしい。
- ・企業にお願いして風力発電を洋上に作り、その下に漁磯を作ってもらい魚が多くなる事業を行う。漁連の理解が必要。
- ・赤羽根港の出口の整備が必要と考えます。さしあみ漁ですが、少々海が荒れている時に魚は獲れます。出口が悪いため出漁ができず、陸で指をくわえているのが現状です。港の出口の少し沖に波ごなしの設置が必要と考えます。
- ・漁場の拡大が先決問題であり、区域外の操業をしなくとも生活が安定できるようにこの問題を進めてほしい。
- ・何を書いても市はなにもやらない！アンケートを取って、さも仕事をしているように見えるが、ただのパフォーマンス、期待していない。
- ・乱獲をさげたい。
- ・水産資源を増やす施策が急務である。
- ・定年→漁師は NG、人が増えたら数量も減る。
- ・近年、海に栄養がなく、海苔などの色が悪いので、栄養ある海に考えてほしい。
- ・昔より海に養分が無いと思う。海をきれいにと言うが町中に集落排水を作り出してから海はきれいだが、大あさり、あさりなど獲れなくなったような気がする。
- ・後継者がいなくなるので新規参入もしくは若手の指導をした方がよい。
- ・海が綺麗になり過ぎて栄養が少ない気がする。
- ・牛舎等からの堆肥が必要。
- ・まずは資源保護。漁獲量の制限。小さな貝をなるべく残す。
- ・その場での放流。貝を採っている方の組合許可証の発行を徹底すべき。
- ・保全会の資金増額。豊川の稚貝の補助金等。漁業者に支援。
- ・外海に限って言えば、漁業許可の関係で魚はしらす以外捕れるものがない。
- ・従業員の保証は殆ど無いに等しく、勤め先として紹介はとてもしづらい状況。
- ・しらす漁経営者に対して、近代的な経営講習等できるのであればしてほしい。考え方が昭和で止まっている。

- ・内海に関してはわかりませんが、アサリなどの資源が減って大変だというくらいしか話を聞いていない。

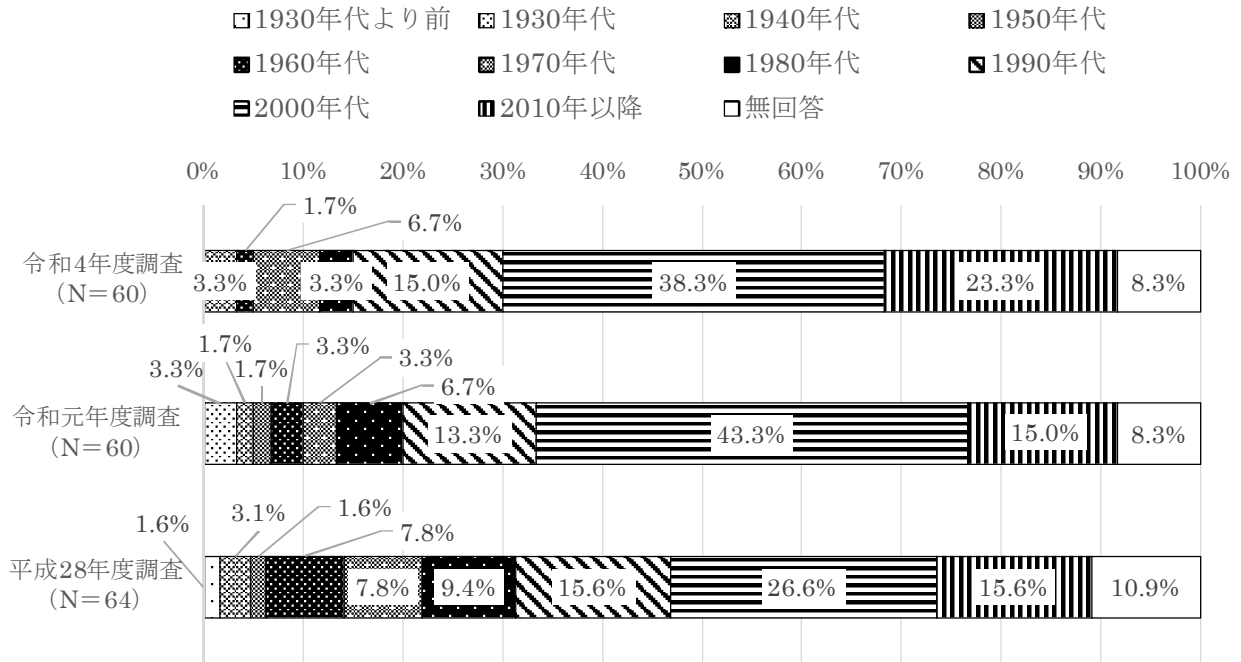
Ⅵ 市内団体アンケート調査

VI 市内団体

1. 回答者属性

問1 あなたの団体の設立年についてお聞きします。

「2000年代」の割合が38.3%と最も高く、次いで「2010年以降」の割合が23.3%、「1990年代」の割合が15.0%となっています。

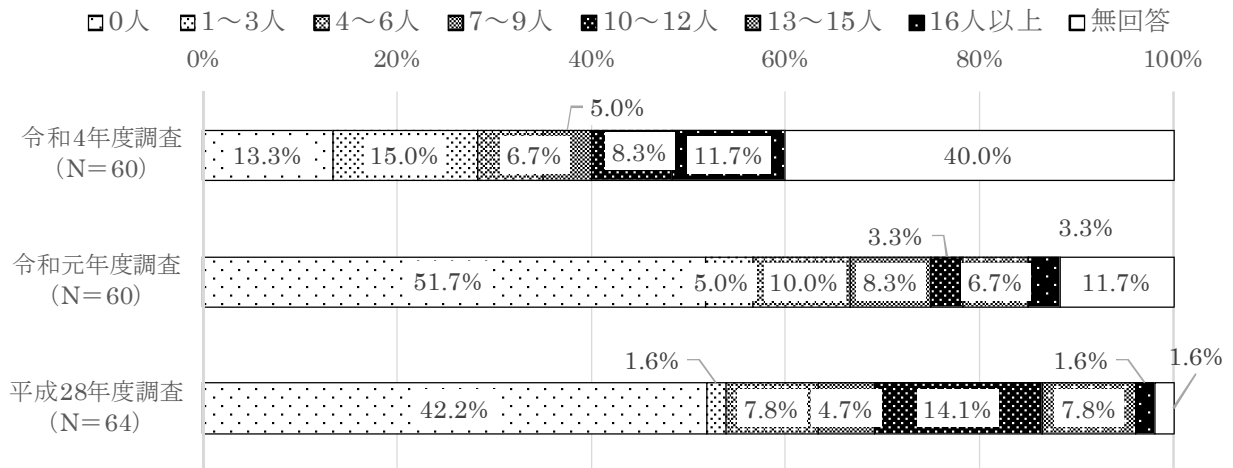


問2 あなたの団体の組織体制についてお聞きします。

(1) 構成

① 理事

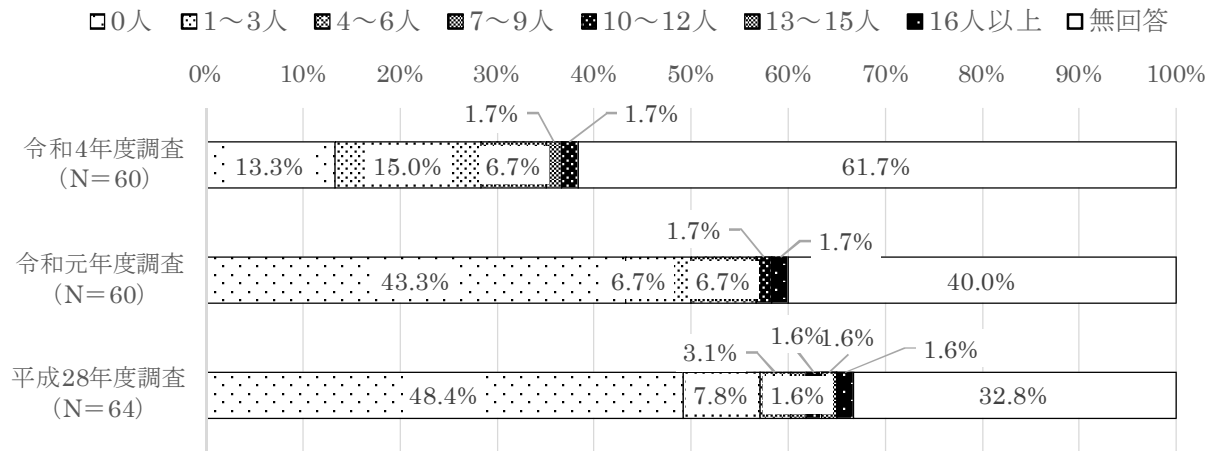
「1～3人」の割合が15.0%と最も高く、次いで「0人」の割合が13.3%となっています。



② 運営メンバー

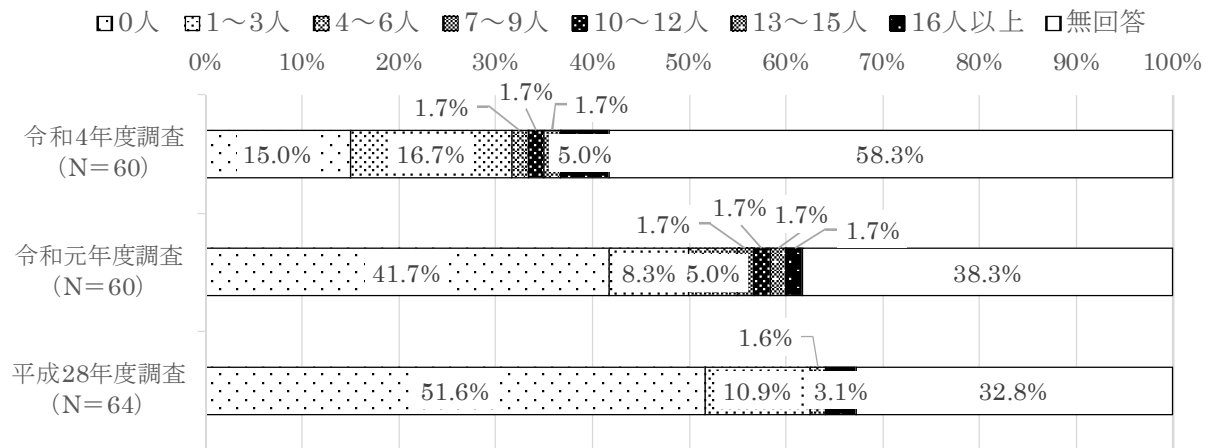
【常勤（フルタイム）】

「1～3人」の割合が15.0%と最も高く、次いで「0人」の割合が13.3%となっています。



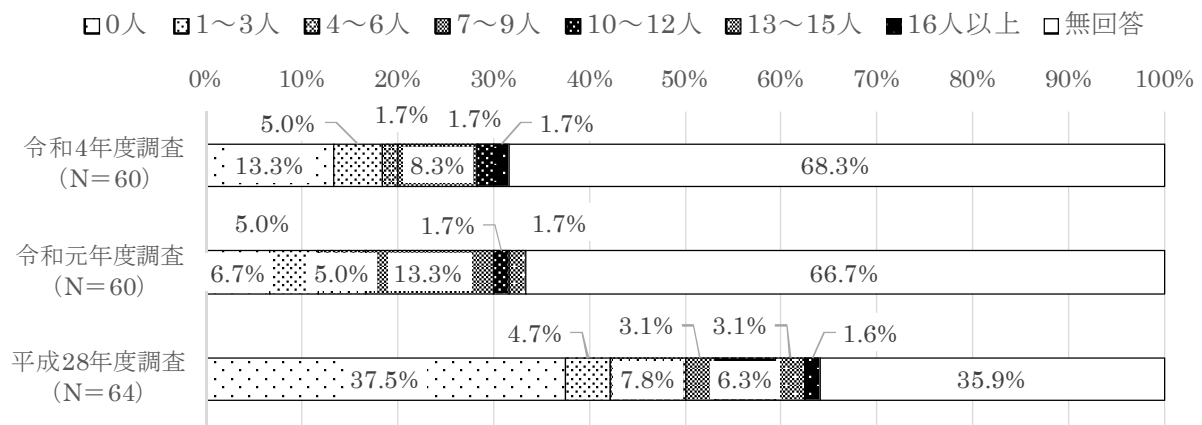
【非常勤（パートタイム・アルバイト）】

「1～3人」の割合が16.7%と最も高く、次いで「0人」の割合が15.0%となっています。



【その他】

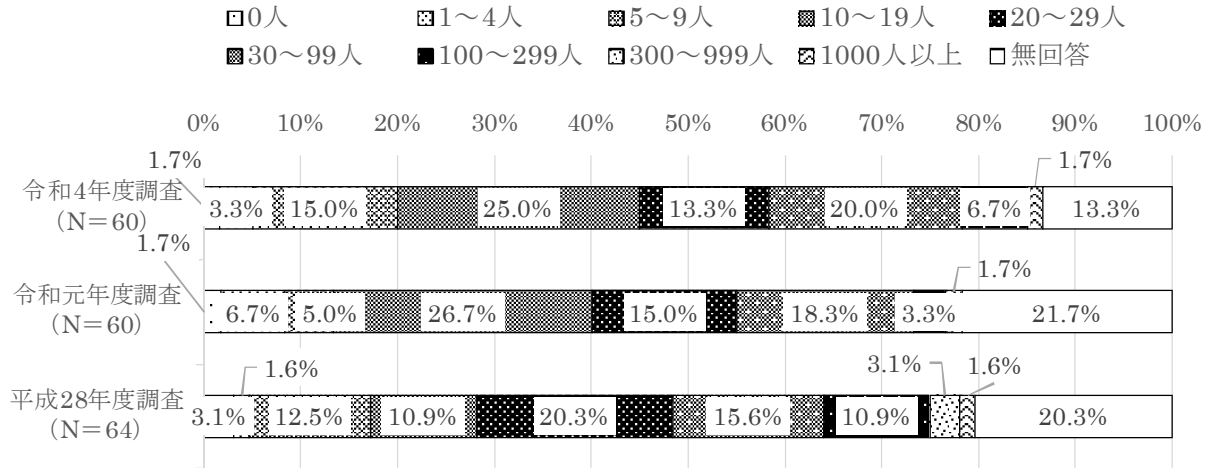
「0人」の割合が13.3%と最も高く、次いで「7～9人」の割合が8.3%となっています。



③会員・社員構成

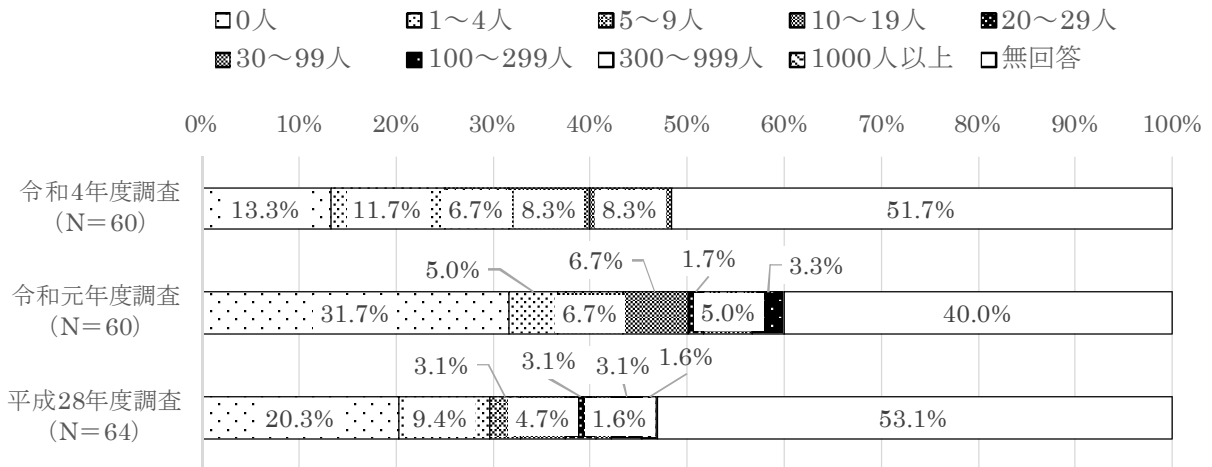
【活動する人・正会員】

「10～19人」の割合が25.0%と最も高く、次いで「30～99人」の割合が20.0%、「5～9人」の割合が15.0%となっています。



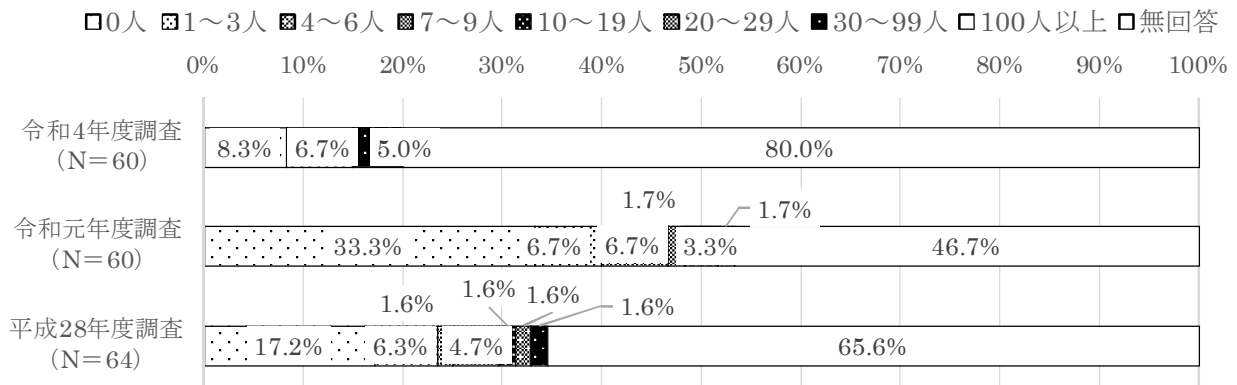
【支援者・賛助会員】

「0人」の割合が13.3%と最も高く、次いで「1～4人」の割合が11.7%となっています。



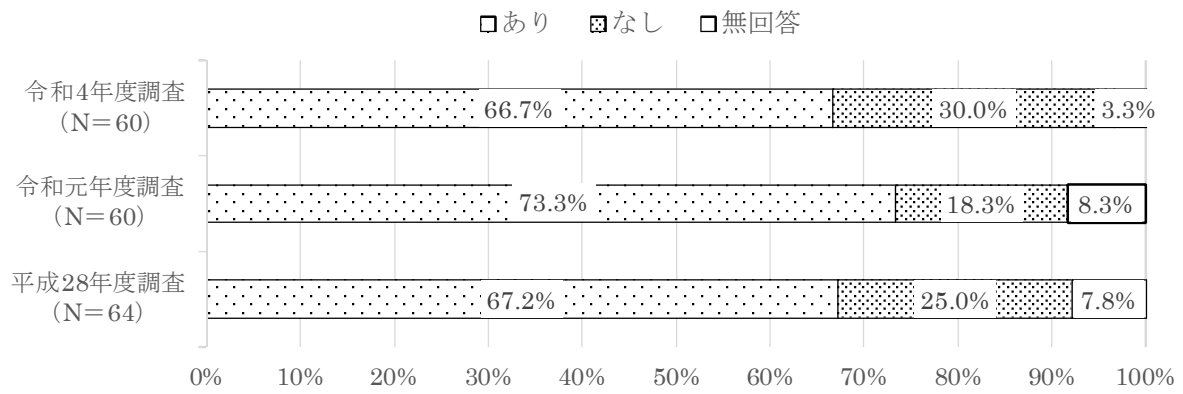
【その他】

「0人」の割合が8.3%と最も高く、次いで「1～3人」の割合が6.7%となっています。



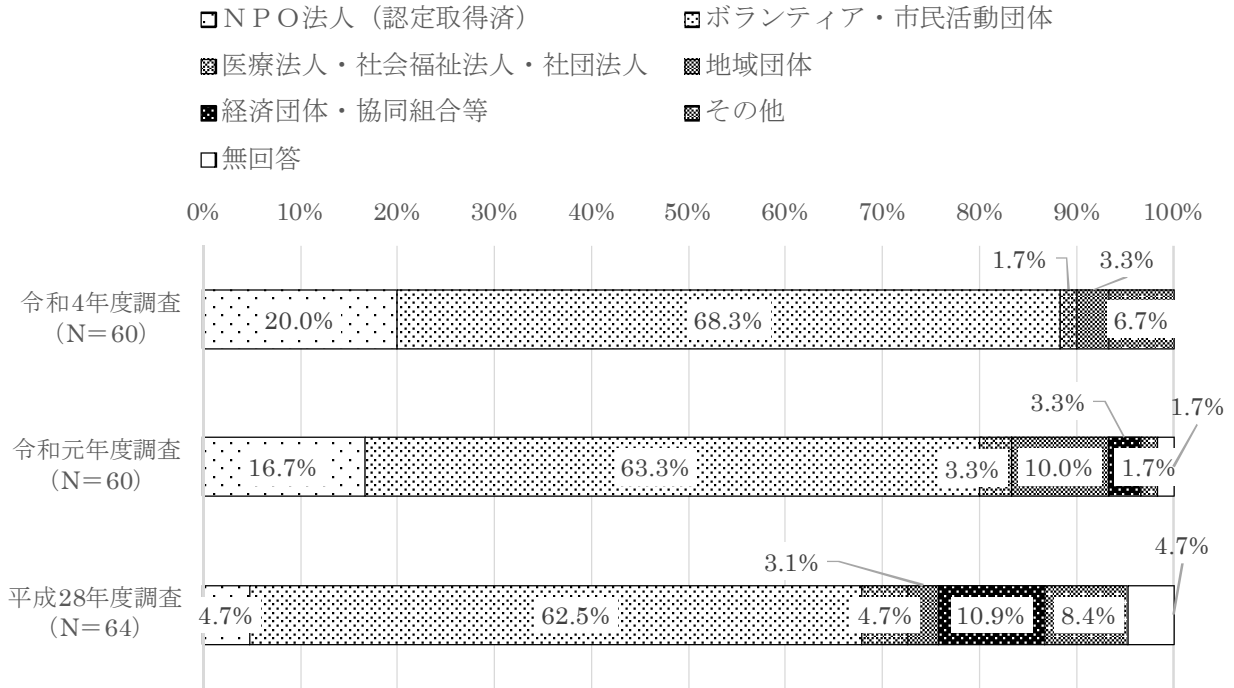
④ 規則・会則・定款

「あり」の割合が66.7%、「なし」の割合が30.0%となっています。



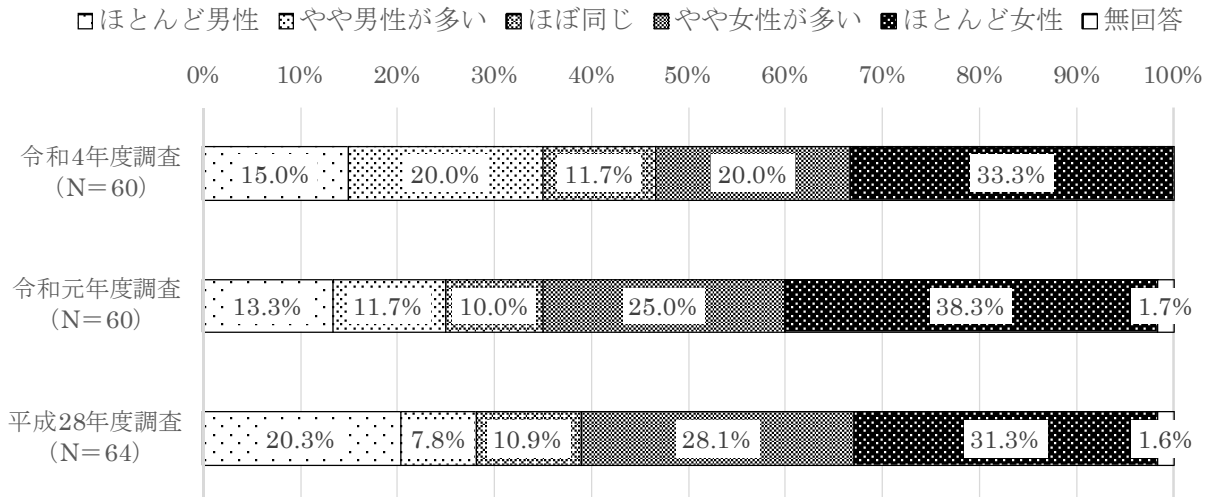
問 3 あなたの団体は、次のどの分類にあてはまりますか。

「ボランティア・市民活動団体」の割合が 68.3%と最も高く、次いで「NPO法人（認定取得済）」の割合が 20.0%となっています。



問 4 活動する人・正会員の男女比はどれくらいですか。

「ほとんど女性」の割合が 33.3%と最も高く、次いで「やや男性が多い」「やや女性が多い」の割合がともに 20.0%となっています。



問 5 活動する人・正会員の年齢は、どの年代が多いですか。(〇は2つ)

「60歳以上」の割合が68.3%と最も高く、次いで「50歳代」の割合が26.7%となっています。

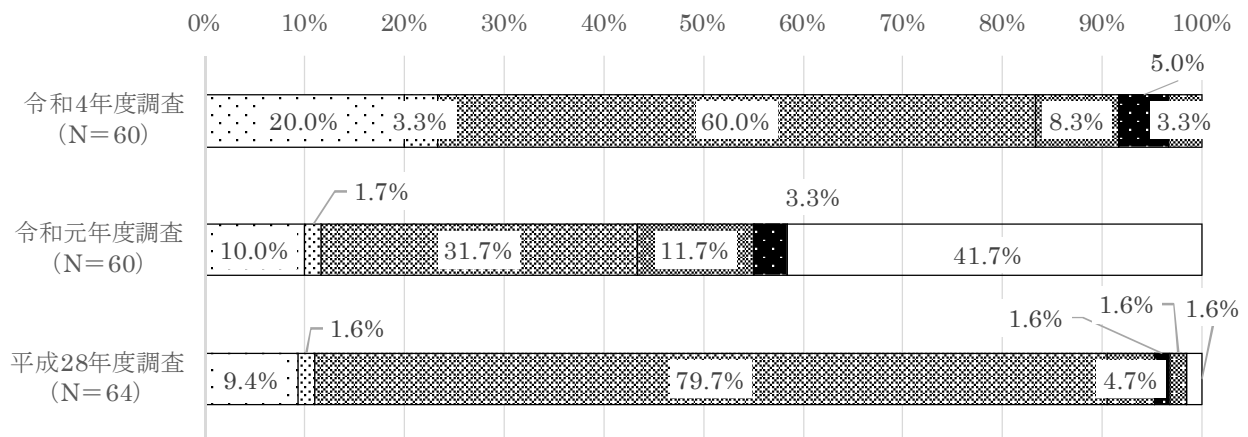
単位：%

項目	平成28年度調査 (N=64)	令和元年度調査 (N=60)	令和4年度調査 (N=60)
10歳代	9.4	5.0	5.0
20歳代	6.3	1.7	5.0
30歳代	12.5	6.7	10.0
40歳代	20.3	10.0	13.3
50歳代	43.8	31.7	26.7
60歳以上	54.7	75.0	68.3
特に特徴はない	1.6	8.3	11.7
無回答	3.1	3.3	0.0

問 6 活動の地域は、主にどこですか。(〇は1つ)

「市内」の割合が60.0%と最も高く、次いで「小学校区内」の割合が20.0%となっています。

□小学校区内 □中学校区内 ■市内 ■市内及び豊橋市 ■県内 ■全国・国際 □無回答



問 7 主な活動目的をお聞かせください。(〇はいくつでも)

「まちづくり」の割合が 30.0%と最も高く、次いで「児童福祉・子育て支援」が 26.7%、「青少年健全育成」が 25.0%となっています。

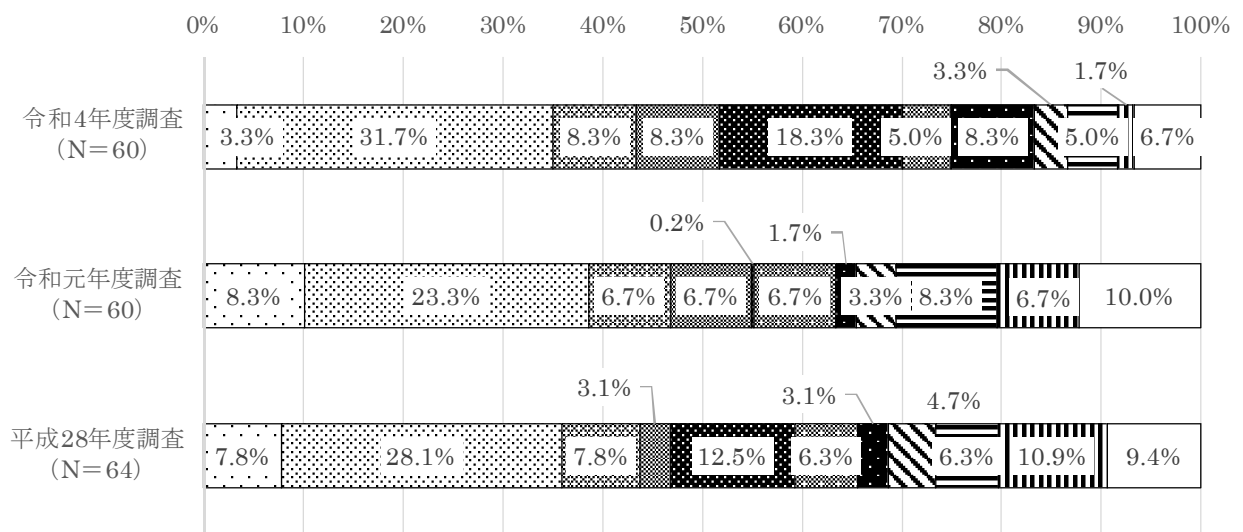
単位：%

項目	平成28年度調査 (N=64)	令和元年度調査 (N=60)	令和4年度調査 (N=60)
地域コミュニティ	14.1	13.3	23.3
男女共同参画	9.4	16.7	11.7
地域防犯	7.8	0.0	6.7
交通安全	9.4	0.0	6.7
環境共生	4.7	8.3	13.3
環境保全	17.2	18.3	23.3
資源循環	1.6	3.3	8.3
健康づくり	15.6	13.3	15.0
地域福祉	23.4	23.3	18.3
児童福祉・子育て支援	25.0	16.7	26.7
障害者支援	21.9	23.3	20.0
高齢者支援	15.6	21.7	8.3
農水産業	3.1	5.0	3.3
商工業	7.8	6.7	0.0
観光	9.4	3.3	11.7
雇用・労働	4.7	0.0	0.0
消費者対策	1.6	0.0	0.0
市街地整備	1.6	6.7	3.3
居住環境整備	1.6	1.7	5.0
自然環境整備	4.7	3.3	20.0
里山保全	1.6	11.7	5.0
景観整備	3.1	5.0	5.0
学校教育	9.4	10.0	16.7
生涯学習	20.3	13.3	13.3
スポーツ	3.1	3.3	11.7
青少年健全育成	23.4	6.7	25.0
芸術文化	18.8	15.0	15.0
消防・防災	6.3	6.7	8.3
国際交流・多文化共生	9.4	13.3	16.7
災害復興支援	3.1	6.7	6.7
まちづくり	17.2	25.0	30.0
人権擁護	1.6	5.0	3.3
平和推進	6.3	1.7	3.3
その他	7.8	5.0	16.7
無回答	1.6	0.0	0.0

**問 8 あなたの団体の財政についてお聞きします。
年間活動費はいくら程度ですか。**

「1～10万円未満」の割合が31.7%と最も高く、次いで「30～100万円未満」の割合が18.3%となっています。

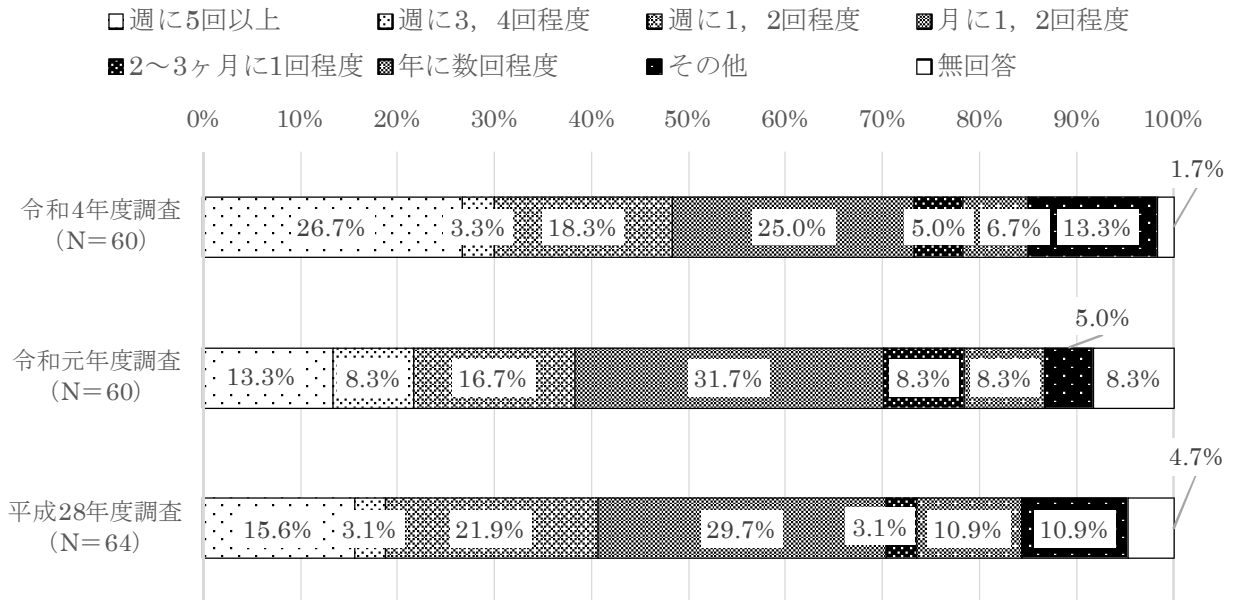
- 0円
- ▨ 1～10万円未満
- ▩ 10～20万円未満
- ▧ 20～30万円未満
- ▦ 30～100万円未満
- ▥ 100～300万円未満
- ▤ 300～600万円未満
- ▣ 600～1000万円未満
- ▢ 1000～1億円未満
- 1億円以上
- 無回答



2. 団体の活動について

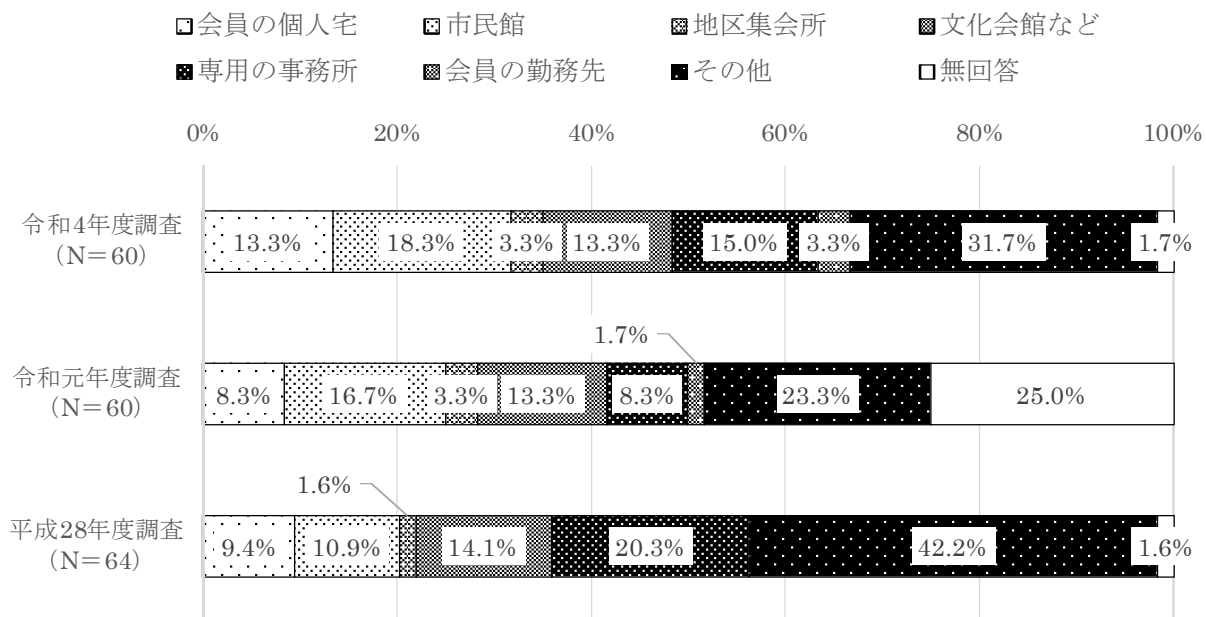
問 9 あなたの団体は、どれくらいの頻度で活動していますか。(〇は1つ)

「週に5回以上」の割合が26.7%と最も高く、次いで「月に1、2回程度」の割合が25.0%となっています。



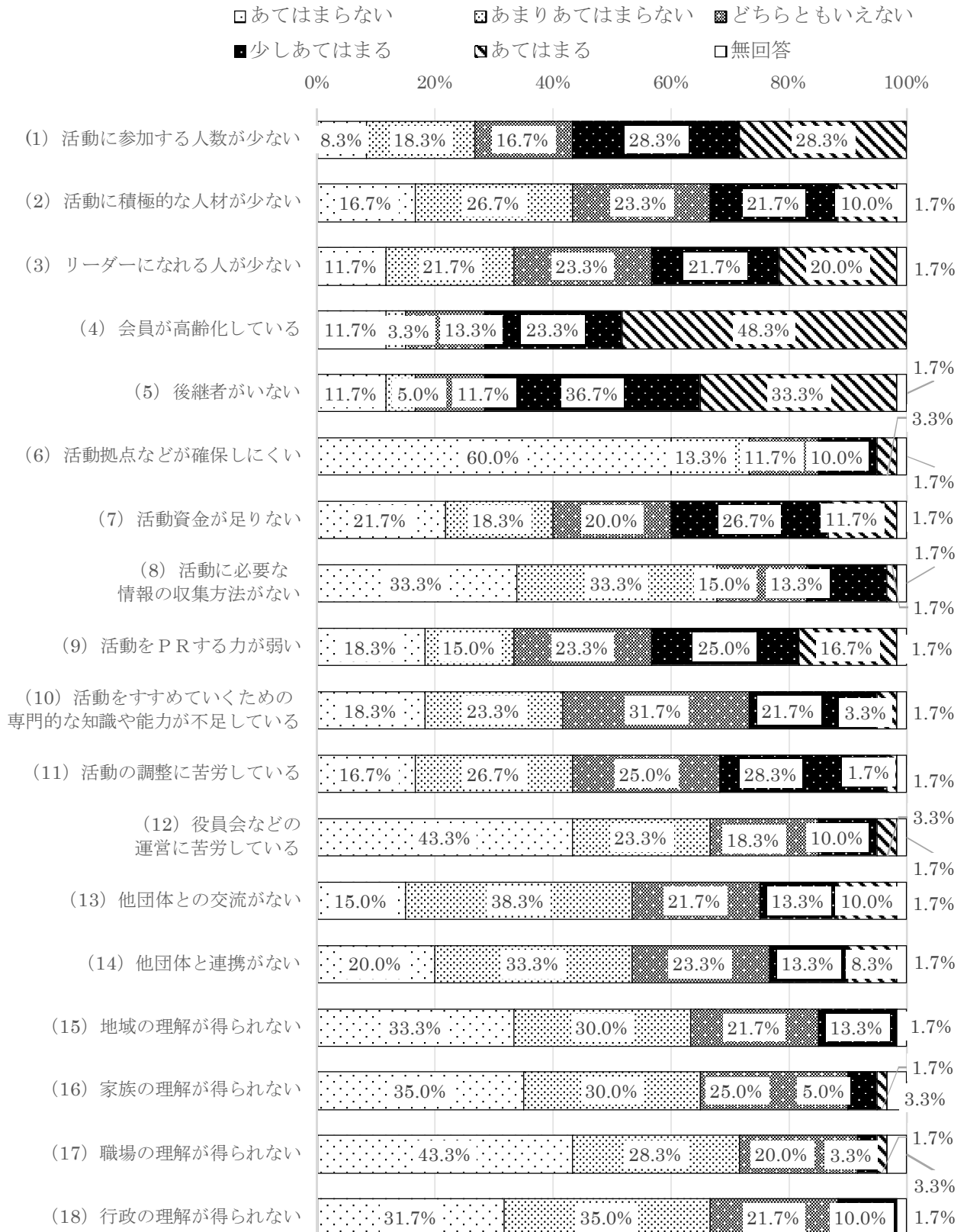
問 10 事務所、会場場所、活動拠点として主にどこを利用していますか。(〇は1つ)

「市民館」の割合が18.3%と最も高く、次いで「専用の事務所」の割合が15.0%となっています。



**問 12 あなたの団体が活動を進めていく上で、次の問題についてどれくらいあてはまりますか。
(項目ごとに○は1つ)**

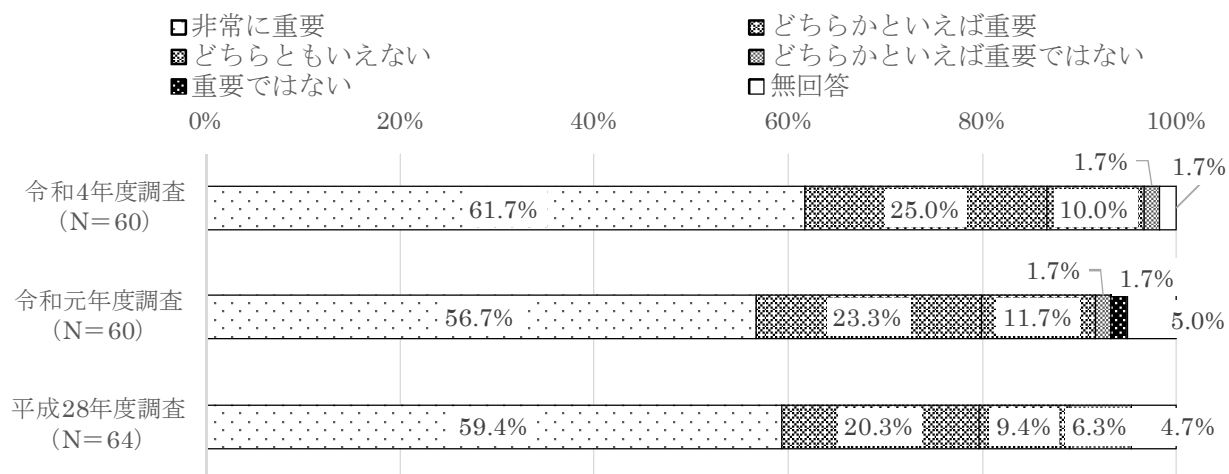
「あてはまる」「少し当てはまる」を合わせた“あてはまる”の割合は、「(4) 会員が高齢化している」で 71.6%と最も高く、次いで「(5) 後継者がいない」で 70.0%となっています。



3. 市との連携・協力について

問 13 あなたの団体にとって市との連携・協力は重要ですか。(〇は1つ)

「非常に重要」「どちらかといえば重要」を合わせた“重要”の割合が 86.7%、「どちらかと言えば重要ではない」「重要ではない」を合わせた“重要ではない”の割合が 1.7%となっています。



問 14 あなたの団体が活動するにあたって、どんなことを市に協力してほしいですか。(〇はいくつでも)

「場所や物品、機材等の提供」の割合が 46.7%と最も高く、次いで「市の広報紙を使った団体の情報提供」の割合が 40.0%となっています。

単位：%

項目	平成28年度調査 (N=64)	令和元年度調査 (N=60)	令和4年度調査 (N=60)
補助金による援助	53.1	46.7	35.0
場所や物品、機材等の提供	31.3	31.7	46.7
市の広報紙を使った団体の情報提供	43.8	31.7	40.0
他の団体の紹介、関係の調整など	7.8	6.7	8.3
リーダーの養成、技術養成の研修	12.5	15.0	20.0
市の施設の利用料割引や優先提供	17.2	23.3	36.7
市の情報の開示、共有化	12.5	11.7	15.0
市の基金による支援	14.1	11.7	15.0
市の事業の共同企画	21.9	11.7	23.3
市の事業の委託	6.3	20.0	16.7
市から県・国や企業等への働きかけ	9.4	10.0	16.7
表彰、顕彰	4.7	1.7	1.7
組織の立ち上げ、運営方法に関する支援	4.7	3.3	6.7
市職員の活動への参加	21.9	16.7	23.3
その他	3.1	10.0	11.7
無回答	10.9	10.0	10.0

**問 15 市と市民活動団体の連携によるまちづくり施策として、知っているものをお答えください。
(〇はいくつでも)**

「田原市民活動支援センター」の割合が 60.0%で最も高く、次いで「どすごいネット
(東三河市民活動情報サイト)」の割合が 51.7%となっています。

単位：%

項目	平成28年度調査 (N=64)	令和元年度調査 (N=60)	令和4年度調査 (N=60)
市民協働まちづくり条例	34.4	35.0	50.0
市民協働まちづくり基金	21.9	18.3	33.3
市民協働まちづくり会議	39.1	40.0	41.7
市民協働のまちづくり方針	25.0	20.0	30.0
田原市民活動支援センター	43.8	46.7	60.0
市民協働まちづくり事業補助金	37.5	38.3	48.3
パブリックコメント制度	34.4	41.7	43.3
各種審議会委員の市民公募	20.3	26.7	30.0
市民の声メール（市ホームページ）	25.0	21.7	33.3
市民提案箱	23.4	33.3	28.3
市民提案型委託事業	28.1	23.3	31.7
社会貢献活動災害補償制度	15.6	13.3	18.3
どすごいネット（東三河市民活動情報サイト）	42.2	46.7	51.7
その他	4.7	5.0	3.3
無回答	17.2	20.0	10.0

問 16 現在、あなたの団体と市とはどのような関係にありますか。(〇はいくつでも)

「市の施設を利用して活動を行っている」の割合が 55.0%と最も高く、次いで「市の関係部署と日常的に情報交換等の話し合いを行っている」の割合が 33.3%となっています。

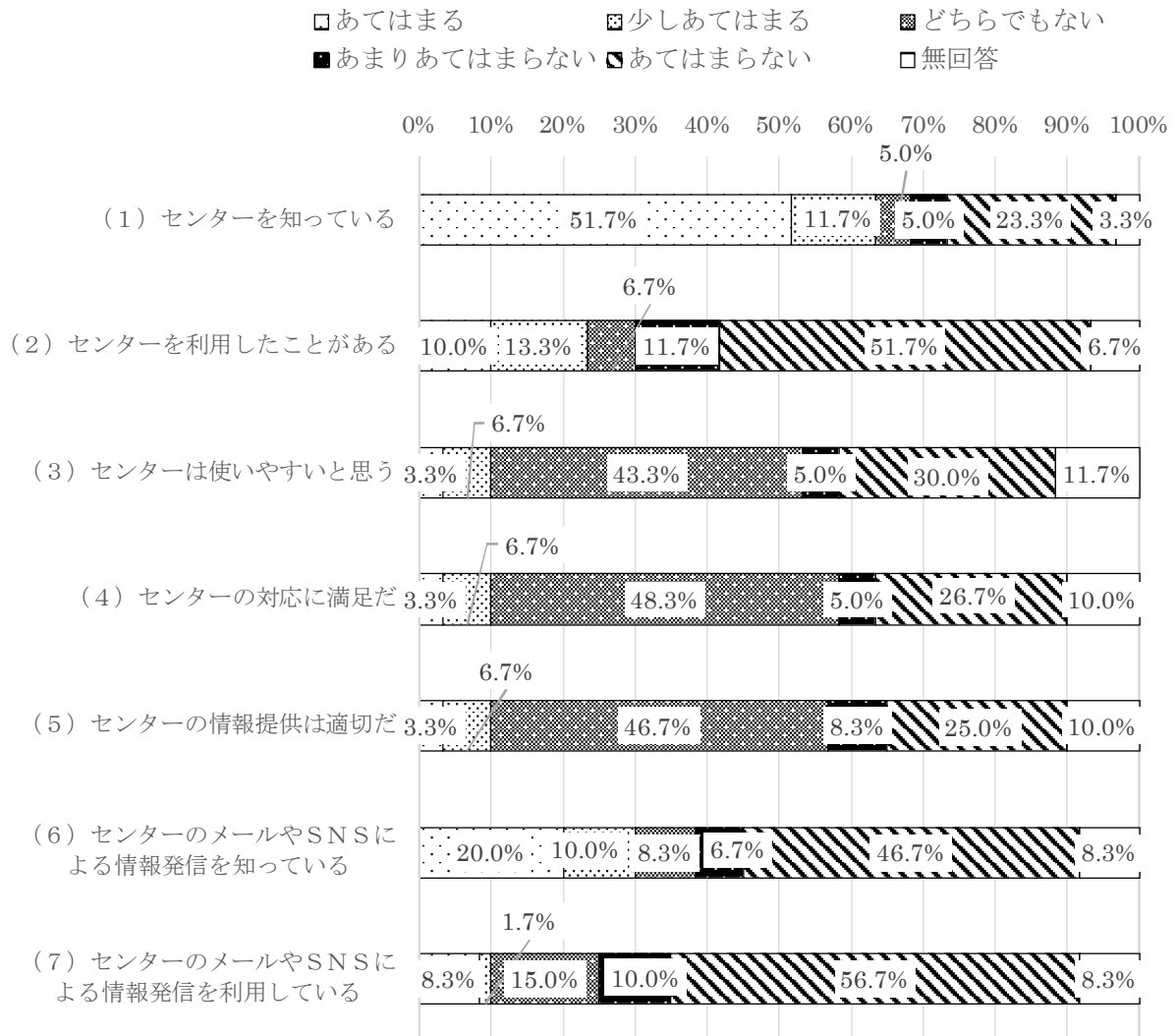
単位：%

項目	平成28年度調査 (N=64)	令和元年度調査 (N=60)	令和4年度調査 (N=60)
市から補助金を受けている	35.9	20.0	20.0
市から業務委託を受けている	23.4	23.3	23.3
市が主催する審議会、委員会、研究会に委員を出している	28.1	25.0	30.0
市の関係部署と日常的に情報交換等の話し合いを行っている	32.8	28.3	33.3
市に対して要望や陳情を行っている	23.4	11.7	11.7
市に対して具体的な施策提案をしている	17.2	10.0	13.3
事務局が市の関係部署、関係施設内にある	25.0	20.0	16.7
市の施設を利用して活動を行っている	57.8	61.7	55.0
市とは特に関係を持っていない	7.8	10.0	11.7
無回答	4.7	8.3	6.7

問 17 田原市民活動支援センターについて、あてはまるものに○をつけてください。

「あてはまる」「少しあてはまる」を合わせた“あてはまる”の割合は、「(1) センターを知っている」で63.4%と最も高く、次いで「(6) センターのメールやSNSによる情報発信を知っている」で30.0%となっています。

「あてはまらない」「あまりあてはまらない」を合わせた“あてはまらない”の割合は、「(7) センターのメールやSNSによる情報発信を利用している」で66.7%と最も高く、次いで「(2) センターを利用したことがある」で63.4%となっています。



問 18 田原市民活動支援センターに欲しい、もしくは必要だと思う機能があれば、ご記入ください。
(自由記述)

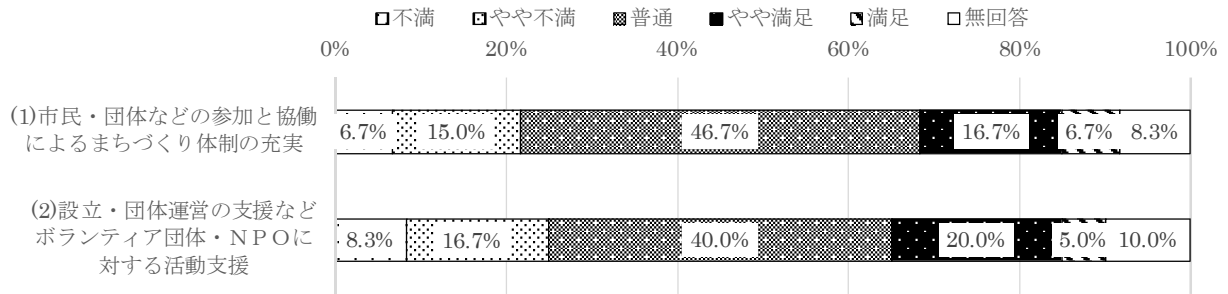
- ・ 場所的に渥美地域の活動場所から遠いため利用することが難しい。時々チラシを置かせてもらっている。が、これは文化会館で間に合う。
- ・ 人の常駐と情報の一元化。
- ・ 市民活動団体登録制度、市職員の配置または庁舎内への移転。
- ・ 市民活動団体の登録制度。
- ・ 住所の貸し出し、郵便物受取りポスト、備品置き場ロッカー。
- ・ 団体運営するために必要なスキルを学ぶ研修（ファシリテーター、資金調達、広報、会計、成果評価方法）。
- ・ アウトリーチでの支援。
- ・ 関係団体に対し、研修会や連絡会議の開催。
- ・ 裁断機、紙折り機、A3 対応ラミネーター、カラーコピー機（コンビニにあるような）。
- ・ 利用したことがないため、よくわからない。
- ・ まず存在を理解したい。
- ・ センターについて詳しくは知らないなので、具体的に書けません。
- ・ センターの名前を聞いたことがある程度で、中身を全く知りません。

**問 19 市が行っている次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。
 (各問に対し「現在の評価」、「今後の重要性」に○を1つずつ)**

現在の評価については、「②設立・団体運営の支援などボランティア団体・NPOに対する活動支援」で「不満」「やや不満」を合わせた“不満”の割合が高くなっています。

今後の重要性については、「①市民・団体などの参加と協働によるまちづくり体制の充実」で、「重要」「非常に重要」を合わせた“重要”の割合が高くなっています。

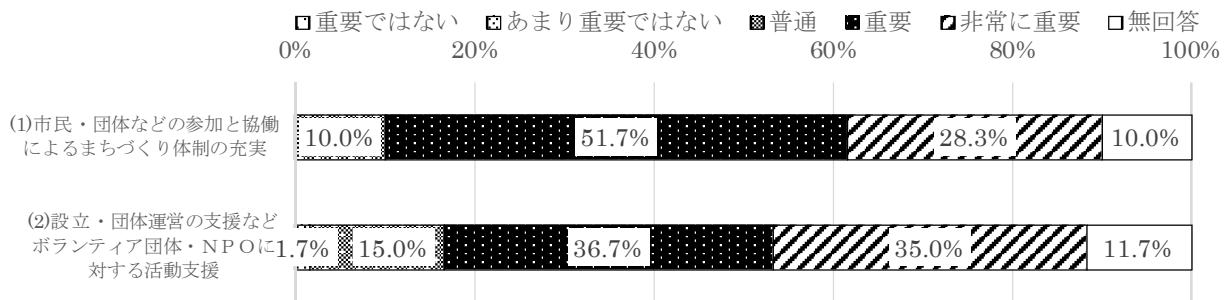
【現在の評価】



【経年変化—現在の評価】

状況	調査年度	N	評価					
			不満	やや不満	普通	やや満足	満足	無回答
(1)市民・団体などの参加と協働によるまちづくり体制の充実	R4	60	6.7	15.0	46.7	16.7	6.7	8.3
	R1	60	5.0	16.7	48.3	10.0	6.7	13.3
	H28	64	4.7	21.9	46.9	14.1	3.1	9.4
(2)設立・団体運営の支援などボランティア団体・NPOに対する活動支援	R4	60	8.3	16.7	40.0	20.0	5.0	10.0
	R1	60	3.3	15.0	50.0	8.3	6.7	16.7
	H28	64	3.1	17.2	50.0	9.4	6.3	14.1

【今後の重要性】



【経年変化—今後の重要性】

状況	調査年度	N	評価					
			重要ではない	あまり重要ではない	普通	重要	非常に重要	無回答
(1)市民・団体などの参加と協働によるまちづくり体制の充実	R4	60	0.0	0.0	10.0	51.7	28.3	10.0
	R1	60	0.0	1.7	13.3	46.7	25.0	13.3
	H28	64	0.0	0.0	15.6	45.3	25.0	14.1
(2)設立・団体運営の支援などボランティア団体・NPOに対する活動支援	R4	60	0.0	1.7	15.0	36.7	35.0	11.7
	R1	60	0.0	0.0	15.0	48.3	21.7	15.0
	H28	64	0.0	0.0	23.4	39.1	23.4	14.1

問 20 あなたの団体・グループは、市と連携・協力してどのようなことをしたいですか。自由なご意見をお聞かせください。

- ・コロナの為、イベント等中止になる事が多いので、和太鼓演奏する事がなくなってしまったので、演奏する場がほしいです。
- ・現状維持でやっていきたい。
- ・花壇の世話で時々感謝状を頂きます。それに商品券を付けて頂いて嬉しいのですが、作業の時にお茶代に使わせてもらっています。ただ賞状はもらってもものちのち困っています。飾るところもないし、誰もいないと言うし。それを一考して頂きたいと思います。申し訳ありません。頂いておきながら失礼なことを書いてしまいました。この賞状が励みになってもいいので、嬉しいのも本当です。すみません。
- ・子育て支援課と協力して保育児を持つ保護者に幼児安全法を普及していきたい。
- ・赤十字の救急法をもっと普及できる場を提供してほしい（消防署との調整が必要）。
- ・高齢福祉課と協力して赤十字の健康生活支援講習をもっと普及したい。
- ・更生保護女性会と協力して「子供食堂」を立ち上げたいと思っている。
- ・国際理解授業。
- ・現在行っている活動のうち、市と連携したいものがあります。田原市内の小中学校の学びの体験受け入れ等。自給的な農業を営む農家への支援。
- ・行方不明者捜索に際し、警察からは色々な情報が入るが市からの協力はまったくないに等しい。（特に痴呆老人）
- ・校区内児童の安全、健全育成。
- ・一人でも多くの公務員（行政職員、教員）が市民活動として”まちづくり”に入ってきて主体的に現場を考え、現状に関わっていくことをともに（共働）活動していかれると実際行政との協議のあり方がますます生きたものになると思う。
- ・市内には衣笠自然歩道、蔵王山登山道等、自然の野山を歩くコースが多くあります。「健康ウォーキング」として皆さんに楽しんでほしいです。体験会など企画あればお手伝いできます。
- ・新しい団体が立ち上げ段階までは市も協力するが、その後自立を目指して進んでいくことができるような導きが大切。
- ・家庭で絵本（本）を読み聞かせ、子供の心の栄養安定を計ると思い活動していますが、広げるための援助をしてほしい。田原市の子供たちのために。小さい子（乳児～幼児）には支援がありますが、その上の子供のがないように思う。
- ・田原市におもちゃ図書館があることをお知らせしたい。
- ・特にありません。昨年度で活動を終了しており、その活動に際しては市から様々な支援をしていただいた。感謝いたします。
- ・安心安全なまちづくり。
- ・コミュニティ活動の充実。
- ・子供たちの健全な育成。

- ・高齢福祉課、健康課と連携して田原市の健康づくりや体力づくりに幅広く活動していきたい。本年度、ご当地体操を含む体操のDVDを高齢福祉課の提案で作成する予定なので、普及活用していただくために広報をお願いしたい。
- ・フルマラソン大会を企画した際には道路封鎖などの協力をしてもらいたい。
- ・サンテパークの公園周りの側溝の蓋をしてほしい。
- ・地域にかたよらず史跡の保存に力を注ぎ、郷土の歴史文化を継承し、その良さを次世代に伝えていく。
- ・子供たちにもっと歯の大切さ、歯磨きの重要さを知ってもらいたい。
- ・市民が舞台芸術と出会う場や、ワークショップなどの表現活動に参加する機会をつくる。
- ・市内の貴重な自然を認知、共有、保全をしていきたい。
市内の小中学校に、地域の自然を体感する学習を提供したい。
- ・現在行っている海岸清掃の事業を継続して実施。
- ・地域の大人として、子供たちの教育や育成。子供たちが戻って来たいと思えるようなまちづくり。地域のコミュニティ作り。関係人口の増加。地域住民が楽しんで暮らせるまちづくり。
- ・校区・自治会と連携して事業を進める場合に、市も積極的に校区・自治会等に連携するよう働きかけてほしい。
- ・田原市の無形民俗文化財に指定された田原凧。
大空の文化を継承すためにも、市の積極的な参加を望む。
田原けんか凧合戦には、市役所チームが参加していたが、今は参加なし。大空の文化を守るためにも、復活してほしい。
- ・これまでサークルに来る人に対して手話技能の向上を目指す活動が中心でした。しかし会員である図書館司書が絵本の手話語りを行ったり、他の会員がある小学校の1年、2年生に「手話遊び」「手話であいさつ」などの活動を行うと、子どもたちの笑顔の反応が素晴らしかった。こういうことが市と連携できたらと思う。
- ・SDGsの概念が広がり、生態系をよりよく守っていくことが重要となっている。特に、3方を海で囲まれた半島のよさを活かした海洋政策～海の体験活動をすすめたい。
学校教育においても、文科省がすすめている「海洋教育」において全国をリードするような教育活動ができるように学習活動を考えたい。
- ・まちづくりを「たはランティア」の生徒たちが、市の関係部署の大人と協働して取り組んでいきたい。
- ・市からの各種委託事業をしている。
- ・スポーツギネス大会の主催は市だが、主になって行っている。

4. 市政に対するご意見

- ・参加している親が高齢化して来たので、一緒に活動して下さるボランティア等が必要になってきました。
- ・バイオマス発電には海外から原料を輸入するなど SDGs の点から問題が多いと思います。
- ・「救急法」「幼児安全法」「健康生活支援講習」の指導員がいるのもっと活動の場を広げ子育て支援や高齢者支援を行っていきたいと思っている。また「子供食堂」の取り組みも徐々に行っていくつもりでいる。そのためには市の協力が欠かせないと思っているので市側の考えも聞きたい。
- ・田原にもいろんな国の人たちが住んでいます。町でも職場でも触れ合う機会が増え、多様な言語、文化的背景をもつ人たちと偏見なく付きあっていくことが必須です。相手を知る一つのカギである言語、多言語に小さい頃から触れることで多様性に関心した心もはぐくまれていくと思います。大人も多言語に楽しく接することで、人間本来のもつ、つながる喜びと楽しさを感じ、ことばは難しいという先入観がなくなっていくと思います。
- ・個人情報保護法は守秘義務として出してもらえず一刻を争うときの邪魔になる（手遅れの場合誰のための守秘かと疑問！）。
- ・市民活動の特徴でもある「先駆性」「専門性」のある活動団体に対して（市ではできにくいこと）ぜひ支援をしていく方向であってほしい。今、超高齢化に対応する団体、アレルギーの人（子供）を対象とする活動、障がい者への支援、芸術文化への支援等。これらを（重要）大切に考えていくことでひいては地域の活性化を住民一人一人のしあわせにつながっていき、田原市全体が魅力あるまちとなっていくと考えます。
- ・高齢化や後継者不足などの理由で今後の活動が困難になりつつありますが、現状で出来ることをしていこうと努力しております。スマホや音声家電等で点字の必要性も薄れてきていますが、点字という文化を残したいと思い多くの人にも理解してもらいたいと思っていますが、方法を実行する力がありません。こんな小さな団体にも希望が持てるようなシステム作りを希望します。
- ・大池周回コースにラバーシートが敷いてあるが、傷み放題で利用する人（ジョギング・ウォーキングなど）にとって非常に危険を感じている（事故がおきてしまわないか）ラバーシート張替えを市に要望しているが、県の予算にのらないとかの理由でダメとのこと。傷んでいる部分だけでもいいので市独自で張替えをしてほしい。
- ・新規入会者が少ない現状です。後継者の育成を行いたいと思います。
- ・最近大久保佳代子さんたちがTV（NHK）で田原紹介など、親善大使として活躍されているのは好評であり反響も大きい。一つの団体の活動が多額の予算をとり長く続いてもマンネリ化していないか。
- ・色々な校区の方が会員になってくれて本の大切さをわかり、学校に朝の読み聞かせボランティアの輪が広がることのできたらと思う。
- ・団体としては現在の活動を維持していくことが精一杯の現状ですが、渥美地区の方での開催や、各団体への出張などの要望もあり、それに答えることができず、心苦しく思っています。

- ・市の補助金をいただいて活動しました。大変助かりありがたかったですが、市からの補助金をいただくと他の補助金を申請することができません。演劇などの文化活動では多額の資金を必要とします。資金繰りに苦労しました。補助金の増額もしくは市の補助金を受けながら市以上の補助金を受ける事を認めていただきたい。検討して頂けるとありがたい。
- ・高齢者が多くなっていく中で、健康寿命を伸ばすための体操教室を増やすようにして下さるとありがたい。健康講座の講師や健康づくりに関する様々な取り組みに団体を活用していただけるとありがたい。
- ・川の土手と川の中を定期的に草刈しています。子どもが水辺で遊び生物観察を行います。土手から下に降りる階段が欲しいです。土手は人間の手ではどうすることもできない暖竹が集中しているので行政で草刈りと川の中の暖竹を除去していただきたいです（年2回くらい）。
- ・市民まちづくりの推進。
- ・明るい未来のために全国のどの市町村よりも教育に力を入れ、人材、予算をまわしていく政治を望む。
- ・「連携・協力」という概念が、20年前（田原市になった頃）から大きく変化、異なってきたと思う。それを「協働」というスタンス、言葉に変化させていると思うが、その時代背景を十分考慮して進めていかねば先を危まってしまうと思う。変化に柔軟な政策リードが必要だと思う。
- ・市役所の各部署のつながりが密になると、様々な活動を計画する際も、連携がとりやすくなると思う。子どもの成長は早いので、今必要と感じたことを、すぐに実行していくようにしたい。
- ・市内の貴重な自然を、住民（特に子供たち）に知ってもらい、次代に継承していく取り組みを続けていくので、行政も手伝ってくれると有難い。
- ・海岸清掃など色々な団体が個々に行っており、それぞれが成果を出しているが年に一度程度、市の主催で全市民向けに行ってみてはと考える。それにより市民に海岸（海）の状況を知ってもらう事は有用。半島の市ならではの取り組みとなるのでは。
- ・今後も、会員への参加を継続的に行っていただきたい。
- ・情報のオープンリソース化。地域のためにこれから収益化を目指すスタートアップの非営利団体に対する支援の打ち切り、制限の緩和。団体が格安、もしくは無償で利用でき、人が交流しやすい場所（駅前周辺）の提供。団体が教育機関や他の組織、団体と活動する際に円滑に進められるような協定。
- ・市が各種団体を活用するのは、「経費が安く済むではなく、その団体が知識・ノウハウを持っているから活用する」という考えで対応して欲しい。
- ・田原市民まつりについて
今年も参加するが、テント始め設営を全て業者に委託し、高額なイベントになっている。もっと手作りの市民まつりにして欲しい。
テントを持っている組織もある、無くて各地の市民館にあり、借りられる。何よりも出店する組織が、人が自分たちで最低限テントは準備する。準備をする事で、人が育て、組織が育つと思います。費用は半分になり、組織が育ちます。一考ください。

- ・現在「手話言語条例」の制定が各地で進められています。34 都道府県／17 区／320 市／81 町／3 村(2022 年 7 月 1 日現在、全日本ろうあ連盟マップによる) 本市においては平成 3 年 6 月に市議会議員が質問していました。早急に条例の制定をお願いしたいと思いません。
- ・三方を海に囲まれた渥美半島は昔から海の恵みをもたらしてきた。その海は数年前から砂の供給が少なくなっている。観光資源ともなっている渥美半島の海浜の復旧は緊急要件である。また、三河湾国定公園に属する西の浜エリアを公園化し、観光を充実させていくことが肝要である。
- ・愛知県の海の玄関に位置することから考えれば海のすばらしさを伝えるために愛知県とタイアップして「水族館エリアを含めた体験館」を建設してほしい。
- ・市民活動団体との協働事業が増えると良いなと思っています。市民活動をしている方たちは想いがあるので市の施策の推進には力を発揮してくれると思っています。
- ・子供たちが意欲的にまちづくりに取り組んだり、田原市の将来にワクワクしたりできる計画を学校とともに推進して行ってほしい。
- ・スポーツの田原市を構築して、市民の誰もがスポーツを楽しむことができ、スポーツをとおして、活力があり、誰もが住みたいと思う田原市になる事を望みます。

Ⅶ 中学生アンケート調査

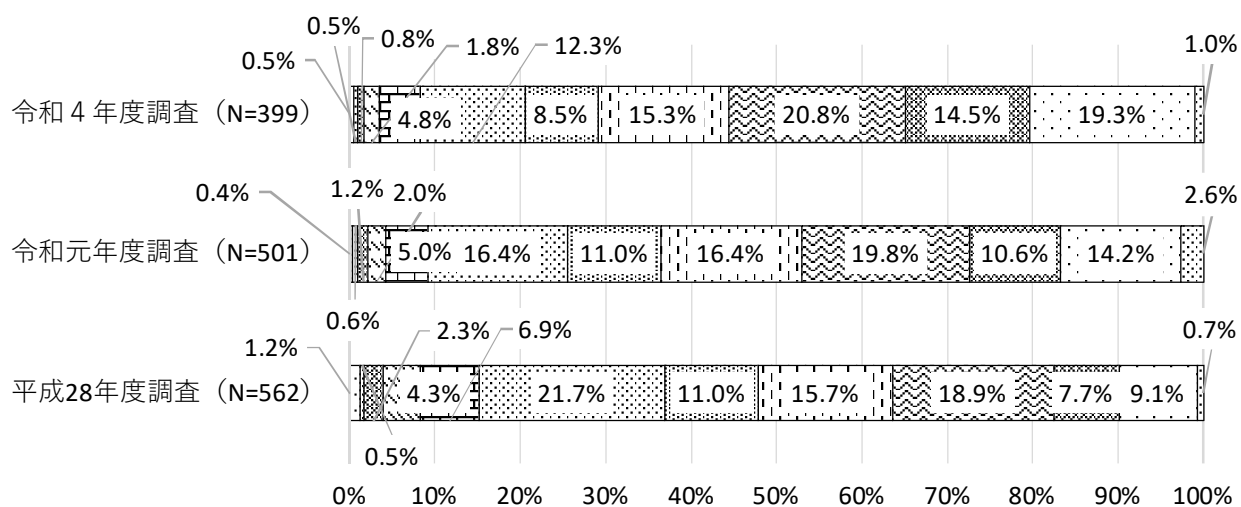
VII 中学生

1. あなたにとっての『幸せ』について

① 今現在、あなたの『幸せ』の程度を0～10点で評価すると何点ですか？

概ね「幸せ（7点以上）」と思っている人は、69.9%となっています。平均点は7.4点で、令和元年度調査（7.0点）より0.4ポイント上昇しました。

□ 0点 □ 1点 □ 2点 □ 3点 □ 4点 □ 5点 □ 6点 □ 7点 □ 8点 □ 9点 □ 10点 □ 無回答



単位：%

	全体	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
令和4年度調査	399	0.5	0.5	0.8	1.8	4.8	12.3	8.5	15.3	20.8	14.5	19.3	1.0
令和元年度調査	501	0.4	0.6	1.2	2.0	5.0	16.4	11.0	16.4	19.8	10.6	14.2	2.6
平成28年度調査	562	1.2	0.5	2.3	4.3	6.9	21.7	11.0	15.7	18.9	7.7	9.1	0.7

② あなた自身が『幸せ』にいるために、重要だと思うことは何ですか？(○を3つまで)

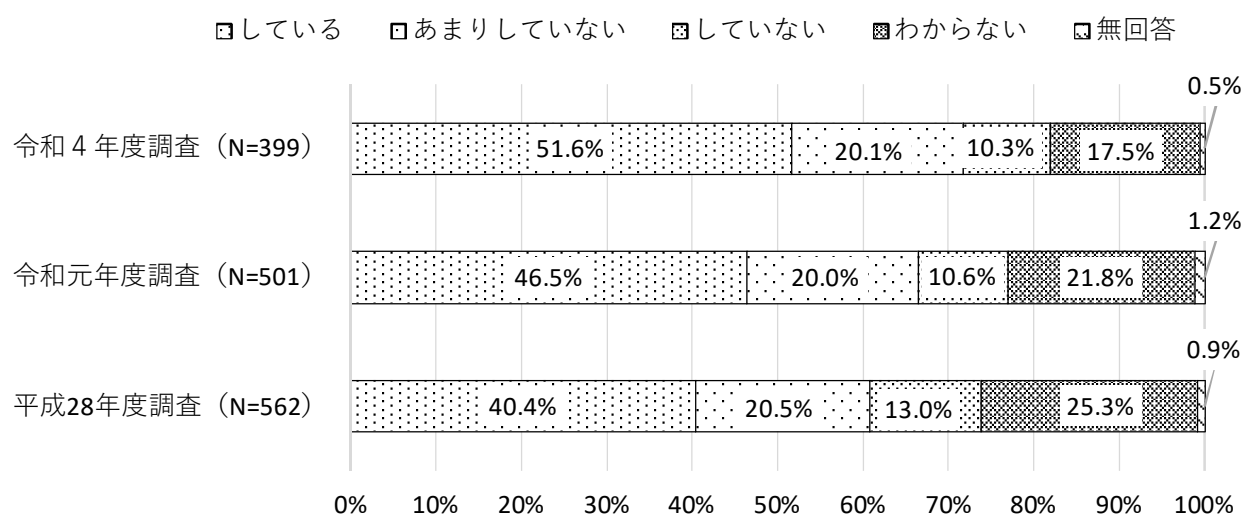
「友達と仲が良いこと」の割合が 60.2%と最も高く、次いで「家族の仲が良いこと」の割合が 46.4%、「自由な時間があること」の割合が 40.9%となっています。

単位：%

項目	平成28年度調査 (N=562)	令和元年度調査 (N=501)	令和4年度調査 (N=399)
家族の仲が良いこと	37.9	40.9	46.4
友達と仲が良いこと	57.3	58.5	60.2
自分や家族が健康なこと	26.7	24.0	23.6
不自由なく普通に生活できること	23.7	27.5	24.1
学校生活が楽しいこと	20.8	23.4	18.5
部活動が楽しいこと	16.0	18.4	10.3
成績が良いこと	8.5	5.6	5.0
良い学習環境(学校・塾・自習)があること	3.6	4.8	3.0
家族・先生・友達から認められること	4.8	4.6	9.3
ボランティア活動など、地域の人とふれあいがあること	2.1	1.2	0.5
将来の夢があること。夢に向かって頑張ること	11.9	8.0	6.8
趣味や習い事など、好きなことができること	23.1	20.2	31.3
自由な時間があること	35.1	32.3	40.9
お小遣いなど、自由に使えるお金があること	11.6	8.4	8.8
その他	3.7	2.2	2.0
無回答	0.5	5.6	2.0

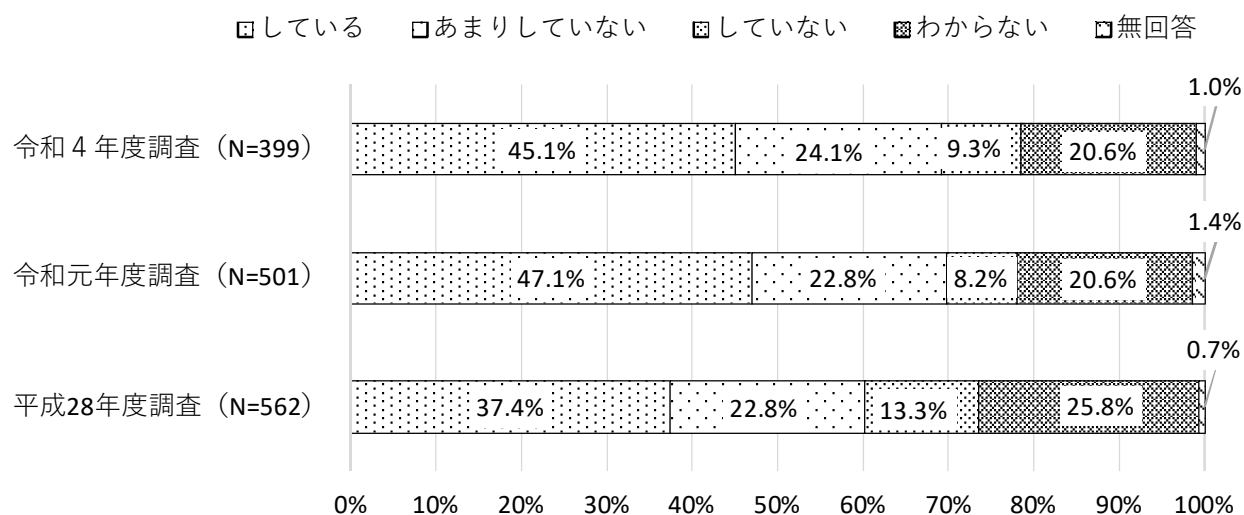
③ あなたは普段から自分が『幸せ』になるために何かしていますか？

「している」の割合は 51.6%、「あまりしていない」「していない」を合わせた“していない”の割合は 30.4%となっています。



④ あなたは普段の生活のなかで、自分の周りの人に『幸せ』を感じてもらうために何かしていますか？

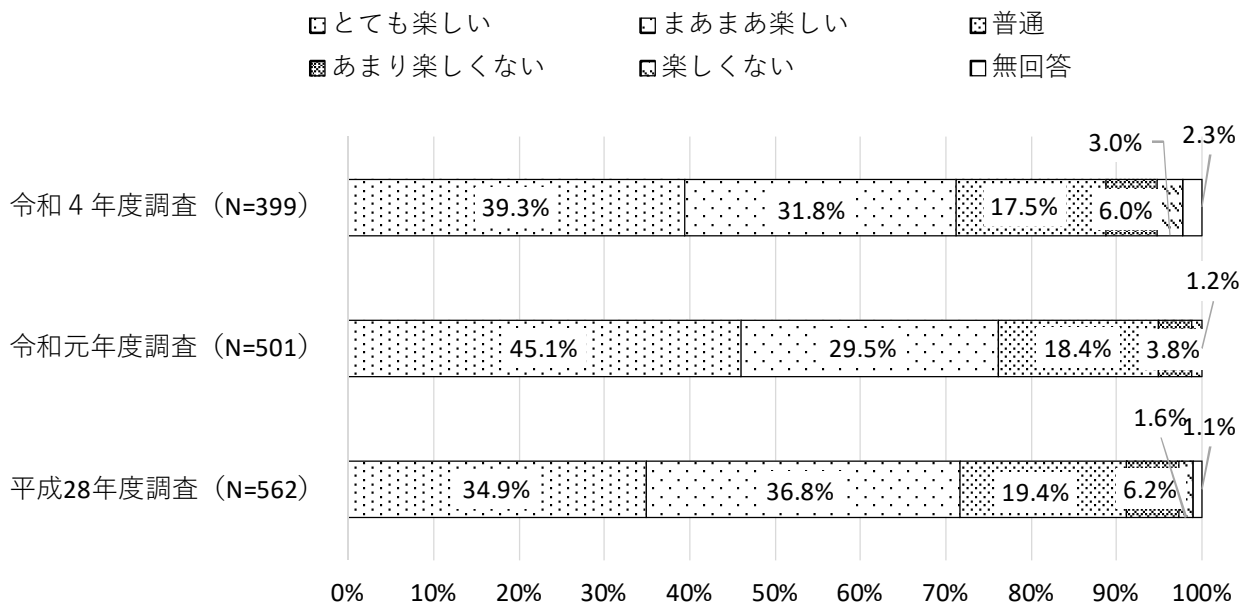
「している」の割合は 45.1%、「あまりしていない」「していない」を合わせた“していない”の割合は 33.4%となっています。



2. あなたの学校生活について

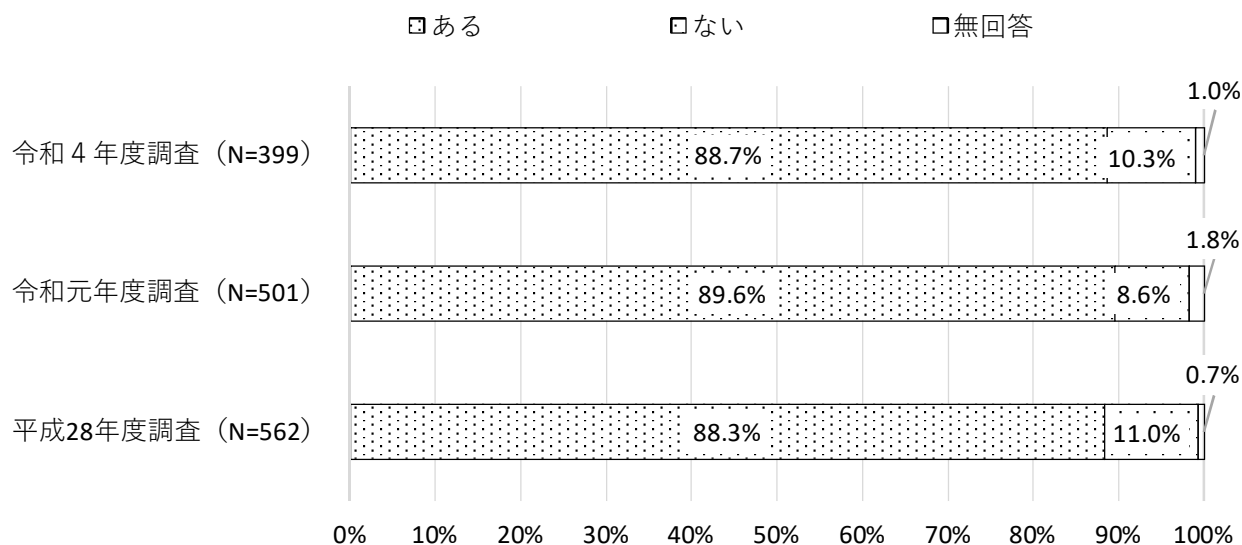
① あなたは学校生活や部活動が楽しいですか？

「とても楽しい」「まあまあ楽しい」を合わせた“楽しい”の割合は71.1%、「あまり楽しくない」「楽しくない」を合わせた“楽しくない”の割合は9.0%となっています。



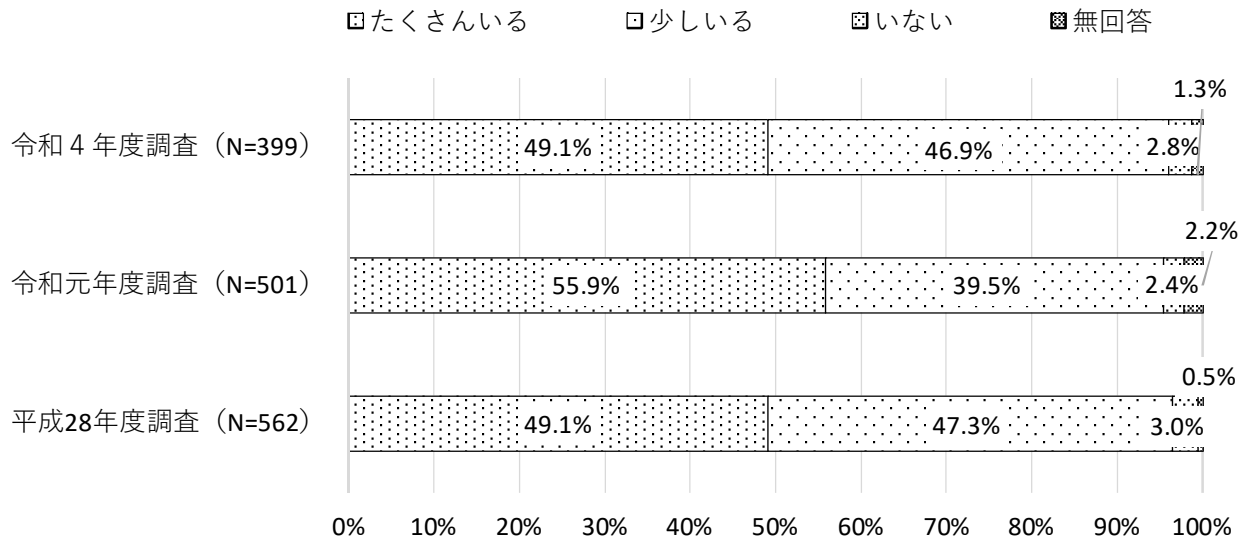
② あなたは普段の授業で「わかった」という実感がありますか？

「ある」の割合は88.7%、「ない」の割合は10.3%となっています。



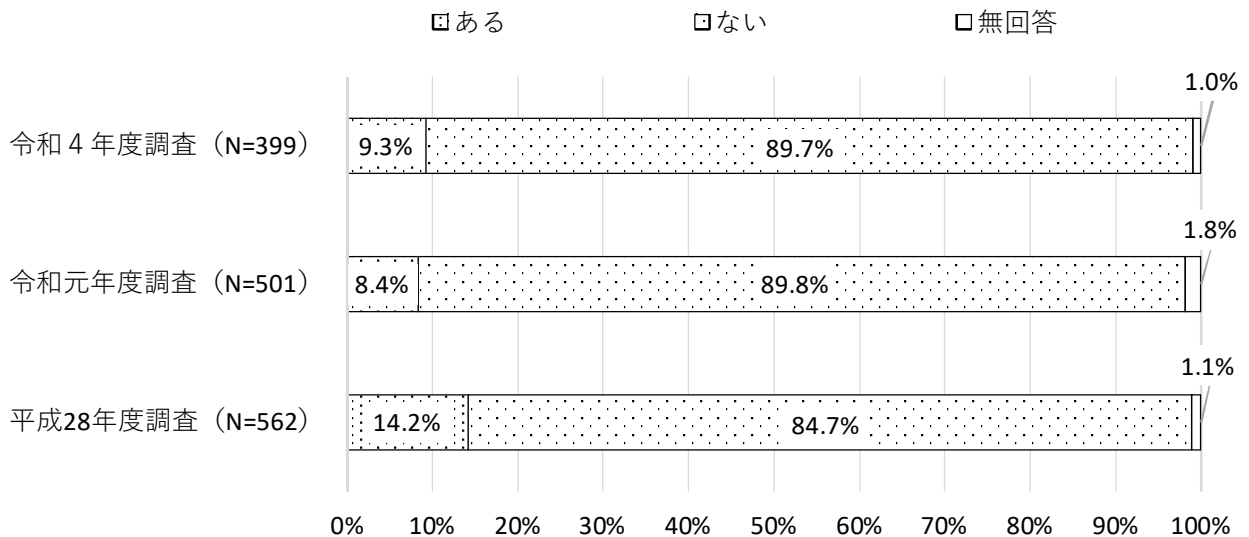
③ あなたには信頼できる友達がありますか？

「たくさんいる」の割合が49.1%と最も高く、次いで「少しいる」の割合が46.9%となっています。



④ あなたは過去1年間の間にいじめを受けて悩んだ経験がありますか？

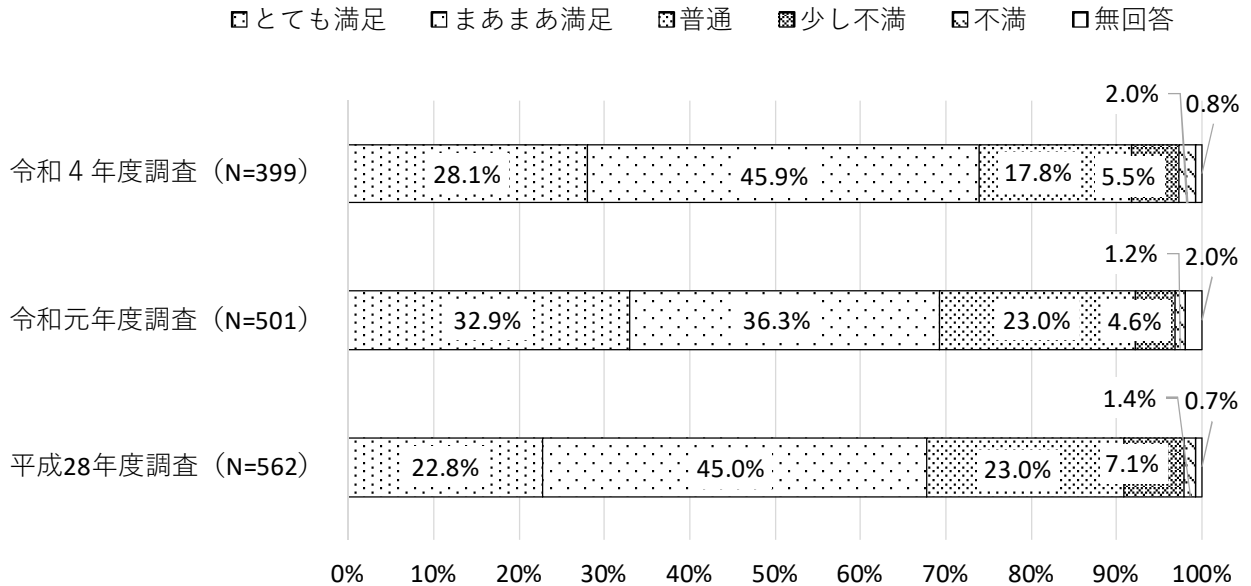
「ある」の割合が9.3%、「ない」の割合が89.7%となっています。



3. あなたの普段の生活・家族との関係について

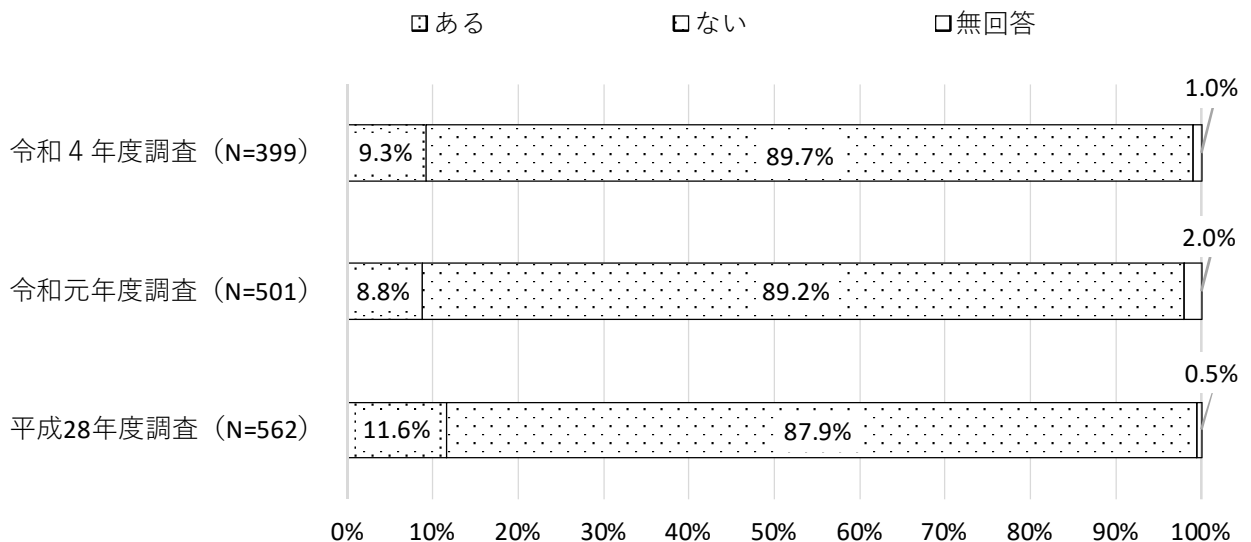
① あなたは普段の生活全般に満足していますか？

「とても満足」「まあまあ満足」を合わせた“満足”の割合は74.0%、「少し不満」「不満」を合わせた“不満”の割合は7.5%となっています。



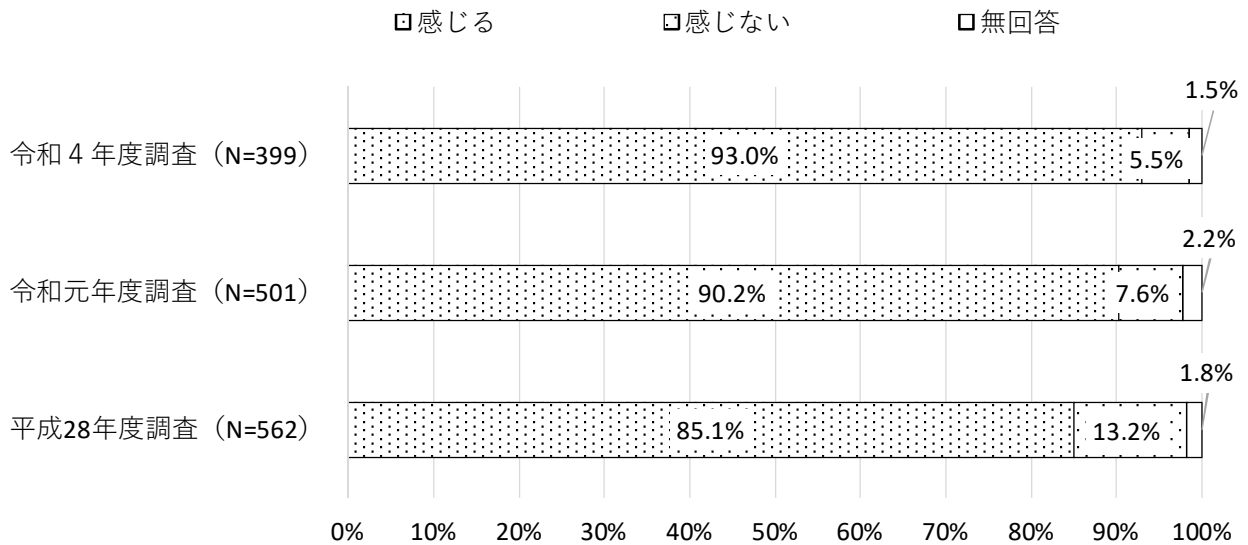
② あなたは家族との関係で悩みがありますか？

「ある」の割合が9.3%、「ない」の割合が89.7%となっています。



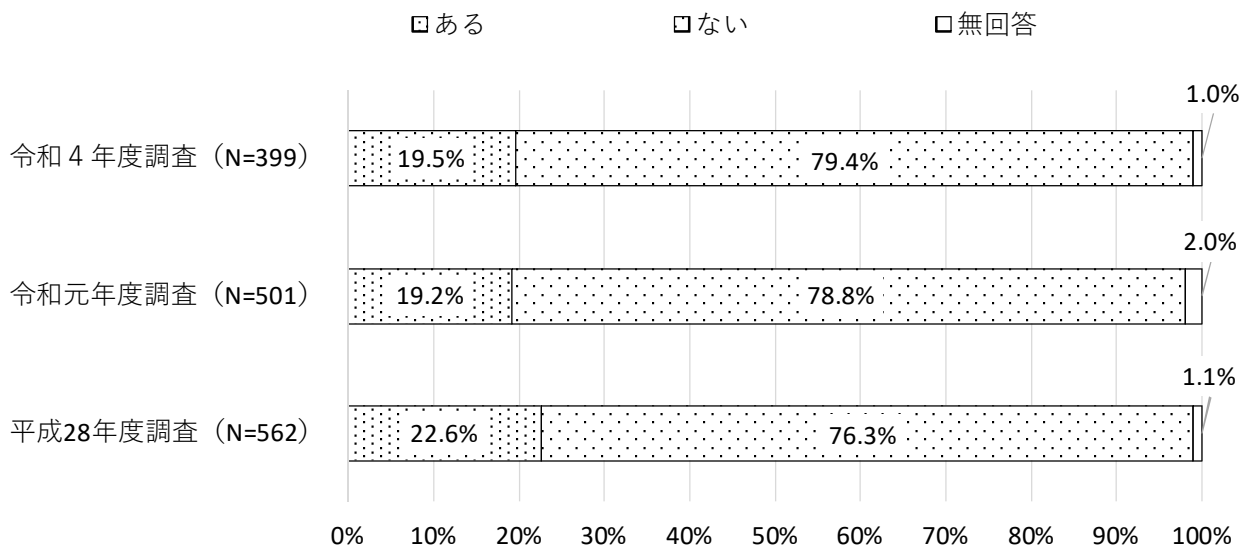
③ あなたは親や家族から大切にされていると感じていますか？

「感じる」の割合が93.0%、「感じない」の割合が5.5%となっています。



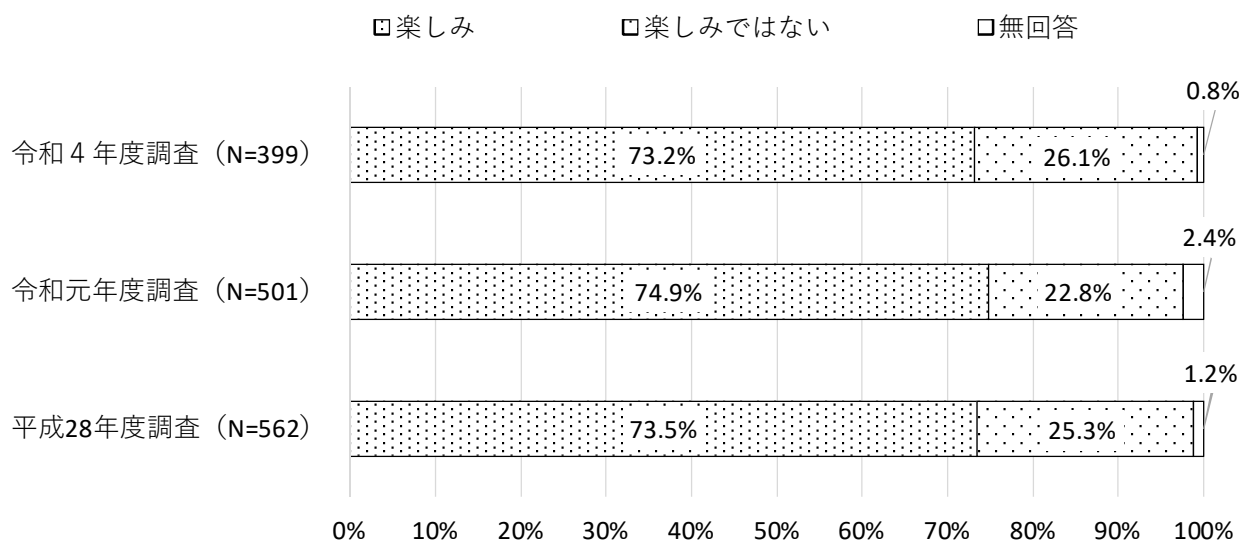
④ あなたは自分や家族のことで心配や不安がありますか？

「ある」の割合が19.5%、「ない」の割合が79.4%となっています。



⑤ あなたは自分の10年後の将来が楽しみですか？

「楽しみ」の割合が73.2%、「楽しみではない」の割合が26.1%となっています。



4. 自由意見(あなたにとっての幸せとは)

- ・ 楽しく過ごせること (51 件)
- ・ 友達といること (33 件)
- ・ 趣味 (32 件)
- ・ 自由 (26 件)
- ・ 不自由のない普通の生活 (26 件)
- ・ 家族がいること (25 件)
- ・ おいしいご飯を食べる事 (13 件)
- ・ 他人を認める・認められる・信頼される・する (8 件)
- ・ 健康 (7 件)
- ・ 生きていること (6 件)
- ・ 部活 (5 件)
- ・ 平和 (5 件)
- ・ お金 (2 件)
- ・ 勉強ができる (2 件)
- ・ その他 (44 件)

問9 田原市に欠けていると感じることは何ですか。(あてはまるものを3つに○)

1 海・山などの自然環境	2 街並みなどの都市景観
3 農業の発達	4 工業の発達
5 若い世代の生活の利便性	6 雇用機会の充実
7 各種公共施設の整備状況	8 交通の利便性
9 住宅確保のしやすさ	10 住環境の快適さ
11 余暇を楽しむ機会や場所	12 歴史や文化
13 学校などの教育環境	14 医療・福祉の充実
15 環境共生への取り組み	16 消防・防災の充実
17 子育てのしやすさ	18 人の温かさ
19 隣近所との付き合い	20 その他()

問10 あなたは、友人や知人などが訪ねてきたとき、田原市の魅力を案内してあげたいですか。(あてはまるものを3つに○)

1 伊良湖町・安曇ヶ原周辺	2 伊良湖海水浴場
3 一色の森・太平洋ロングビーチ	4 セントワァール・江なとき通り商店街
5 白谷海岸公園	6 仁崎海水浴場・キャンプ場
7 砂川下町	8 初立公園
9 赤羽根文化広場・文化の森	10 センテラルパークほら
11 鷹上山展望台・権現の森	12 鹿嶋公園
13 緑が丘公園	14 池ノ原公園・つばき公園
15 田原市博物館・田原城跡周辺	16 田原まつり会館
17 越七郎・黒河、龍のシヨブシ	18 吉崎貝塚・シェルマよしじ
19 葉の花館	20 道の駅伊良湖クリスタルリゾート
21 道の駅川原のつくはらうす	22 道の駅あかびら・コスモ・シオン・コスモパーク
23 風力発電	24 臨海工業地帯
25 岡吉館	26 親子交流館(すくくつ)
27 LaLoran(ララگران)	
28 その他()	

4 各分野での市の取り組みについて

問11 あなたは、現状の田原市の取り組みに対しての満足度を感じていますか。また、それぞれの取り組みについて、重要度ほどの感度を感じていますか。(明日ごとに、「満足度(重要度)」をそれぞれ評価し、該当する番号に○をつけてください)

種 別	満足度				重要度			
	満足	やや満足	やや不満足	不満足	非常に重要	重要	普通	あまり重要でない
＜野人側＞								
(1) ○○○○ ×××の推進、△△△の充実	5	4	3	2	1	5	4	3
市民環境分野について								
(1) 参加と協働の推進	5	4	3	2	1	5	4	3
(2) 地域防犯・交通安全の推進	5	4	3	2	1	5	4	3
(3) 環境共生まちづくり	5	4	3	2	1	5	4	3
(4) 環境保全の推進	5	4	3	2	1	5	4	3
(5) 衛生対策の推進	5	4	3	2	1	5	4	3
(6) 資源循環の推進	5	4	3	2	1	5	4	3
健康福祉分野について								
(7) 健康づくりの推進	5	4	3	2	1	5	4	3

種 別	満足度				重要度			
	満足	やや満足	やや不満足	不満足	非常に重要	重要	普通	あまり重要でない
(8) 医療の充実	5	4	3	2	1	5	4	3
(9) 地域福祉の充実	5	4	3	2	1	5	4	3
(10) 児童福祉の充実	5	4	3	2	1	5	4	3
(11) 障がい者福祉の充実	5	4	3	2	1	5	4	3
(12) 高齢者福祉の充実	5	4	3	2	1	5	4	3
(13) 社会福祉の充実	5	4	3	2	1	5	4	3
産業経済分野について								
(14) 農業の振興	5	4	3	2	1	5	4	3
(15) 水産業の振興	5	4	3	2	1	5	4	3
(16) 工業の振興	5	4	3	2	1	5	4	3
(17) 商業の振興	5	4	3	2	1	5	4	3

種 別	満足度				重要度			
	満足	やや満足	やや不満足	不満足	非常に重要	重要	普通	あまり重要でない
(18) 観光の振興	5	4	3	2	1	5	4	3
(19) 労働環境・消費生活の充実	5	4	3	2	1	5	4	3
都市整備分野について								
(20) 交通基盤の整備	5	4	3	2	1	5	4	3
(21) 公共交通の整備	5	4	3	2	1	5	4	3
(22) 港湾・河川・海岸の整備	5	4	3	2	1	5	4	3
(23) 市街地の整備	5	4	3	2	1	5	4	3
(24) 地域・住環境の整備	5	4	3	2	1	5	4	3
(25) 上下水道の整備	5	4	3	2	1	5	4	3
(26) 自然環境の保全	5	4	3	2	1	5	4	3
(27) 緑と景観の保全	5	4	3	2	1	5	4	3

標 策	満足度					重要度				
	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	非常に重要	重要	普通	あまり重要でない	重要ではない
教育文化分野について										
(28) 学校教育の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(29) 生涯学習の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(30) スポーツの振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(31) 青少年健全育成	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(32) 芸術文化の振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(33) 文化財の継承	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
消防防災分野について										
(34) 消防・救急体制の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(35) 防災・減災体制の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

標 策	満足度					重要度				
	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	非常に重要	重要	普通	あまり重要でない	重要ではない
行政分野について										
(36) 国際化の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(37) 情報体制の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(38) 広域連携の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(39) 水資源の確保	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(40) 行政効率	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

図 12 問 11 の(1)～(4)の施策のうち、あなたが特に重要だと感じる施策の番号をそれぞれ記入ください。

<記入例>				
8				

5 市民活動への参画について

問 13 あなたは、今までに地域活動やボランティア活動の経験がありますか。
(あてはまるものを1つに○)

- 1 現在活動している
- 2 現在は活動していないが、過去に活動の経験がある
- 3 全く経験がない

問 14 問 13 で「現在活動している」「現在は活動していないが、過去に活動の経験がある」を選んだ方にお聞きします。どのような活動を行っていますか。(あてはまるものを全てに○)

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1 自治会活動 | 2 自然・環境保護に関する活動 |
| 3 生涯学習活動の指導・支援 | 4 社会福祉に関する活動 |
| 5 国際交流（協力）に関する活動 | 6 地域青少年育成活動 |
| 7 スポーツ・文化に関する活動 | 8 まちづくりに関する活動 |
| 9 自主防災活動や災害援助活動 | 10 その他（ ） |

問 15 問 13 で「2 現在は活動していないが、過去に活動の経験がある」「3 全く経験がない」を選んだ方にお聞きします。今後、活動を行いたいと思いますか。(あてはまるものを1つに○)

- 1 積極的に活動していきたい
- 2 機会があれば活動したい
- 3 活動したいが余裕がない
- 4 活動したくない

6 個別の取り組みについておたずねします

■市政の情報について

問 16 あなたは、市政に関する情報を主に何から得ていますか。(あてはまるものを5つまで○)

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1 広報たはら | 2 市ホームページ |
| 3 ティーズ（ケーブルテレビ） | 4 議会だより |
| 5 新聞（地方紙） | 6 各種パンフレット・チラシ |
| 7 図書館（資料コーナー・SNS） | 8 市公式LINE |
| 9 市公式 Instagram（たはら暮らし） | 10 市公認 Facebook（広報ずぼろー） |
| 11 市公認 Twitter（広報ずぼろー） | 12 その他（ ） |

■デジタル社会について

問 17 あなたを含めた、ご家族が所有する通信機器についてお聞きします。(あてはまるものをすべてに○)

- 1 家族の1人以上はスマートフォン（携帯電話含む）を持っている
- 2 高校生（同年齢）以上の家族全員が、1人1台スマートフォンを持っている
- 3 中学生以下の家族にもスマートフォンを持っている人がいる
- 4 家族にスマートフォンを持つ人がいないが、通話専用携帯電話（ガラケー）を持っている
- 5 自宅（世帯）に1台以上のインターネットに接続できるパソコンまたはタブレットがある
- 6 自宅（世帯）にインターネット回線が接続されている
- 7 自宅（世帯）にWiFi（無線LAN）がある
- 8 自宅（世帯）に固定電話がある
- 9 自宅（世帯）にFAXがある
- 10 通信機器は持っていない
- 11 わからない

問 18 あなたを含めた、ご家族のスマートフォン・パソコン・タブレットの使用目的についてお聞きします。(あてはまるものをすべてに○)

- 1 メールやLINEなど、SNSで家族や友人などと連絡する
- 2 趣味や生活で知りたい話・商品・旅行先・地図・便利な方法などの情報を得る
- 3 ブログやTwitterなど、SNSで自分や家族の情報を発信する
- 4 仕事（ITビジネス・業務管理・テレワークなど）や勉強に使う
- 5 インターネット上で各種予約・買い物・販売などをする
- 6 買い物・金融・証券取引などの出入金をオンライン決済する
- 7 ゲームや動画、音楽視聴などに使う
- 8 写真データなどの保存や加工などに使う
- 9 その他（ ）

問 19 デジタル社会の実現で、特に期待することは何ですか。(あてはまるものを5つまで○)

- 1 オンライン申請（市役所などに行かず、インターネットで申請・証明書発行など）
- 2 オンライン診療（病院へ行かず、自宅のパソコン画面などで医師診療）
- 3 オンラインショッピング（スマートフォンやパソコンで注文して配達してもらう）
- 4 オンライン授業（学校や学習塾などへ行かず、自宅のパソコン画面などでの授業）
- 5 テレワーク・リモートワーク（出社せず、自宅や旅行先などでパソコンを使って仕事）
- 6 オンライン会議（会社や自宅のパソコン画面などに顔映して行う会議など）
- 7 ICカード・オンライン決済（サービス・買い物代金などを現金を使わずに支払うなど）
- 8 労働力不足を解消するため、取次ぎや大量処理、接客などの業務を自動化するシステム
- 9 子育てや介護の分野を省力化・自動化するシステム
- 10 高齢者などが、行きたいところに車で行ける自動運転システム
- 11 その他（ ）

問 20 デジタル社会に変化していくことで、特に不安を感じることは何ですか。
(あてはまるもの3つまで○)

- 1 スマートフォンなどの機器の使い方がわからない
- 2 デジタルを使いこなせる人と使えない人の格差が広がる
- 3 デジタル利用はカタカナ表記が多く、意味が理解しにくい
- 4 個人情報の漏洩や不正利用などが発生する
- 5 インターネット悪質サイトの詐欺などの犯罪被害が増える
- 6 情報が多すぎて、何を信じてよいかわからない
- 7 機器の購入代金や使用料の費用負担が増える
- 8 人と人とのふれあい感の喪失や人間関係の希薄化
- 9 社会変化に取り残されるのではないかと不安
- 10 その他 ()

■汐川干潟について

問 21 あなたは、三河湾沿岸地域に広がる「汐川干潟」に行ったことはありますか。
(あてはまるもの1つだけ○)

- 1 汐川干潟に行ったことがある
- 2 汐川干潟という名前には知っているが、行ったことはない
- 3 汐川干潟という名前すら知らない

問 22 あなたは、汐川干潟をはじめとした「豊かな自然環境」を保全するためには、どのようなことが大切であるとお考えですか。(あてはまるもの2つまで○)

- 1 養蚕ごみ・投棄ごみを無くす
- 2 河川や海の水質浄化
- 3 外来生物の駆除など生態系を保全
- 4 立入制限など管理を徹底し生態系を保護
- 5 自然に関する情報発信やイベント実施などの啓発活動

問 23 あなたは、田原市の環境保全活動に協力してもよいと考えますか。
(あてはまるもの1つだけ○)

- 1 協力してもよい
- 2 特に協力するつもりはない

問 24 問 23 で「1 協力してもよい」を選んだ方にお聞きします。協力してもよいと考える活動は何ですか。
(あてはまるもの2つまで○)

- 1 生活排水に配慮するなど、水環境を大切にすること
- 2 自然観察会などに、先導者として参加すること
- 3 調査、清掃美化などのボランティア活動に参加すること
- 4 市民ボランティアなどが行う、クラウドファンディングへ出資すること
- 5 その他 ()

■エコ社会への取り組みについて

問 25 あなたは、再生可能エネルギーや省エネ設備などの導入意欲を持っていますか。
(項目ごとに、あてはまる数字を1つだけ○)

	導入意欲	たいして導入したい	導入したい	導入するつもりはない	わからない
(1) 住宅用太陽光システム	1	2	3	4	5
(2) ZEH住宅(住宅の省エネ)	1	2	3	4	5
(3) HEMS(住宅用電気見える化システム)	1	2	3	4	5
(4) 住宅用蓄電池	1	2	3	4	5
(5) 住宅用燃料電池(エネファーム)	1	2	3	4	5
(6) ハイブリッド車(HV)	1	2	3	4	5
(7) プラグインハイブリッド車(PHV)	1	2	3	4	5
(8) 電気自動車(EV)	1	2	3	4	5
(9) 燃料電池車(FCEV)	1	2	3	4	5
(10) ヒートポンプ給湯器(エコキュート)	1	2	3	4	5

問 26 あなたのエコライフへの取り組みで、実践しているもので関心があるものをお聞かせください。
(あてはまるものすべてに○)

- 1 肉類の安い物を食べる(和牛産地産)
- 2 旬の物を食べる(旬産地産)
- 3 食事を減らす
- 4 緑のカーテンを育てる
- 5 マイバッグ、マイボトルなどを使う
- 6 プラスチック製ではなく、木製や紙製など自然素材の物を使う
- 7 水を出しっぱなしにしない
- 8 照明や電化製品のスイッチをこまめに消す
- 9 エアコンの設定温度を控えめにする
- 10 加減速の少ない運転など、エコドライブを心がける
- 11 その他 ()

■上下水道について

問 27 上下水道について、知っていることをお聞かせください。(あてはまるものすべてに○)

- 1 水道事業と下水道事業は、税金ではなく料金収入で運営されるものである。
- 2 田原市の水道料金は、1 か月あたりの固定料金(基本料金)と使用水量に応じた使用水量料金の2種類で構成されている。
- 3 昭和50年代頃に整備された水道管・下水道管・施設などの老朽化が進んでおり、今後、断水や道路陥没など、日常生活に影響を及ぼす可能性が高くなっていく。
- 4 田原市の水道料金は昭和60年度から、公共下水道使用料は平成3年度から一度も改定していない(消費税率変更と市町村合併による料金統合、農業集排水施設使用料を除く)。
- 5 水道水の水質検査結果や、上下水道事業の経営状況がホームページで確認できる。
- 6 田原市の下水道料金は、料金体系が2種類あり、住んでいる地域によって異なる。

問 28 田原市の水道料金と下水道料金(農業集排水施設使用料を除く)は、使用水量が多くなればなるほど1立方メートルあたりの単価が高くなる仕組み(多く使う方に節水を促し、使う水が少ない方へ配慮)となっています。この仕組みについて、どうお考えですか。(あてはまるもの1つだけ○)

- 1 現行よりも単価を小さくするべき
- 2 現行のままでよい
- 3 現行よりも単価を大きくするべき
- 4 単価の差をなくし、一律の単価にするべき
- 5 多く使うほど単価を安くするべき

■国際化・多文化共生について

問 29 「多文化共生社会」という言葉を聞いたことがありますか。(あてはまるもの1つだけ○)

- 1 聞いたことがあり、意味も理解している
- 2 聞いたことはあるが、意味はあまり理解していない
- 3 聞いたことはあるが、意味はほとんど理解していない
- 4 聞いたことがない

問 30 外国人の人口増加傾向にあります。共に暮らしやすい地域を作っていくために、あなたは何をすべきだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 外国人に対する差別意識を持たないようにする
- 2 自分からあいさつをするなど、外国人の方と日常生活の中で関わっていく
- 3 日本人と外国人が交流する機会があれば、積極的に参加する
- 4 日本語や日本文化、生活のルールを外国人に伝える
- 5 外国の言葉や文化を学び、外国人の文化背景を理解する
- 6 自分から積極的に何かをしようとは思わない
- 7 その他 ()

■市内の公共施設について

問 31 公共施設の老朽化により、多額の経費費用や修繕費用が必要となっています。また、少子高齢化による収収減ら予想され、全ての施設を維持することが難しくなります。あなたは、この問題に対し、今後どのように取り組むべきだと思いますか。(施設ごとに、あてはまる数字を1つだけ○)

	新設を要し維持するために、他の行政サービスの低下は仕方ない	施設の使用料を上げて(※※は有料化して)、現在の施設を維持すべき	他の行政サービスを維持するため、施設の確保が重要である
1 児童福祉施設(親子交流館(すくっと)、児童センター)	1	2	3
2 保健・福祉施設(福祉センター、ライブラリー)	1	2	3
3 ごみ処理施設(資源化センター等)	1	2	3
4 生涯学習施設(図書館)	1	2	3
5 文化施設(文化会館、文化ホール等)	1	2	3
6 文化財施設(博物館、郷土資料館等)	1	2	3
7 スポーツ施設(総合体育館、運動公園等)	1	2	3
8 観光施設(道の駅、展望台、サンデマルク等)	1	2	3
9 市民館	1	2	3

7 市政に対するご意見

問 32 市政に対するご意見、ご要望がありましたらご自由にお書きください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

ご協力ありがとうございました。

田原市市民意識調査(市内事業者アンケート)

アンケート調査へのご協力のお礼

日頃は市政にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。
 田原市では、市政へ市民の皆様のご意見を反映するため、3年に一度、市民意識調査を実施しています。この調査は、田原市総合計画で定めた将来都市像「うるおいと活力のあるガーデンシティ」の実現を目指すための基礎資料として、市内に**事業所を有する皆様のご意見**をお伺いするものです。
 ご回答いただいた内容は、全て統計的に処理し、回答者を特定するような調査結果の利用や他の目的への利用は一切ございません。
 ご多忙のところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和4年7月

田原市長 山下 政良

【回答方法】

「Web(スマートフォン・パソコン)」または「紙」
 どちらかを選択してください

「Web」回答 (スマートフォン・パソコン)	「紙」回答
<p>別紙「Web回答方法」をご覧ください。</p> <p>利用者 ID</p> <p>パスワード</p>	<p>○ このアンケート用紙に直接記入してください。</p> <p>○ 同封の返信用封筒(切手不要)でご返送ください。</p> <p>○ 回答は、特に記載のない場合は、該当する項目を選んで、番号に○をつけてください。</p>

ご記入にあたって

- 利用者 ID と回答者を紐づけず、回答者を特定することはありませんが、車両に届いたことをご確認ください。
- このアンケートは、**7月22日(金)まで**にご回答(返函)ください。
- このアンケートについて、ご不明な点がございましたら下記へお問い合わせください。

田原市役所 企画部企画課企画係 電話：0531-29-2507(直通)

1 あなたの事業所について

問1 あなたの事業所についてお聞かせします。

企業形態 (○は1つ)	1 個人企業(個人経営) 2 株式会社 3 有限会社 4 合資・合資会社 5 その他()
本社・事業所区分 (○は1つ)	1 本社(事業所・工場併設の本社) 2 支社・支店・事業所 3 本社以外の分工場 4 チョーク・直営店もしくは加盟店 5 その他()
資本金 (○は1つ)	1 個人企業であるため資本金はない 2 1,000万円未満 3 1,000万円以上3,000万円未満 4 3,000万円以上1億円未満 5 1億円以上
業種 (○は1つ)	1 製造業 2 建設業 3 製造業 4 電気・ガス・熱供給・水道業 5 情報通信業 6 運輸業 7 卸売・小売業 8 金融・保険業 9 不動産業 10 飲食・宿泊業 11 医療・福祉 12 教育・学習支援業 13 サービス業 14 その他()
従業員数 (※4.1時点)	総数() うち田原市在住()人 【内訳】正社員()人 派遣社員()人 パート()人 アルバイト()人 期間従業員()人 その他()人
あなたの事業所(工場)の従業員が居住先の市町村の比率 (各項目に数値を記入)	1 市内()% 2 豊橋市()% 3 愛知県内()% 浜田原市、豊橋市を除く 4 愛知県外()%
田原市での事業年数 (○は1つ)	1 1年未満 2 1年以上～3年未満 3 3年以上～5年未満 4 5年以上～10年未満 5 10年以上～20年未満 6 20年以上

-1-

2 田原市の事業環境について

問2 田原市は、あなたの事業所にとって事業をしやすいまちだと思いますか。
(○は1つ)

1 はい	2 いいえ	3 どちらともいえない
------	-------	-------------

問3 田原市で事業を行う際は、5年前と比べて全体的にどうなったとお考えですか。
(○は1つ)

1 良くなった	2 きびしくなった
3 変わらない	4 5年前は事業をしていない

問4 田原市で事業を行う環境について、良くなった点、きびしくなった点などを、具体的にお願いします。

.....

.....

.....

.....

3 あなたの事業所の事業について

問5 あなたの事業所の直近の売上高は、5年前の売上高の何倍程度ですか。
(○は1つ)

1 約0.5倍未満	2 約0.5倍～約0.8倍未満
3 約0.8倍～約1.0倍未満	4 約1.0倍～約1.2倍未満
5 約1.2倍～約1.5倍未満	6 約1.5倍～約2.0倍未満
7 約2.0倍以上	8 5年前は事業をしていない

-2-

問6 あなたの事業所の直近の経常利益(所得)は、5年前の経常利益(所得)の何倍程度ですか。(○は1つ)

1 約0.5倍未満	2 約0.5倍～約0.8倍未満
3 約0.8倍～約1.0倍未満	4 約1.0倍～約1.2倍未満
5 約1.2倍～約1.5倍未満	6 約1.5倍～約2.0倍未満
7 約2.0倍以上	8 5年前は事業をしていない

問7 あなたの事業所が、現在の事業を行う上で、経営上の問題点はどこにあるとお考えですか。(○は3つまで)

1 売上額の減少	2 利幅の縮小
3 物資・在庫コストの増大	4 人件費の増加
5 資金調達が困難	6 相続税・固定資産税等の税金対策
7 大手企業との競争激化	8 同業者との競争激化
9 取引先減少・集積不振	10 国際競争の激化
11 コストダウン要求の強まり	12 市場の成熟・縮小
13 自然災害(地震・津波・高潮等)の脅威	
14 高規格道路・高規格道路へのアクセス	
15 その他()	

問8 あなたの事業所が今後重視したい取り組みは何ですか。(○は3つまで)

1 新分野への進出	2 新技術や新商品の開発
3 情報化(デジタル化)への対応	4 国際化への対応
5 経営継承の見直し	6 企業間ネットワークの推進
7 人材の確保・育成	8 マーケティングや販路・市場開拓
9 資金調達の円滑化	10 後継者の育成
11 事業の再構築	12 外部経営資源の活用
13 その他経営方針の見直し	14 その他()

-3-

問9 経営課題を解決する上で、必要となる市の取り組みがありましたら、具体的に
ご記入ください。

4 市の施策について

問10 市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。
(各欄に差し「現在の評価」「今後の重要性」の項目に○を1つずつ)

	現在の評価					今後の重要性				
	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	非常に重要	重要	普通	あまり重要でない	重要でない
<配入例> ①○○○○	5	4	3	3	1	5	4	3	2	1
①企業経営の促進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
②企業の雇用対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
③企業用地の確保・整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
④労働環境などの労働基盤の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑤若狭県民に対する支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑥情報提供の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑦資金融資や利子補給などによる経営の安定化	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑧販路拡大、商品開発力の強化	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑨市街地の活性化	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑩魅力的な商業機能の創出	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑪商工会や商業団体などへの支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑫雇用対策の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

-4-

影響を受ける産業別	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
影響を受ける業種別	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
影響を受ける業種	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
影響を受ける業種	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
影響を受ける業種	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
影響を受ける業種	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

5 従業員の雇用環境について

問11 あなたの事業所の新規卒業者の採用状況、今後5年間の採用見込みをお聞かせください。

(1) 令和4年度の新規卒業者 () 人
(2) 令和5年度以降5年間の採用見込み () 人

問12 あなたの事業所では、定年制の延長についての取り組みが行われていますか。

1 既に取り組みを行っている 2 検討を進めている
3 当面考えていない

6 従業員の市内定住対策について

問13 従業員の方が田原市に住んでいただくためには、特にどのような対策が必要だと思いますか。(○は3つまで)

1 医療・福祉の充実 2 教育環境の充実
3 住宅対策の充実 4 商業・サービス機能の充実
5 余暇・娯楽施設の充実 6 公共交通機関の充実
7 道路環境の充実 8 結婚支援の充実
9 出産・子育て支援の充実
10 その他 ()

-5-

7 農業分野での事業展開について

問14 田原市は、農業産出額が全国トップクラスです。あなたの事業所では、農業分野に関連した事業展開をお考えですか。(○は1つ)

1 考えている 2 考えていない

「1 考えている」と答えた方にお聞かせします。どんな事業をお考えですか。

8 環境共生について

問15 環境や景観などに配慮した事業運営を行っていますか。(○は1つ)

1 はい 2 いいえ

「1 はい」と答えた方にお聞かせします。どんなことに配慮していますか。

-6-

9 男女共同参画について

問16 職場での性差別をなくし、仕事と家庭生活を両立できる環境づくりに取り組んでいますか。(○は1つ)

1 はい 2 いいえ

「1 はい」と答えた方にお聞かせします。どんなことに配慮して取り組んでいますか。

「2 いいえ」と答えた方にお聞かせします。取り組みを行っていない理由がありましたら、ご記入ください。

10 地域社会への貢献活動について

問17 あなたの事業所では、地域社会へ何らかの貢献活動を行っていますか。(○は1つ)

1 はい 2 いいえ 3 どちらともいえない

-7-

問 18 あなたの事業所での、地域への貢献活動の状況についてお聞きます。次の項目について、あてはまるものに○をつけてください。(該当する欄に○を記入)

	現在行っている	今後行ってもよい	行わず予定はない
(1) 芸術文化活動やスポーツ活動への参加			
(2) 商店街活動や事業者組合などの活動			
(3) 祭りやイベントなどへの参加			
(4) 祭りやイベントなどへの寄付、資金の提供など			
(5) 環境美化、環境保全活動への参加			
(6) 地域まらづくり活動への参加			
(7) 市民活動、ボランティア活動への参加			
(8) その他 ()			

問 19 あなたの事業所が行っている地域社会への貢献活動をご紹介ください。また、貢献活動を行う上で、市へのご要望、ご意見などがあればお書きください。

問 20 あなたの事業所では、次のような貢献活動の考え方について賛同できますか。(○はいくつでも)

1 地域社会への貢献活動は地域との関係を維持するために必要である。	
2 地域社会への貢献活動がもっと社会的に評価されるべきだ。	
3 社会的評価が向上するので、今後も地域社会への貢献活動は重要である。	
4 個々の企業にとって負担になるので、地域社会への貢献活動は勧められない。	
5 地域社会への貢献活動は仕事につながる可能性もあるので大事にしたい。	
6 地域社会への貢献活動によって職場が活性化するので意味がある。	

- 8 -

11 デジタル社会について

問 21 あなたの事業所での、デジタル技術の活用状況についてお聞きます。次の項目について、あてはまるものに○をつけてください。(該当する欄に○を記入)

	現在取り組んでいる	今後取り組みたい	取り組む予定はない
(1) ペーパーレスや押印廃止などの社内業務のデジタル化			
(2) 電子的な受注・発注システムの導入			
(3) 営業活動の見える化やオンライン化			
(4) マーケティング活動へのデジタル活用 (Webマーケティング、デジタル広告)			
(5) リモートワークの実施			
(6) ECサイトの活用			
(7) 工場内の自動化 (AI、IoT、ロボット)			
(8) 定型業務の自動化 (RPA)			
(9) 高速で安全なネットワークの利用 (Wi-Fi、VPN、5G)			
(10) 入力の前案化・照入化 (QRコード、画像認識)			
(11) 大量のデータ (情報) の分析、予測			
(12) 外部の情報システムサービスの活用 (クラウドサービス)			
(13) 社内システムの利用環境の整備 (テレワーク、PCなどの貸与)			
(14) デジタル技術活用についての従業員へのスキル向上 (e-ラーニングなど)			
(15) その他 ()			

- 9 -

問 22 あなたの事業所で、デジタル技術の活用に取り組み上での課題は何ですか。(○はいくつでも)

1 対応できる人材が少ない	
2 必要なスキルやノウハウがない	
3 対応する時間が確保できない	
4 対応する費用が確保できない	
5 自社のみ対応しても効果が期待できない	
6 どこから手をつけてよいのかわからない	
7 成果や収益が見込めない	
8 必要性を感じない	
9 その他 ()	

問 23 あなたの事業所で、デジタル技術の活用に取り組み上で、市・県・国に期待することは何ですか。(○はいくつでも)

1 デジタル技術の活用に関する基本的なセミナー (活用事例など)	
2 デジタル技術の導入方法に関するセミナー	
3 人材育成のためのセミナー	
4 人材派遣制度の整備	
5 融資制度の整備	
6 補助金制度の整備	
7 税制優遇制度の整備	
8 その他 ()	

- 10 -

12 市政に対するご意見

問 24 市が実施する施策や事業について、ご意見やご要望、ご提言などがあれば、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

- 11 -

田原市市民意識調査(農業者アンケート)

アンケート調査へのご協力をお願い

日頃は市政にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。
 田原市では、市政へ市民の皆様の意向を反映するため、3年に一度、市民意識調査を実施しています。この調査は、田原市総合計画で定めた将来都市像「うるおいと活力のあるガーデンシティ」の実現を目指すための基礎資料として、市内の農業者の皆様から農業に関するご意見をお伺いするものです。
 ご回答いただいた内容は、全て統計的に処理し、回答者を特定するような調査結果の利用や他の目的への利用は一切ございません。
 ご多忙のところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和4年7月

田原市長 山下 政良

【回答方法】

「Web(スマートフォン・パソコン)」または「紙」
 どちらかを選択してください

「Web」回答
(スマートフォン・パソコン)

別紙「Web回答方法」をご覧ください。

利用者 ID

パスワード

「紙」回答

○ このアンケート用紙に直接記入してください。
 ○ 同封の返信用封筒(切手不要)でご返送ください。
 ○ 回答は、特に記載のない場合は、該当する項目を選んで、番号に○を付けてください。

ご記入にあたって

○利用者IDと回答者を紐づけておらず、回答者を特定することはありませんので、率直に思ったことをお答えください。
 ○このアンケートは、**7月22日(金)まで**にご回答(返信)ください。
 ○このアンケートについて、ご不明な点がありましたら下記へお問い合わせください。

田原市役所 企画部企画課企画係 電話：0531-23-3507(直通)

1 あなたの事業について

問1 あなたの事業についてお聞きます。

専業・兼業の別 (○は1つ)	1 専業	2 兼業	
個人・法人の別 (○は1つ)	1 個人	2 法人	
農業に従事している人数 (回答者を含んだ数)	・常時農業に従事している人 (男性 人 女性 人) ・臨時に農業に従事する人 (男性 人 女性 人)		【上記の内訳】 ・家族(本人含む) _____人 ・正社員(家族を除く) _____人 ・パート・アルバイト _____人 ・日本人研修生 _____人 ・外国人技能実習生または特定技能 _____人 ・その他 _____人
おおよその耕地面積 (1ha=10,000㎡)	・耕作地 () ha ・不耕作地 () ha		
主な農作物	① _____ ② _____ ③ _____		
おおよその農業所得 (R3.1.1～R3.12.31)	() 万円		
田原市での就農年数 (○は1つ)	1 1年未満	2 1年以上～3年未満	
	3 3年以上～5年未満	4 5年以上～10年未満	
	5 10年以上～20年未満	6 20年以上	

-1-

2 田原市の農業全般について

問2 田原市は、農業がしやすいまちだと思いますか。(○は1つ)

1 はい 2 いいえ 3 どちらともいえない

問3 田原市で農業を行う環境は、5年前と比べて全体的にどうなつたとお考えですか。(○は1つ)

1 良くなった 2 きびしくなった
 3 変わらない 4 5年前は営業していない

問4 あなたは、農業産出額全国トップクラスの田原市が、今後さらに農業を発展させるためには何が重要だと思いますか。(○は3つまで)

- 1 物流を支える道路網の整備
- 2 環境や経営課題に配慮した栽培技術の導入
- 3 無農・長農などに配慮した農業の推進
- 4 生産性向上のための機械化・IT化
- 5 農地・農道・排水水路の整備等の土地改良事業
- 6 労働力の確保
- 7 食を学ぶ取り組み(食育)の推進
- 8 安心・安全な農産物の生産・供給
- 9 農業のイメージを向上させる啓発活動
- 10 国内外への販路拡大の取り組み
- 11 遊休農地の解消への取り組み
- 12 農商工連携・6次産業化の推進
- 13 農業経営の法人化
- 14 地域農業の中心となる経営者の育成
- 15 新規就農者の育成
- 16 農産物の産地ブランド化の推進
- 17 市民農園の整備などによる都市住民との交流
- 18 農業ヘルパ・派遣制度の維持
- 19 女性の農業経営参画
- 20 中心となる農業経営体への農地の集約化
- 21 集出荷施設等の物流システムの整備
- 22 家族経営協定の締結の推進
- 23 その他(具体的に:)

-2-

3 あなたの農業経営について

問5 あなたの直近の売上高は、5年前に比べ何倍程度ですか。(○は1つ)

1 約0.8倍未満 2 約0.8倍～約1.0倍未満
 3 約1.0倍～約1.2倍未満 4 約1.2倍以上
 5 5年前は営業していない

問6 あなたの直近の経営利益(所得)は、5年前に比べ何倍程度ですか。(○は1つ)

1 約0.8倍未満 2 約0.8倍～約1.0倍未満
 3 約1.0倍～約1.2倍未満 4 約1.2倍以上
 5 5年前は営業していない

問7 あなたは、これから農業経営をどのようにしていきたいとお考えですか。(○は1つ)

1 規模を拡大していきたい 2 現状のままでいきたい
 3 規模を縮小していきたい 4 やめたい
 5 その他(具体的に:)

問8 あなたは、ご自身の農業経営に満足していますか。(○は1つ)

1 満足している 2 やや満足している
 3 どちらともいえない 4 やや不満足である
 5 不満足である 6 わからない

問9 あなたの農業経営で、重要と考えることに何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|----------------|------------------|
| 1 自身の才覚 | 2 行政の支援 |
| 3 技術支援体制の確保 | 4 品目・品種の選択 |
| 5 農地の確保 | 6 販路の確保 |
| 7 後継者の確保 | 8 農産物価格の安定 |
| 9 労働力の確保 | 10 新しい栽培技術の導入 |
| 11 設備投資 | 12 ICTや省力化機械等の導入 |
| 13 その他(具体的に:) | |

-3-

問 10 あなたの農業経営の後継者はいますか。(〇は1つ)

- | | |
|-------------|--|
| 1 後継者がいる | |
| 2 後継者候補がいる | |
| 3 後継者はいない | |
| 4 その他(具体的に) | |

問 11 あなたが、10年以内に取組もうと考えていることはありますか。(あてはまるものすべて〇)

- | | |
|----------------------|--------------|
| 1 農山漁村滞在型旅行(宿泊)の受け入れ | 2 農産物の海外輸出 |
| 3 農産物の加工・販売(6次産業化) | 4 農家レストラン |
| 5 農業生産工程管理(SAP)の導入 | 6 有機JASの認証取得 |
| 7 特産品目の転換 | 8 少量多品目栽培 |
| 9 通信販売 | 10 観光農園 |
| 11 その他(具体的に) | |

4 農地の保全・活用について

問 12 田原市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。(各問に対し、「現在の評価」、「今後の重要性」の項目に〇を1つずつ)

	現在の評価					今後の重要性				
	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	非常に重要	重要	普通	あまり重要でない	重要でない
<記入例> (1) ○○○○	3	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(1) 貸し手と借り手のマッチングによる農地の利用調整の取り組み	3	4	3	2	1	5	4	3	2	1

-4-

5 農業基盤の整備について

問 13 田原市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。(各問に対し、「現在の評価」、「今後の重要性」の項目に〇を1つずつ)

	現在の評価					今後の重要性				
	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	非常に重要	重要	普通	あまり重要でない	重要でない
(2) 農道・用排水路整備、農地区画の改良	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

6 交流・食育の推進について

問 14 田原市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。(各問に対し、「現在の評価」、「今後の重要性」の項目に〇を1つずつ)

	現在の評価					今後の重要性				
	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	非常に重要	重要	普通	あまり重要でない	重要でない
(3) 芦ヶ池農楽公園(サンケイホール)の市民農楽業務による都市住民との交流	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(4) 食育の取り組み	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

7 農業経営について

問 15 田原市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。(各問に対し、「現在の評価」、「今後の重要性」の項目に〇を1つずつ)

-5-

	現在の評価					今後の重要性				
	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	非常に重要	重要	普通	あまり重要でない	重要でない
(5) 農産物の産地ブランド化の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(6) 6次産業化など他産業との連携による農産物の活用	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(7) 農業制度資金の活用などによる農業者・団体支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(8) 国内外への販路拡大に向けた取り組み	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(9) ICT や省力化機械等の導入支援によるスマート農業の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

8 担い手づくりの推進について

問 16 田原市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。(各問に対し、「現在の評価」、「今後の重要性」の項目に〇を1つずつ)

	現在の評価					今後の重要性				
	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	非常に重要	重要	普通	あまり重要でない	重要でない
(10) 認定農業者制度や営農支援による担い手の育成	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(11) 農地の新設などによる新規就農者の確保	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(12) 多様な担い手の育成(農業後継者の結婚支援)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(13) 労働人材の確保	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

-6-

9 環境保全型農業の推進について

問 17 田原市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。(各問に対し、「現在の評価」、「今後の重要性」の項目に〇を1つずつ)

	現在の評価					今後の重要性				
	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	非常に重要	重要	普通	あまり重要でない	重要でない
(14) 家畜排せつ物の適切な資源化	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(15) 土づくりや減農薬など環境に配慮した農業の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(16) 有害鳥獣による農作物被害対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(17) 配付農薬の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

10 市政に対するご意見

問 18 今後、田原市の農業はどうあるべきか。また、普段お考えになっていることなど、何でも結構ですので、市に対するご意見やご提言などがあれば、ご自由にお書きください。

.....

.....

.....

.....

.....

ご協力ありがとうございました。

-7-

田原市市民意識調査（漁業者アンケート）

アンケート調査へのご協力をお願い

田原市市政にご理解とご協力をいただき感謝にあらたうございます。
田原市では、市政へ市民の皆様の意向を反映するため、3年に一度、市民意識調査を実施しています。この調査は、田原市総合計画で定められた未来都市像「うるおいと活力のあるガーデンシティ」の実現を目指すための基礎資料として、市内の漁業者の皆様から漁業に関するご意見をお伺いするものです。
ご回答いただいた内容は、全て統計的に処理し、回答者を特定するような調査結果の利用や他の目的への利用は一切ございません。
ご多忙のところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和4年7月

田原市長 山下 政良

【回答方法】

「Web(スマートフォン・パソコン)」または「紙」
どちらかを選択してください

<p>「Web」回答 (スマートフォン・パソコン)</p> <p>別紙「Web回答方法」をご覧ください。</p> <p>利用者 ID</p> <p>パスワード</p>	<p>「紙」回答</p> <p>○ このアンケート用紙に直接記入してください。 ○ 同封の返信用封筒(切手不要)でご返送ください。 ○ 回答は、特に記載のない場合は、該当する項目を選んで、番号に○を付けてください。</p>
---	---

ご記入にあたって

- 利用者 IDと回答者を結びつけておらず、回答者を特定することはありませんので、率直に思ったことをお答えください。
- このアンケートは、7月22日(金)までにご回答(回収)ください。
- このアンケートについて、ご不明な点がありましたら下記へお問い合わせください。

田原市役所 企画部企画課企画係 電話：0531-23-3507（直通）

1 あなたの事業について

問1 あなたの事業についてお聞きます。

専業・兼業の別 (○は1つ)	1 専業 2 兼業
漁業に従事している人数 (回答者を含んだ数)	1 常時漁業に従事している (男性 人 女性 人) 2 臨時に漁業に従事している (男性 人 女性 人)
主な漁獲物	① _____ ② _____ ③ _____
2023年の漁業所得 (R3.1.1～R3.12.31)	() 万円
田原市での就漁年数 (○は1つ)	1 1年未満 2 1年以上～3年未満 3 3年以上～5年未満 4 5年以上～10年未満 5 10年以上～20年未満 6 20年以上

-1-

2 田原市の漁業全般について

問2 田原市は、漁業がしやすいまらだと思いませんか。(○は1つ)

- 1 はい 2 いいえ 3 どちらともいえない

問3 田原市で漁業を行う環境は、5年前と比べて全体的にどうなったとお考えですか。(○は1つ)

- 1 良くなった 2 きびしくなった
3 変わらない 4 5年前は漁業をしていない

3 あなたの漁業経営について

問4 あなたの直近の売上高は、5年前に比べ何倍程度ですか。(○は1つ)

- 1 約0.8倍未満 2 約0.8倍～約1.0倍未満
3 約1.0倍～約1.2倍未満 4 約1.2倍以上
5 5年前は漁業をしていない

問5 あなたの直近の経営利益(所得)は、5年前に比べ何倍程度ですか。(○は1つ)

- 1 約0.8倍未満 2 約0.8倍～約1.0倍未満
3 約1.0倍～約1.2倍未満 4 約1.2倍以上
5 5年前は漁業をしていない

-2-

問6 あなたは、これから漁業経営をどのようにしていきたいとお考えですか。(○は1つ)

- 1 規模を拡大していきたい 2 現状のままでいきたい
3 規模を縮小していきたい 4 やめたい
5 その他(具体的に:)

問7 あなたは、ご自身の漁業経営に満足していますか。(○は1つ)

- 1 満足している 2 やや満足している
3 どちらともいえない 4 やや不満足である
5 不満足である 6 わからない

問8 あなたの漁業経営で、重要と考えることは何ですか。(○は3つまで)

- 1 自分の才覚 2 行政の支援
3 漁協の指導 4 規模の拡大
5 販売・流通対策 6 後継者の育成
7 販売価格の安定 8 船や道具などの設備投資
9 種苗育成 10 資源管理型漁業の実績
11 漁獲増産 12 有害生物の除去
13 広告・宣伝・ブランド化
14 その他(具体的に:)

-3-

4 水産資源の確保について

問9 田原市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。（各問に対し「現在の評価」、「今後の重要性」の項目に○を1つずつ）

	現在の評価					今後の重要性				
	満点	やや満点	普通	やや不満	不満	非常に重要	重要	普通	あまり重要でない	重要でない
<記入例> (1) ○○○○	5	4	3	3	1	5	4	3	2	1
(1) ありり岸貝や稚魚の放流による水産資源の確保	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(2) 漁場環境の改善（漁場をきれいにするためのゴミ拾いなど）を目的としたグリーンアップ事業	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(3) 持続可能な漁業に配慮した漁業の推進（漁場を守る活動への取り組み）	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問10 あなたは環境生態系に配慮した漁業経営を行っていますか。（○は1つ）

1 はい 2 いいえ 3 どちらともいえない

5 漁業経営について

問11 田原市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。（各問に対し「現在の評価」、「今後の重要性」の項目に○を1つずつ）

	現在の評価					今後の重要性				
	満点	やや満点	普通	やや不満	不満	非常に重要	重要	普通	あまり重要でない	重要でない
(4) 漁業近代化資金貸付・母子補給などによる漁業者・団体支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(5) 水産物のブランド化の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(6) 組い手づくりの支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問12 漁業経営を強化するためには、どのような取り組みが必要だとお考えですか。理由もあればご記入ください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

問13 漁業の組い手を確保・育成するためには、何が必要だとお考えですか。（○は1つ）

1 後継者やロ1 J ターン若に対する支援の充実

2 漁業以外の新規参入者が軌道しやれり環境の整備

3 意欲ある漁業者への支援制度等の充実や企業的経営手法の指導

4 後継者や漁業参入希望者への技術指導

5 その他（具体的に）

6 水産施設の充実について

問14 田原市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。（各問に対し「現在の評価」、「今後の重要性」の項目に○を1つずつ）

	現在の評価					今後の重要性				
	満点	やや満点	普通	やや不満	不満	非常に重要	重要	普通	あまり重要でない	重要でない
(7) 漁港の整備や維持管理など水産施設の新築	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

7 市政に対するご意見

問15 今後、田原市の漁業はどうあるべきか。また、前段お考えになっていることなど、何でも結構ですので、市に対するご意見やご提言などがあれば、ご自由にお書きください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

ご協力ありがとうございました。

田原市市民意識調査(市内団体アンケート)

アンケート調査へのご協力をお願いします

日頃は市政にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。
田原市では、市政へ市民の皆様の意向を反映するため、3年に一度、市民意識調査を実施しています。この調査は、田原市総合計画で定めた将来都市像「うるおいと活力のあるガーデンシティ」の実現を目指すための基礎資料として、市内の各種団体の皆様のご意見を伺いたいと考えています。
ご回答いただいた内容は、全て統計的に処理し、回答者を特定するような調査結果の利用や他の目的への利用は一切ございません。
ご多忙のところ誠に恐縮ですが、調査の趣意をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和4年7月

田原市長 山下 政良

【回答方法】

「Web(スマートフォン・パソコン)」または「紙」
どちらかを選択してください

「Web」回答
(スマートフォン・パソコン)

別紙「Web回答方法」をご覧ください。

利用者 ID

パスワード

「紙」回答

○ このアンケート用紙に直接記入してください。

○ 同封の返信用封筒(切手不要)でご返送ください。

○ 回答は、特に記載のない場合は、該当する項目を選んで、番号に○を付けてください。

ご記入にあたって

○ 利用者 ID と回答者を紐づけておらず、回答者を特定することはありませんので、率直に思ったことをお答えください。

○ このアンケートは、**7月22日(金)まで**にご回答(投函)ください。

○ このアンケートについて、ご不明な点がありましたら下記へお問い合わせください。

田原市役所 企画部企画課企画係 電話：0531-23-3507(直通)

1 団体の概要について

問1 あなたの団体の設立年月についてお聞かせください。

設立年月： 明治・大正・昭和・平成・令和 年 月

問2 あなたの団体の組織体制についてお聞かせください。

下の「概要」の該当する欄に、数字(いない場合には「0(ゼロ)」と記入)を記入し、(4)については、どちらかに○をご記入ください。

(1) 理事長	人
(2) 運営メンバー	
・常勤(フルタイム)※	人
・非常勤(パートタイム・アルバイト)	人
・その他(具体的に：)	人
(3) 会員・組織構成	
・活動する人・正会員	人・会員
・支援者・賛助会員	人・会員
・その他(具体的に：)	人・会員
(4) 規則・会則・定款	あり・なし

※お封の常勤30時間以上働いていることを常勤(フルタイム)の目安とします。

問3 あなたの団体は、次のどの分類にあてはまりますか。

1 NPO法人(認定取得済) 2 ボランティア・市民活動団体
3 医療法人・社会福祉法人・社団法人 4 地域団体
5 経済団体・民間組合等
6 その他(具体的に：)

問4 活動する人・正会員の男女比はどれくらいですか。〔(2)は1つ〕

1 ほとんど男性 2 やや男性が多い 3 ほぼ同数
4 やや女性が多い 5 ほとんど女性

問5 活動する人・正会員の年齢は、どの年代が多いですか。〔(2)は2つ〕

1 10歳代 2 20歳代 3 30歳代 4 40歳代
5 50歳代 6 60歳以上 7 物特はなし

問6 活動の地域は、主にどこですか。〔(2)は1つ〕

1 小学校区内 2 中学校区内 3 市内
4 市内及び県外市 5 県内 6 全国・国際

問7 主な活動目的をお聞かせください。〔(2)はいくつでも〕

1 地域コミュニティ	2 男女共同参画	3 地域防犯
4 交通安全	5 環境共生	6 環境保全
7 資源循環	8 健康づくり	9 地域福祉
10 児童福祉・子育て支援	11 障害者支援	12 高齢者支援
13 農水産業	14 商工業	15 観光
16 雇用・労働	17 消費者対策	18 市街地整備
19 居住環境整備	20 自然環境整備	21 登山保全
22 景観整備	23 学校教育	24 生涯学習
25 スポーツ	26 青少年健全育成	27 芸術文化
28 消防・防災	29 国際交流・多文化共生	30 災害復興支援
31 まちづくり	32 人材確保	33 平和推進
34 その他(具体的に：)		

問8 あなたの団体の財政についてお聞かせください。

年間活動費はいくら程度ですか。()万円程度

2 団体の活動について

問9 あなたの団体は、どれくらいの頻度で活動していますか。〔(2)は1つ〕

1 週に5回以上 2 週に3、4回程度
3 週に1、2回程度 4 月に1、2回程度
5 2～3ヶ月に1回程度 6 年に数回程度
7 その他(具体的に：)

問10 事務所、会場場所、活動拠点として主にどこを利用していますか。〔(2)は1つ〕

1 会員の個人宅 2 市民館
3 地区集会所 4 文化会館など
5 専用の事務所 6 会員の勤務先
7 その他(具体的に：)

問11 あなたの団体が行っている事業(活動)についてお聞かせください。代表的な事業(活動)について、事業名、事業内容及び事業費などをご記入ください。

事業名	
活動場所	
参加・対象人数	人
事業内容	
活動の周知方法	
活動の状況課題	
事業費	円

問12 あなたの団体が活動を進めていく上で、次の問題についてどれくらいあてはまりますか。(項目ごとに○は1つ)

	あてはまる	少しあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない
(1) 活動に参加する人数が少ない	5	4	3	2	1
(2) 活動に積極的な人材が少ない	5	4	3	2	1
(3) リーダーになれる人が少ない	5	4	3	2	1
(4) 会員が高齢化している	5	4	3	2	1
(5) 後継者がいない	5	4	3	2	1
(6) 活動拠点などが確保しにくい	5	4	3	2	1
(7) 活動資金が足りない	5	4	3	2	1
(8) 活動に必要な情報の収集方法がない	5	4	3	2	1
(9) 活動をPRする力が弱い	5	4	3	2	1
(10) 活動をすすめていくための専門的な知識や能力が不足している	5	4	3	2	1
(11) 活動の調整に苦労している	5	4	3	2	1
(12) 役員会などの運営に苦労している	5	4	3	2	1
(13) 他団体との交流がない	5	4	3	2	1
(14) 他団体と連携がない	5	4	3	2	1
(15) 地域の理解が得られない	5	4	3	2	1
(16) 家族の理解が得られない	5	4	3	2	1
(17) 職種の理解が得られない	5	4	3	2	1
(18) 行政の理解が得られない	5	4	3	2	1

3 市との連携・協力について

問13 あなたの団体にとって、市との連携・協力は重要ですか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|------------------|
| 1 非常に重要 | 2 どちらかといえば重要 |
| 3 どちらともいえない | 4 どちらかといえば重要ではない |
| 5 重要ではない | |

問14 あなたの団体が活動するにあたって、どんなことを市に協力してほしいですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1 補助金による援助 | 2 場所や物品、機材等の提供 |
| 3 市の広報紙を使った団体の情報発信 | 4 他の団体の紹介、関係の調整など |
| 5 リーダーの養成、技術養成の研修 | 6 市の施設の利用料割引や優先提供 |
| 7 市の団体の展示、共有化 | 8 市の基金による支援 |
| 9 市の事業の共同企画 | 10 市の事業の委託 |
| 11 市から島・西や企業等への働きかけ | 12 表彰、顕彰 |
| 13 組織の立ち上げ、運営方法に関する支援 | 14 市議員の活動への参加 |
| 15 その他(具体的に:) | |

問15 市と市民活動団体の連携によるまちづくり施策として、知っているものをお答えください。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------------|------------------|
| 1 市民協働まちづくり条例 | 2 市民協働まちづくり基金 |
| 3 市民協働まちづくり会議 | 4 市民協働のまちづくり方針 |
| 5 田原市民活動支援センター | 6 市民協働まちづくり事業補助金 |
| 7 パブリックコメント制度 | 8 各種審議会委員の市民公募 |
| 9 市民のメール(市ホームページ) | 10 市民提案箱 |
| 11 市民提案受理委託事業 | 12 社会貢献活動奨励補助制度 |
| 13 どすごいネット(東三河市民活動情報サイト) | |
| 14 その他() | |

問16 現在、あなたの団体と市とはどのような関係にありますか。(○はいくつでも)

- | |
|-------------------------------|
| 1 市から補助金を受けている |
| 2 市から業務委託を受けている |
| 3 市が主催する審議会、委員会、研究会に委員を出している |
| 4 市の関係部署と日常的に情報交換等の話し合いを行っている |
| 5 市に対して要望や陳情を行っている |
| 6 市に対して具体的な提案策案をしている |
| 7 事務局が市の関係部署、関係施設内にある |
| 8 市の施設を利用して活動を行っている |
| 9 市とは特に関係を持っていない |

問17 田原市民活動支援センターについて、あてはまるものに○をつけてください。

	あてはまる	少しあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない
(1) センターを知っている	5	4	3	2	1
(2) センターを利用したことがある	5	4	3	2	1
(3) センターが使いやすそうと思う	5	4	3	2	1
(4) センターの対応に満足だ	5	4	3	2	1
(5) センターの情報提供は適切だ	5	4	3	2	1
(6) センターのメールやSNSによる情報発信を知っている	5	4	3	2	1
(7) センターのメールやSNSによる情報発信を利用している	5	4	3	2	1

問18 田原市民活動支援センターに欲しい、もしくは必要だと思う機能があれば、ご記入ください。(自由記述)

問19 市が行っている次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。(各問に対し「現在の評価」「今後の重要性」に○を1つずつ)

	現在の評価					今後の重要性				
	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	非常に重要	重要	普通	あまり重要でない	重要でない
(1) 市民・団体などの参加と協働によるまちづくり体制の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(2) 設立・団体運営の実態などボランティア団体・NPOに対する活動支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問20 あなたの団体・グループは、市と連携・協力してどのようなことをしたいですか。自由なご意見をお聞かせください。

4 市政に対するご意見

問21 その他、皆様お考えになっていること、団体の将来の展望、市に対するご意見やご要望、ご提言などがあれば、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

【市民の『幸せ』に関するアンケート（中学生）】

このアンケートは、田原市が目指すまろづくり「みんなが幸福を実現できるまち」に向けた取り組みの基礎調査として、市内の全中学2年生を対象に実施する「幸せ」に関するアンケート調査です。
自分の考えや感覚に一番近いと思う番号に○を付けて下さい。

アンケートにご協力をお願いします



Q1 あなたにとっての『幸せ』について

① 今現在、あなたの『幸せ』の程度を0～10点で評価すると何点ですか？



② あなた自身が『幸せ』であるために、重要だと思うことは何ですか？（○を3つまで）

- | | |
|--------------------|-----------------------------|
| ① 家族の仲が良いこと | ⑤ 良い学習環境(学校・塾・自習)があること |
| ② 友達と仲が良いこと | ⑥ 家族・先生・友達から認められること |
| ③ 自分や家族が豊福なこと | ⑦ ボランティア活動など、地域の人とふれあいがあること |
| ④ 不自由なく普通な生活ができること | ⑧ 将来の夢があること、夢に向かって頑張ること |
| ⑤ 学校生活が楽しいこと | ⑨ 趣味や習い事など、好きなことができること |
| ⑥ 部活動が楽しいこと | ⑩ 自由な時間があること |
| ⑦ 成績が良いこと | ⑪ お小遣いなど、自由に使えるお金があること |
| ⑧ その他() | |

③ あなたは普段から自分が『幸せ』になるために何かしていますか？

(例) 将来の夢のために習い事を続けている、家族とたくさん会話をするようにしている、など)

1. している 2. あまりしていない 3. していない 4. わからない

● 何をしています？（ ）

④ あなたは普段の生活の中で、自分の周りの人に『幸せ』を感じてもらうために何かしていますか？（例：家の手伝いを進んでやっている、いつもみんなに笑顔で話している、など）

1. している 2. あまりしていない 3. していない 4. わからない

● 何をしています？（ ）

Q2 あなたの学校生活について

① あなたは学校生活や部活動が楽しいですか？

1. とても楽しい 2. まあまあ楽しい 3. 普通 4. あまり楽しいくない 5. 楽しくない

② あなたは普段の授業で「わかった」という実感がありますか？

1. ある 2. ない

③ あなたには信頼できる友達がありますか？

1. たくさんいる 2. 少しいる 3. いない

④ あなたは過去1年間の間にいじめを受けて悩んだ経験がありますか？

1. ある 2. ない

Q3 あなたの普段の生活・家族との関係について

① あなたは普段の生活全般に満足していますか？

1. とても満足 2. まあまあ満足 3. 普通 4. 少し不満 5. 不満

② あなたは家族との関係で悩みがありますか？

1. ある 2. ない

③ あなたは親や家族から大切にされていると感じていますか？

1. 感じる 2. 感じない

④ あなたは自分や家族のことで心配や不安がありますか？

1. ある 2. ない

⑤ あなたは自分の10年後の将来が楽しみですか？

1. 楽しみ 2. 楽しみではない

Q4 その他

自由意見

あなたにとっての幸せとは何ですか？

ご協力ありがとうございました！



田原市市民意識調査報告書

発行年月	令和 4 年 12 月
発行	愛知県田原市 企画部企画課 〒441-3492 愛知県田原市田原町南番場 30 番地 1
TEL	(0531) 22-1111 (代表)
FAX	(0531) 23-0669
E-mail	kikaku@city.tahara.aichi.jp